

2002(平成14)年度

講義内容

法学部

 駒澤大學

講 義 内 容

目 次

法律学科フレックス A・政治学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	97
4	保健体育科目	251
II	専門教育科目	
1	法律学科	291
2	政治学科	375
III	他学部履修科目	449
IV	随意科目	477
V	「日本語」・「日本事情」科目	483

法律学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	501
2	教養教育科目	509
3	外国語科目	539
4	保健体育科目	571
II	専門教育科目	585
III	他学部履修科目	633

法律学科 フレックス A・政治学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 法	
	専門教育科目	法律 政治 他学部	
	履修科目	随意科目	
	「日本語」	「日本語」	
	「日本事情」	「日本事情」	
	法律学科 フレックス B	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 専門教育 他学部
		履修科目	履修科目

法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (法A)	〈峰岸孝哉〉	11
仏教と人間 (法A)	〈佐藤秀孝〉	12
仏教と人間 (法A)	〈岩永正晴〉	12
仏教と人間 (法A)	〈石井清純〉	13
仏教と人間 (政)	〈菅原壽清〉	13
仏教と人間 (政)	〈渡部正英〉	14
仏教と人間 (政)	〈川上新二〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈熊本英人〉	15
仏教と人間 [再クラス]	〈木村誠治〉	15
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宜英〉	16
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	16

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	法A1必	4

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなかろうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外来宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本の特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人のくらしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人のくらしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）960円

参考書等

講義の進行と共に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤秀孝	法A1必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところであろう。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを知ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	岩永正晴	法A1必	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

教科書は未定。但し千円程度のものを用いる予定で、初回の授業において指示する。

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）。
その他は講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし い きよ づみ 石 井 清 純	法A1必	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の經典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	政治1必	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と仏教」というテーマで、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教について学ぶための基礎的な講義を行い、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のころなどについて順次進めて行く予定です。

講義の内容・授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

- 1、宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
- 2、宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
〈宗教の多様性〉
- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
- 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
〈人びとの暮らしと仏教〉
- 5、仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
- 6、仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
- 7、〃〃（日本の仏教）
- 8、〃〃 - 神仏習合と分離 -
- 9、禅のころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は授業開始時に説明）

教 科 書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

講義中に紹介

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	わた なべ まさ ひで 渡部正英	政治1必	4

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点に置いて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。宗教学的立場から、他の諸宗教と比較しながら仏教の特色を考え、ブッダの目指したものを通して、その教えが我々にどのような影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中での信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどのような立場で接しているのか。また、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注目しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かわ かみ しん じ 川上新二	政治1必	4

講義のねらい

仏教をはじめとして世界中に存在するさまざまな宗教を理解することによって、それらの宗教を生み出し、またそれらの宗教の中で暮らす人間について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、我々日本人にも大きな影響を与えている仏教について紹介する。後期では、その他の宗教について紹介し、世界のさまざまな文化を理解するための助けとなるようにする。

履修上の留意点

国際的な交流が活発となっている現代社会において、異なる文化の中で暮らす人々を理解するためには、彼らの生活の背景となっている宗教に常に関心を持っておく必要がある。積極的な宗教文化の理解が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退出を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教科書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊本英人	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	きむら せいじ 木村誠治	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宜英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な人にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやま しゆん えい 晴山 俊英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 509)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔外国文学〔ドイツ文学〕〕	〈岡 晋〉	23
文学〔外国文学〔中国文学〕〕	〈清水 浩子〉	23
歴史学〔日本中世史〕	〈栗原 修〉	24
歴史学〔日本近世史〕	〈小高 昭一〉	24
芸術学(1)〔日本美術〕	〈北野 良枝〉	24
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野 陽子〉	25
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽 由規子〉	25
哲学〔現代文明と人間〕	〈箭野 浩司〉	26
哲学〔現代文明と人間〕	〈黒崎 剛〉	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈戸田 洋樹〉	27
論理学〔知の技法〕	〈箭野 浩司〉	27
論理学〔知の技法〕	〈伊古田 理〉	28
科学史〔近代科学の成立と展開〕	〈小宮山 隆〉	28
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田 知章〉	29
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎 剛〉	29
倫理学(3)〔価値観〕	〈滝沢 正之〉	30
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野 浩司〉	30
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈滝口 清栄〉	31
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木 恭彦〉	31
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上 良正〉	32
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中 かの子〉	32
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川 順敬〉	33
宗教学(4)〔組織と運動〕	〈洗 建〉	33
人文地理学(1)〔風土と文化〕	〈竹林 和彦〉	34
人文地理学(2)〔風土と文化〕	〈高橋 健太郎〉	34
人文地理学(3)〔空間と行動〕	〈山口 太郎〉	35
人文地理学(4)〔空間と行動〕	〈伊藤 修一〉	36
教育の思想	〈伊藤 茂樹〉	36
教育の思想	〈坂本 信昭〉	37
教育と社会	〈伊藤 茂樹〉	37
教育と社会	〈坂本 信昭〉	38
発達と学習の心理学	〈大浜 幾久子〉	38
発達と学習の心理学	〈川田 三夫〉	39
発達と学習の心理学	〈山本 政人〉	40
カリキュラムと学習	〈大浜 幾久子〉	40
カリキュラムと学習	〈川田 三夫〉	41
カリキュラムと学習	〈山本 政人〉	42

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈小畑 和〉	43
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈稲葉 敏夫〉	43
文化人類学〔文化と人間〕	〈藤崎 康彦〉	44
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈和知 恵一〉	45
法学・憲法〔法と国家〕	〈新田 浩司〉	46
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈西 修〉	47
政治学〔国際社会と日本〕	〈内海 麻利〉	48
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋本 泰明〉	48
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石 雄爾〉	49
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	50
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	51

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	52
地球科学〔自然景観の成り立ち〕〈市川清士〉	54
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真理〉	54
自然環境論〔自然史と環境〕〈藤井享〉	55
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－〈山縣毅〉	56
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	57
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	58
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	58
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	59
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	59
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	60
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	61
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	61
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕〈小沢誠〉	62
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	63
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	64
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕〈竹田洋一〉	64
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕〈上原隆平〉	65
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈竹田洋一〉	66
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈小沢誠〉	67
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈山本博信〉	68
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈長坂浩史〉	69
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈小川健次郎〉	71
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕〈上原隆平〉	72
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈遠藤万里〉	72
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈横山剛〉	73
心理学〔心を科学する〕〈名取志保〉	73
心理学〔心を科学する〕－夏季集中－〈堀内正彦〉	74

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉	
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和 他〉…………… 75
総合Ⅲ(1)	〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉…………… 76
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡 崎 寿一郎〉…………… 77
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上 野 勝 広〉…………… 77
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人〉…………… 78
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄〉…………… 78
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川 股 陽太郎〉…………… 79
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大 野 祐 二〉…………… 80
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈吉 田 京 子〉…………… 80
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代〉…………… 81
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕	〈北野かほる 他〉…………… 82
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	〈早川 純貴 他〉…………… 83
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「ドイツ文学」〕	まつおか 松岡晋	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

「メッテルニヒ時代の検閲制度と文学——オーストリア帝国 1815-1848 年——」というテーマで講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

他国に類を見ないほど厳しい検閲制度のもとにあった標記の時代のオーストリアにおける文筆活動と出版のありかたについて、可能な限り具体的に話をしてみようと思っております。次の順序で講義は進められます。

1. オーストリア帝国（1804-1867 年）に関する基礎データ
2. 行政機構について
3. 検閲制度——（a）法的根拠（b）検閲機構（c）実際の運用について
4. いくつかの作品の検閲の実例
5. まとめ

履修上の留意点

この講義は多角的な観点から行われますので、文学のみならず、歴史、社会科学一般に興味を持つ方々の受講を歓迎します。あらかじめ、1815-1848 年のオーストリア史に関する日本語文献に目を通していただければ、講義がより理解しやすいかもしれません。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと学年末試験（あらかじめ示されるいくつかの設問に回答する形式）によって行います。

教科書

教科書は用いません。講義資料としてコピーを頻繁に配布いたします。参考文献は、講義のなかでその都度指示いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「中国文学」〕	しみずひろこ 清水浩子	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

前期の前半は中国神話・伝説について解説する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応劬の神話・伝説・俗説についての考え方を知る。

講義の内容・授業スケジュール

神話・伝説・俗説について、テキストに従って講読・解説を行う。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義に対する意見を書き、それを提出してもらう。

成績評価の方法

年間 2~3 回のレポートと毎時間の意見文を参考に総合的に判断する。

教科書

中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本中世史〕	栗原 修 <small>くりはら おさむ</small>	法A・政治選	4

講義のねらい 中世の歴史を講義する。とくに中世社会の成立、社会のあり方を中心に見ていき、中世という時代の特徴を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール 前期は武家政権の成立について、後期は武家政権の展開について、見ていく。

履修上の留意点 テーマごとに取り上げるため、年表などを用意してもらいたい。

成績評価の方法 年度末試験と平常点などにより総合的に評価する。

参考書等 その都度紹介するが、日本史辞典、年表などは用意してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近世史〕	小高 昭一 <small>おだか しょういち</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい 織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法 前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書 深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊。

参考書等 授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野 良枝 <small>きたの よしえ</small>	法A・政治選	4

講義のねらい 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。

成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他 毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	法A・政治選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	法A・政治選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	矢野 浩司 <small>やの ひろし</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

この授業では西欧哲学の大まかな流れを追い、現代哲学の状況を概観する。その際、参加者には意見を述べてもらい、ディスカッションを行う。日本ではあまり行われていないが、ヨーロッパやアメリカの学校では普通に行われている授業形式を実践してみたい。倫理的な問題も射程に入れる。

履修上の留意点

哲学的な問題に関心があることと、対話する意欲があることを参加条件とする。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、参加状況、リアクション・ペーパー等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを取り上げる予定

1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか。
2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
4. 労働の哲学的意義
5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
6. 二十世紀の人間解放論
7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	とだひろき 戸田洋樹	法A・政治・法B選	4

講義の内容・
授業スケジュール

論理学を「伝統的論理学」と「記号論理学」の二つに分け、前期には「伝統的論理学」の基礎を、後期には「記号論理学」の基本を講述する。

1. 「伝統的論理学」
 - 演繹論理
 - 帰納論理
2. 「記号論理学」
 - 命題論理
 - 述語論理

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験による

教科書

授業開始時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やのひろし 箭野浩司	法A・政治選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・
授業スケジュール

思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	法A・政治選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	法A・政治選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一「図解・科学の歴史」（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等ももちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	<small>ふる た とも あき</small> 古田知章	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	<small>くろ さき つよし</small> 黒崎剛	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験(レポート)、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之 <small>たきざわまさゆき</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性と、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	箭野浩司 <small>やのひろし</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の〈応用〉という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (5) 〔制度とモラル〕	たき くち きよ えい 滝 口 清 栄	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることが、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることが、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り挙げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	池 上 良 正 <small>いけ がみ よし まさ</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>た な が</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るか、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悔」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ．宗教学の基本的立場、Ⅱ．原始時代の宗教、Ⅲ．一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ．諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ．聖なる母性の比較美術、Ⅵ．仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ．ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	お 小 川 順 敬 が お と し ゆ き	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようとして努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏休休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

未定。授業開始後、紹介します。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あ ら い けん 建 洗 建	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実に応じて考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	<small>たけ ばやし かず ひこ</small> 竹 林 和 彦	法A・政治選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	<small>たか ほし けん たろう</small> 高 橋 健 太 郎	法A・政治選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかにかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	法A・政治選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・授業スケジュール

I インTRODクシヨン

II 都市を観察し、記録するメソッド

1. 先達により観察され、記録された東京

例) 小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展

2. 人文地理学における研究手法

時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク

III 景観論の系譜と観察方法

1. 景観行政の系譜
2. 景観の考え方
3. 景観観察方法

IV まちづくり実践の事例紹介

1. 歴史的町並みの事例
2. 市街地再開発の事例
3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。

エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）

田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

その他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1) 都市の分布と立地、(2) 都市システムと都市機能の変化、(3) 都市構造の変化、(4) 都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1) 人口変動と分布・人口移動、(2) グローバル化、(3) 産業立地・モビリティ、(4) 都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法

出席状況と試験の結果から評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他

原則として、授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	まか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	い とう しげ き 伊 藤 茂 樹	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本 信昭 <small>さか もと のぶ あき</small>	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村 絢子 他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	大 浜 幾久子 <small>おお はま きくこ</small>	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお 川田三夫	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもと まさひと 山本政人	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい 児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点 不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法 学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他 講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大浜幾久子	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法 リポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等 『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他 前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお夫 川田三夫	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授－学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育(学)・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授－学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもと まさと 山 本 政 人	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習のメカニズム
- ②学習と動機づけ
- ③学習方法
- ④学習の評価
- ⑤学習の障害と指導
- ⑥不適応の心理と教育
- ⑦教育相談
- ⑧学級集団
- ⑨カリキュラムと学習
- ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	小畑和	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なもの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いつながりながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
- ②誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
- ③幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
- ④家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
- ⑤消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
- ⑥会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
- ⑦老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	稲葉敏夫	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。

後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	ふじ 藤 崎 康 彦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

文化人類学は「文化」と「人」についての研究分野である。従って、文化概念の明確な把握と、「人のカテゴリー」の発想と理解を得ることを目標とする。あわせて、文化人類学の基礎的な知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

次のような大項目とそこに含まれる小項目を想定している。各項目の比重は必ずしも均等ではない。

- (i) 導入（文化の中核としての「宇宙論」、文化とコミュニケーション等）
- (ii) 社会構造（親族概念、キンドレッド、単系出自集団、結婚、家族概念等）
- (iii) 信念体系（妖術、呪術、シャーマニズム等）
- (iv) 文化と性／ジェンダー（性と年齢に基づく社会構造、あいまいなジェンダーと人のカテゴリー等）
- (v) 文化と心理（文化／日常の心理化、文化とパーソナリティ、文化と深層心理等）

履修上の留意点

質問等積極的な授業参加は歓迎するが、私語めいわく行為は厳禁。授業中携帯電話等の呼び出し音が鳴ったりしたらその時点で授業は打ち切る。その他社会常識は守ること。

成績評価の方法

学年末のテストを基本とし（比重約60%）授業時のミニ・テスト、ミニ・レポート、出席点及び自主レポート等（比重約40%）を総合的に勘案し評価する。これらは加点法で扱う。なお学年末のテストは最終授業時間においてのテストを想定しているが、学事暦によっては定期試験期間内とすることもある。開講時の説明を確認すること。

教 科 書

なし。授業時配布のプリントを基本とする。

参 考 書 等

トピックごとの参考書等は授業時に紹介する。

そ の 他

ビデオ資料を用いることがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	わちけい いち 和知恵一	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪なのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

法学・憲法（新版） 小林弘人・松村格編著（八千代出版）
ポケット六法（平成15年版） 塩野宏等編（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

トピックスくらしの法 大久保治男監修（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義口を受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	新田 浩司 <small>にっ た ひろ し</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐって国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、公務員の不祥事、教育問題、凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法による過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義においては、我々が国民として住民として生活する上で必要な法学・憲法学的知識を得ることができるように、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|---------------|-------|------------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 信教の自由 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第15回目 | 表現の自由 |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第16回目 | 学問の自由／教育権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第17回目 | 経済的自由 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第18回目 | 身体の自由 |
| 第6回目 | 憲法とは何か | 第19回目 | 新しい人権 |
| 第7回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第20回目 | 社会権 |
| 第8回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第21回目 | 参政権 |
| 第9回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | 第22回目 | 国務請求権 |
| 第10回目 | 基本的人権① | 第23回目 | 統治機構①（天皇） |
| 第11回目 | 基本的人権② | 第24回目 | 統治機構②（国会） |
| 第12回目 | 平等権（法の下での平等） | 第25回目 | 統治機構③（内閣） |
| 第13回目 | 思想・良心の自由 | 第26回目 | 統治機構④（裁判所） |

履修上の留意点

私語は慎むこと。

成績評価の方法

夏休みレポート及び定期試験の成績により評価する。 ※レポートは必ず提出すること。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西 おきむ 修	全学科選	4

講義のねらい

何年前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教科書

開講時に指示。
授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	うち内 海麻利	法A・法B選	4

講義のねらい

本講義は、人間集団における秩序の形成と解体をめぐって、人が他者に対して、また他者と共に行う営み、あるいは権力・支配・自治・政策にかかわる現象であるとされる政治を、その現象が色濃く反映される都市計画やまちづくりという側面から見ることで学生諸君の興味と理解を深めることを目的としている。主たる視点は、国際的な都市比較による政治と都市計画の関係、また、市民によるまちづくりに見る政治のあり方などである。具体的には、都市形成過程、土地利用と都市整備、環境保全と景観創造、都市再生、協議型まちづくり等、都市計画やまちづくりにおける多様な事例を用いて政治を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎にテーマを設定して講義を行うが、詳しいスケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

都市計画やまちづくりに関する新聞、報道などニュースを日常的に見ることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績などを中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	はし橋 もとひろ あき泰明	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

経済学的なもの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価為替変動と国民所得
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教科書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きの姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 [デス・エデュケーション]	やなぎ ほり 柳 堀 素雅子	法A・政治選	4

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。

現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないでいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらおうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 〔大学生の心理教育臨床心理学の立場から〕	野 中 弘 敏 <small>の なか ひろ とし</small>	法 A・政治選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生態と進化〕	し みず よし かず 清 水 善 和	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 (1) 物質循環の大原則
 (2) 水の循環
 (3) 炭素の循環
 (4) 窒素の循環
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 (1) 遷移のモデル
 (2) さまざまな遷移
 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 (1) 3つの多様性
 (2) 多様性の尺度
 (3) 生物地理区と植生帯
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 (1) 里山の生物
 (2) 都市と生物
 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川 清士	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？
本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。
また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えていきます。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。また毎週、新聞を読んでから授業に参加することを望みます。

成績評価の方法

授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

使用しません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまる まり 持丸 真里	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。
後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。
①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮
内分泌攪乱物質
オゾン層破壊
②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊
近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）
これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔自然史と環境〕	藤井 享 <small>みじ い すずむ</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約 170 万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この 170 万年間には少なくとも 6 回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約 72,000 年前にはじまり約 1 万年前までの 62,000 年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、束の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約 2 万年前から約 18,000 年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約 3 倍にあたるおよそ 4,900 万 km² もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯 40° 以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の古環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境
- ⑧ 自然エネルギーと地球環境

履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがたけし 山 縣 毅	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	法A・政治選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
 - (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
 - (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
 - (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレュームテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プレュームの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
 - (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) 化石燃料の化学
 - (3) 大気環境の変化
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お <small>ざわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	法A・政治選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線型代数学入門〕	お <small>ざわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	法A・政治選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	法A・政治選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期： 論理の基礎と応用、情報理論、情報数理論、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用

履修上の留意点

高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。

成績評価の方法

試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。

教 科 書

使用しない。プリントを配布する。

参 考 書 等

必要となり次第指示する。

そ の 他

プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	うえ はら りゆう へい 上 原 隆 平	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・
授業スケジュール

まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 理 学 〔光と物質〕	しの 係 原 まさ お 雄	法 A・政治選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光
 光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間
 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光
 電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ
 色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線
 光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波
 光と宇宙
 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
 その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む） 食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇 宙 科 学 〔星と銀河〕	篠原正雄	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。

太陽： 構造 エネルギー源

恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河をとりあげます。

銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

そ の 他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	小 沢 誠 <small>お ざわ まこと</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山本 博 信	法A・政治選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“情報リテラシー”を実習を通じて理解する。インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

これまでのコンピュータシステムは、たとえば企業では、情報システム部門や専門家によって作られ、エンドユーザ部門に提供されてきた。パッケージソフトウェアの普及などによって身につけることができる情報処理技術に伴って、ユーザ自身がコンピュータシステムを作り上げることも可能になった。このように情報技術の環境が整いつつある。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。本講座では、情報を読み、書き、プレゼンテーションし、応用する能力（情報活用能力または情報リテラシー）をエンドユーザであるみなさんがどのようにして身につけるか、実習を通じて学習する。

- ・表計算ソフトの計算処理と各種操作方法（起動と終了、表示窓と格納箱の切り替え、ブックの保存、データの入力と編集、数式の入力、相対参照と絶対参照、オートフィル、書式設定、罫線、グラフの作成と編集、関数の利用、データの並び替え、複数のワークシートの利用、作図のツール）
- ・Webページの概要
- ・インターネットの諸サービスの活用

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。試験前にあらかじめ提示した課題を最終回の授業において実施し、提出するという形態をとる。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	竹田 洋一 <small>たけだ よういち</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	うえ ほら りゆう へい 上 原 隆 平	法 A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやらなければならないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	竹田 洋一 <small>なり た よう いち</small>	法A・政治選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程
コンピュータ基礎 (11)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お 沢 誠 ざわ まこと	法A・政治選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	法A・政治選	2

講義のねらい EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。PC（パソコン）で作成できる画像をどのように処理して活用するかについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及している。日常生活においても、パソコンなどに接する機会が増え、これらを活用することがますます必要となってきた。パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理して情報を作成、発信することができるようになった。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。パソコンでどのようにして画像を作成してホームページの発信に活用するかについても学ぶ。

- ・コンピュータによる情報処理と組織による情報処理について
- ・表計算ソフトの基礎、応用
 - (1) 行列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書へ表やグラフを埋め込み仕上げる） (6) VBAによる問題解決
- ・Windowsの環境について（個人情報の自己管理方法など）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報を収集して文書を作成する）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現（画像）およびその作成技術について）

履修上の留意点 予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法 評価は授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行う。

教科書 未定

参考書等 参考書は必要に応じて紹介する。

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

コンピュータ基礎(13)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	△	△	△			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○			8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半						後半								
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
8月1日	金						8月20日	水				○	○	○
8月4日	月						8月21日	木				○	○	○
8月5日	火						8月22日	金				○	○	○
8月6日	水						8月25日	月				○	○	○
8月7日	木						8月26日	火				○	○	○
8月8日	金						8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	法A・政治選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OS は Windows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教 科 書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金				○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月				○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火				○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水				○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木				○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金				△	△	△	8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水				○	○	○
8月4日	月							8月21日	木				○	○	○
8月5日	火							8月22日	金				○	○	○
8月6日	水							8月25日	月				○	○	○
8月7日	木							8月26日	火				○	○	○
8月8日	金							8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 川 健次郎 <small>お がわ けんじろう</small>	法 A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請しておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎 (20)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金						8月20日	水	○	○	○		
8月4日	月						8月21日	木	○	○	○		
8月5日	火						8月22日	金	○	○	○		
8月6日	水						8月25日	月	○	○	○		
8月7日	木						8月26日	火	○	○	○		
8月8日	金						8月27日	水	△	△	△		

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえはらりゅうへい 上原隆平	法A・政治選	4

- 講義のねらい** コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。
- 講義の内容・授業スケジュール** まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。
- 履修上の留意点** プログラミングに対する予備知識は假定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
- 成績評価の方法** 評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
- 参考書等** 参考書は必要に応じて紹介する。
- その他** 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えんどうばんり 遠藤萬里	法A・政治選	4

- 講義のねらい** 人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。
- 講義の内容・授業スケジュール** ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体さまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。
- 履修上の留意点** できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。
- 成績評価の方法** 成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。
- 教科書** 遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）
- 参考書等** 進化については 遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。
- その他** スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこ 横山 つよし 剛	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい(詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する)。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加してください。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参してください。

成績評価の方法

平常点+筆記試験

教科書

山内宏太郎ほか『はじめての心理学』(北樹出版)

参考書等

霜山徳爾編『臨床心理学』(学術図書出版)

その他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	なとり 名取志保	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をささぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 II 〔自然観察入門- 富浦をめぐる人と自然〕	しみず 善和・上原 隆平 清水 和子・小沢 誠 うるしはら かずこ おざわ 誠 漆原 昭一・篠原 正雄 おだわ しようち しのはら まさお 小高 昭一・篠原 正雄 はしづつ なおみち ちかまる まり 橋詰 直道・持丸 真里 やなぎさわ のりお やまがた たけし 柳澤 紀夫・山縣 毅	法 A・政治選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要もある。

本講義の前半（4-7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20-24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日 (1) ガイダンス (清水)
- 18日 (2) 自然観察の方法、生物図鑑の使い方 (清水)
- 25日 (3) 植物観察 (駒澤大学) (清水)
- 5月2日 連休
- 9日 (4) バードウォッチングの方法 (柳澤)
- 16日 (5) バードウォッチングの実際 (駒沢公園) (柳澤)
- 23日 (6) 岩石・地質の見方1 (山縣)
- 30日 (7) 岩石・地質の見方2 (山縣)
- 6月6日 (8) 化学的な自然の見方1 (持丸)
- 13日 (9) 化学的な自然の見方2 (持丸)
- 20日 (10) 天体観測の方法1 (篠原)
- 27日 (11) 天体観測の方法2 (篠原)
- 7月4日 (12) レポートの作成法 (清水)
- 11日 (13) 富浦実習の準備 (清水)

7月20日-24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日 (14) レポート提出
- 26日 (15) レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	法A・政治選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	法A・政治選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	法A・政治選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味があなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	法A・政治選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	法A・政治選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに会うために批判の方法によって権力の座 (特権化された場所) を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化 (帝国主義と植民地化にたいする批判) することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者 (=文化) をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン (横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー；冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー (レポート作成) などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 <small>また ようたろう</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のもので、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野祐二	法A・政治選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだきょうこ 吉田京子	法A・政治選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	法A・政治選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く。
 - 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
 - セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考え
で性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王 志安 小木曾 綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西 修	法A・政治選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(2) 〔都市論〕	早川純貴・浦田早苗 品田知美・中野裕二 保坂尚郎	法A・政治選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
 早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)
 品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。
 保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。
 中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。
 早川純貴『『まちづくり』と住民参加』(4回/10・11月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月)——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 . 外 国 語 科 目

3 . 外国語科目

[英語]

英語 I A (法 A)	〈丸 小 哲 雄〉	97
英語 I A (法 A)	〈岩 原 康 夫〉	97
英語 I A (法 A)	〈飯 沼 好 永〉	98
英語 I A (法 A)	〈三 浦 眞 理〉	98
英語 I A (法 A)	〈佐 藤 江 里 子〉	99
英語 I A (法 A)	〈山 岸 二 郎〉	99
英語 I A (法 A)	〈ササキ, M.〉	99
英語 I A (法 A)	〈三 輪 久 恵〉	100
英語 I A (政)	〈三 浦 眞 理〉	100
英語 I A (政)	〈佐 藤 江 里 子〉	100
英語 I A (政)	〈山 岸 二 郎〉	101
英語 I A (政)	〈ササキ, M.〉	101
英語 I A (政)	〈三 輪 久 恵〉	101
英語 I B (法 A)	〈木 元 喜 久 子〉	102
英語 I B (法 A)	〈藤 井 道 行〉	102
英語 I B (法 A)	〈海 琳 泰 子〉	103
英語 I B (法 A)	〈高 見 陽 子〉	103
英語 I B (法 A)	〈木 元 喜 久 子〉	103
英語 I B (法 A)	〈藤 井 道 行〉	104
英語 I B (法 A)	〈海 琳 泰 子〉	104
英語 I B (政)	〈木 元 喜 久 子〉	105
英語 I B (政)	〈藤 井 道 行〉	105
英語 I B (政)	〈海 琳 泰 子〉	105
英語 I B (政)	〈高 見 陽 子〉	106
英語 I B (政)	〈江 田 幸 子〉	106
英語 II A (法 A)	〈吉 川 直 澄〉	107
英語 II A (法 A)	〈太 田 雅 子〉	107
英語 II A (法 A)	〈古 富 猛〉	108
英語 II A (法 A)	〈高 見 陽 子〉	108
英語 II A (法 A)	〈平 林 卓 郎〉	109
英語 II A (法 A)	〈高 柳 文 江〉	109
英語 II A (法 A)	〈堀 千 和 子〉	109
英語 II A (法 A)	〈外 池 一 子〉	110
英語 II A (法 A)	〈塚 本 利 男〉	110
英語 II A (政)	〈朝 川 眞 紀〉	110
英語 II A (政)	〈木 村 正 俊〉	111
英語 II A (政)	〈北 村 弘 文〉	111
英語 II A (政)	〈山 縣 裕〉	111
英語 II A (政)	〈風 間 則 比 古〉	112
英語 II A (政)	〈岩 永 祥 恵〉	112
英語 II A (政)	〈市 川 仁〉	112
英語 II B (法 A)	〈逢 見 明 久〉	113
英語 II B (法 A)	〈鈴 木 美 貴 子〉	113
英語 II B (法 A)	〈林 明 人〉	114
英語 II B (法 A)	〈井 伊 順 彦〉	114

英語 II B (法 A)	〈佐藤アヤ子〉	114
英語 II B (法 A)	〈平林卓郎〉	115
英語 II B (法 A)	〈中林正身〉	115
英語 II B (法 A)	〈井出功一〉	116
英語 II B (法 A)	〈杉村初枝〉	116
英語 II B (政)	〈田中保〉	117
英語 II B (政)	〈前期：佐藤江里子 後期：八十木裕幸〉	117
英語 II B (政)	〈岩山義春〉	117
英語 II B (政)	〈萩原輝〉	118
英語 II B (政)	〈岸本茂和〉	118
英語 II B (政)	〈伊勢村定雄〉	118
英語 II B (政)	〈佐藤アヤ子〉	119
英語 II D (法 A)	〈石原孝哉〉	120
英語 II D (法 A)	〈岩屋玉江〉	120
英語 II D (法 A)	〈真砂久晃〉	120
英語 II D (法 A)	〈川崎浩太郎〉	121
英語 II D (法 A)	〈相馬美明〉	121
英語 II D (法 A)	〈田中保〉	121
英語 II D (法 A)	〈岸本茂和〉	122
英語 II D (法 A)	〈小笠原隆元〉	122
英語 II D (法 A)	〈桧山晋〉	122
英語 II D (法 A)	〈丹治弘昌〉	122
英語 II D (法 A)	〈三芳康義〉	123
英語 II D (政)	〈西田義和〉	123
英語 II D (政)	〈本間俊一〉	123
英語 II D (政)	〈森田隆光〉	124
英語 II D (政)	〈笹倉貞夫〉	124
英語 II D (政)	〈桧山晋〉	124
英語 II D (政)	〈笹倉貞夫〉	125
英語 II D (政)	〈田中靖子〉	125
英会話 I	〈ラージ, R.〉	126
英会話 I	〈ウェルズ, J. K.〉	126
英会話 I	〈ソルタ P. N. F.〉	127
英会話 I	〈デンドウ, G.〉	128
英会話 I	〈ウエイド, D. A.〉	128
英会話 I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	129
英会話 I	〈プラスキー, J. C.〉	129
英語 L L I	〈甲斐捷子〉	130
英語 L L I	〈加藤佐和子〉	130
英語 L L I	〈久保ひさ子〉	131
英語 L L I	〈中林正身〉	131
英語 L L I	〈西村祐子〉	132
英語 L L I	〈塙美智子〉	132
英会話 II (法 A・政)	—夏期集中— 〈ピアス, D. M.〉	133
英会話 II (法 A・政)	〈プラスキー, J. C.〉	134
英会話 II (法 A・政)	〈ジトウィッツ, P. D.〉	134
英語 L L II (法 A・政)	〈西村祐子〉	135
英語 L L II (法 A・政)	〈町田尚子〉	136
英語 L L II (法 A・政)	〈太田雅子〉	136

[ドイツ語]

ドイツ語 I A	(法A・政)	〈河上和史〉	137
ドイツ語 I A	(法A・政)	〈百濟勇〉	137
ドイツ語 I B	(法A・政)	〈飯塚公夫〉	138
ドイツ語 I B	(法A・政)	〈柴野博子〉	138
ドイツ語 I C	(会話) (法A・政)	〈松岡晋〉	138
ドイツ語 II A	(政)	〈飯塚公夫〉	139
ドイツ語 II A	(政)	〈河上和史〉	139
ドイツ語 II A	(法A)	〈松岡晋〉	139
ドイツ語 II B	(法A)	〈河上和史〉	140
ドイツ語 II B	(政)	〈野島利彰〉	140
ドイツ語 II C	(会話) (法A・政)	〈野島利彰〉	140
ドイツ語 II D	(法A・政)	〈志真斗美恵〉	141
ドイツ語 L L I	(法A・政)	〈小林ゲアリンデ〉	141

[フランス語]

フランス語 I A	(法A・政)	〈菅谷暁〉	142
フランス語 I A	(法A・政)	〈伊藤なお〉	142
フランス語 I B	(法A・政)	〈菅原猛〉	142
フランス語 I B	(法A・政)	〈大野英士〉	143
フランス語 I C	(会話) (法A・政)	〈佐藤久美子〉	143
フランス語 II A	(政)	〈竹田正純〉	144
フランス語 II A	(法A)	〈小玉齊夫〉	144
フランス語 II A	(法A)	〈前田祝一〉	145
フランス語 II B	(法A)	〈菅谷暁〉	145
フランス語 II B	(政)	〈畑中千晶〉	145
フランス語 II C	(会話) (法A・政)	〈桑田禮彰〉	146
フランス語 II D	(法A・政)	〈小玉齊夫〉	146
フランス語 II D	(法A・政)	〈谷川かおる〉	146
フランス語 L L I	(法A・政)	〈ラリア・三倉M.〉	147

[中国語]

中国語 I A・I B	(法A・政)	〈秋元翼・胡玉華〉	149
中国語 I A・I B	(法A・政)	〈宮本厚子・三田村圭子〉	150
中国語 I A・I B	(法A・政)	〈村松哲文・福地桂子〉	150
中国語 I A・I B	(法A・政)	〈工藤早恵・陳洲拳〉	150
中国語 I A・I B	(法A・政)	〈松本丁俊〉	151
中国語 I A・I B	(法A・政)	〈塩旗伸一郎〉	151
中国語 I C	(会話) (法A・政)	〈秋元翼〉	151
中国語 I C	(会話) (法A・政)	〈工藤早恵〉	152
中国語 II A	(政)	〈松本丁俊〉	152
中国語 II A	(政)	〈福地桂子〉	152
中国語 II A	(政)	〈王聡〉	153
中国語 II A	(政)	〈弘兼加奈子〉	153
中国語 II A	(法A)	〈釜屋修〉	153
中国語 II A	(法A)	〈櫻庭和典〉	154
中国語 II A	(法A)	〈李雲〉	154
中国語 II A	(法A)	〈松本丁俊〉	154
中国語 II B	(法A)	〈王聡〉	155

中国語ⅡB	(法A)	〈平石淑子〉	155
中国語ⅡB	(法A)	〈弘兼加奈子〉	155
中国語ⅡB	(政)	〈根岸政子〉	156
中国語ⅡB	(政)	〈櫻庭和典〉	156
中国語ⅡB	(政)	〈松本丁俊〉	156
中国語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈佐藤普美子〉	157
中国語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈天野節〉	157
中国語ⅡD	(法A・政)	〈曹泰和〉	157
中国語ⅡD	(法A・政)	〈李雲〉	158
中国語ⅡD	(法A・政)	〈三田村圭子〉	158
中国語LLI	(法A・政)	〈佐藤普美子〉	158

[スペイン語]

スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈荻野雅司〉	159
スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈中川清〉	159
スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈宮地達郎〉	159
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈真下祐一〉	160
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	160
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈荻野雅司〉	161
スペイン語ⅠC	(会話)(法A・政)	〈ルイズティノコ, C.〉	161
スペイン語ⅡA	(政)	〈荻野恵〉	162
スペイン語ⅡA	(政)	〈真下祐一〉	162
スペイン語ⅡA	(法A)	〈大岩功〉	163
スペイン語ⅡA	(法A)	〈福本久美子〉	163
スペイン語ⅡB	(法A)	〈宮地達郎〉	163
スペイン語ⅡB	(政)	〈福本久美子〉	164
スペイン語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈真下祐一〉	164
スペイン語ⅡD	(法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	164
スペイン語ⅡD	(法A・政)	〈宮地達郎〉	165
スペイン語LLI	(法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	165

[ロシア語]

ロシア語ⅠA	(法A・政)	〈杉山秀子〉	167
ロシア語ⅠB	(法A・政)	〈木村英明〉	168
ロシア語ⅠC	(会話)(法A・政)	〈佐野朝子〉	168
ロシア語ⅡA	(法A・政)	〈木村英明・杉山秀子〉	169
ロシア語ⅡB	(法A・政)	〈木村英明・佐野朝子〉	169
ロシア語ⅡC	(会話)(法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	169
ロシア語ⅡD	(法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	170
ロシア語LLI	(法A・政)	〈安徳ニーナ〉	170

《再履修クラス》

[英語]

英語ⅠA〔再クラス〕	〈西村祐子〉	171
英語ⅠA〔再クラス〕	〈岩井洋美〉	171
英語ⅠA〔再クラス〕	〈林孝憲〉	171
英語ⅠA〔再クラス〕	〈太田美智子〉	172
英語ⅠA〔再クラス〕	〈伊藤美代子〉	172

英語 I A	〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	172
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	173
英語 I A	〔再クラス〕	〈埜 美智子〉	173
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚 本利男〉	173
英語 I A	〔再クラス〕	〈川 鳥 弘之〉	174
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾 上 典子〉	174
英語 I A	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	175
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	175
英語 I A	〔再クラス〕	〈桧 山 晋〉	175
英語 I A	〔再クラス〕	〈森 田 隆 光〉	176
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 原 康 夫〉	176
英語 I A	〔再クラス〕	〈前期：川股陽太郎、後期：八十木裕幸〉	176
英語 I A	〔再クラス〕	〈西 原 克 政〉	177
英語 I B	〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	177
英語 I B	〔再クラス〕	〈林 孝 憲〉	177
英語 I B	〔再クラス〕	〈木 村 克 彦〉	178
英語 I B	〔再クラス〕	〈武 藤 久 緒〉	178
英語 I B	〔再クラス〕	〈江 田 幸 子〉	178
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲 斐 捷 子〉	179
英語 I B	〔再クラス〕	〈石 原 孝 哉〉	179
英語 I B	〔再クラス〕	〈前 田 脩〉	179
英語 I B	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	180
英語 I B	〔再クラス〕	〈村 石 恵 照〉	180
英語 I B	〔再クラス〕	〈町 田 成 男〉	180
英語 I B	〔再クラス〕	〈松 堂 啓 子〉	181
英語 I B	〔再クラス〕	〈三 浦 眞 理〉	181
英語 II A	〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	181
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐 藤 明 子〉	182
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀 和〉	182
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿一郎〉	182
英語 II A	〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	183
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡 崎 寿一郎〉	183
英語 II A	〔再クラス〕	〈井 伊 順 彦〉	183
英語 II A	〔再クラス〕	〈ピアス, D. M.〉	184
英語 II A	〔再クラス〕	〈前期：田中靖子、後期：矢島直子〉	184
英語 II A	〔再クラス〕	〈小笠原 隆 元〉	185
英語 II A	〔再クラス〕	〈河内山 有 佐〉	185
英語 II A	〔再クラス〕	〈大 淵 利 春〉	185
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	186
英語 II B	〔再クラス〕	〈前期：岩井洋美、後期：矢島直子〉	186
英語 II B	〔再クラス〕	〈池 上 賀英子〉	186
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 手 浩 一〉	187
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 手 浩 一〉	187
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公 一〉	187
英語 II B	〔再クラス〕	〈落 合 和 昭〉	188
英語 II B	〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	188
英語 II B	〔再クラス〕	〈河 内 賢 隆〉	188
英語 II B	〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	189
英語 II B	〔再クラス〕	〈笹 倉 貞 夫〉	189

英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	189
英語ⅡD〔再クラス〕	〈石原孝哉〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岩屋玉江〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈真砂久晃〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈川崎浩太郎〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈相馬美明〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈田中保〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岸本茂和〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈小笠原隆元〉	190
英語ⅡD〔再クラス〕	〈桧山晋〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈丹治弘昌〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈三芳康義〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈西田義和〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本間俊一〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈森田隆光〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈桧山晋〉	191
英語ⅡD〔再クラス〕	〈田中靖子〉	192

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	193
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	193
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	193
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈百済勇〉	194
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	194
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	195
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	195
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	195
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	196
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈百済勇〉	196
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	197
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	197
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	197
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百済勇〉	198
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百済勇〉	198
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	199
ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	199

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	200
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	201
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈竹田正純〉	201
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	202
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	202
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈伊藤なお〉	203
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	203
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	203

フランス語ⅡA〔再クラス〕〈沼倉 広子〉	204
フランス語ⅡA〔再クラス〕〈谷川 かおる〉	204
フランス語ⅡB〔再クラス〕〈前田 祝一〉	204
フランス語ⅡB〔再クラス〕〈沼倉 広子〉	205
フランス語ⅡB〔再クラス〕〈長谷川 光明〉	205
フランス語ⅡD〔再クラス〕〈小玉 齊夫〉	205
フランス語ⅡD〔再クラス〕〈谷川 かおる〉	205

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈江 林 英 基〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈石 張 嘉 勝〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈杉 山 静〉	206
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈佐 藤 普美子〉	207
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈天 野 節〉	207
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈根 岸 政 子〉	207
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈櫻 庭 和 典〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈曹 泰 和〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈李 雲〉	208
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈三田村 圭 子〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈小 川 隆〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈胡 玉 華〉	209
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈弘 兼 加奈子〉	210
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈蘭 明〉	210
中国語ⅡA〔再クラス〕〈平 石 淑 子〉	210
中国語ⅡA〔再クラス〕〈李 雲〉	211
中国語ⅡA〔再クラス〕〈秋 元 翼〉	211
中国語ⅡA〔再クラス〕〈大久保 明 男〉	211
中国語ⅡB〔再クラス〕〈塩 旗 伸一郎〉	212
中国語ⅡB〔再クラス〕〈李 雲〉	212
中国語ⅡB〔再クラス〕〈蘭 明〉	213
中国語ⅡD〔再クラス〕〈曹 泰 和〉	213
中国語ⅡD〔再クラス〕〈李 雲〉	213
中国語ⅡD〔再クラス〕〈三田村 圭 子〉	213

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈宮 地 達 郎〉	214
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈大 岩 功〉	214
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈上 野 勝 広〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈佐 藤 紘 子〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈荻 野 恵〉	215
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈荻 野 雅 司〉	216
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈佐 藤 麻里乃〉	216
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈福 本 久美子〉	216
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈大 岩 功〉	217
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈佐 藤 紘 子〉	217
スペイン語ⅡD〔再クラス〕〈ナバロ, ホワン J.〉	217
スペイン語ⅡD〔再クラス〕〈宮 地 達 郎〉	217

〔ロシア語〕

ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈廣田英靖〉	218
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈佐野朝子〉	218
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈木村英明〉	219
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈安德ニーナ〉	219
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	219
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈安德ニーナ〉	220
ロシア語 II D [再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	220

〔英語〕

英文講読	〈林明人〉	221
英文講読	〈前田脩〉	221
英文講読	〈横森正彦〉	221
時事英語研究	〈竹村恵都子〉	222
時事英語研究	〈林明人〉	222
時事英語研究	〈河内賢隆〉	222
マルチ・メディア	〈落合和昭〉	223
マルチ・メディア	〈大庭直樹〉	224
マルチ・メディア	〈町田尚子〉	225
英会話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	226
英会話 II	〈プラスキー, J. C.〉	226
英会話 II - 夏季集中 -	〈ピアス, D. M.〉	227
英会話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	228
英会話 III	〈ウエイド, D. A.〉	228
英会話 III - 夏季集中 -	〈レーン, C. M.〉	229
英語 L L II	〈太田雅子〉	229
英語 L L II	〈西村祐子〉	230
英語 L L II	〈町田尚子〉	230
英語 L L III	〈岸本茂和〉	231
英語 L L III	〈久保ひさ子〉	231
英語 L L III	〈西村祐子〉	232

〔ドイツ語〕

ドイツ語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	233
ドイツ語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	233
ドイツ語 I A (選)	〈栗原万修〉	233
ドイツ語 I B (選)	〈織田繁美〉	234
ドイツ語 II (選)	〈百濟勇〉	234

〔フランス語〕

フランス語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	235
フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	235
フランス語 I A (選)	〈井田清子〉	235
フランス語 I B (選)	〈長谷川光明〉	236
フランス語 II (選)	〈桑田禮彰〉	236

〔中国語〕

中国語 L L I	〈佐藤普美子〉	237
中国語 L L II	〈小川隆〉	237

中国語 I A (選) 〈蘭 明〉	237
中国語 I B (選) 〈釜屋 修〉	238
中国語 II (選) 〈松本 丁俊〉	238
〔スペイン語〕	
スペイン語 L L I 〈ナバロ, ホワン J.〉	239
スペイン語 L L II 〈ナバロ, ホワン J.〉	239
スペイン語 I A (選) 〈中川 清〉	239
スペイン語 I B (選) 〈亀山 晃一〉	240
スペイン語 II (選) 〈荻野 雅司〉	240
〔ロシア語〕	
ロシア語 L L I 〈安徳 ニーナ〉	241
ロシア語 L L II 〈安徳 ニーナ〉	241
ロシア語 I A (選) 〈クロチコフ, Y.〉	242
ロシア語 I B (選) 〈木村 英明〉	242
ロシア語 II (選) 〈安徳 ニーナ〉	243
〔朝鮮語〕	
朝鮮語 I A (選) 〈宋 美玲〉	244
朝鮮語 I B (選) 〈宋 美玲〉	244
朝鮮語 II (選) 〈宋 美玲〉	244

外国語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	丸 小 哲 雄	法 A 1 年	2

講義のねらい

法律問題を素材とした英語自己表現を目指す。リーガル・マインドと法的表現力とを培うために、日常の法律問題に親しむ。問題意識を高めて、その社会問題がどんなかたちをとっているかに焦点を合わせ、それに対して自分自身の考え方で対応できるように考える英語表現に親しむ。日本語・日本文化を乗り越えるための問題意識とその英語表現能力を涵養する。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして総理解解を、70分を法律問題のテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養していきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト 前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リスニング：12 Great Hit Songs (4) (英宝社)
リーディング：Viewpoint in Law (マクミラン)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	岩 原 康 夫	法 A 1 年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めてつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60 パーセント、平常点 40 パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教 科 書

『Cultivating Writing Skills (基本語彙を使った発展英作文)』(朝日出版) 2,000 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	飯沼好永	法A1年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎とし、センテンス単位からパラグラフ単位の英文を書くことのできる英語力を身につけることを目標とする。それには英文のセンテンスの構造だけでなく、英文のパラグラフの構成に関する知識を踏まえながら、英語の文章と日本語の文章との違いを十分に理解することが不可欠である。また、英語の文章を書く時に、単語は和英辞書等で確認することができるが、単語を並べて文章を作る時には文法の知識も要求されるので、随時、文法に関する解説も行っていきたい。

履修上の留意点

テキストでは大学生の日常生活に基づいている例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現も修得して下さい。また、和英辞書で調べた英単語は英和辞書で再確認する習慣を付け、英単語の微妙なニュアンスの違いも分かるよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教科書

山村三郎、木下裕昭、小峰和子 *Expanding Your Writing Skills* (朝日出版) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦真理	法A1年	2

講義のねらい

最近の世界を一つの共同体として考えるようになってきました。従って、気楽に海外に出かける人が急増しています。外国に出かけて楽しく、有意義な経験をしたいならば、自分の言いたいことを正しく伝え、理解してもらえようとしなくてはなりません。このテキストは特に留学した場合に必要な情報を英作及び会話表現等により学習し、自分の言いたいことを正しく言い表せるように、実際に活用できる英語の能力向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テストは学習した章を中心に分割しておこないます。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席（出席重視）、小テスト、授業中の発表及び後期試験の結果等を総合して採点します。

教科書

『海外留学・旅行 表現英作文』（南運堂）1,300円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	佐藤 江里子	法A1年	2

講義のねらい

日常生活やEメールなど様々な場面に応じて、自分の考えを的確な英語で述べる実践的な力を習得することを目指す。

成績評価の方法

出席、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点 (50%) と前期後期試験 (50%) による総合評価。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸 二郎	法A1年	2

講義のねらい

主に *Writing* を中心に学ぶ。言語は Listening、Speaking、Reading、Writing の順に、環境に左右されながら、獲得される。つまり *Writing* はそれ以前の準備が必要不可欠なのである。従来わが国の英語教育には、上述の前半部分が量的にも質的にも不足しがちであった。この20年来の世間一般の人々からの批判もつまるどころこの点を指摘しているのである。これまでの学習の蓄積を活用しつつ、自己表現の実現に努める。

講義の内容・授業スケジュール

履修者数にもよるが演習形式にしたい。しかし学習形態よりも、参加者の準備と意欲が、成果を決定づけることを我々はたびたび経験している。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、期末テスト、出席、課題などを総合的に評価する。

教科書

『*What is That?* (面白すぎるアメリカ)』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	ササキ, M.	法A1年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English for a specific purpose: *TRAVEL*. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc.

成績評価の方法

You will be graded on assignments, interview tests and pop--quizzes. You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

教科書

Text: "*Viva! San Francisco*".

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪 久恵	法A1年	2

- 講義のねらい** 海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 旅行中に出あう様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に練習問題形式の語彙・英語表現を主眼に置き、資料配布等によって文化的・民族的な背景なども学習する。
- 成績評価の方法** テキストに添って、毎回のようクイズ、年4回位の小テストがあります。必然的に、出席及び平常点重視となります。定期試験はやらない予定。
- 教科書** Joseph S. Cravotta 他著 *Trouble-Free Travel* (郁文堂) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦 眞理	政治1年	2

- 講義のねらい** 最近の世界を一つの共同体として考えるようになってきました。従って、気楽に海外に出かける人が急増しています。外国に出かけて楽しく、有意義な経験をしたいならば、自分の言いたいことを正しく伝え、理解してもらえるようにしなくてはなりません。このテキストは特に留学した場合に必要な情報を英作及び会話表現等により学習し、自分の言いたいことを正しく言い表せるように、実際に活用できる英語の能力向上を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** テストは学習した章を中心に分割しておこないます。
- 履修上の留意点** 後期最後に総まとめ試験実施
- 成績評価の方法** 成績評価は、3分の2以上の出席（出席重視）、小テスト、授業中の発表及び後期試験の結果等を総合して採点します。
- 教科書** 『海外留学・旅行 表現英作文』（南雲堂）1,300円
- 参考書等** プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	佐藤 江里子	政治1年	2

- 講義のねらい** 日常生活やEメールなど様々な場面に応じて、自分の考えを的確な英語で述べる実践的な力を習得することを目指す。
- 成績評価の方法** 出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点（50%）と前期後期試験（50%）による総合評価。
- 教科書** 未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸二郎 <small>やまがし じろう</small>	政治1年	2

講義のねらい

日常生活に必要な英文を書く。Listeningに慣れ、話せるように心掛ける。Writingに先がけて、前期のスキルに充分習熟する必要がある、予習を怠らない。これで学習効果が決るといってよい。

テキストは一回につき1/3章ずつ進む。小テストを数回行なう。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、期末テスト、出席を重視し総合的に評価する。

教科書

『*Living a Fruitful Life* (笑みある生活への招待)』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	ササキ, M.	政治1年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English for a specific purpose: *TRAVEL*. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc.

成績評価の方法

You will be graded on assignments, interview tests and pop--quizzes. You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

教科書

Text: "*Viva! San Francisco*".

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪久恵 <small>みわ ひさえ</small>	政治1年	2

講義のねらい

海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

旅行中に出会う様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に練習問題形式の語彙・英語表現を主眼に置き、資料配布等によって文化的・民族的な背景なども学習する。

成績評価の方法

テキストに添って、毎回のようにクイズ、年4回の小テストがあります。必然的に、出席及び平常点重視となります。定期試験はやらない予定。

教科書

Joseph S. Cravotta 他著 *Trouble-Free Travel* (郁文堂) 1,800円+税

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	木 元 喜久子	法 A 1 年	2

講義のねらい

日本のエネルギー問題、発展途上国の自助努力、国連の果たすべき役割、世界の人権問題など、現代の地球社会が抱える主要問題を様々な視点から論じたエッセイを読んで、英語そのものの実力を向上させるだけでなく、人と地球の未来を様々な角度から一緒に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの速読、精読や内容理解を確認する為の練習問題やエッセイの内容を広い観点から議論するためのディスカッションを通して読解力の向上をめざす。また、TOEIC への対策を主眼としたリスニング・テキストを使って、無理なく効果的に高得点を狙える実力の養成をはかる。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率 (全授業の 2/3 以上)、授業中の発表と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

David Peaty (著) 『地球的問題群の背景を考える』 (金星堂)
George W. Pifer (編・著) 『トーイック・ショート・リスニング』 (成美堂)

そ の 他

水曜日 3 時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	藤 井 道 行	法 A 1 年	2

講義のねらい

最近アメリカの新聞、雑誌に掲載され注目を浴びた記事を、学生向けにフレンドリーに書き直したテキストを読みます。授業では、テキストにたっぷり用意されている各種のタスクに積極的に取り組むことで、英語の基本的なスキルを身につけることを優先させたいと思います。また、時間に余裕があれば、テキストの内容に関連した資料を読むつもりです。

成績評価の方法

前・後期末に行う試験の出来が決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格がなくなります。注意してください。

教 科 書

American Moment (南雲堂) 1400 円

そ の 他

水曜日 3 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海 琳 泰 子 <small>み たま やす こ</small>	法 A 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Reading - Oxford 大の物理学者 Peter Hodgson 著の科学、技術の進歩と社会の関係についてのテキストを読む。現代、未来の宇宙科学、生命科学の問題点のヒントを古代ギリシアからの科学史の中に見出せると思う。Listening - BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation

成績評価の方法

前・後期末試験と年間 8 回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は、単位修得不可能。

教科書

Peter Hodgson 著、野崎嘉信、Alastair Graham - Marr 編注『*Science, Technology and Society* (科学とテクノロジーの進歩と社会)』(金星堂) 1,850 円

その他

水曜日 3 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高 見 陽 子 <small>たか み よう こ</small>	法 A 1 年	2

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

まず全体をざっと読み要点と話の流れを把握し、次にその内容を確認するために再び詳しく読み直します。音読とリスニングにも重点をおきます。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。機械的に日本語訳を書くだけのノートの取り方は避け、速読の練習に集中してください。

成績評価の方法

全授業回数の 3 分の 2 以上の出席を基本条件として、前・後期試験の結果をベースに、その他の課題や授業中の取り組み等の平常点を加味し、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	木 元 喜 久 子 <small>き もと きくこ</small>	法 A 1 年	2

講義のねらい

人口問題、貧困、戦争、テロ、宗教、環境などの世界が抱えている問題をどう解決していけばよいのか、またその根底は何かを新たな視点で論じたエッセイを読んで、英語そのものの実力を向上させるだけでなく、世界の問題を一緒に考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの速読、精読や内容把握の練習問題を通して、英語の読解力の向上をめざす。また、TOEIC への対策を主眼としたリスニング・テキストをを使って、無理なく効果的に高得点を狙える実力の養成をはかる。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率 (全授業の 2/3 以上)、授業中の発表と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

Peter Weld (著)『君と地球の未来のために』(金星堂)
George W. Pifer (編・著)『トピック・ショート・リスニング』(成美堂)

その他

水曜日 1 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行 <small>ふじ い みち ゆき</small>	法A1年	2

講義のねらい

新聞・雑誌などから、日本の「今」が見えてくるような記事を読みます。素材は、スポーツ・コラム、映画評、書評、インタビュー、論説など多様な分野から選ぶつもりです。授業では、素直で読みやすい英文だけでなく、ユーモアや風刺を利かせた少し歯ごたえのあるものにも挑戦するつもりです。

この科目は、講義科目ではありません。いつ質問されても慌てないで済むように、毎回、しっかり準備して授業に出てきてください。

成績評価の方法

成績の評価は、前・後期の試験の出来が決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失います。注意してください。

教科書

プリント使用

その他

水曜日 1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子 <small>み たま やす こ</small>	法A1年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading-クローン動物、遺伝子改良食品、宇宙開発等、現代人として不可欠なサイエンスを身につけよう。科学的論説を表現するのに最適な英語を通して、正確な情報を取る訓練をする。Listening-BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation

成績評価の方法

前・後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

Yvonne Stapp 著、増田秀夫編注『*Frontiers in Science* (新世紀の科学)』(成美堂) 1,700 円

その他

水曜日 1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	木元喜久子	政治1年	2

講義のねらい

人口問題、貧困、戦争、テロ、宗教、環境などの世界が抱えている問題をどう解決していけばよいのか、またその根底は何かを新たな視点で論じたエッセイを読んで、英語そのものの実力を向上させるだけでなく、世界の問題を一緒に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの速読、精読や内容把握の練習問題を通して、英語の読解力の向上をめざす。また、TOEIC への対策を主眼としたリスニング・テキストを使って、無理なく効果的に高得点を狙える実力の養成をはかる。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率(全授業の 2/3 以上)、授業中の発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

Peter Weld (著)『君と地球の未来のために』(金星堂)
George W. Pifer (編・著)『トーイック・ショート・リスニング』(成美堂)

その他

水曜日 2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行	政治1年	2

講義のねらい

21 世紀の世界の動きと「民族」の動きを切り離して考えることができないのは何故か、その問いを具体例に即して考えることをテーマとしたテキストを読みます。といっても、英文は平易で、内容については日本語による解説もあるので、予備知識が不足していても無理なく読み進めることが出来ると思います。毎回しっかり準備して、内容について疑問に思ったこと、気づいたことを、遠慮しないで授業中発表してください。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期末に行う試験の出来が決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失います。注意してください。

教科書

Ethnic Peoples Shaping the 21st Century (成美堂) 1,700 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子	政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading-ヨーロッパ旅行に出かける時、何度も、London を一泊目として、頭の切り換えをしてきた。2002 年 8 月の London, Greenwich, Plymouth, Lake District 等、写真をお目にかけるながら紹介していく。英語学習に不可欠なイングランドについてビデオで学ぶ。
Listening-BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation

成績評価の方法

前・後期末試験と年間 8 回の小テストを実施、期末試験はいかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

山田勝編注『*Touring England* (ビデオで周遊-イングランド)』(北星堂) 1,600 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	たか み よう こ 高 見 陽 子	政治1年	2

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

まず全体をざっと読み要点と話の流れを把握し、次にその内容を確認するために再び詳しく読み直します。音読とリスニングにも重点をおきます。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。機械的に日本語訳を書くだけのノートの取り方は避け、速読の練習に集中してください。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席を基本条件として、前・後期試験の結果をベースに、その他の課題や授業中の取り組み等の平常点を加味し、総合的に評価します。

教 科 書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	え だ さち こ 江 田 幸 子	政治1年	2

講義のねらい

このクラスでは比較的平易で簡潔な英語の長文読解をします。英語の長文を英文の流れに沿って、左から右に読み流せるようになりたいものです。そのためには面白く読める内容の平易に書かれた文をたくさん読んで英語の表現法に慣れるのも一つのアプローチの仕方だということです。

以上の主旨を持って今年は、William Shakespeareの四大悲劇を平易な英語で語り直した文章を読んでいきます。ビデオで映画を鑑賞してシェークスピアのセリフの面白さを味わいながら現代英語で物語=劇の内容を理解しましょう。

解らない英単語句は必ず辞書をひいて調べて下さい。予習は必須です。毎回数人ずつ読んでいただきます。その都度がテストですので採点を行います=評価を記していきませんがその際、予習が出来ていなくてパスした人は出席点として50点(=D落第点)が採点評価点となります。

成績評価の方法

成績評価の方法は各授業毎の上記の評価点を平常評価点とし、前・後期二回の定期試験を平常授業内で行い、平均点60点以上を単位取得資格とします。語学は積み重ねが大切です。従って出席を重視します。欠席は通年5回迄とし、それ以上欠席回数を重ねた人は成績点平均75点以上を確保して下さい。

教 科 書

早乙女忠編注 *Four Great Tragedies of Shakespeare Retold by Irene Buckman* (松柏社) 1,000円

英 語 II A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	吉川直澄 <small>きつ かわ なお すみ</small>	法A2年	2

講義のねらい

英語IAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

Leo Jones *Let's Talk 1* (Cambridge University Press)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	太田雅子 <small>おお た まさ こ</small>	法A2年	2

講義のねらい

英語のスピーキングとリスニングの力を養成することを目標とする。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト。

教 科 書

テキストは未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	古 ^こ 富 ^{とみ} 猛 ^{たけし}	法A 2年	2

講義のねらい

かねてより複雑化し、迷路にはまっていたパレスチナ問題に代表されるごとく、イスラム対キリスト教の対立構造は21世紀に入ってもまもなく、予想もしない手段でその根深さを露呈した。つまり9・11テロ事件である。20世紀までに、様々な要因で戦争を繰り返した人類は、宗教的対立抗争で滅亡するのではないかと危惧する程の事件と言える。

もはや我々は違った方法で、闘争本能を燃やすべきであり、ワールド・カップによってその意見に賛同してくれる人も多くなってきた。サッカーに限らず、あらゆるスポーツによって、人種の違いや文化の、また習慣の違いによる対立を避け、お互いに理解すべき時代に入ってしまったと認識すべきであろう。そこでやはり誤解の要因のひとつである言語の違いに、焦点を合わせ、言葉こそがあらゆるジャンルの違いを乗り越えるための道具であると考え、語学を学ぶ重要性が増大したと言える。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が外国語を学ぶ場合、ヨーロッパ系の言語とは構造的に、決定的な違いがあり、本来至難のわざであることを説明し、従来の文法を取り入れた方法がとどのつまり向いていることを理解してもらいたい。そして、それにそって教科書中心にすすめてゆく。

成績評価の方法

平常点を考慮し、予習発表をしよう。出席も評価に加え、前後期試験を実施する。

教科書

教科書は教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	高 ^{たか} 見 ^み 陽 ^{よう} 子 ^こ	法A 2年	2

講義のねらい

文法や構文に関する知識をひろげながら、それを英語でのコミュニケーションに活かす能力を伸ばすことを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

自分の意見を述べ、議論するうえで必要な英語表現や話の展開の仕方などに慣れ、簡単なプレゼンテーションやグループ・ディスカッションを通して実践することを課題とします。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

全授業回数数の3分の2以上の出席を基本条件として、前・後期試験と上記課題の結果をベースに、授業中の取り組み等の平常点を加味し、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	法A 2年	2

講義のねらい

基本的な文法事項の復習し更なる英語力を向上させることを目的とする。
今も述べたように先ず基本的な文法事項を説明しその後でさまざまな形の文法作文問題をすることによって応用力を養うことを目的とする。また問題の最後にあるテーマ別の英作文問題については一人一人の答案を添削する。教科書は毎週一章ずつ進む。学生は必ず予習してくることを期待する。

成績評価の方法

成績評価は前期、後期の試験、レポート（提出）、出席点により評価する。

教科書

Let's write and communicate（金星堂）1,850円

参考書等

その都度指示する。

その他

出席点は特に重視するので気をつけること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	たか やなぎ ふみ え 高 柳 文 江	法A 2年	2

講義のねらい

言語とは、その言語を話す人々の文化を包括した相対的な生きた知識です。そうした知識を学ぶためには、あらゆる方面からのアプローチが必要です。この英語表現法の授業においては、Situation による英会話をもとに英作文を学んでいきます。実際の場面での慣用表現や、それを応用した自由作文の習得をめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。単位を取るためには2/3以上の出席が要求されます。前期の後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）：60%、日常点（出席、演習テスト等）：40%

教科書

羽鳥博愛著『作文から会話へ』（弓プレス）1,180円
前期後半より演習ノートを使用します。（開講時に指示）

参考書等

テープ、ビデオ教材使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A	ほり ちわこ 堀 千和子	法A 2年	2

講義のねらい

人権、環境、平和、開発の4本を柱として地球規模の問題に英語で取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

英語で聞き、読むことで正しい情報を把握し、その後、意見を英語で書いたり、discussionをして communicative な英語を学びます。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の貢献度、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数数の3分の1以上の欠席で失格とする。

教科書

David Peaty *You, Me and the World*（金星堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	とのいげかず 外池一子	法A2年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2～3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	つかもととしお 塚本利男	法A2年	2

講義のねらい

絶えず文法、語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英語で文章を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

1回に授業で1Unit（3～4ページ）を勉強し、第一部 英文を書くときに注意すべき重要事項、第二部 パラグラフの書き方、第三部 各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回授業の最後に総仕上げとして、表現力の実践の場となるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、日本は豊かな社会か、体罰は必要か、死刑制度は必要かなど）でWritingの小テスト（20～30分）を行う。

成績評価の方法

授業における発表（年間5～8回）、小テスト（毎回）、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業の発表・小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上授業に出席して下さい。

教科書

山村三郎・岩本一・Dean Lanaras『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	あさかわまき 朝川真紀	政治2年	2

講義のねらい

日常の様々な事柄を英語で表現できるようになることを目的として、基本的な文法事項を確認しながら英語の文構造を定着させ、短い文からしだいに長い文が書けるように作文能力を身につけていく。
毎回単語小テストを行なう。

成績評価の方法

小テスト30%、平常点20%、定期試験50%。
欠席が授業回数の3分の1を超えたときは単位を与えない。遅刻は授業開始30分まで認める。遅刻3回で1回欠席とする。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	木村正俊	政治2年	2

講義のねらい

世界各地で起きた重大な英文ニュースを教材に用い、録音テープ等を使いながら、英語の聴解力を高め、実際の運用に習熟することを目的とする。より高度な英語力を身につけられるよう集中的な訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は国際政治をはじめ、経済、科学、スポーツなど幅広い分野のニュースを扱っており、20課から構成されているので、授業1回で1課を終了することを目安に進める。毎回の授業では、まずテープを聞いたあと、内容を把握する作業を行い、重要な表現を暗誦する訓練を経て、口頭表現の練習をする。各課が終了するごとにテストを行い、表現の定着を図る。

履修上の留意点

実際の音声ドリルを中心に授業を展開するので、遅刻、欠席はしないように最大限の努力をしてほしい。辞書を必ず持参して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

成績の評価は平常点で行う。つまり、毎回の授業への出席状況、参加度、受講態度、テストの成績、提出課題の出来ぐあいなどをもとに総合的に評価する。

教科書

中川一郎著『International News 2003/2004 (国際報道の英語 2003/2004)』(三修社)1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	北村弘文	政治2年	2

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできても、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

Try America (三修社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	山縣裕	政治2年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』(成美堂)1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	風間則比古	政治2年	2

講義のねらい

英語に限らず語学の勉強は'hearing'、'speaking'、'reading'、'writing'に分かれるが、ここでは主に'reading'を通して意味を正確に理解することを学ぶ。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

Prosperous Life (豊かな生活) (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岩永祥恵	政治2年	2

講義のねらい

本講義では作文力の育成を目指す。基礎的な表現練習を踏まえ、文章レベルの英訳にとどまらずパラグラフ・ライティングの基礎を身に付け、最終的には特定のトピックについての作文を書くことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

ライティングのテキストを使用し、基礎を固める。前期は特定のトピックに従って手順を学び、後期はグループもしくは個人で話題を選び、資料を集めて文章を作成する方向に移行する。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。ほぼ毎週課題を課す予定である。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教科書

Alan Jackson 著 *Pen Plus Paper* (北星堂書店) 1,600円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	市川仁	政治2年	2

講義のねらい

英語ⅠAの基礎の上に、できるだけ多くの英作文をこなすことで、英語表現を学んでゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

学生のみなさんの発表を中心に授業をすすめてゆきます。

履修上の留意点

予習を前提として授業を行ないます。必ず予習をした上で出席してください。

成績評価の方法

成績評価は年間授業回数^の3分の2以上の出席を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等を総合して行ないます。

教科書

『手紙による英語表現演習』(三修社)

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おうちみあきひさ 逢見明久	法A2年	2

講義のねらい

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績表に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

教 科 書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	すずきみきこ 鈴木美貴子	法A2年	2

講義のねらい

さまざまな種類の英文に触れながら、英文の読解力を高めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

使用するテキストは、現代社会の問題を扱った新聞・雑誌の記事から現代小説まで、多様な素材から抜粋された英文を集めたものである。22章から成り、各章の英文は適切な長さとなっている。

また随時こちらで用意したプリントを読んでいただき、時事英語に触れると共に速読力を高めていただきたい。

履修上の留意点

予習は不可欠である。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教 科 書

九頭見一士、他『Multiple Voices from around the World 世界の話あれこれ』（朝日出版社）1,800円

そ の 他

辞書を常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	はやし 林 明人	法A 2年	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解説することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、ユニットの試訳、出席の総合評価。

教科書

『英語で知る現代社会の基礎』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	い 井 伊 順 彦	法A 2年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」をバランスよく学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、リーディング用英文の内容に関する英語での簡単な質疑応答もおこなう。

履修上の留意点

毎回かなりの人数の諸君を指名して、なんらかのかたちで答えてもらい、それをすべてチェックする。従って、受け身の姿勢ではつらいだろう。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳しくは教室で。

教科書

『English for Interaction（英語でインターアクション）』（南雲堂）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	さ 佐 藤 アヤ子	法A 2年	2

講義のねらい

まず、英語文章の読解に必要なパラグラフの概念について学びます。次にパラグラフの構成を理解した上で、速読練習をします。ねらいは、TOEFLやTOEICで高得点をあげることです。

成績評価の方法

出席点、小テスト（数回）、宿題等で決定します。

教科書

前期はプリント使用。後期にはテキスト（未定）使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	<small>ひらばやし たくろう</small> 平林卓郎	法A2年	2

講義のねらい

現代は国際化時代である。時代に遅れずについてゆくにはアンテナを高く張る必要がある。この教科書には地球環境問題、社会問題、そして種々の現代生活の姿が描かれている。学生が国際的な視野を広げながら時事英語力と総合的な英語力を身につけることを授業の目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

今、総合的な英語力と言ったが、それは単に読解力をつけるだけでなく、練習問題はリスニング力をつけるために作成されているからである。

履修上の留意点

学生に要求したいことは必ず予習をしてくること。出席をよくすることである。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験点、レポート、出席点などを総合して評価する。

教科書

Global Issues Today (成美堂) 1,600円

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	<small>なかばやし まさみ</small> 中林正身	法A2年	2

講義のねらい

多くの量の英文を読めるように、大意の把握に心がけるリーディングをしていく。

講義の内容・授業スケジュール

一冊の長編小説を一年かけて読むようなことはしないで、一回乃至は二回の授業で読み終えるくらいの長さでレベルの英文をできるだけ数多く読んでいきたい。従って、従来諸君の多くが経験してきたであろう逐語訳をしながらの輪読形式は採らない。とにかく英文を皆で順番にドンドン読んでいく。質問があれば僕がそれに答え、ときには僕のほうから諸君に質問をする。互いに質問がなければ、ひたすらに読み進む。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

Collins Cobuild English Dictionary

その他

授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	井出功一	法A2年	2

講義のねらい

テキストは『巨視的な立場での経済学入門』とでも訳すべき教材で、人々のくらしは個人だけでなく、'Everybody'との関わりの中で動いているという趣旨で書かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は『価格、賃金、所得、税金…』などを人間にとっての立場で描いてある。ラーナー氏はミシガン大学の教授で、とくに「機能財政学」では屈指の学者である。
 なお、テキストの英文は平易な上にも味のある表現に溢れ、英作文、英文法の力をつけるにも絶好なモデルである。
 また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業回数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『Everybody's Business (みんなの経済)』(南雲堂)
 『新しい学習英文法』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	杉村初枝	法A2年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、読む速度をあげながら、大意の把握に努め、出来るだけ多くの量を読んで行くことを目指します。多少難解な文章でも正確に理解できるよう文法・構文に留意して読み進むことを心がけます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は発表を中心に進めます。発表時には同時にレポートの提出が課せられます。各自予習をして、積極的に授業に臨んでください。毎回小テストを行い、予習の状況や授業の理解度をチェックします。

履修上の留意点

出欠の状況は、授業の初めに行う小テストの提出によりチェックしますので、遅刻をしないよう気をつけて下さい。

成績評価の方法

成績評価は、小テスト、授業時の発表、レポート(年間10回程度)、夏期レポートにもとづいて行います。出席の回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象とならないので気をつけてください。

教科書

テキストは開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	田中保	政治2年	2

講義のねらい

英文の構文を理解し、読解力を身につけることを目指し、大意の把握にも心がけ、さらに読む速度を高める。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 前期・後期の筆記試験
3. 出席状況
4. 授業態度

教科書

『数が語る世界』（南雲堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	前期：佐藤江里子 後期：八十木裕幸	政治2年	2

講義のねらい

日本国内で最近話題となっている法律問題を英語で易しく取扱い、法律問題を英語で読むことに慣れることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

借地借家法、道路交通法など14のユニットを2時限で1ユニット終了する予定です。

履修上の留意点

よく予習しておくこと。当てながら進みます。

成績評価の方法

欠席1回－4点を評価点からマイナス、レポート1回－4点満点、前期後期テスト－合計100点満点、毎回テスト－2点。授業に対する態度－20点満点。

教科書

Familiarize Yourself with Legal Issue 寺内一他、三修社、1700円税別。
プリント－英字新聞

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岩山義春	政治2年	2

講義のねらい

このクラスでは、英文の読解力とCNNニュース等を聞いてアウトラインを書く力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の前半では、ニュースを聞き、簡単にまとめる練習をする。毎回身近な話題のニュースを聞くことにより、英会話にも役立つ語彙や英語表現が身につきます。授業の後半では、テキストを読みます。使用するテキストはやや内容が難解なのでしっかりと予習をして授業に出席することを望みます。

成績評価の方法

前・後期末試験を全評価の60%とし、毎回提出するプリントとクラス・アクティビティーを40%とする。全授業回数の1/3以上を欠席した学生はこのクラスをパスできないものとする。

教科書

Books As Opinion Makers (松柏社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	萩原 輝	政治2年	2

- 講義のねらい 1年の時に学んだ英語を基礎として、自由英作文を作る能力の習得を目標にする。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期は、ウォルト・デズニーや、マハトマ・ガンディについての章を学ぶ。後期は、レーチエル・カーソンや、杉原千畝についての章を学ぶ。
- 履修上の留意点 現代社会の中にある様々な問題や課題について自分の意見を、英語で表現できるようになってもらいたい。毎時間、教科書、英和、和英辞典を持参すること。
- 成績評価の方法 成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。
- 教科書 『20世紀からのメッセージ』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岸本 茂和	政治2年	2

- 履修上の留意点 英和辞典は必携。
- 成績評価の方法 全授業日数の3分の1以上の欠席の場合は不可とする。試験は前期末と最終試験の2回。
- 教科書 開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	伊勢村 定雄	政治2年	2

- 講義のねらい 発音の基礎を音読で、英語の読み方、辞書の使い方を訳読を通して学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール 進め方は2~3時間で1課全体を：本文の〔音読→訳読→練習問題〕となる。
- 履修上の留意点 予習は絶対必要。辞書は持参する。
- 成績評価の方法 年2回のペーパーテスト及び出席状態による。
- 教科書 *Joseph Laver/Eiji Tsujii* 『アメリカの現在と未来』（南雲堂）1,800円
- 参考書等 中型英語辞典なら何でも可。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	ま 藤 アヤ子 さ とう こ	政治2年	2

講義のねらい

まず、英語文章の読解に必要なパラグラフの概念について学びます。次にパラグラフの構成を理解した上で、速読練習をします。ねらいは、TOEFL や TOEIC で高得点をあげることです。

成績評価の方法

出席点、小テスト（数回）、宿題等で決定します。

教科書

前期はプリント使用。後期にはテキスト（未定）使用。

英 語 II D

〈英語 II D の授業内容と履修上の留意点〉

専門学部にあった英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	いし はら こう さい 石 原 孝 哉	法 A 2 年	2

講義のねらい

このクラスでは「速読」と「日常語の中の法律」の二つを中心に授業を進めます。速読は教科書を中心に短編を読み、リスニングと内容理解の訓練をします。「日常語の中の法律」は英字新聞を教材にして、プリントを作って配布いたします。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポートなど提出物から総合的に評価し、出席を重視します。なお、レポートは e-mail で提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教 科 書

Looking Backward, Major Events of the 20th century (南雲堂) 1,800 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	いわ や たま え 岩 屋 玉 江	法 A 2 年	2

講義のねらい

海外の社会問題に関する認識と知識を深めながら、英文の読解力の向上を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習、復習を前提とした発表形式でおこないます。

成績評価の方法

出席状況、演習への参加状況、前期及び後期試験等を総合しておこないます。

教 科 書

Ethnic People Shaping the 21st Century (成美堂) 1,700 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	まな ご ひさ あき 真 砂 久 晃	法 A 2 年	2

講義のねらい

法学部 2 年次生の購読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が 3 分の 2 未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教 科 書

THE PELICAN BRIEF J. Grisham 著 (南雲堂フェニックス、1050円)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	かわ さま こうたろう 川 崎 浩太郎	法A2年	2

講義のねらい

法を学ぶものにとって、最近の国内外の情勢にも精通していることが不可欠となってくる。本講義においては、ここ数年の新聞記事等を読むことを通して、広範な分野にまたがる語彙力を増強し、より早く多く、かつ正確に読めるようになることを目標とする。毎時間全員に発表してもらうので予習は不可欠である。
また、TOEFL、TOEICの問題なども取り入れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間全員に発表してもらうので予習は不可欠である。
また、TOEFL、TOEICの問題なども取り入れていきたい。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

前期レポート・後期試験 50%、出席点、授業中の発表 50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Newspaper English 〈英文ニュース入門 2003/2004年版〉』（成美堂）1,700円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	そう ま よし あき 相 馬 美 明	法A2年	2

講義のねらい

これまで培ってきた英語力を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。教科書の読解を通じ、精読、多読の両面から、英語そして日本語訳に対する理解を深める。また、種々の検定試験対策として、適宜 TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の2/3以上の出席を基本とし、前期・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を含め総合的に評価する。

教科書

Mituko Sugawara 『10-Minute Listening (Introductory)』（桐原書店）780円
和田晋一・大東俊一他 『Your Access To The Future（国際社会へ英語でアクセス）』（南雲堂フェニックス）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	た なか たもつ 田 中 保	法A2年	2

講義のねらい

英文の読解力を養成する。英文を正確に理解し、要約・解釈できる力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

以下の項目を総合的に検討して評価する。
1. 授業時の発表
2. 前期・後期の筆記試験
3. 出席状況
4. 授業態度

教科書

『数が語る世界』（南雲堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	岸本茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	法A 2年	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

全授業日数の3分の1以上の欠席の場合は不可とする。試験は前期末と最終試験の2回。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	小笠原隆元 <small>おがさわら りゅう げん</small>	法A 2年	2

講義のねらい

すでに英語を8~10年も学校で一応学んで来たのに再履修クラスの受講者の実際の実力は千差万別と思う。
何とか、せめて英語を読めて、書けて、話せる実力を身につけてほしいと心がけていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業初回時に英語力実力考査を実施します。諸資料配布、提出物等を渡すので辞書持参で必ず出席する事。

成績評価の方法

各人各様の實力に対応して、二回の試験、日英両語のレポート提出物、などを中心にして総合的評価をする。勿論出席は三分の二以上であるべき事。

教科書

一応次のテキストの購入を指示します。
『マルチプル ヴォイス』(朝日出版社) 1,800円+税
他のテキストも考慮中

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	桧山晋 <small>ひ やま すずむ</small>	法A 2年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発信を求める。欠席・遅刻回数等の問い合わせには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	丹治弘昌 <small>たん し ひろ まさ</small>	法A 2年	2

講義のねらい

教場にて詳しく説明します。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

科 目 名	科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	Ⅱ D	三 芳 康 義	法 A 2 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、学外の英語検定試験である TOEFL で出されるような英文の読解力と語彙力の向上を目指します。もちろん、TOEFL 試験の受験を必修とするものではないが、とくに社会科学系の内容を中心にした、TOEFL レベルの英文を読みこなすことを主眼とします。授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

Milada Broukal, *In-A-FLASH Reading for the TOEFL Test* (Thomson Peterson's)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	Ⅱ D	西 田 義 和	政治 2 年

講義のねらい

読解力の向上を第一の目的とする。英語の文章をその流れに沿って読んでゆく。原文をやたらに分解したり、後ろの方からひっくり返ったりして解釈するのではなく、いわば日本語の場合と同じように、読みながら意味をとり、意味をとりながら読んでゆく姿勢を身につけるようにする。これらをこなすためには予習が大切である。それは単に知らない単語の意味を辞書で調べるということではなくて、そこに書かれていることを完全にマスターすることである。その一つとして少なくとも5回以上は声を出して読む練習をしていく必要がある。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が三分の一を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

上記で述べたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので受講者は必ず出席するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	Ⅱ D	本 間 俊 一	政治 2 年

講義の内容・授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、IT や E-Mail、EC などによって international という言葉ではなく global という言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあつて英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらの New Media を学習の動機づけととらえ、今日的な話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教 科 書

Let's Enjoy Economics (南雲堂) 1,957円

そ の 他

土曜日 1 時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	<small>もり た たか みつ</small> 森 田 隆 光	政治 2 年	2

講義のねらい

このクラスは英語ⅡDの再履修のクラスと合併ですが、授業はⅡDに適した内容になることは、勿論です。特に法学部政治学科の学生諸君にとって120%満足感を与える講義を行ってゆきます。教科書の内容は欧米の政治学者達が、著作したものを使用する予定です。非常に学生諸君には満足していただけると思います。大学院に進む学生諸君は是非この講座を履修されることを希望します。また徹底的に英文でレポートが作製できるようにします。まずクラスの説明会に出席して下さい。

成績評価の方法

前期、後期の試験
レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

そ の 他

年3回まで（欠席回数）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	<small>ささ くろ さだ お</small> 笹 倉 貞 夫	政治 2 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

『珍しい事実・記録のビッグブック』（*The Big Book of Amazing Facts* by Malvina Vogel）（太陽社）

そ の 他

土曜日1時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	<small>ひ やま すずむ</small> 桧 山 晋	政治 2 年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発信を求める。欠席・遅刻回数等の問い合わせには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	笹 倉 貞 夫	政治2年	2

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点 予習・出席重視。

成績評価の方法 前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書 『聖書物語』(The Bible Story by Pearl Buck) (太陽社)

その他 土曜日2時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II D	田 中 靖 子	政治2・3・4年	2

講義のねらい 本授業では、英語で幅広い分野の基礎的な知識を吸収して、さらにそれを生かして自分の意見を英語で述べる力をつけていくことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 本教材は次のような現代社会を知る上で基礎的な項目ともいえる分野を12に分け構成しています。

- (1) The Media & Mode (2) Language (3) Film (4) The Consumer Society
- (5) Environment (6) International relations (7) The Self & Mind (8) Biology
- (9) Gender & Family (10) Politics & Law (11) Economy (12) Gerontology

基礎的な文法事項や語法を丁寧に確認しながら、読解力を高めていけるように授業を構成していきます。さらに、発展させてReadingで得た知識と今までの経験をもとにして、自分の考えをまとめて表現できるようなdiscussionやpresentationの機会も設けます。

履修上の留意点 本授業は事前の予習を前提として進めていきます。

成績評価の方法 この授業では休まずに出席してactivitiesに参加することが求められます。授業中のdiscussionやpresentationなどへの積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書 『英語で知る現代社会の基礎』(金星堂) 2,000円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の日安は英検 2 級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	法 A・政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する (受け身の授業ではなく積極的な参加を望む)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	法 A・政治 1 年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!
Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P.N.F.	法 A・政治 1 年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units, a workbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: Book 1 a / David Paul / Macmillan Language House.
Student's Book 1 a (1, 230) & Workbook 1 a (880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	デンドウ, G.	法A・政治1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ウエイド, D. A.	法A・政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social use and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教 科 書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House. 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	プラスキー, J. C.	法A・政治1年	2

講義のねらい

The goal of this coarse is for students to begin expressing themselves at a basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral/written test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階 LL 教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。I A の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	甲 斐 捷 子	法 A・政治 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意志伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回は LL 自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席 10%、前期試験 30%、後期試験 30%、小テスト 30% による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が 1/3 を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	加 藤 佐和子	法 A・政治 1 年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア 500 を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを 1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教 科 書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10 分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	くぼ ひさ子	法A・政治1年	2

講義のねらい

海外旅行の場面別で、一回で通じる短い会話文を習得することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して聞きとり、書きとり、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように、暗記する。毎回小テストあり。

履修上の留意点

LL 授業は、本来、ラボによる practical training のため、欠席しないように、お願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50% 但し、小テスト、発表を含む。

教科書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	なかばやし まさみ	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL 自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむら ゆうこ 西村 祐子	法A・政治1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語ではなしてみることからはじめる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんど授業を英語ですすめるようになる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』（朝日出版）1、2をおもに使用。テキストは購入する必要はない。
使用ビデオ：Grapevine 1,2,3, Survival English 1,2 など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわ みちこ 埜 美智子	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening (パーフェクト・リスニング) - TOEIC テスト対応問題付 -』（朝日出版）2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコアー480点、TOEICのスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2年	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	法A・政治2年	2

- 講義のねらい The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.
- 講義の内容・授業スケジュール Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.
- 履修上の留意点 Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.
- 成績評価の方法 Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.
- 教科書 None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治2年	2

- 講義のねらい To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.
To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.
To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.
- 講義の内容・授業スケジュール Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.
- 成績評価の方法 Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.
- 教科書 *The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical* by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語 II D の振り替え科目として選択できます。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむらゆうこ 西村祐子	法A・政治2年	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
 使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
 電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なもので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	町田尚子 <small>まち た なお こ</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
 6月と7月第1週: TOEICスコア700程度を目指した聞き取り練習(添削指導)。
 7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
 9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
 11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
 最終授業日: テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができると確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教科書

LL事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	太田雅子 <small>おお た まさ こ</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

プリント教材、テキストは未定

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	河上 和史 <small>がわ かみ かず ひと</small>	法A・政治1年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	百 済 勇 <small>もも すみ いさむ</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。それを駒澤大学の学生に伝授したい。初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思うが、毎回、出席すること。

講義の内容・ 授業スケジュール

採用テキストに沿って進めるが、毎時間1章つづの内容を履修していく。

履修上の留意点

毎回出席すること。それが大原則である。連絡を密にするために、連絡方法はメールによって行う。

成績評価の方法

原則として、毎時間、小テストを行う。それゆえに期末試験は、行わない。毎回出席が原則である。

教科書

新スタンダード・ドイツ文法：大岩信太郎、朝日出版社、2,300円

参考書等

初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思う。使用辞書に関しては教場で示唆する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	<small>いしい</small> 塚 <small>つか</small> <small>きみ</small> <small>お</small> 飯 塚 公 夫	法A・政治1年	2

講義のねらい	ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法を簡単に説明してから、教科書の文章の理解と読み（発音）に取り組みます。
履修上の留意点	まじめであること。
成績評価の方法	前後期の試験及び平常点。
教科書	小野寿美子他著『ドイツ語ファンタステイシュ！』（朝日出版社）（2300円）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	<small>しば</small> <small>の</small> <small>ひろ</small> <small>こ</small> 柴 野 博 子	法A・政治1年	2

講義のねらい	ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも触れる授業にしたいと思っています。
成績評価の方法	年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。
教科書	小塩 節『ドイツ こころの旅』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I C（会話）	<small>まつ</small> <small>おか</small> <small>すすむ</small> 松 岡 晋	13以前入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい	初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べることができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業は下に掲げられる教科書に基づいて行われます。口頭練習のほか、カセットテープを用いたのヒアリング訓練も行う予定でおります。
履修上の留意点	会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！
成績評価の方法	成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。
教科書	入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	<small>いいづか</small> 飯 塚 <small>まき</small> 公 夫 <small>き</small>	政治2年	2

講義のねらい

一年次で履修したドイツ語の基礎の応用。ドイツ語文献を読むための基礎作り。

講義の内容・
授業スケジュール

連休前に一年の文法の補習の予定。それ以後は読み物を読んでいく。

履修上の留意点

文法に自信のない人は辞書は持ってくる。あらかじめ当てておかないので予習しておく必要がある。勉強する気のない人は出ないほうがいい。

成績評価の方法

前・後期の試験および平常点 (=発表点)

教 科 書

文法の補習の際は、一年次の文法の教科書を持参すること。それ以後の読み物は、大学語学用教科書として編まれたもので、『ゴーレム伝説』(白水社・900円)という本を使います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	<small>かわかみ</small> 河 上 <small>かず</small> 和 史 <small>ひと</small>	政治2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	<small>まつおか</small> 松 岡 <small>すすむ</small> 晋	法A2年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2~3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずですが、教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点(出席率、授業に取り組む姿勢、分担当所の和訳をきちんと準備したかどうかなど)によっておこなわれます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教 科 書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '02年トピックス』(朝日出版社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	河上 和史 <small>かわ かみ かず ひと</small>	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	野島 利彰 <small>の じま とし あき</small>	政治2年	2

講義のねらい

同じ人間のように見えてもドイツ人は日本人とは考え方がとても違います。どんな点が異なり、それが社会生活にどのように反映しているかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書はほとんど1年次の復習で構成されています。復習しながらより高度の文法的知識を積み上げます。教科書をなるべく早く終わり、より上級の文章も読みたいと思います。

履修上の留意点

語学は予習が大切です。予習をして授業に出席してください。教科書にはCDが付属していますので、予習の際によく聞いて置いてください。

成績評価の方法

予習をしているか否か、年2回の期末試験、ヒアリングテスト、出席状況などを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

大谷弘道著『ドイツ人を知る9章』三修社 2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡC(会話)	野島 利彰 <small>の じま とし あき</small>	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそれを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

口頭練習が授業の中心です。

履修上の留意点

CD付きの教科書を使いますので自宅でそれをよく聞いてください。

成績評価の方法

随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。

教科書

関口一郎著『アレス・クラール』郁文堂 2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡD	し ま と み え 志 真 斗美恵	法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の入門を一通り終えた方たちが、これまで学習したドイツ語の知識を確認しながらさらに能力を深めていくことを目標とします。またテキストを通して、ドイツ人のものの見方、考え方、日独の生活習慣の相違などを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回CDを利用して繰り返しドイツ語を発音するとともに、多くの練習問題にとりくんでいきます。

履修上の留意点

欠席は極力避け、授業に積極的に参加することを特に望みます。(辞書は毎回持参のこと)

成績評価の方法

平常点(出席、発表等)と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

大谷弘道著『CD付き：ドイツ人を知る9章』(三修社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語LLI	こばやし 小林ゲアリンデ	法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を勉強します。

履修上の留意点

文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

天羽他著『初級フランス語文法』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	伊 藤 な お <small>いとう</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聞き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。

履修上の留意点

授業に出席するのはもちろんのこと、必ず復習と毎回与えられる課題をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

久松健一『フェリシタシオン！』（駿河台出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	菅 原 猛 <small>すが わら たけし</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之、L・ラタンジオ、黒川学共著『アミカルマン－フランス語・フランス文化への誘い－』（駿河台出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	おおのひでし 大野英士	法A・政治1年	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度使用する教科書は、パリにフランス語を勉強しにきた日本の学生が、全く初歩の段階からフランス語を学んでいくという内容です。各課はそれぞれ「会話」「文法」「練習」から構成されています。教科書の日本人学生と同じように、ステップを踏んで学んでいけば、必ずフランス語の世界が自分のものになります。一週一課の割合で進む予定。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、一学期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二他著『新・東京-パリ、初飛行』（駿河台出版社）

参考書等

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I C（会話）	さとうくみこ 佐藤久美子	13以新入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。

履修上の留意点

出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。

教科書

佐藤・山崎著『耳よりフランス語会話』（DHC）定価1,600円

参考書等

文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	たけだまさずみ 竹田正純	政治2年	2

講義のねらい

初年度で習得した項目を復習しつつ、読解力を養い、簡単なフランス語による自己表現もできるようにすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストも、「文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ」を標榜したものを使用するので、特に読む・書くの練習に力を注ぎたい。話すことの練習を、それに少しばかり加えることができれば、今年度の目標は十分達成できたと言える。

履修上の留意点

予習復習を欠かさないこと。辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

高垣由美『大学生のためのフランス語－文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ』(駿河台出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	こだまなりお 小玉齊夫	法A2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、日仏文化のなかでの体験談を、それぞれの人の、異なった、あるいは同じ反応の類型を確かめながら、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。教科書の講読以外に、音としてのフランス語の授業も、少ない時間ながら、適宜、可能であれば、組み込んでみる予定です。フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方、を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がない限り、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

コルノリエ・野村 著 『私の日仏異文化体験』(第三書房、1500円)

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	まえだのりかず 前田祝一	法A2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の取れていない人は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで基本的には成績を評価しますが、授業中の課題や出席状況にも配慮します。

教科書

ロニー・ブローマン著、桜井幸子編『ボランティアとその体験から、国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	すがやさとる 菅谷暁	法A2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション時事フランス語（1997-2002）』（朝日出版社）1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	はたなかちあき 畑中千晶	政治2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

履修上の留意点

ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC(会話)	くわたのりあき 桑田 禮彰	14以降入学生/政治2年	2

講義のねらい	フランス語会話中級
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、生きたフランス語会話の習得をめざします。文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	倉方秀憲他『ヌーヴォー オブジェクティブ』(早美出版社)
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡD	こだまなりお 小玉 齊夫	法A・政治2年	2

講義のねらい	時事的な文章を読み、既習の文法事項を再確認しながら、現在のフランスのさまざまな文化・社会状況を理解して行こうと思います。
講義の内容・授業スケジュール	最初は、文法的な説明を多くして、ゆっくり進みますが、後期からは、長文読解の練習として、書かれている内容の把握を中心に、やや速読気味に、進めていきます。随時、書き取りの小テストをして、単語・表現の記憶につとめます。
履修上の留意点	一年次の文法の教科書を持って来て、わからない事項があったら、その場で参照できるようにしておくこと。仏和辞典も、同様。
成績評価の方法	複数の小テスト、前期および後期の試験によって、総合的に評価します。
教科書	ボームルー・長谷川 著 『時事フランス語(2003年度版)』(朝日出版者、1800円)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡD	たにかわ 谷川 かおる	法A・政治2年	2

講義のねらい	文法事項を復習しながら、時事フランス語を講読する。フランスの新聞・雑誌が読めるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の確認の後、訳読に取り組む。前期は教科書を用いるが、後期には、参加者と相談の上、実際の新聞記事などにチャレンジしてもらう。
履修上の留意点	指定した箇所の予習を必ずやってくること。遅刻はしないこと。
成績評価の方法	前期・後期試験、演習成果など。
教科書	長谷川公昭、『時事フランス語(2003年度版)』(朝日出版社)1800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	法A・政治2年	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA *P. P. P* (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire* (第三書房) 2,800 円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかりと覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るといふことは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

中国語ⅡD

現在の中国の社会情勢を知ることができるよう、時事的内容のテキストを用いて行われる中国語の授業である。

但し、内容は時事的であっても、社会情勢の解説を主にする授業ではない。あくまで、中国語の文章が読めるようになるための授業である。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社） 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円

武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもった優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	あきもと 大空 翼	法A・政治1年	2
中 国 語 I B	こ 胡 ぎよく 玉 華		2

講義の内容・
授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音の仕方を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期はひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ね完成させる。

履修上の留意点

中国人教師の発音をよく聞き、大きい声を出して正しい発音が身につくように練習してほしい。学んだ文型を用いて会話にも積極的に挑戦してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語ははじめの一步』（白水社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	宮本厚子	法A・政治1年	2
中国語 I B	三田村圭子		2

履修上の留意点	必ず予習をし単語等を調べてから授業に臨むこと。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（小テストを含む）で評価する。
教科書	『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	村松哲文	法A・政治1年	2
中国語 I B	福地桂子		2

講義のねらい	中国語で簡単な日常会話が出来、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしていく。
履修上の留意点	授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書	牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円
参考書等	参考書は授業中に適宜紹介する。
その他	授業には「守り」ではなく「攻め」の態勢で出席してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	法A・政治1年	2
中国語 I B	陳洲挙		2

講義のねらい	中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。
履修上の留意点	初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。
成績評価の方法	出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。
教科書	陳洲挙、劉光赤、水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	まつ松 もと本 あつ丁 とし俊	法A・政治1年	2
中国語 I B	まつ松 もと本 あつ丁 とし俊		2

講義のねらい

I A と I B が同じ教員の担当になるので、発音篇から始まり、課文では会話で話す力を学習出来る様にする。表現のポイントは文法の基礎になる例文を憶えながら、最終的には「書く」、「聞く」の力を修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が中国人の家庭を訪問する設定で、挨拶から始まり、子供とのやり取り、バスでの北海公園見物、食卓での会話等、登場人物に親しみながら発音を学び、文法構造を飲み込める様な授業である。

履修上の留意点

会話の連続であるため、毎時限しっかり憶えて、休まず頑張る事。

成績評価の方法

前期と後期のテストの結果を重視し、授業中の発音と練習及び出席点を加味する。

教科書

植田渥雄『八木さんの中国家庭訪問』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	しお塩 はた旗 しんいちろう伸一郎	法A・政治1年	2
中国語 I B	しお塩 はた旗 しんいちろう伸一郎		2

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C（会話）	あき秋 もと元 たすく翼	13以前入学生/法A・政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ字に頼らず、耳から入る音声で意味が把握できる訓練をする。書き取り練習をしながら、発声する練習もし、通じる発音を身につけ、会話力の基礎を養成する。

履修上の留意点

外国語の学習が視覚に頼りがちだった学生にとっては、最初慣れないかもしれないが、音声の世界に入ることは新鮮な体験となるであろう。間違ってもかまわない、会話を楽しもうという気持ちで受講してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『話す中国語 基礎篇』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	工藤 早恵	13以前入学生/法A・政治2年	2

- 講義のねらい 発音と声調を正確に覚えること、そして「聞く」と「話す」基礎をつくることを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 中国語の音声的魅力を最重視し、発音を丁寧に指導する。初級の会話、口頭表現を一年間でマスターする。
- 履修上の留意点 積極的にCD等を活用し、十分練習すること。4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習すること。
- 成績評価の方法 出席率、試験、授業態度などで評価する。
- 教科書 相原茂他著『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（好文出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	松本 丁俊	政治2年	2

- 講義の内容・授業スケジュール 中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みる事が出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫している。
- 成績評価の方法 前期と後期のテストを重点とし、普段の授業状況、例えば訳をするとか、練習をするとかなど、さらに出席状況も加味する。
- 教科書 陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	福地 桂子	政治2年	2

- 講義のねらい 自分で辞書を調べて、簡単な文章が読めることを目指す。文法は中国語 I で学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。語彙を増やす。中国語 I に引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
- 講義の内容・授業スケジュール 本文は簡単な物語。新出単語の語釈、文法の例文、本文全て指名して発表してもらう。
- 履修上の留意点 新出単語をはじめ、既習の単語でも分からない単語は辞書を調べてくること。既習の課は拼音をはずした漢字だけの文章が読めるよう復習すること。授業の時辞書を携帯すること。出席が4分3に満たない場合失格。
- 成績評価の方法 授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）、小テスト（発音テストも行う）、期末テスト（前期、後期各1回）を総合的に勘案して評価する。
- 教科書 讀井唯允『着実に学ぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	おう 王 そう 聡	政治2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進めていくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発音の復習。
2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ——日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	ひろ 弘 かね 兼 かな こ 加奈子	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約四回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	かま や 釜屋 おさむ 修	法A2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ力を活用してやさしい読物に挑戦する。朗読を通して発音をより正確にし、不確定なところを矯正する。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の学習機会なのでつみ重ねがたいせつとなる。毎回指名して朗読、翻訳をこころみってもらう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、予習をしていくこと。

成績評価の方法

出席状況、平常点、定期試験により総合的に判定する。

教科書

原田松三郎『エペンディのとんち話』（金星堂）1,850円

参考書等

辞書を必要とする。ふさわしい辞書を開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	さくらばかずのり 櫻庭和典	法A2年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	りうん 李雲	法A2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三瀧正道、楊光俊『現代中国走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもとあつとし 松本丁俊	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国語の能力は、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」という面にわたるコミュニケーション能力を指す。この四技能が同時並行的に伸長することによって中国語習得を目指し、週1回の授業で、1課を2~3回で終わられる様にする。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とするが、授業中の状況、例えば発音、訳、練習及び出席状況を加味する。

教科書

金路『コミュニケーション中国語—中級編—』（白帝社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	法A2年	2

講義のねらい

発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発音の復習。2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ－日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	法A2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。

履修上の留意点

- ①四分之三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常点、及び期末試験による。

教科書

戸沼市子他著『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ひろ かね かな こ 弘 兼 加奈子	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年次に学んだ文法事項を復習しながら、置き換え練習、簡単な会話練習、ヒアリング等を行なう。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

高橋良行・村上公一・陸明『楽しい中国語コミュニケーション』（同学社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	根岸政子	政治2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉で、すぐ使える会話表現を身に付ける。さらに聞く能力を高める。

履修上の留意点

平常の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。また必ず予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験および小テスト、出席状況（4分の3以上出席のこと）や授業への参加度などで評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉 穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	櫻庭和典	政治2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円＋税

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	松本丁俊	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な、もしくは新しい中国事情をテーマとして、単に語学としての中国語を学習するだけでなく、言語の背景を学ぶことで、より一層理解、関心を深めることが出来る様に授業を進める。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、授業中の発音チェック、訳のチェックと練習のチェックをして、出席状況も加味する。

教科書

羅奇祥、甲斐淳子『中国ストーリー』（駿河台出版社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話）	佐藤 普美子	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

自分自身を表現したい時や日常的場面で必要になる基本的文型を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、2回の授業で1課を学習する。

履修上の留意点

「耳」と「口」をフルに活用し、基本例文は暗誦する。

成績評価の方法

出席、授業への参加意欲（予習の有無、声の大きさ等）、暗誦テスト、学期末テストにより総合的に評価する。

教科書

高橋良行他『楽しい中国語コミュニケーション』（同学社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話）	天野 節	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出し学習し、会話文を読み解き練習する。

履修上の留意点

積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	曹 泰和	法A・政治2年	2

講義のねらい

現代中国社会に関する記事を読みながら、基本文型、慣用句などのマスターを旨すと同時に、中国の事についての理解を深める。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。予習、復習を毎回欠かさずすること。記事を順番で読んで、訳していくので、担当者はとくに予習を忘れないこと。

成績評価の方法

出席率、テスト、学習態度で総合評価する。

教科書

孟広学・本間史『中国は今』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	李雲	法A・政治2年	2

講義のねらい

中国の新聞記事にピンイン、単語表、社会背景を添付した教科書を採用する。読み物中心の授業なので、現代の中国の事情を知りながら中国語が上達できるのがねらい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の課文を適宜選んで進める。

成績評価の方法

定期試験を中心にその他総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・陳祖蔭『2003年度版 時事中国語の教科書』（朝日出版社）1,700円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	三田村圭子	法A・政治2年	2

講義のねらい

時事問題に関する中文を講読する。授業のはじめには、基礎中国語の復習を行う。

履修上の留意点

辞典が必要である。すぐに購入する必要はないが、開講時に説明をするので、その後、各自用意するように。

成績評価の方法

前期・後期テストと、2回の中間テスト。5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

三瀧正道著『2003年度版時事中国語の教科書』（朝日出版社）1,700円

参考書等

開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語LLI	佐藤普美子	法A・政治2年	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口に耳にしてほしい。短期留学をめざす人におすすめ。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊達他『音で覚える中国語会話特訓』（同学社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おぎの ままじ 萩野 雅 司	法A・政治1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	なか がわ きよし 中川 清	法A・政治1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	みや ち たつ ろう 宮地 達 郎	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	真下祐一	法A・政治1年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）

参考書等

『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	ナバ口, ホワンJ.	法A・政治1年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸君の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ（辞書で調べる etc.）を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができているか否かで成績評価する。

教科書

Juan J. Navarro 『Español en laboratorio』 1,000円
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	荻野 雅司	法A・政治1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER と CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 gustar
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I C（会話）	ルイズティノコ, C.	13以前入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習しながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることを目指す。
毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	おぎのめくみ 荻野 恵	政治2年	2

講義のねらい

「会話」「エッセイ」「インタビュー」といった多様なスペイン語の文章に触れながら、イベリア半島を構成する2国、スペイン及びポルトガルの文化や歴史を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「会話」と「インタビュー」、後期は「エッセイ」を中心に読む。文法事項は適宜プリントを配布し、1年次に学習した基礎を復習、確認しながら、命令、接続法を中心とした中・上級レベルへと発展させる。

履修上の留意点

毎回の予復習を必ず心掛け、積極的に授業に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

荻野・サンティアゴ『イベリア文化の輝き』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	ましもゆういち 真下 祐一	政治2年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法不完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	大岩 功 <small>おお いわ いさお</small>	法A2年	2

- 講義のねらい スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
- 講義の内容・授業スケジュール 初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
- 履修上の留意点 予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
- 成績評価の方法 出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
- 教科書 寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
- 参考書等 辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	福本 久美子 <small>ふく もと くみこ</small>	法A2年	2

- 講義のねらい 接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール 始業時に「授業方針」のプリントを配布する。
- 成績評価の方法 前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
- 教科書 佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）
プリント（授業中に配布）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	宮地 達郎 <small>みや ち たつ ろう</small>	法A2年	2

- 講義のねらい 英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。
- 履修上の留意点 最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。
- 成績評価の方法 前・後期のテスト及び出席点。
- 教科書 『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	福本久美子	政治2年	2

講義のねらい 接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法 前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書 佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』（大学書林）
プリント（授業中に配布）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC（会話）	真下祐一	14期帰入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい 旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口について出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習を通して自由な会話力の基礎を固めます。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

履修上の留意点 予習・復習を忘れずに、大きな声でしっかり練習しましょう。初級のおさらいにも役立つテキストを選びました。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書 Sánchez Ríos, Domínguez. 『ESPAÑOL EN DIRECTO nivel 1 B』 (S.G.E.L)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡD	ナバ口, ホワンJ.	法A・政治2年	2

講義のねらい この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 動詞の過去形（不完了過去・不定過去）を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点 予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教科書 この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡD	宮 ^{みや} 地 ^ち 達 ^{たつ} 郎 ^{ろう}	法A・政治2年	2

- 講義のねらい 英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。
- 履修上の留意点 最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。
- 成績評価の方法 前・後期のテスト及び出席点。
- 教科書 『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLⅠ	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治2年	2

- 講義のねらい 授業対象者：基礎スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。
- 教科書 *Viaje al español*
 テキスト及びVTR教材

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	法A・政治1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ランゲウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらおうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I C (会話)	佐野朝子 <small>さの あさこ</small>	13以前入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	杉山秀子	法A・政治2年	2
ロシア語ⅡA	木村英明		

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	木村英明	法A・政治2年	2
ロシア語ⅡB	佐野朝子		

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC（会話）	クロチコフ, Y.	14以降入学/法A・政治2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円
プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡD	クロチコフ, Y.	法A・政治2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円
プリント配布。教場にて指示します。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

〔再履修クラス〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教科書

テキスト：Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわいひろみ 岩井洋美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常表現を題材にしたテキストで、多くの練習問題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

語彙や文法、会話表現の習得。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと2回の期末試験で評価。

教科書

Communication in the Real World (TOEICに役立つ日常英語) (成美堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩的な会話を意識した英作文を行う。最初に会話形式の必修短文を作文し、何度か声に出して暗誦するようにする。次に応用として弱冠長めの文章を作文してゆく。前者では発話を、後者では文法を課題に学習する。

成績評価の方法

宿題は課さないが、授業中に指名して発表してもらうので必然的に集中して作業に臨むことになる。再クラスということもあり出席は重視。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教科書

『Let's Try English - 英語でトライー』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお たち みちこ 太田美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	<i>Say It In Songs</i> (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	い とう みよこ 伊藤美代子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。
講義の内容・授業スケジュール	原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。
教科書	1. <i>Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa</i> 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円 2. 伊藤美代子(編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか はし ひろし 高橋寛	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。
成績評価の方法	評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。
教科書	<i>Everyday Talk</i> (朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてもらうことを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ほなわ みちこ 埜 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本動詞を中心にした慣用句を含んだスキットや練習問題を行っていく。日常基本表現から会話表現の理解と運用能力を高めていくことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話題性がありウィットに富んだ会話を楽しみながら基本動詞、慣用語句等を身につけ生きた表現が自然に出る様にする。

履修上の留意点

復習や予習をし、書いたり発話の練習を行う。

成績評価の方法

出席率重視 (70%)、普段の授業態度 (10%)、後期試験 (20%)

教科書

Writing Better English (金成堂) 1,600円

参考書等

参考書等を勧める場合はその都度黒板に板書して説明する。

その他

テープや声を出して練習する場が多いので積極的に授業に参加する態度を要す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	つが もと とし お 塚 本 利 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生生活、コンパなどについて意見・考えを英語で書く小テスト (20~30分) を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』(朝日出版) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 島 弘 之	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しむことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロックを中心とした音楽を教材として使う。テキストと共に学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を使用する。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の翼をになっている。ロックの歌詞の中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「Love」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心、私たちの心が揺さぶられ、英語音声への感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

授業では、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- ①『ロックの心 (1)』(大修館書店)
- ②『学生のリクエスト曲』

参考書等

- 『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
- 『ロックの意味』(草思社)
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
- 『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他

ビデオ、DVD、のロック・コンサートで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A 〔再クラス〕	おの え のりこ 尾 上 典 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強をはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron、宮野智晴著『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』(金星堂) 1,800円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお たい ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所に焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積もりである。

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらい自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか やなぎ ふみ え 高柳文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に writing、speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3 以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、演習テスト等)40%

教科書

『World Today - 文化の諸相』(鳳書房)

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 桧山 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	もり たの みつ 森 田 隆 光	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験 リポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ ほら やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験 60 パーセント、平常点 40 パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける *participation* によって判断する。

教科書

『*Cultivating Writing Skills*（基本語彙を使った発展英作文）』（朝日出版）2,000 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	かわまな よう たろう 前期：川股陽太郎 後期：八十木裕幸	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、語法、慣用表現、文体；informal style, formal style, selection and unity of style..

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席—4点減点、レポート—1回4点、小テスト—1回2点、前期後期テスト—合計100点、授業態度（発表まど）を総計して評価します。

教科書

武田良一『英語表現法入門』（英宝社）1900円＋税
プリント

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし ほん かつ まさ 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心とした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850 語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基つき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし たか のり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

読解の授業では構文を正確に捕らえながら邦訳することを第一の目標とする。その上で内容の要約も念頭に置き、時事的な内容のテキストを使用する。またリスニングでは、各項目のテーマごとに単語レベルから対話・普通文レベルへと聞き取りを進めてゆく。

成績評価の方法

読解では担当する文章をあらかじめ割当てて発表してもらおう。リスニングは定期的に小テストを行い、読解の発表と合わせて平常点とする。出席点を含む平常点を 50、定期テストを 50 の割合で評価する。

教科書

『エコライフと経済』(南雲堂)
『五分間ヒアリング』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村 克彦 きむら かつひこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒 むとう ひさお	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends* (英宝社) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子 えだ さちこ	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現方が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander 著『*HOLLYWOOD 2 Short Scenes from the Movies* (ビデオで見る映画とスターたち)』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1 単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

Beginning Video English (鶴見書店) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	前田脩	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

現実に役立つ英語と同時に英米の文化の一片でも知識として取り入れて、授業をすすめます。毎回あてますので予習は必須です。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

Survival English (Book 1) (朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	おお た ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

英和辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれの期末試験、授業時の応答の様子、および出席状況などにより総合的に判断する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』（鶴見書店） 1,600円

参考書等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	むら いし え しょう 村石 恵 照	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。

成績評価の方法

授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。

教科書

『The Powerful Reader Basic (英文講読の新技法・基礎編)』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まち だ しげ お 町田 成 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら文章の大意を把握する。

成績評価の方法

出席点と発表と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

現在多数の中から検討しているもので、第一回めの授業で発表する。また、その時、プリントしてテキストの内容を説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まつ とう ひろ こ 松 堂 啓 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リスニング力の向上を目指す。ごく平易な口語英語のリスニングを通じて、基礎力の強化をはかる。4課ごとにまとめの小テストを行い習熟度を確認していく。また適宜、プリントを使用しての学習も行う。

成績評価の方法

2/3以上の出席を満たすこと。
年4回予定している小テストと定期試験の成績を重視する。

教科書

Learn to Listen (マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の *story* を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

INTERMEDIATE Faster Reading (成美堂) 1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

千薬元信・松尾秀樹・岡崎久美子『*Reading Landmarks of the world* (英文読解のトレーニング)』(三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤明子 さとうあきこ	全学科3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『Real Life in Britain (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円(税別)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	宇都宮秀和 うつのみやひでかず	全学科3・4年	2

講義のねらい

再クラスを受け持って受ける印象は次のようなものである。1) 学力はあるのに、出席日数が不足して単位が取れない場合。2) 基礎的なことを理解しないままに、ズルズルやって来た場合。

前者の場合、理由はいろいろあるだろうが、多くの場合、自分の生活を律することが出来なくて、なんとかなるだろう位の気持ちで学生々活を送っているような印象を受ける。しかし、セルフ・コントロールが出来なくては社会生活を送ることが出来ない。

後者の場合、納得しないまま、なんとかなるだろう、あとで分かるようになるだろう、の気持ちがあるように思われる。

いずれにしても、「基本」をしっかりやること。生活においても、勉強においても。

成績評価の方法

成績は平常点。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎寿一郎 おかざきとしちろう	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

高山宏編注『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円

その他

月曜日5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	かわ 川 股 陽太郎 また ようたろう	全学科3・4年	2

講義のねらい

IA を基礎として英語の運用能力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD 等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか 岡 崎 寿一郎 さき としいちろう	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

教養課程英語研究回編『精説高等英文法』(文化書房博文社)1400円

その他

火曜日4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	い 井 伊 順 彦 い のぶ ひこ	全学科3・4年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のうち、前の3つに重点を置いて、英語の実用能力を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、単語の並びかえというかたちで英作文能力の向上もめざす。

履修上の留意点

以上のような授業形態であるため、毎回なんらかのかたちで指名される諸君は半数以上になる。4年生に対しても、出席し、なおかつ活動することが大前提であると警告しておく。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

The Signs of the Times: America and Japan (日米カレント・トピックス)(朝日出版社)1,650円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	全学科3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	前期: 田中靖子 後期: 矢島直子	全学科3・4年	2

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、英語を書く力をさらにつけてもらいたいと思います。センテンスを書くだけでなく、パラグラフを書くことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてください。英語の文章を自分なりに書いた上で、授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	<small>おがさわら りゅうげん</small> 小笠原 隆 元	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語学習歴が8～10年にもなる受講生の実力、意志伝達・運用能力の向上をめざしたい。日、英両語で自信を持って発言出来るように努めてほしい。

履修上の留意点

授業初回時に英語力実力考査を実施するので必ず辞書持参の事。さらに関連諸資料、提出物を配布するので、受講者は必ず出席する事。

成績評価の方法

単位認定は各人各様の事情もあろうが試験・出席点・提出物・授業への参加度等々の総合的評価で行う。

教科書

テキストはまず次のものを購入されたい。
 『英語自己表現の基礎レッスン』（松柏社）1,600円＋税
 ◎他詳細は教場で順次示すので留意。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	<small>こうちやま ありさ</small> 河内山 有 佐	全学科3・4年	2

講義のねらい

スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。

講義の内容・
授業スケジュール

プレゼンテーション (Show & Tell) 教科書におけるダイアローグの応用表現 ディスカッション

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション重視

教科書

EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	<small>おお ぶち とし はる</small> 大 瀧 利 春	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語ⅠAで学んだことを基礎として、英語による意志伝達能力の向上を目指す

履修上の留意点

予習をしっかりと行い、辞書を必ず持参するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容、授業態度などから総合的に評価します。

教科書

Both Sides Now (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎 <small>やまがし じろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

カタログによれば本書は総合に区分されている。が、Exercisesもあり、これを利用して、英文を書くことに力を置く。
 こゝ十余年、ソ連邦の崩壊もあり東ヨーロッパは苦難の道を進んでいる。西ヨーロッパもこれと直接又は間接的に係りながら、EUという大経済圏を目指して、努力を続けている。この現実を通観し、理解を深めると共に新しいヨーロッパの実状に触れたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、課題、テストなど総合的に評価する。

教科書

John H. Randle・辻 昌弘『*This is Europe* (新しいヨーロッパ)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	前期：岩井洋美 後期：矢島直子 <small>いわい ひろみ やしま なおこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

大学1年で学んだ英語を基礎にして、英文を正確に読むこと、後には量を多く読むことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてください。ただ単語の意味を調べるだけでなく、文章の意味を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	池上賀英子 <small>いけがみ かつこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

I Bの学習を基礎として英語の読解力を一層に質と量において、向上することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

英語の基礎学力の習熟を主眼とし、英米を始めとする英語圏における英語を取り巻く文化的・社会的な背景の理解を学習していきます。適宜、視聴覚器材も使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

国際化が進展するにつれ、国外はもちろん国内においても外国人とのコミュニケーションを円滑に進めることが必要です。
言葉の問題もさることながら文化や価値観の違いがあります。おたがいの理解を深めることが必要です。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるがここでは主として読解力に主眼をおいている。

履修上の留意点

練習問題は Questions や Vocabulary に関するもの Idiom や Usage など多様である。

成績評価の方法

評価は出席、レポート、テストなど総合評価です。

教科書

『*Clearly Britain, Clearly Japan* ちょっとイギリス拝見』(南雲堂)

その他

月曜日4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわてひろかず 川手浩一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれていては日常生活すらできなくなっている。特に英語は世界各地で使用されやすい言語として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・授業スケジュール

英語の技能は、聞く、話す、読む、書くの4つに分かれるが、ここでは主として読解力に主眼をおいている。又、重要な単語、イディオム、構文などをちりばめて、多様性とんだ英文が学びとれるようにしてある。

履修上の留意点

練習問題は T-F Questions をはじめとして Vocabulary Quiz や Idiom and Usage など Completion Exercise も用意してあります。

成績評価の方法

評価は、出席とテストなど総合評価です。

教科書

『*Everyday Economics* (よくわかる経済英語)』(南雲堂) 1,800円

その他

月曜日5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわこういち 長谷川公一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる。）出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) *Phrasal Verbs*（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 2) 『話すための口語英語リスニング』（成美堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ また ようたろう 川 股 陽太郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

I Bを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

このクラスは3・4年生を対象とした再クラスなので、英語の苦手な諸君が多いと思われる。でも、我々の身近に迫った英語は何としても克服しなければならない。こゝで取り上げた英語は、我々の周辺で起きた、わかり易い記事である。授業の始めと終わりにテープレコーダーを用いて耳の訓練も重視する。「努力なくして英語の上達はあり得ない」とにかく頑張してほしい。

成績評価の方法

出席点と発表点（通年3回以上）を重視する。前者30点、後者30点、それに前・後期の試験で評価する。

教科書

Mini World 2003（マクミラン）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まさ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語の運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック (The Big Book of Amazing Facts)』(太陽社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	にし た よし かず 西 田 義 和	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけでなく、読解力の量的な幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき、文法をはじめ語彙など重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景等も重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未知の語句等があると思うが、文脈からそれらは容易に理解できよう。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が三分の一を越えた場合は不合格とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

上記で述べたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので受講者は必ず出席するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	石原孝哉 いしはらこうさい	法A 3・4年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	岩屋玉江 いわたまえ	法A 3・4年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	真砂久晃 まなごひさあき	法A 3・4年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	川崎浩太郎 かわさきこうたろう	法A 3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	相馬美明 そうまよしみ	法A 3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	田中保 たなかたもつ	法A 3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	岸本茂和 かしまもとしげかず	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	小笠原隆元 おがさわらりゅうげん	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	桧山晋 <small>ひ やま すずむ</small>	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	丹治弘昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	三芳康義 <small>み よし やす よし</small>	法A 3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	西田義和 <small>にし だ よし かず</small>	政治3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	本間俊一 <small>ほん ま とし かず</small>	政治3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	森田隆光 <small>もり た たか みつ</small>	政治3・4年	2

(P.124) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	笹倉貞夫 <small>ささ くら さだ お</small>	政治3・4年	2

(P.124、125) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	桧山晋 <small>ひ やま すずむ</small>	政治3・4年	2

(P.124) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D 〔再クラス〕	たなか やすこ 田 中 靖 子	政治3・4年	2

(P.125) 参照

外
国
語

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野 博子 <small>しば ひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	松岡 晋 <small>まつ おか すすむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熟意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	織田 繁美 <small>おだ しげみ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法というと無味乾燥という印象が思い浮かぶかも知れない。そのため授業に出たくないという気持から、遅刻し、休みがちになるのかも知れない。最初の4~5回、夏休み後の2~3回、この弱い気持を封じ込めて授業に出席し、授業初めの説明30~40分静かに耳を傾け、その後の演習では自分に当たってなくても、2~3題は解いてみるという前向きの気持で授業に臨むようにすれば、授業も後半に入る頃には、ドイツ語のしっかりした基礎が身についていくのが実感できることと思う。

履修上の留意点

授業初めの説明は殊に大切なので遅刻しないこと。一回一回の授業内容が有機的な積み重ねになるので欠席しないこと。

成績評価の方法

演習で正解に達すると、その都度、出席簿にチェックされ、これが平常点として加味され、成績評価にかなりのウェイトが置かれる。これに前・後期末のテスト結果が成績評価に加わる。

教科書

高橋行徳著『わかり易いドイツ文法』（芸林書房）1,300円

参考書等

プリントを併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もも すみ いさむ 百 済 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、応用問題にその重点を置く。毎回、何等かの形で試験をして、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストに沿って、章ごとに進む。そして毎回小テストを行う。次の時間にそれを採点して返す。

履修上の留意点

この受講生は、成績よりも単に出席していなかったが故に単位を落としたのが殊勝な理由であろう。それ故に、毎回出席がまずその前提である。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、小テスト、それ採点を採点して返すという繰り返しである。それ故に、平常点はその基本となる。期末試験は行わない。

教科書

「わかって楽しいドイツ語」：在間進、三修社、2,200円

参考書等

初年度で使用したドイツ語辞書、教科書を持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできな
い一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席
して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島利彰 <small>のしまとしあき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な文章を読みながらドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題を毎回、提出宿題にします。文章の訳読は希望者に任せます。練習問題を解きながら授業を進めます。

履修上の留意点

宿題を提出することが大事です。

成績評価の方法

宿題を提出したか否か、出席が基準を満たしているか否か、と期末試験の成績で総合的に判断します。

教科書

在間／イエセル著『ヴェーラとヴェルナー』朝日出版 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	松岡晋 <small>まつおかすすむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章（1～2ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所のと訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か（新訂版）』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉本 正 俊	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

河合節子・林良子・四ッ谷亮子著『はじめてのドイツー使えるドイツ語表現』（改訂版）（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	もも ずみ いまむ 百 濟 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

既に10年以上、ドイツで最も重要な研究機関、「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこで欧州の学部学生、院生及び研究者の語学研修を身近に見ている。それを駒澤大学の学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に専門に目を向けること。それには語学の修得が前提となる。当然に数カ国語が必要だ。ここではドイツ語の履修だが、使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英語会話を併存させる。毎回の出席が前提。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、先ずは大切だ。毎回出席出来ない学生は履修しないこと。連絡を密にするために、メールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席を前提にしているが故に、学期全体の評価は平常点とする。その結果として学期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英語会話を中心にするが故に、その都度プリントで渡す。

参考書等

このクラスは、再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	柴野 博子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	本橋 右京	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。

毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	杉本 正俊	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

発音と初級文法を初めからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには、必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また、時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力が付くと思います。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教科書

小塩節『ドイツこころの旅』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

1991年以来ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしている。そこではドイツ以外の外国の学部学生、院生、研究者なども研修生として来ている。そこで共通する明白な問題意識は、学習、研究の目的、それに伴っての語学修得意識が強い事である。駒澤大学の学生にそうしたことを伝授すること。

講義の内容・授業スケジュール

各学部の学生がいるが、それぞれ専門課程に進む。その為にこれまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

まずは、毎回出席することである。語学は反復練習のなにもものでもない。そうした継続した学習態度を研鑽してもらう。連絡を密にするが、それにはメールを使う。

成績評価の方法

毎回の出席を前提としているが故に、学期全体の平常点で採点する。その結果として、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、教場でその都度プリンを配布する。

参考書等

再履修故に、既に購入したドイツ語辞書、また使用した「ドイツ文法書」を持参のこと。

その他

水曜日1限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこでの真摯な学部学生、院生、研究者達の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝習したい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、明確に自分の専門を履修する目的意識、その前提である外国語修得が必要だ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

履修上の留意点

語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、まずは大切だ。毎回出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするためにメールを利用する。

成績評価の方法

毎回の出席が前提であるだけに、平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

ドイツ語・英会話を中心とするが故に、その都度プリントを配布。

参考書等

このクラスは再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」を持参すること。

その他

水曜日3限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きよう 本 橋 右 京	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡD 〔再クラス〕	し ま と み え 志 真 斗美恵	法A・政治3・4年	2

(P.141) 参照

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の初級文法を学習します。

履修上の留意点 文法の習得は特に一歩一歩の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 山村他著『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	荻原 眷 <small>あし ぼら けん</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を上台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書 『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小玉 齊 夫 <small>こ だま なり お</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点 特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法 上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書 小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社、1600円）

参考書等 辞書については、初めの授業時に、説明します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A 〔再クラス〕	は せ が わ み つ あ き 長谷川 光 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B 〔再クラス〕	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切に、基礎的な項目の修得を心掛けたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初歩的な読む・話す・書くが身につくよう反復練習を中心に授業を進めていく。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後2度の試験で評価する。

教 科 書

内藤陽哉・玉田健二『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま げき 今 関 アン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。

講義の内容・授業スケジュール テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点 単位習得の条件は4段階に分かれているが、いずれの条件も満たさない学生は理由の如何に関わらず、単位は出さない。出席とは漫然と教室に座っていることを意味しない。積極的に授業に参加しなければ、出席とは認めないから注意すること。

成績評価の方法 A) フランス語検定4級合格(6月11月実施:各自書店で申し込む。勉強方法は授業時間後に問い合わせること)
B) 『ふらんす夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+前・後期定期試験=200点以上
C) フランス語検定5級合格+『ふらんす語夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+後期定期試験=180点以上
D) 3/4以上の出席+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社)の実力テスト+前・後期定期試験

教科書 澤田直之『アミカルマン』(駿河台出版社)1,800円

参考書等 仏和辞典:『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	伊藤 なお <small>いとう</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いて実際の運用ができるようになることを目指します。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行いません。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難も解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、および平常点によって判定します。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たにかわ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的なフランス語に親しみつつ、基礎的な文法を最初からゆっくりにやり直す。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教科書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	畑中 千晶 <small>はたなかちあき</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。

成績評価の方法

成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之他著『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い——』（改訂版）（駿河台出版社）2002年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	沼 倉 広 子 <small>ぬま くら ひろ こ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。
教科書	クリスチャン・ボームルー著『セレクション・時事フランス語』（1997～2002）（朝日出版社）1,800円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	谷 川 かおる <small>たに がわ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	簡単なフランス語を読みながら、文法を基礎からやり直す。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説、練習問題、訳読など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。後期には、参加者と相談の上、より高度なフランス語の講読にもチャレンジしてもらう予定。
成績評価の方法	前期・後期試験および小テスト。
教科書	加藤晴久、一戸とおる、『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』（朝日出版社）2200円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ B 〔再クラス〕	前 田 祝 一 <small>まえ だ のり かず</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。
講義の内容・授業スケジュール	文法的理解を避け、やさしい物語を少しずつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れること、また日常的語法を習得してもらいます。
履修上の留意点	初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席また平常の課題なども考慮します。
教科書	数江編『続々・愉快的コント』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	沼倉 弘子 <small>ぬま くら ひろ こと</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語（2003年版）』（朝日出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	長谷川 光明 <small>はせがわ みつ あき</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を再学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、視聴覚教材を用いながら各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡD 〔再クラス〕	小玉 齊夫 <small>こ だま なり お ちか</small>	法A・政治3・4年	2

(P.146) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡD 〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たに がわ かおる</small>	法A・政治3・4年	2

(P.146) 参照

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『新版標準中国語 I』（白帝社）1,545円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して行なう。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験、期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記『中国語精選サラダ』（単語と基本文型）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま やすし 杉 山 静	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語 I の履修に不十分な人の為に中国語の基礎的なものを与える。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2~3週間は中国語の最も重要で基礎的なものである発音を重点的に授業をする。発音第一主義から、基礎句型、常用語句の授業に入る。同時に、簡単な文法、句法の解明も行う。

履修上の留意点

中国語発音システムである「漢語拼音方案」の修得に力を注ぐべき。漢字の発音、読み方に留意し、日本漢字との異同を比較する。

成績評価の方法

出席を最重視するが、授業に臨む態度も真面目でなければならない。年間通じて四回の試験やテストがある。出席率とテストの成績を総合的に評価する。

教科書

杉山静編『中国語実験教材』（金安出版社）1,000円

参考書等

辞書は必要で、試験のときに使用を認める場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	あまの 野 節	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語に興味を持ち、独習していけるようなきっかけを作りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

新出語句の発音と意味の確認。文法の説明と練習後、会話文の発音と意味を確かめて練習する。

履修上の留意点

予習、復習、必ず授業に出席。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。

教科書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ねがし まさこ 根 岸 政 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音をきちんと確認しながら進むので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、1回に1課のペースで進むが、学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

1時限の授業であるが、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙著『基礎固め中国語』（同学社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻庭和典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話』64（白帝社）1,550円

参考書等

辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい お 曹泰和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	り 雲 李雲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

丁秀山・坂井ひとみ『やさしい入門中国語』（金星堂）2,300円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。
講義の内容・授業スケジュール	最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。
履修上の留意点	前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。
成績評価の方法	前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。
教科書	相原茂『1年生のころ』(朝日出版社) 2,500円
参考書等	第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点	発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からいねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。
成績評価の方法	年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。
教科書	楊凱栄・張麗群『中国語への船出』(朝日出版社) 2,200円 (CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎよく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	学習者がすでに持っている貴重な中国語学習の経験を生かして、発音と文法の基礎を学び直す。また、語学の勉強を通して、異文化への理解及び関心を深める。
履修上の留意点	各学習者の事情に合った学習指導を行うため、以下の点を守ってほしい：①1回目の授業に必ず出席する；②その後の授業をやむを得ず欠席の場合、事前申請或いは事後報告が必要。
成績評価の方法	平常点（出席、宿題の状況によって採点）、小テスト、定期試験によって行う。
教科書	竹島金吾監修 イン景春・竹島毅著『新版 中国語ははじめの一步』(白水社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。
履修上の留意点	中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	佐藤晴彦・玄幸子『私だけの中国語テキスト』（光生館）2,600円（予価）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひろいし よしこ 平 石 淑 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。
講義の内容・ 授業スケジュール	現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。
履修上の留意点	①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。
成績評価の方法	小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。
教科書	磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	李 雲	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

山下輝彦『中国語でコミュニケーション』（金星堂）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	法A・政治3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているのが興味をそられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習、復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勸、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語－故事成語－』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A	おおくぼ あきお 大久保 明 男	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一步』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	しお 塩 なた 旗 しんいちろう 伸一郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

日常の中で中国語に触れる場面が当たり前となりつつある中、短文の大意を掴んだり簡略に意思を伝える文を書けることは、専攻を問わず有用な教養となり得る。この授業はそうした時代の要請に応えるコンピューターリテラシー（読み書き能力）の初歩的訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書以外に、中国の大学生との交信を想定した簡単な作文を2課ごとに作り、メールで提出する。

履修上の留意点

後期には習熟度に応じ、提携校である上海・華東師範大学の学生と通信を行う。生身の人間が相手である。真剣に取り組んでほしい。

成績評価の方法

前・後期ともに宿題の評価を積算し、欠席点を減じる。欠席は3回目から10点ずつ減とし、遅刻2回で欠席1回と数える。

教科書

董燕・遠藤光暁『インターネットで中国語』（三修社）2,600円

参考書等

辞書は小学館または講談社の『中日辞典』（共に第2版）および小学館『日中辞典』（第2版）を推奨する。極端に薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安易な辞書は役に立たない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	り 李 うん 雲	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

千島英一『楽しく話そう中国語』（金星堂）2,000円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭 <small>らん</small> 明 <small>めい</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	曹 <small>そう</small> 泰和 <small>たいわ</small>	法A・政治3・4年	2

(P.157) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	李 <small>り</small> 雲 <small>うん</small>	法A・政治3・4年	2

(P.158) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	三田村 <small>みたむら</small> 圭子 <small>けいこ</small>	法A・政治3・4年	2

(P.158) 参照

〔スペイン語〕

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。
履修上の留意点	最低限の復習、それに対する質問が望ましい。
成績評価の方法	前・後期のテスト及び出席点。
教科書	宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。
成績評価の方法	数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社） 長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
参考書等	辞書 有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円 カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円 桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円 これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

江澤照美『パン ア パン』（同学社）2,700円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎ の めぐみ 萩 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下記テキストを使用し、単身赴任中の父親が暮らすバルセロナにサッカー留学をする太郎君のストーリーを通じて、接続法・現在までの文法事項を整理しながら学習すると共に、日常の会話表現やリスニングにも慣れていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの第1課から第7課、後期は第8課から第12課まで進む予定である。又、各課の理解度に応じ、適宜プリントを配布する。

履修上の留意点

毎回、必ず予復習を心掛け、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

小池・上野『スペイン語を学びましょう』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	荻野雅司	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	スペイン語を通して、スペインのみならず、日本では、ともすると遠く、縁のうすいと思われがちな中南米の文化にも親しむ機会を持つことを狙いとする。
講義の内容・授業スケジュール	過去に学んだ事を今一度根本から見直して、スペイン語の基礎を習得する。
成績評価の方法	原則として年2回正規のテストを行うが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くてもテストの結果のみによってこれを行わない。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価する。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	佐藤麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。
履修上の留意点	初回の授業で述べる注意事項を守ること。
成績評価の方法	出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。
教科書	寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） 『新スペイン語辞典』（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	福本久美子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	基礎文法を一通り終えることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。
成績評価の方法	前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
教科書	西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎文法を復習した後、直説法未来、現在完了、過去、未来完了、過去完了更に接続法の用法を学習し、より複雑な構文が理解できるように指導する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治3・4年	2

(P.164) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	法A・政治3・4年	2

(P.165) 参照

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）定価未定

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	法A・政治3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡD 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	法A・政治3・4年	2

(P.170) 参照

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 明人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから観賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえだ 前田 脩	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめにイギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませ。庭園の概念についての説明はしませんが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教科書

- (1) 『イギリス庭園物語』(南雲堂) 1,200円
- (2) コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	よこもり 横森 正彦	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

多読を行い、その内容を理解することを狙いとす。

講義の内容・
授業スケジュール

前期1編、後期1編、約100ページ以内の小説を取り上げて読み進めていきたい。

履修上の留意点

十分予習を行い、授業に参加して下さい。

成績評価の方法

授業態度(発表など)、テスト100点、レポート100点、欠席一回4点減点などを総合して評価します。

教科書

The Woman in White, Wilkie Collins (南雲堂フェニックス) 1,200円+税

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition*（時事英語 - 2002/2003 年度版）』（成美堂）1,700 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわうち けんりゅう 河内 賢隆	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教科書

『時事英語 2002/2003』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的な演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『口語英語の基本的総合演習』（鶴見書店）1,442円
- 2) *Idioms*（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 3) 『グッド・ウィル・ハンティング』（松柏社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理)を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア)の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよろしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコアー480点、TOEICのスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English...

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエイド, D. A.	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏期集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参考書等

Reference Books Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	おお た まさ こ 太田 雅子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

プリント教材 テキストは未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい 基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法 ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書 テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのもので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

その他 学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90 分程度) をもってくること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	まちだ なおこ 町田 尚子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい 初級程度の LL 授業履修済み、または未履修の場合、英検 2 級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFL のテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール
4, 5 月：ビデオテープを用い、TOEIC の基本的な練習問題による復習。
6 月と 7 月第 1 週：TOEIC スコア 700 程度を目指した聞き取り練習 (添削指導)。
7 月第 2・3 週：TOEIC リスニング模擬テスト。
9, 10 月：TOEFL のテスト用練習問題の添削指導。
11, 12 月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
最終授業日：テスト

履修上の留意点 Email で連絡・添削等をするので、自習室 (KOMAnet) あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録 30 名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができると確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法 毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教科書 LL 事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参考書等 教場で指示します。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	岸 本 茂 和 <small>まし もと しげ かず</small>	全学科2・3・4選	2

履修上の留意点	英和辞典は必携。
成績評価の方法	前授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。
教 科 書	開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	久 保 ひ さ 子 <small>く ほ ひ さ こ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	natives の lecture が聞きとれることをねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	workbook になっている text を、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々 announcement を各一回、dedate を各一回、参加すること。
履修上の留意点	LL class は、本来、laboratory による practical training のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	期末試験 50%、 実習授業 50%
教 科 書	<i>Michigan Action English Step 6</i> (World Times Japan)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC 900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。

使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げること目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	<small>くり ほら かず のぶ</small> 栗原万修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14 課)』(朝日出版社) 2,100 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	お だ しげ み 織 田 繁 美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位まで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちはだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位いを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教 科 書

Stufen 1 (Klett 社) 3,580 円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II (選)	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参 考 書 等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
上記の教材をコピーして学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田 ^い 清子 ^{きよこ}	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

小倉孝誠、小倉和子著 『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	はまがわ みつあき 長谷川 光明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	くわ た のりあき 桑 田 禮 彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。

講義の内容・
授業スケジュール

発音・文法についてもしっかり確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	佐藤 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでに IA-IB の単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録の CD を活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊逸他『音で覚える中国語会話特訓』（同学社）2,500 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（自帝社）2,400 円（CD 付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	蘭 明	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	かまや おきむ 釜屋 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A (選) とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごとの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、(白帝社) 2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもと あつとし 松本 丁俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』(好文出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことがない方のご遠慮下さい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español

テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

成績評価の方法

『*Viaje al español* 上級編』

テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (選)	なかがわ きよし 中 川 清	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接していきます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	^{あん} 安 ^{とく} 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S, KHAVRONINA 著 <i>RUSSIAN AS SPEAK IT</i> (ナウカ社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	^{あん} 安 ^{とく} 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS WE SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	宋 美 玲 <small>ソン ミ リョン</small>	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	宋 美 玲 <small>ソン ミ リョン</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (サッカー) 〈秋田浩一〉	237
健康・スポーツ実習 (ゴルフ) 〈館岡儀秋・森本葵〉	238
健康・スポーツ実習 (トレーニング) 〈秋田浩一〉	239
健康・スポーツ実習 (ソフトボール) 〈森本葵〉	240
健康・スポーツ実習 (テニス) 〈鈴木淳平〉	241
健康・スポーツ実習 (室内球技) 〈竹田幸夫〉	242
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技) 〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	243
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳) 〈大石武士〉	244
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー) 〈秋田浩一〉	245
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道) 〈高橋俊介〉	246
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球) 〈川村正義・鈴木淳平〉	247
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール) 〈村松誠〉	248
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン) 〈竹田幸夫・牧野茂〉	249
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング) 〈鈴木淳平〉	250
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・基礎) (簡化太極拳) 〈大石武士〉	251
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・基礎) (バドミントン) 〈長濱友雄〉	252
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・基礎) (室内球技) 〈牧野茂〉	253
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・基礎) (室内球技) 〈宮沢栄作〉	254
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・基礎) (卓球) 〈宮沢栄作〉	255
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (簡化太極拳) 〈大石武士〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (ニュースポーツ) 〈大石武士〉	257
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (バドミントン) 〈長濱友雄〉	258
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (卓球) 〈牧野茂〉	259
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (バドミントン) 〈牧野茂〉	260
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (室内球技) 〈牧野茂〉	261
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前後期・応用) (室内球技) 〈宮沢栄作〉	262
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) (テニス集中) 〈江口淳一〉	263
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中) 〈江口淳一〉	264
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中) 〈三幣晴三〉	265
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ) 〈三幣晴三他〉	266
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー) 〈田中佳孝他〉	267
健康・スポーツ論 1 〈館岡儀秋〉	268
健康・スポーツ論 1 〈鈴木淳平〉	269
健康・スポーツ論 2 〈大石武士〉	270
健康・スポーツ論 2 〈村松誠〉	271
健康・スポーツ論 2 〈宮沢栄作〉	272
健康・スポーツ論 2 〈牧野茂〉	273

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (政治)		2 時限 (法律-1)		3 時限 (法律-2)	
水曜日	※秋田	サッカー	※館岡	ゴルフ	※森本	ソフトボール
	鈴木	テニス	秋田	トレーニング	秋田	トレーニング
	竹田	室内球技	鈴木	テニス	館岡	ゴルフ
	森本	ゴルフ	森本	ソフトボール	竹田	室内球技

※は、科目の主担当者

保健
体育

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1 時限											
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用		牧	前期・応用	野	前期・応用	牧	
		バドミントン		ニュースポーツ※			卓球		室内球技		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用			後期・応用	後期・応用	室内球技		
		バドミントン		ニュースポーツ※			卓球	室内球技			
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	宮	宮	前期・基礎	野	前期・基礎	牧	
		バドミントン		簡化太極拳※			室内球技		卓球		室内球技
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・基礎				
		バドミントン		簡化太極拳※	室内球技	卓球	室内球技				
4 時限	大	前期・応用		宮	沢	宮	前期・基礎	野	前期・応用		
		簡化太極拳※					室内球技		バドミントン		
	石	後期・応用					後期・基礎		後期・応用		後期・基礎
		簡化太極拳※					室内球技		バドミントン		

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あきた こういち 秋 田 浩 一	政治 1 選	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦(注)運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか よしあき もりもと まもる 館岡 儀秋・森本 葵	法A・政治1選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	あき た こう い ち 秋 田 浩 一	法 A 1 選	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	もりもと 森 本 葵	法 A 1 選	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの補球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
2 時限目： 〃 〃
3 時限目：試合（勝ち点制）
4 時限目： 〃
5 時限目： 〃
6 時限目： 〃
7 時限目： 〃
8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
9 時限目： 〃
10時限目：試合（勝ち点制）
11時限目： 〃
12時限目： 〃
13時限目： 〃
14時限目： 〃
15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	すずき じゆんべい 鈴 木 淳 平	法 A・政治1選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：（戦術と応用）
- 10 時限目：
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：x まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	法 A・政治1選	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：実技テスト、ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	竹田 幸夫・田中 佳孝 長濱 友雄・宮沢 栄作	!以前入学生/法A・政治	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃 （サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目： 〃 （シングルスゲーム）
- 5 時限目： 〃 （シングルスゲーム）
- 6 時限目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 8 時限目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10時限目： 〃 （ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11時限目： 〃 （ルール解説、シングルスゲーム）
- 12時限目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 14時限目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 15時限目： 〃 （まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃 （アタックとブロッキングの技術、ルール解説）
- 4 時限目： 〃 （フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目： 〃 （ゲーム）
- 6 時限目： 〃 （ゲーム）
- 7 時限目： 〃 （ゲーム）
- 8 時限目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10時限目： 〃 （レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11時限目： 〃 （ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12時限目： 〃 （ゲーム）
- 13時限目： 〃 （ゲーム）
- 14時限目： 〃 （ゲーム）
- 15時限目： 〃 （まとめと評価）

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (簡化太極拳)	お お い し た け し 大 石 武 士	!以前入学生/法A・政治	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5時限目:第三組 左攪雀尾・右攪雀尾	20時限目:総合
6時限目:第四組 単鞭・雲手・單鞭	21時限目:総合
7時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員: 50名
- 2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場: 修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (サッカー)	あ き た こう い ち 秋 田 浩 一	9以前入学生/法A・政治 10以降入学生/法A・政治選	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け
- 1日目午後： 〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
- 5日目午前： 〃
- 5日目午後： 〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コースについて
- (1) 実施期間：（前期） 7月18日（木）～22日（月）
 （後期） 12月21日（土）～25日（水）
 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00
 13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
 土曜日・8時限目
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース 〔空手道〕	た か は し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	I 以前入学生 / 法A・政治 II 以降入学生 / 法A・政治選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
：総合的に反復して練習
：実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (卓球)	かわむら まさよし すずき じゅんぺい 川村 正義・鈴木 淳平	11以前入学生/法A・政治 12以降入学生/法A・政治選	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目 午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目 午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目 午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目 午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目 午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目 午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目 午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目 午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目 午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目 午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期） 7月18日（木）～22日（月）
（後期） 12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むらまつ 村 松	まこと 誠	2
		Ⅰ以前入学生/法A・政治 Ⅱ以降入学生/法A・政治選	

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届(事前登録)」は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (バドミントン)	たけだ ゆきお まきの 竹田 幸夫・牧野 茂	!以前入学生/法A・政治 !!以降入学生/法A・政治選	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目 午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目 午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目 午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目 午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1)服装は、一般的な運動服とする。
- (2)体育館シューズを用意すること。
- (3)ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1)実施期間：（前期） 7月18日（木）～22日（月）
（後期） 12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2)実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3)実施場所：玉川体育館
 - (4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5)備考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	すずき じゅんぺい 鈴 木 淳 平	全 学 科	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
2日目 午後：トレーニング
3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
3日目 午後：トレーニング
4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
4日目 午後：12分間走
5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目 } 総合練習・シングルゲーム
- 11 時間目 }
- 12 時間目 } 総合練習・ダブルゲーム
- 15 時間目 }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	まさの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12 時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：実技各種目の競技の性格、ルールの説明
- 3 時限目：バスケットボール競技の構成基礎技術実習
- 4 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 5 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 6 時限目：バレーボール競技の構成基礎技術実習
- 7 時限目：簡易ゲーム
- 8 時限目：簡易ゲーム
- 9 時限目：卓球の基本技術
- 10 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 11 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 12 時限目：バドミントンの基礎技術実習
- 13 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 14 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ	(卓 球)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ、
 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 7時限目：シングルスゲームの練習
 8時限目：
 9時限目： } 総合練習、シングルスゲーム
 10時限目：
 11時限目：
 12時限目：
 13時限目：
 14時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム
 15時限目：

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲーム技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目 } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時限目 }
- 11 時限目 } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時間目 }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの 牧 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目 } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目 }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目 }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	まさの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ストロークの基本技術、スマッシュ
- 3 時限目：ドロップ・ショット、ハイ・クリヤー、ドライブ
- 4 時限目：サーブ、ネット、ショット、プッシュ
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目 } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時間目 }
- 11 時間目 } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時間目 }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	まきの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3 時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：モーション・オフENSE・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：モーション・オフENSE・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11 時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゅんいち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目 午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目 午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
午後：ククク（戦術と応用）
- 4日目 午前：ダブルスのルールとポジショニング
午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目 午前：トーナメント形式の試合
午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日（木）～22日（月）
7月18日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（前期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐ ち じゅんいち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ること目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
午後：ラリーの応用練習
- 2日目 午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目 午前：ダブルスのルールとポジショニング
午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目 午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目 午前：団体戦形式の試合
午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬきはるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間 平成14年12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所 玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用 受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員 40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	みぬさはるみ 三幣晴三 他	全学科選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
 ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。
 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義: 12:10~12:50 2研-101教場
 「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
 2回目 7月20日(土) 講義: 13:00~15:30 2研-101教場
 「ゴルフの基礎知識2」
 ※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

(2) 実習内容

- 1日目 9月9日(月) 実技: 14:00~17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
 講義: 19:00~21:00 《ゴルフスイングの基本》
 2日目 9月10日(火) 実技: 9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
 講義: 19:00~21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
 3日目 9月11日(水) 実技: 9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
 講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 4日目 9月12日(木) 実技: 9:00~12:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》
 講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 5日目 9月13日(金) 実技: 9:00~11:00・12:30~14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
 ① 宿泊先: 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
 長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
 ② 練習場: 軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
 ③ コース: 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日(月)~13日(金) 4泊5日
 (4) 募集人員 定員30名(事前登録科目である。)
 (5) 集合・解散 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。
 詳細については(時間:道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
 (6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。
 (7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	た な か よ し た か 田 中 佳 孝 他	全 学 科 選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- 事前授業：5月18日(土) 12:10～12:50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00～15:30 2研-101教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

- シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。
- 1) 口 程：平成15年2月17日(月)～2月21日(金)の4泊5日
 - 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
 - 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
 - 4) 定 員：90名
 - 5) 『履修届(事前登録)』に関する注意：教務部窓口へ提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
 - 6) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(土))で実習の説明を行うので必ず出席すること。
 - 7) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能(有料)。
 - 8) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっている
ので特に注意すること。

成績評価の方法

事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	たておか よしあき 館 岡 儀 秋	法 A 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目： 〃 （寿命と健康）
- 4 時限目： 〃 （運動不足症）
- 5 時限目： 〃 （健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目： 〃 （エイズの予防・検査・治療）
- 9 時限目： 〃 （人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目： 〃 （一次救命処置）
- 13 時限目： 〃 （一次救命処置）
- 14 時限目： 〃 （応急処置）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
- ② 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』
『学生のための性とエイズ』（朝倉書店）
『救命救急』（小学館）

その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	すずき じゅんぺい 鈴 木 淳 平	法 A・政 1 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原理
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：〃
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：〃
- 14 時間目：〃
- 15 時間目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	おおいし たけし 大石 武士	全 学 科 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むらまつ 村 松	まこと 誠	全 学 科 選 2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	全 学 科 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原因
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：〃
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：〃
- 14 時間目：〃
- 15 時間目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	まきの 野 茂 まきの 野 茂	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② ♪ ♪ ♪ ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1 法律学科フレックス A・第1部法律学科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 567)

II. 専門教育科目

(1) 法律学科

法	学	概	論	〈北野かほる〉	281	
法	学	概	論	〈藤本茂〉	282	
憲			法	〈斉藤寿〉	283	
憲			法	〈西修〉	284	
民	法	総	則	〈林幸司〉	285	
刑	法	総	論	〈山口邦夫〉	286	
刑	法	総	論	〈松村格〉	287	
会		社	法	〈山田泰彦〉	288	
会		社	法	〈荒木正孝〉	289	
物		権	法	〈鶴井俊吉〉	290	
債	権	総	論	〈河野弘矩〉	291	
有	価	証	法	〈島原宏明〉	292	
刑	法	各	論	〈松村格〉	293	
行	政	法	論	〈斉藤寿〉	294	
国		際	法	〈王志安〉	295	
裁		判	法	〈前期：間潤清史 後期：小木曾綾〉	296	
担	保	物	法	〈鶴井俊吉〉	297	
相		続	法	〈竹中智香〉	297	
商	法	総則・商行為	法	〈関口雅夫〉	298	
保	險	・海商	法	〈山田泰彦〉	299	
民	事	訴訟	法	〈間潤清史〉	300	
労		働	法	〈藤本茂〉	301	
国		際	私	法	〈笠原俊宏〉	302
行	政	法	各	論	〈斉藤寿〉	303
国		際	紛争解決	法	〈王志安〉	304
社	会	保	障	法	〈原田敬一郎〉	304
刑	事	訴	訟	法	〈小木曾綾〉	305
比	較	憲	法	〈斉藤寿〉	306	
親		族	法	〈竹中智香〉	307	
法	社	会	学	〈岡崙修〉	307	
日	本	法	制	史	〈茂野隆晴〉	308
西	洋	法	制	史	〈北野かほる〉	309
刑	事	政	策	〈斎藤静敬〉	310	
法	思	想	史	〈高橋洋城〉	310	
政	治	学	原	論	〈大塚桂〉	311
マ	ス	・	コ	ミュニケーション論	〈相田敏彦〉	312
経	済	原	論	〈浅野克巳〉	313	
政	治	史		〈楠精一郎〉	314	
行	政	学		〈田丸大〉	314	
法	律	時	事	英語	〈牧野和夫〉	315
現	代	法	の	トレンド		
				〈藤本茂・青野博之・荒木正孝・竹中智香・林幸司・間潤清史〉	315	
基	礎	憲	法	演習	〈中野辰久〉	316

基	礎	民	法	演	習	〈早	坂	亨	317
基	礎	刑	法	演	習	〈木	村	美隆	318
債	權	權	各	論	論	〈青	野	博之	319
英	米			法	法	〈北	野	かほる	320
仏				法	法	〈上	井	長久	321
登				法	法	〈山	口	邦夫	322
基		記		法	法	〈田	沼	浩	322
基		礎	演	習	習	〈今	尾	真	323
基		礎	演	習	習	〈大	宮	隆	323
基		礎	演	習	習	〈龜	田	浩一郎	323
基		礎	演	習	習	〈佐	藤	多美夫	324
基		礎	演	習	習	〈原	口	伸夫	324
基		礎	演	習	習	〈日	笠	完治	325
稅				法	法	〈岸	田	貞夫	325
地	方	自	治	法	法	〈富	井	幸雄	326
環		境		法	法	〈松	村	弓彦	326
法		哲		学	学	〈河	見	誠	327
經		濟		法	法	〈岡	田	外司博	327
航	空	宇	宙	法	法	〈関	口	雅夫	328
消	費	者		法	法	〈河	野	弘矩	329
証	券	取	引	法	法	〈春	田	博	330
金		融		法	法	〈川	田	悦男	331
民	事	執	行	法	法	〈梅		善夫	332
倒	產	處	理	法	法	〈奥	野	善彦	332
知	的	財	產	法	法	〈盛	岡	一夫	333
国	際	取	引	法	法	〈横	山	真規雄	334
財		政		学	学	〈里	中	恆志	335
經		濟	政	策	策	〈森	岡	仁	336
社	會	政		策	策	〈原	田	啓一郎	336
国	際	関	係	論	論	〈南	山	淳	337
外		交		史	史	〈高	光	佳絵	337
政	治	思	想	史	史	〈小	林	正敏	338
外	書	講	讀	(英書)	〈青	野	博之	338	
外	書	講	讀	(英書)	〈岡	田	外司博	339	
外	書	講	讀	(英書)	〈金	子	昇平	339	
外	書	講	讀	(独書)	〈松	村	格	340	
外	書	講	讀	(仏書)	〈荒	木	正孝	340	
外	書	講	讀	(中国書)	〈江	林	英基	341	
外	書	講	讀	(スペイン書)	〈宮	地	達郎	341	
応	用	憲	法	演	習	〈中	野	辰久	342
応	用	民	法	演	習	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦〉		342	
応	用	刑	法	演	習	〈木	村	美隆	343
現	代	企	業	論	論	〈齊	藤	正	343
演		習		I	I	〈河	野	弘矩	344
演		習		I	I	〈小	林	弘人	344
演		習		I	I	〈島	原	宏明	344
演		習		I	I	〈林		幸司	345
演		習		I	I	〈大	塚	桂	345
演		習		I	I	〈早	川	純貴	346

演		習	I	・	I	〈前田英昭〉	346
演	習	I	・	II	〈青野博之〉	347	
演	習	I	・	II	〈王宮志安〉	347	
演	習	I	・	II	〈大宮隆〉	347	
演	習	I	・	II	〈岡田外司博〉	348	
演	習	I	・	II	〈金子昇平〉	348	
演	習	I	・	II	〈北野かほる〉	349	
演	習	I	・	II	〈斉藤寿〉	349	
演	習	I	・	II	〈佐藤多美夫〉	349	
演	習	I	・	II	〈鶴井俊吉〉	350	
演	習	I	・	II	〈西修〉	350	
演	習	I	・	II	〈原田啓一郎〉	351	
演	習	I	・	II	〈藤本茂〉	351	
演	習	I	・	II	〈松村格〉	352	
演	習	I	・	II	〈間瀬清史〉	352	
演	習	I	・	II	〈山口邦夫〉	353	
演	習	I	・	II	〈山田泰彦〉	353	
演	習	I	・	II	〈相田敏彦〉	354	
演	習	I	・	II	〈塩入みほも〉	354	
演	習	I	・	II	〈首藤素子〉	354	
演	習	I	・	II	〈竹花光範〉	355	
演	習	I	・	II	〈河野弘矩〉	355	
演	習	I	・	II	〈小林弘人〉	355	
演	習	I	・	II	〈島原宏明〉	356	
演	習	I	・	II	〈関口雅夫〉	356	
演	習	I	・	II	〈竹中智香〉	356	
演	習	I	・	II	〈林幸司〉	357	
演	習	I	・	II	〈前田英昭〉	357	
演	習	I	・	II	〈荒木正孝〉	358	
演	習	I	・	II	〈小木曾綾〉	358	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学概論	北 ^{きた} 野 ^の かほる	法 A 1 必	4

講義のねらい

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1部 社会と法
 - 第1章 一般的考察
 - 第1節 人間と法
 - 第2節 規範と権力
 - 第3節 正義
 - 第2章 集団編成原理と法規範
 - 第1節 初期的段階の社会原理と法規範
 - 第2節 発達した段階の社会原理と法規範
- 第2部 近代日本の法
 - 第1章 近代日本の系譜
 - 第1節 日本の法的近代化
 - 第2章 近代日本の法
 - 第1節 近代日本法の特徴
 - 第2節 日本近代法の分類
 - 第3節 現代日本法の動向

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく制限する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

夏休みに法・法学関連の書籍を一冊読んで概要をまとめる訓練を目的とするレポートを課す。強制ではないが、レポート提出者には一定限度の優遇措置をとる。読書感想文を求めるレポートではなく、学術書の内容を正確に把握する訓練であるので、目的を十分理解して取り組むこと。一冊読めば試験勉強ができるような教科書はない。試験準備には講義ノートが最も有効な手段である。講義内容は毎年少しずつ違うので、過年度のノートはあまり役に立たない。出席はとらないが、事実上出席していないと試験準備ができなくなるので、十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学概論	ふじもと 藤本 しげる 茂	法 A 1 必	4

講義のねらい

- 本講義は、法学部の専門科目を学ぶための準備段階として、以下のことを目的としている。
- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
 - ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
 - ・主要法領域の役割・特質を概観し、関心をもってもらう。
 - ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

専門的な議論や各法領域に特有の問題は、専門科目で学んでもらうが、できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法を学びはじめる諸君の水先案内をつとめたいと思う。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念の考察
- ・現代法にいたる法の発展(西欧近代法の形成をふくむ)の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理と基本的人権
- ・公法と私法、民事法と刑事法、実体法と手続法等の概観
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問はOK、私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

成績評価は記述式試験によって行なう(前後期2回実施予定)。また、レポート等を実施することがある。その場合は、これも評価対象とする。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』(有斐閣双書)。教科書の内容を順次説明するという形式をとるわけではない。随時、レジュメや資料のプリントを配布する。授業はもっぱらこの配布プリントでおこなう。上記を教科書としたのは、学習の道しるべとして参考書だけというのは、不安を感じると思ったからである。ただし、講義で言及できない部分を教科書や参考書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

西村健一郎他『判例法学』(有斐閣)、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』(有斐閣)、渡辺洋三『法とは何か』(岩波新書)、『法学入門2002』別冊法学セミナー(日本評論社)その他の参考文献、資料は講義の中でそのつど指示する。

その他

毎回使用するわけではないが、六法を持参のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲法	さいとう 齊 藤 ひまし 寿	法 A 1 必	4

講義のねらい

「憲法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、憲法原理の究明を、興味深く行います。特にこの講義は、理論とともに生きた事例と判例を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 憲法概念 - 権力と国家と憲法 - について
- 第2回 近代憲法と現代憲法の基本原理について
- 第3回 明治憲法の成立と特質について
- 第4回 日本国憲法の成立と制定法理について
- 第5回 日本国憲法の動向について
- 第6回 日本国憲法の体系と基本原理について
- 第7回 天皇の地位と権能について
- 第8回 国民の基本的人権について
- 第9回 平等権規定の態様と原理について
- 第10回 精神的自由権規定の態様と原理について
- 第11回 経済的自由権規定の態様と原理について
- 第12回 人身的自由権規定の態様と原理について
- 第13回 人身保護権規定の態様と原理について
- 第14回 救済権規定の態様と原理について
- 第15回 参政権規定の態様と原理について
- 第16回 社会権規定の態様と原理について
- 第17回 新しい人権について
- 第18回 国民の義務について
- 第19回 平和主義と日本国憲法について
- 第20回 統治機構と権力分立制について
- 第21回 国会の地位と構成と権能について
- 第22回 内閣の組織と権能と責任について
- 第23回 裁判所の地位と構成と権能について
- 第24回 憲法訴訟原理と違憲審査制について
- 第25回 財政の原則と予算と決算について
- 第26回 住民自治と団体自治の原理について
- 第27回 憲法保障の意義と方法について
- 第28回 国法の諸形式について
- 第29回 試験

法
律

履修上の留意点

※履修への対応 (Attitude of Your Lessons)

- ① Preparation (予習)
- ② Marginal Note (余白ノート) の作成
- ③ Review (復習)

については、毎回指導します。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から講義の際、選択・指示します。

参 考 書 等

シラバス参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲法	にし 西 おさむ 修	法 A 1 必	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、パワーポイントなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程 | ⑨ 国会の組織と機能 |
| ② 憲法の改正と限界 | ⑩ 経済的自由権 |
| ③ 国民主権と象徴天皇制 | ⑪ 内閣の機能、議院内閣制 |
| ④ 基本的人権の歴史と意義 | ⑫ 社会権 |
| ⑤ 日本国憲法と平和主義 | ⑬ 司法の構造と権限 |
| ⑥ 法の下の平等 | ⑭ 身体的自由 |
| ⑦ 政治改革と憲法問題 | ⑮ 憲法の保障 |
| ⑧ 精神的自由権 | ⑯ 財政・地方自治 |

教 科 書

(1) 西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

(2) 西 修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税

参 考 書 等

別に配布するシラバスを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法総則	はやし 林 こうじ 幸 司	法 A 1 必	4

講義のねらい

- 1：民法総則の分野について、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと。
- 2：「具体的な事例を通して理解を深める方法」を習得することによって、受講生の民法に対する興味を触発すること。

講義の内容・授業スケジュール

民法とは「私たち個人間の生活関係、特に財産（契約や所有物など）と家族（親子・夫婦など）に関する権利・義務関係を規律する法律」のことで、ここで扱われる問題は、諸君が日常生活で無意識のうちに触れているものばかりである。

民法典は大きく分けると、①総則、②物権（担保物権も含む）、③債権（債権総論と債権各論）、④親族、⑤相続の五つの部分に分けられるが、本講義では、①総則の分野を扱う。この①総則は「民法全体（特に②③）に共通する原則や事項を扱う分野」であり、その内容は、次のように権利を中心に構成されている。

- 一、基本原則（信義誠実、権利濫用の禁止）
- 二、権利の主体（権利を取得できるのは誰か）
 - 1：自然人（生きて生まれた者）
 - （1）権利能力（権利主体になれる地位）出生による権利能力の発生と胎児の例外など
 - （2）制限能力者（未成年者・成年被後見人・被保佐人・被補助人）
 - 2：法人（法によって認められた権利の帰属点）公益法人の設立・管理・解散など
 - 3：住所・失踪・同時死亡の推定
- 三、権利の客体（どのようなものが権利の対象となるか）
 - 物とは何か、動産と不動産の区別、主物と従物の関係など
- 四、権利の変動（どのような場合に権利は発生し、移転し、消滅するか）
 - 1：法律行為（契約など意思表示を構成要素とする行為）
 - （1）総則 法律行為一般に共通する事項（公序良俗違反や法律行為の解釈など）
 - （2）意思表示（権利義務の変動を望む意思を相手に表示する行為）
 - ・意思の欠缺（表示に対応する意思の欠落）①心裡留保、②虚偽表示、③錯誤
 - ・瑕疵ある意思表示（不法に動機づけられた欠落のある意思表示）①詐欺、②強迫
 - （3）代理（他人【代理人】が行った法律行為で本人が権利を取得する制度）
 - ・本人、代理人、相手方の三面関係
 - ・無権代理（代理人と称する者が行った行為につき代理権がなかった場合）
 - ①表見代理、②本人による無権代理行為の追認、③無権代理人の責任、など
 - （4）法律行為の無効・取消
 - （5）法律行為の条件・期限

2：期間

3：時効（時間の経過によって権利の変動を認める制度）

- （1）総則 時効一般に共通する事項（援用の必要性、中断、停止など）
- （2）取得時効（時間の経過によって権利の取得（発生）を認める制度）
- （3）消滅時効（時間の経過によって権利の消滅を認める制度）

本講義もほぼこの順序で解説して行くが、一の基本原則（信義誠実・権利濫用）と二2の法人については、時効の後にまわすことにする（その理由は開講時に説明する）。そのかわりに、最初の数回は、民法入門をかかえて、i) 民法とはどのような法律か、ii) 民法の全体像の把握、iii) 近代市民法の三原則（私的自治の原則、所有権絶対の原則、過失責任の原則）をとりあげて解説する。

履修上の留意点

私語の厳禁 ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっと静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色が見られなかったり、何か悪いことをしたのか（または「なぜ私だけが」と言わんばかりににらみ返してくるという者もある。このテの者にはその場で退場を通告するという強い態度で望むので覚悟してもらいたい。

成績評価の方法

期末試験の評価が中心となるが、講義前に配布した用紙に質問や意見などを書いてもらい、講義後に回収する。これらにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多いので、若干のプラス評価を行うつもりである。

教科書

永田・松本・松岡著『民法入門・総則[第2版]エッセンシャル民法1』(有斐閣) 2,000円
※気に入った教科書がほかにある場合はそれでもよいが、講義で読み上げたり引用する場合はこの教科書を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑法総論	やまぐち くに お 山 口 邦 夫	法 A 1 必	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生の自覚をもって、講義や読書を通じて、みづから積極的に研究する態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間を次の4期に分けて講義をする。Ⅰ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、1月の1回は、質問日とする。

Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

Ⅱ期。刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

Ⅲ期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

Ⅳ期。犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の対立を考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

年間を通じて、原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果を、年一回の期末試験の成績と一緒に評価し、単位を認定する。

教 科 書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、参考書はその度に紹介するので、積極的に読書してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑法総論	まつむら 松 村 格	法 A 1 必	4

講義のねらい

刑法（刑罰法規）は、歴史的には支配者が市民を抑圧する最強の手段として長い間悪用されてきたし、近年に入ってからファシストたちから悪用された。今日、刑法は、市民の自由と権利を保障する機能をもつものとして把握されなければならない。そのためにも、刑罰権の発動と処罰の範囲をできる限り制限する理論操作が必要である。法益保護と人権保障の両方を考えながら刑法理論を構築しなければならない。授業では、刑法総論を中心に講義していくが、もちろん、刑法各論とのかわりを無視することなく具体的な事例を参考にしながら刑法総論を学ぶことによって、刑法学の全体像を理解できるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- 第1回（刑法システムとその余のシステムとの関係および刑法システムと隣接領域システムとの関係）
- 第2回（刑法および刑法学システムとその部分システムとの関係ならびに刑法総論とその部分システム）
- 第3回（刑法の意義と機能および犯罪の意義）
- 第4回（刑罰論と罪数論＝刑罰の本質と機能および目的／罪数論の意義）
- 第5回～6回（刑法の原理・原則論＝罪刑法定主義／責任主義／謙抑主義）
- 第7回～9回（行為と構成要件の理論＝行為論／犯罪の主体と客体／故意と錯誤の理論／不作為犯論／因果関係論）
- 第10回以降（違法性の理論＝違法性の本質と実質／正当防衛と緊急避難／自救行為／正当業務行為とくに治療行為／臓器移植／安楽死・尊厳死）

後 期

- 第1回～3回（責任論＝責任の本質／責任能力／故意と違法性の意識／期待可能性）
- 第4回～5回（未遂論＝未遂の意義と処罰根拠／実行の着手／中止未遂／不能未遂）
- 第6回～9回（共犯論＝共犯の意義と形態／処罰根拠／正犯と共犯の区別と関係／共同正犯／共犯と身分／共犯の諸問題）
- 第10回～最終回（補足）

履修上の留意点

刑法学は、きわめて体系的な学問なので、継続的に出席して講義を受けないと理解できなくなる。できる限り具体的な事例を利用して説明するが、それでも観念的思考が入りこむので、考える力を必要とする。教科書以外のことをたくさん話すので、講義をよく聴き、必ずノートをとることが大切である。ただし、黒板に書くことは最小限度必要な事項だけであるから、それを筆記するだけでは意味がない。六法全書・教科書・ノートを毎回持参することが必要条件である。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験とその他の小テストの成績を総合して判断する。

教 科 書

松村格『刑法学への誘い』（八千代出版）
松村・神田・都築・野崎『刑法総論』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論（第4版）』（有斐閣）
齊藤誠二編『演習ノート刑法総論』（法学書院）
『刑法基本講座（全6巻）』のうち1～4巻（法学書院）

そ の 他

授業の方法は、すべて講義方式で行なう。必要に応じてプリントを配布することがある。その場合には、そのプリントに沿って講義をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会社法	や ま だ や す ひ こ 山 田 泰 彦	法 A 2 必	4

講義のねらい

会社——特に、株式会社は、現在の経済活動にとって不可欠の組織である。この講義では、株式会社の組織・運営に関する法規制、株式会社法を中心にその制度の体系および構造を概観する。会社法といっても、学生諸君にすれば、会社という場に身を置いていないこともあって、それは別世界のことであり、あまり身近に感じられない遠い世界でもあるかのようである。しかし、私たちの生活は、高度な経済社会の営みの上に展開しているものであり、それは、企業活動の単位としての株式会社によって支えられているといっても過言ではない。私たちは、会社に就職することで直接的な関係を持つ場合のみならず、この社会で生活していること自体、すでに会社と間接的に結ばれているといえよう。このような会社という存在に、法の側面から、この講義では接近する。

さて、株式会社とは、出資単位を均一の細分化した株式にして、社会に潜在している資本を効率よく集めるために、考案されたものである。したがって、立法制定者は、相当大きな資本を擁する複雑な構造をもった組織として、典型的な株式会社の姿を法典の上に描いて見せたが、現実には、個人企業や組合に等しいような株式会社が多い。このような株式会社にとって株式会社法は、身の丈に合わないだぶついた服となっており、法と現実との遊離といった問題が生じている(そもそも、こうした小さな企業がなぜ株式会社という法形態選択をするのだろうか。講義ではこの点にも触れる)。他方、株式を証券市場に上場しているような会社は、その資本金も株主の数も多く、中にはそれ自体が一個の社会的権力にも比肩できるような巨大会社もめずらしくないが、これら会社にとって株式会社法は、むしろスモール・サイズの服となっている。株式会社法は、この両極において、困難な問題に直面しているといえよう。講義では、株式会社法の基本的な制度内容に十分配慮しながら、株式会社法制度の根幹にかかわる困難な問題が、株式会社法の個々の制度・規制について、どのように問題となっているかについても触れてみたい。同時に、現実の紛争において問題になってくる株式会社法の具体的な制度をめぐる判例および学説の錯綜する解釈上の論点についても、ポイントを押さえて、講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、会社法の中でも、最も重要な株式会社法を中心とする。そこでまず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義、法的特色を押さえた後、株式会社の特質を位置付ける。次いで、②株式会社の設立に入る。設立手続の内容、定款の作成、変態設立事項、出資の履行、設立登記とその効果とその具体的内容となる。③株式制度として、株式の意義、種類、株主平等の原則、株式譲渡自由の原則とその例外、株券、株主名簿、名義書換、株式金融、単元株制度・端株を順次、取り上げる。④会社の運営機構を見る。具体的には、機関総論、株主総会、取締役・取締役会、監査役を講義する。このようにして、株式会社の基本的内容を見た後、余裕があれば、⑤資金調達にも入りたい。⑥株式制度の途中で、夏季休暇に入るものと予定している。

履修上の留意点

講義での私語は厳禁する。六法全書は、必ず持参すること。講義では、必ず条文を参照する必要がある。六法がないと、そこで理解がスムーズに行かなくなる。なお、平成13年に改正があったので、平成14年度以降の六法を持参して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験での評価による。出席は、取らない。これまでの私の経験から言えば、不可を取る学生の数は、およそ、出席していない学生の数にほぼ相当すると感じている。大体、履修登録者数の半前前後が、出席しているが、この位の数が、単位を取得しているからである。

教科書

荒木正孝『現代企業法第2版』(成文堂)

参考書等

長浜洋一『株式会社法』(有斐閣)3,914円、『会社法判例百選』(第6版)(有斐閣)1,900円

その他

株式会社法を勉強するにあたっては、各種制度の目的を十分に理解することが大事である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会社法	あらきまさたか 荒木正孝	法 A 2 必	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらうつもりである。

具体的には、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、②会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、③株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。④会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役について各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成14年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物権法	つるい しゅんきち 鶴井俊吉	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうち総則、占有権、所有権、地上権、永小作権、地役権を対象とする。所有権を中核とする物権法は、今日の社会構造の法的土台をなしており、憲法上の私有財産制度の骨組を定めたものである。その意味で、物権法は民法の中で最も基礎的な重要な部分であるといえる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の主な内容は、不動産売買をめぐるトラブルがどのように解決されているのかなど、物権変動を中心に、不動産利用権、物権的支配の秩序維持についての制度を解説する。

講義では、物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例を入れ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法（2）物権』（有斐閣双書）を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債権総論	こ う の ひ ろ の り 河 野 弘 矩	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）

債権各論 第二章 契約（549条～696条）
第三章 事務管理（697条～702条）
第四章 不当利得（703条～708条）
第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

法
律

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。

講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教 科 書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。参考書については、授業のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有価証券法	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結びついた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・
授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、および為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教 科 書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑法各論	まつむら 松 村 格	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

刑法各論は、刑法各則規定の解釈が中心になるが、すべての条文の解釈を検討することは時間的に不可能であるので、特定の条文にしぼって講義していくことにする。そこで、現代型犯罪と称される犯罪規定の解釈とか、時代の変遷に伴って条文の解釈再検討を余儀なくされているような問題にしぼって講義していきたいと思う。学生諸君は、それらの犯罪がなぜ問題になっているかということをよく考えてもらいたいと同時に、その際に、刑法総論で学習した「人権保障」と「法益保護」という刑法の指令を常に念頭におきながら解釈をしてもらいたい。行為無価値論が結果無価値論かという違法性の実質の問題も常に係ってくるので、自分の立場をしっかりと築いてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 刑法における生命の保護
動物の生命／人の受精卵（初期胚）・胚子の生命／胎児の生命／人の生命
人の生命の始期と終期／安楽死と尊厳死／自殺関与罪の問題点
2. 暴行罪と傷害罪
暴行と傷害の概念／暴行と傷害の意義／同時傷害の特例／胎児性傷害の問題点
ひき逃げと傷害致死罪・遺棄致死罪・殺人罪
3. 住居侵入罪と放火罪
住居侵入罪の保護法益／住居侵入罪の問題点
放火罪の既遂時期／建造物一体性の問題
4. 名誉・信用を侵す罪
信用毀損罪／信書開封罪／名誉毀損罪と侮辱罪／名誉毀損罪と事実の証明
5. 性と犯罪
わいせつ性の概念／強制わいせつ罪／わいせつ物頒布罪
夫婦間レイプ／女子による強姦罪／強盗強姦罪
6. 財産罪の諸問題〈1〉
財産罪の態様／財産罪の保護法益／財物の概念
無銭飲食・宿泊／キセル乗車／クレジットカード詐欺
不法原因給付と詐欺罪／権利行使と詐欺罪
7. 財産罪の諸問題〈2〉
強盗罪の諸問題／横領罪と背任罪
コンピュータ犯罪と財産罪
8. 各種偽造の罪
通貨偽造罪／文書偽造罪／有価証券偽造罪
9. 電子コピーの文書性・電磁的記録の文書性
文書偽造罪と電磁的記録不正作出罪／テレホンカードの度数不正変更
10. 公務員関連犯罪
賄賂罪の問題点／職権濫用罪／公務執行妨害罪と業務妨害罪
11. 刑事裁判に支障を来す罪
犯罪隠匿罪／証拠隠滅の罪／偽証罪
12. その他

履修上の留意点

刑法各論に関心のある学生諸君だけの参加を希望するが、教科書以外のことや特別資料に基づいて講義するので、毎回出席してノートをとることが必要である。

成績評価の方法

定期試験のほか逐次小テストをするので、それらと出席状況を総合的に評価して決める。

教科書

松村格『刑法学への誘い』（八千代出版）
松村格『日本刑法各論教科書』（八千代出版）

参考書等

別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ各論（第4版）』（有斐閣）
『刑法基本講座（全6巻）』のうち5巻6巻（法学書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法総論	さいとう 藤 寿	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

「現代行政法の解明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、現代行政法の法理解明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 行政とは何か。
- 第2回 行政法とは何か。
- 第3回 行政法の特徴は何か。
- 第4回 世界の行政法の類型と、行政法学について。
- 第5回 行政法の基本原理は何か。特に「法律による行政の原理」を中心として。
- 第6回 行政法の法源と効力について。
- 第7回 行政上の法律関係について。
- 第8回 特別権力関係と行政法関係の変動について。
- 第9回 行政作用法と行政立法について。
- 第10回 行政行為とその内容について。
- 第11回 行政行為の附款と成立について。
- 第12回 行政行為の効力について。
- 第13回 羁束行為と裁量行為について。
- 第14回 行政行為の瑕疵の取消と撤回について。
- 第15回 行政契約について。
- 第16回 行政計画について。
- 第17回 行政指導について。
- 第18回 これまでの講義のreviewと、これからの講義のoutlineについて。
- 第19回 行政強制について。
- 第20回 行政罰について。
- 第21回 行政手続について。
- 第22回 行政救済について。
- 第23回 行政上の損害賠償について。
- 第24回 行政上の損失補償について。
- 第25回 行政争訟制度について。
- 第26回 行政不服審査について。
- 第27回 行政事件訴訟制度の沿革と類型について。
- 第28回 行政事件訴訟手続について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法」を楽しく研究してみませんか。私がみなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際法	おう 王 し 志 あ 安 ん	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著 『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、板書する。尚、教場の可能性もあるが、power pointを利用した講義を行ないたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
裁判法	前期：間 湊 清 史 後期：小 木 曾 綾	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

前期は、民事手続法の入門講座と位置づけます。学生諸君は、民事手続法については3年次以降に本格的に学習することになりますが、裁判制度ないし司法制度一般に対する理解を欠いたままいきなり高度な手続法理論を教授されるならば、手続法アレルギーという半永久的宿病を引き起こす余地があるので、そのような仕儀とならぬよう配慮しつつ、民事手続法本論の周辺領域を中心として講じたいと考えています。(間湊)

後期は、刑事訴訟法の入門編として、刑事手続の基本思想を学ぶことを目的とする。(小木曾)

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、民事裁判所制度、民事裁判に携わる人々および民事裁判手続概観(間湊)。

後期は、概ね、①日本の犯罪の実情、②『刑事』手続とは何か、③警察・検察、④捜査の基本的関心、⑤公判の諸原則、⑥少年手続、⑦犯罪被害者支援、などを扱う予定にしている。社会で起こる具体的な犯罪や事件と法を結び付けて思考することができるように、統計資料、新聞記事、ビデオなどを適宜用いる。(小木曾)

履修上の留意点

講義には気楽に参加して下さい。(間湊)

毎回のレジュメをホームページに掲載し、読むべき文献も示すので、日常の予習・復習を怠らず、真剣に勉強してほしい。また、授業には六法を必ず持参すること。(小木曾)

成績評価の方法

前期試験および後期試験の結果を総合して評価する。

前期は、主として、前期試験の結果に依拠して行う予定ですが、出題は授業出席者に有利になるように工夫したいと考えています。(間湊)

後期は、学年末試験のほか、日常の勉強を促すため授業中に小テストを行い、その結果を加える予定にしている。基本的な用語や概念の理解ができているかが評価基準となる。(小木曾)

教科書

市川正人、酒巻 匡、山本和彦 著 『現代の裁判(第2版)』(有斐閣アルマ)2001年

参考書等

後期に関しては、田宮裕『日本の裁判(第2版)』(弘文堂)、渥美東洋『レッスン刑事訴訟法(上)(中)(下)』中央大学出版など。その他授業中に必要に応じて紹介する。(小木曾)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
担保物権法	つるい しゅんきち 鶴井俊吉	法A3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教科書

遠藤・川井他編『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
相続法	たけなか ちか 竹中智香	法A3・4選必	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	せきぐち まさお 関 口 雅 夫	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

専門科目としての商法学は、商法全体についての概観的な知識、商法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、商法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする学問である。この講義は、商法学の内、商法総論、商法総則および商行為法を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

商法総論においては、商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用の四つのテーマを論考する。次に、商法総論においては、営業の主体、営業行為、営業の人的組織、営業の物的組織、営業の譲渡、商業登記の六つのテーマを論ずる。そして商行為法においては、商行為の概念、商行為法の総則、商事売買、交互計算、匿名組合、仲立営業、運送取扱営業、運送営業、寄託の十の主要な問題を考察する。一年間で25回の講義を予定する。

履修上の留意点

ここに選ばれた20のテーマは、商法の特定分野に関するものではあるけれども、これから商法を体系的に学んで行こうとする諸君にとって、欠かすことの出来ないと思われる問題を取りあつかっている。もっとも、この講義は、全ての学生のニーズを満すものではない。この講義が特に必要であると考えられる学生は、将来自営業を志したいと考えている学生、会社員になりたいと考えている学生、および司法試験を受験したいと考えている学生である。この意味で、学生諸君は、自分で自分の将来計画を明確にし、受講すべきか否かを決定することが肝要である。

成績評価の方法

平常点と期末試験を重視する。

教 科 書

関口雅夫編著『現代商法Ⅰ〔総則・商行為〕』（八千代出版）2,800円を使用する。六法全書は、毎回持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険・海商法	や ま だ や す ひ こ 山 田 泰 彦	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

私たちの生活は、いろいろな危険に満ちている。私たちは、それにあまり気が付かず生活していたりするが、時には、不幸な事故に巻き込まれたり、あるいは逆に事故を引き起こしたりもする。こうした不幸への危険性は、この社会に生き、活動しているすべての人々（すなわち法主体、当然、会社も人である）に程度の差こそあれ、無縁ではない。危険が現実のものとなったとき、そこに通常、損害が発生する。この損害は、どのように処理すれば良いのだろうか。事故を引き起こした者がいるのであれば、この者が損害を負担すべきである。しかし、この者に資力がなかったならば、被害者の受けた損害は回復されずに酷いことになる。さらに、加害者も存在していないような場合には、どうすれば良いのだろうか。こうしたことへの不安は、人が生き活動して行く上での不安であり、今に始まったことではない。人類は、古くから、このための種々の方策を考えてきたが、複雑・高度化した現代社会は、かつてないほどの、不安と危険のジャングルとなっているのである。保険は、そのための方策の中で、最も高度に洗練された仕組みである。私の講義では、保険という仕組みが法的にどのように制度化されているかを見る。

ところで、保険は、他面において賭博に似ている（どちらも偶然の出来事により、多額の金銭を取得できるではないか）。そして、海の危険に満ち満ちた海上企業活動は、かつては、冒険企業の典型であった。保険が考案され発展したのは、中世地中海世界が育んだ海上企業活動においてであったということは、保険と海商との賭博的な共通の色彩の賜といえるのかもしれない（やがて保険制度は、海から陸にも上がり、今日見られるような隆盛を迎える）。当時の海上企業は、現在の海上企業とはかなり異なっていたし、(法的制度としての株式会社に先駆けていたのであるが、株式会社の登場は後年のことである)、その企業活動も海賊が立派な企業活動として認知されていたことから明らかなように、現在と大部隔っている面があった。しかし、近代的国家が形成される前から活発に行なわれていたイタリアの海港都市等に端を発する海事慣習は、その後一定の地域的広がりを得ながら、ヨーロッパのその他の港にもそれぞれの海事慣習の形成を促がし、それらがようやく確立する国家の法典に、取捨選択されつつ、結実し、その過程において、民商事法の源流の一つを形成したのである。

さて、そこで海商法である。海商法は、船舶を手段とする海上企業活動に関する法である。当然のことながら、船舶の活動する舞台ともいべき海は、世界へとつながっている。経済活動が狭い一国の地域的空間にのみ終止するのであれば格別、現在のように、世界的基模での市場が形成され、経済活動も世界的広がりを持つにいたると、原料やその加工品である商品の流通は、血管を流れる血液のように確保されなければならない。船舶による海上運送は、いわば、血液の中の血小板のようなものまたは、血液そのものである。船舶を利用して遂行される海上運送は、その国々の経済体制を支えるものであり、世界経済に重要な貢献を果すものである。私の講義では、この海上企業活動を、商法の視点から捉え、そこに働らく基本的な法原則を見ることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にする。①保険制度と保険法、②保険契約の当事者・関係者、③保険契約の成立と終了、④保険契約の内容と効果、⑤損害保険契約の意義・内容、⑥損害保険に特有の効果、⑦保険担保、⑧火災保険と地震保険、⑨責任保険と自動車保険、を中心項目とする。

後期は、海商法を取り上げる。①海商法の意義と発展、②海上企業の物的組織、③海上企業の主体、④海上企業の責任と制限、⑤海上物品運送契約の意義と種類、⑥海上物品運送契約の履行(海上物品運送人の義務と権利)、⑦海上物品運送人の責任、⑧船荷証券の意義および種類と発行、⑨船荷証券の効力、⑩海上売買、を中心とする。

保険法および海商法も1項目につき1時間ないし2時間を予定する。

履修上の留意点

講義には、六法を持参して下さい。

成績評価の方法

出席は、毎時限、取ります。これは、期末試験での成績評価の際に考慮します。

教科書

山野嘉郎・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民事訴訟法	まがちきよし 間 渕 清 史	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を旨とし、そのための基準を提示する手続のことをいいます。「民訴」転じて「眠素」ないし「眠訴」とならないように、基本的な概念および手続の仕組みについて、できるだけ具体的且つ平易に解説したいと考えています。時間的余裕があれば、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事訴訟手続の全体像を何となくわかったという気分になってもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

①民事紛争の解決制度、②民事訴訟制度の現代的課題、③訴え、④裁判所、⑤当事者、⑥第三者による訴訟追行、⑦本案と訴訟要件、⑧当事者と裁判所の役割、⑨口頭弁論の諸原則、⑩口頭弁論の準備、⑪証明と証拠、⑫証明責任、⑬当事者の行為による訴訟の終了、⑭終局判決とその効力、⑮複数請求、⑯共同訴訟、⑰訴訟参加、⑱当事者の変動、⑲上訴・再審、⑳簡略な手続

履修上の留意点

予習復習をするのが最も望ましいことであるとは言うまでもありませんが、予習または復習のいずれかだけでもすることを推奨します。

成績評価の方法

主として学年末試験の結果に依拠して行います。問題作成にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮したいと考えています。

教科書

上原敏夫・池田辰夫・山本和彦 著『民事訴訟法（第3版）』（有斐閣シリーズ）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと 藤 本 茂	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍、解雇や成果主義賃金の導入など従来の日本型雇用システムに見直しがなされています。労働法は、雇用労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではいられません。

この変化は労働法の領域でも労働者の雇用にすなわち雇用関係法領域に大きく関わってきます。労働組合をめぐっての法領域、労働関係法領域に割く時間を減らさざるを得ません。

本講義では、雇用関係法領域を中心に、上述した雇用労働関係の変化を頭の隅に置きつつ、これまでに形成定着した労働法理の基礎をまなびます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業では下記事項について、基本的なことを中心にまなぶとともに、現代的課題に言及します。詳しくは第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを示すに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 労働条件の変更
- (9) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (10) 人事異動－配転、出向、転籍
- (11) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (12) 賃金、賞与、退職金
- (13) 労働時間、時間外労働
- (14) 休憩、休日、休暇
- (15) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席してください。そして、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要です予習復習は欠かせません。

成績評価の方法

出席、質問を加味しますが、学年末試験（論述式）がメインです。追・再試験は、実施します。

教 科 書

教科書は、特に指定しません。しかし、教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして用意してください。

参 考 書 等

第1回目の授業で紹介しします。ほかに、判例百選、六法は用意してください。六法は（法改正がありますから）、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。

そ の 他

皆さんが、各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際私法	かさほら としひろ 笠原 俊 宏	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分り易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（補訂版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう 斉 藤 ひさし 寿	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

日には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	おう し ゃん 王 志 安	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著 『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業はpower pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のみまとめ報告を求めることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会保障法	はら だ けい ちろう 原 田 啓 一 郎	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

社会保障制度は、20世紀に定着した制度であり、その姿は時代により国によって異なる。わが国では、今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学はようやく本格的な法学の一研究領域として認知された段階にあるといえる。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は今日無視し得ないものになっている。このような社会保障制度をめぐって、あるべき政策論に対して、一定の政策指針を提供するのが社会保障法の今日的課題であると思われる。

本講義では、社会保障法の基礎理論と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

成績評価の方法

出席はとらない。筆記試験の結果によって原則的に成績判定を行う。

教科書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示する。
なお、多方面の法律に言及するため、ポケット六法レベルのものでは不十分であるので、社会保障立法を収録する六法を各自必ず用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑事訴訟法	お ぎ そ 小 木 曾 綾	法 A 3・4 選 必	4

講義のねらい

個人の自由や命は、犯罪による脅威からも国家の不正な権限行使からも守られなければならない。国民が刑事裁判に参加する制度の導入が検討されているが、その前提となるのは、正しい刑事司法制度の理解である。

犯罪が解明され、その実行者が何らかの「けじめ」をつけることは、犯罪によって損なわれた被害者―社会―加害者の関係修復に必要な不可欠なことであるが、国の強制権限が用いられる刑事手続では、個人の自由やプライバシー、無事の不処罰といった自由社会の拠って立つ価値もまた守られなければならない。こうした複合的な目的を実現するために刑事司法制度が用意している仕組みを理解し、その適正な運用について考える。

講義の内容・授業スケジュール

概ね、前期は、①刑事手続の概要、②任意捜査と強制捜査、③逮捕、④捜索・押収、⑤職務質問、所持品検査捜査、⑥新しい捜査方法、⑦被疑者取調べ、⑧被疑者の弁護権、について、後期は、①訴追裁量、②公判構造、③起訴方式と訴因、④証拠開示、⑤排除法則、⑥自白の証拠能力、⑦伝聞法則、⑧無罪推定、⑨二重危険禁止、⑩被害者支援、⑪少年手続などを扱う予定である。理解を助けるために、統計資料や新聞記事、ビデオなどを適宜用いる。

履修上の留意点

毎回のレジュメをホームページに掲載し、読むべき教科書・参考書のページも指定するので、履修者は、社会に生起する事件や法律問題に常に関心をもち、予習・復習を怠らず、真剣に授業に臨んでほしい。授業には六法を必ず持参すること。
なお、2年次に裁判法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によるが、日常の勉強を促すため、数回の小テストを授業中に行い、その結果を総合して評価する。基本的概念の理解、論点の把握・整理、正確な法律用語の使用、応用力などが評価基準となる。

教 科 書

以下のいずれかを薦める。初回の授業を聴いてから購入するのがよい。
渥美東洋編著『青林法学双書・刑事訴訟法』（青林書院）
田口守一著『刑事訴訟法』（弘文堂）

参 考 書 等

渥美東洋著『レッスン刑事訴訟法（上）（中）（下）』（中央大学出版部）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう 藤 寿	法 A 2 選	4
		法 B 2 選	

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙者の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親族法	たけなか ちか 竹 中 智 香	法 A 1・2 選 1)以降入学生/法 B 1・2 選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法社会学	おかざき おさむ 岡 寄 修	法 A 1・2 選 法 B 1・2 選	4

講義のねらい

法社会学は、近代科学の興隆・発展を背景に、19世紀末、経験科学としての法律学をめざして誕生した比較的新しい学問である。基礎法学の一分野として法解釈学をサポートし、法は、社会の中でどのように機能するのか、法解釈という作業はどのような営みなのかなど、その研究領域は多方面に及ぶ。本講義では、最初に、日米における法の役割の相違、次いで、法解釈という作業の性格、最後に、法社会学誕生に到るヨーロッパの知的歴史、の3点に焦点を絞り講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 日米比較法文化論：パターナリズムと個人主義、契約と責任など
- II. 法解釈という作業の性格：デューイ『法学の方法』その他
- III. 経験科学としての法律学：啓蒙思想と科学、法典化運動、法社会学の誕生など

履修上の留意点

履修者は、実定法解釈について若干知識のある方がよい。

成績評価の方法

学年末の論述試験による予定。

教科書

碧海純一『法と社会：新しい法学入門』（中公新書125）1967

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

講義では補助プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本法制史	しげのたかほる 茂野隆晴	法 A 1・2 選 11以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探究、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際に元の文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなるうか。

講義の内容・
授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法・刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ず揃えて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れない者があれば直接にも指摘することになるう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房刊）2,300円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社刊）3,000円、このほかは、場合により指示します。

そ の 他

授業の方法は講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	北野かほる	法 A 1・2 選 以降入学生 / 法 B 1・2 選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
- 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
- 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造 2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

法
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なのは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑事政策	さいとう よしゆき 齋 藤 静 敬	法 A 1・2 選	4
		11以降入学生/法B11選	

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？ たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察（例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪）。
- 2 犯罪者の処遇（例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放）。
- 3 犯罪者に対する制裁（例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分）。
- 4 犯罪の司法的処理（例えば、起訴猶予、執行猶予）……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かささず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』（創成社）2,800円＋税

その他

講義方式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ まこと 河 見 誠	法 A 1・2 選	4
		11以降入学生/法B11選	

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス）

近代：自然権・社会契約論（ホッブズ、ロック、ルソー）、功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかも知れない。

教科書

山中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

参考書等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学原論	お お つ か 大 塚 桂	法 A 1・2 選 11以降入学生/法B11選	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

①政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

②共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

①制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

②機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	あ い だ と し ひ こ 相 田 敏 彦	法 A 1・2 選 法 B 1・2 選	4

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感とあってよいと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方を見方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。

この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：「カメラはウソをつかない」か。

新聞記者の「ペンはウソをつき得る」か、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれる—のかどうか。

(1) 原理的検討

記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。

(2) 具体的検討

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐって。

(1) ニュースによる‘よびかけ’

私達はニュースによって‘よびかけ’られて、気がつかないうちに‘国民’や‘消費者’に仕立てられます。このことを具体的にかつ理論的に追求します。

(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ

‘現実性効果’、‘埋めこまれた前提’について、構造主義の方法を参考に検討します。

(3) メディアと権力

権力についての新しいとらえ方を学びます。

(4) ドラマの視聴者への影響

テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価します。

教科書

未定。

参考書等

U. エーコ『記号論Ⅰ、Ⅱ』(岩波書店)

児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済原論	あさの かつみ 浅野 克巳	法 A 1・2 選 !!以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ!」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学総合情報センター」に常備されている。それらを利用してシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない!」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらおう!

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

ここクリック 経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK! 大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治史	くすのき 楠 せいいちろう 精 一 郎	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

政治史は政治権力に関する歴史的な分析を目的としており、本講の対象とする期間は、日本の幕末維新から昭和戦前期までです。人物を中心に考察をすすめ、受験勉強で学んだ日本史とは一味違う講義を心懸けるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 章 西洋の衝撃
- 第1章 幕藩体制の崩壊（伊達宗城）
- 第2章 開国和親の揺籃期（中井弘）
- 第3章 明治立憲制の形成（伊藤博文）
- 第4章 政府批判勢力の台頭（小松原英太郎）
- 第5章 議会政治の展開（大隈重信）
- 第6章 司法の近代化と官僚閥（横田国臣）
- 第7章 政党内閣の成立（原敬）
- 第8章 植民地経営と政治腐敗（古賀廉造）
- 第9章 政党政治の興亡（犬養毅）
- 第10章 軍部独裁への予兆（森恪）
- 第11章 日米戦争への道（近衛文麿）
- 第12章 日米戦争の開戦（大川周明）
- 第13章 帝国の崩壊と復活（岸信介）

履修上の留意点

履修にあたっては、特に日本史の知識を必要としないが、歴史に関心のある学生の受講を希望する。

成績評価の方法

試験は後期のみ一回。夏休中にレポート。出欠調査は随時行う。

教 科 書

拙著『列伝 日本近代史』（朝日選書）2000年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政学	た ま る だい 田 丸 大	法 A 1・2 選	4
		1:以降入学生/法 B 1:1選	

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や発泡酒の税率引上げ問題、自治体（地方）レベルでは市町村合併や住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これら行政現象に流れる行政の活動論理を探ることが行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の性質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュール等詳細は講義後に知らせる）。

- 1 官僚制、2 議員内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革等。

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教 科 書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

参 考 書 等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法律時事英語	まきのかずお 牧野和夫	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分り易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実戦的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の順序で進める予定です。
- ① 英米法の考え方
 - ② 英文契約の基礎
 - ③ 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
 - ④ インターネット上の取引におけるキーワード

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書など何でも持込み可とする）

教科書

牧野和夫著『法律英語ハンドブック（上）及び（下）』（プロスパー企画）各1,800円、1,500円（税別）

参考書等

河村實治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』（プロスパー企画）4,300円（税別）

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代法のトレンド	藤本 茂・青野 博之 荒木 正孝・竹中 智香 林 幸司・間瀬 清史	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

現在、社会は大きく変化しようとしています。法もそれと無関係ではられません。本講義では、専門科目の講義担当者が講義では充分触れることのできない現代的課題について、いくつか取り上げて検討していきます。本年度は、主として民事法関係の担当者が、リレー形式で授業を行います。

通常の講義形態と異なりますので、第1回目の講義で、履修上の一般的な注意点と各専門領域での講義内容の概要を説明します。受講希望者は、第1回目の講義に必ず出席してください。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順で講義は進みます。専門領域ごとに3回～4回を予定しています。各担当者の講義内容は、「詳細情報画面」を参照してください。

成績評価の方法

各担当教員(6名)が、それぞれの講義時間の中で、小テストやレポートなどによって評価を行ない、それらの総合点で全体的な評価・単位認定を行ないます。詳細については、担当者ごとに異なりますので注意してください。

教科書

講義全体を通じた教科書は特に指定しません。

参考書等

参考図書等については、各回の担当者の指示に従ってください。なお、六法は持参してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎憲法演習	なかの たつひさ 中 野 辰 久	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験を念頭にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は以下の諸点を目的に行いたいと思います。

- 1 受講生に身近と思われる具体的事例を素材として取り上げ、憲法等の法律が実社会でどのような役割を担っているかを明らかにするとともに、憲法の基本原理を重点的に検討する。
- 2 1を通して、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の基本原理・基礎的知識の習得を目指し、リーガルマインドの養成をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

主に基本的人権に関する事例を取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると下記のとおりです。

- 1 死刑の合憲性
- 2 氏名権
- 3 外国人の人権－選挙権、指紋押捺の問題
- 4 平和主義・戦争の放棄－自衛隊の合憲性
- 5 プライバシー権－タレントの権利
- 6 法の下での平等－尊属殺重罰規定違憲判決、議員定数不均衡問題
- 7 表現の自由－報道の自由
- 8 職業選択の自由－プロ野球のドラフト制度
- 9 生存権
- 10 教育を受ける権利－校則の問題
- 11 信仰の自由・政教分離－靖国神社の問題等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、できるかぎり出席することが望ましいと考えます。また、司法試験等の国家試験を念頭に置くと、復習は必ずしてほしいと思います。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式ですから、出席とレポートで評価する予定です。しかし、登録人数が多い場合には試験に変更します。

教 科 書

芦部信喜著『憲法新版補正版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参 考 書 等

演習の都度、レジュメを配付する予定です。

そ の 他

司法試験等の国家試験への対処、弁護士の仕事等についても適宜お話していきたいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎民法演習	はやさか 早 坂 亨	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

本講義は、受講生が初学者であることを前提に、事例をもとに、実務的観点から民法の基礎、考え方を学ぶ。また、実務法曹になる前提として司法試験等を意識し、これらが何を要求しているかについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

民法では、現実起こりうる私人間の紛争を規律するという側面を有するため、法的安定性ととも、具体的事案について結論の具体的妥当性が要求される。従って、事例は、実際の判例を取り上げるが、その他、実務法曹になる前提としての司法試験の問題等も取り上げ、実務法曹としてどのような基本的知識が必要とされるかについても講義、検討する。

履修上の留意点

本講義では、判例、司法試験の過去の問題を素材とするが、本科目の受講生は、民法の初学者を前提としていることから、これらの検討にあたっては、その点を充分配慮し、基本的事項から検討するので、予習よりも復習に重点をおいて受講して欲しい。

また、講義にあたっては、積極的に発言して欲しい。

成績評価の方法

知識の習得度には重点を置かない。むしろ民法の考え方をどれだけ理解したかという点から評価する。

教 科 書

特段指定はしない。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

そ の 他

本講義はゼミ形式とする。

実務法曹として必要な知識の取得を目的とすることから、司法試験についても当然念頭においた講義となる。司法試験合格の為には、相当程度の勉強が必要だが、ただがむしゃらに勉強さえすれば良いというものではない。司法試験はあくまで法律実務家になる為の試験であるから、実務法曹として何が望まれているのかを理解し、その方向性に向かって勉強することが必要とされる。従って、判例、司法試験の問題の検討を通じて、実務法曹として、どのような能力が求められているのか、また司法試験では何が要求されているのか、そのためにはどのような勉強をしていけば良いのか、論文の考え方、特に勉強の方向性についての講義・討論を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎刑法演習	木 村 美 隆 <small>きむら よしたか</small>	法 A 1・2 選	4
		法 B 1・2 選	

講義のねらい

刑法の基礎知識、思考方法の習得を目的とすることは当然であるが、司法試験をはじめとする各種国家試験の合格を目指す学生諸君の存在を意識して、その対策への導入路となることをも心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

刑法は、犯罪の一般的成立要件を中心に分析、検討する刑法総論と、殺人罪、窃盗罪など個別の犯罪の成立要件を分析、検討する刑法各論に分けて講ぜられるのが一般である。この演習では、前期から後期途中までをかけ、刑法総論のテーマを取り上げ、その余の時間で刑法各論の重要論点にふれる予定としている。

刑法は、古くから学説上の争いが顕著で、ときに学界を二分するような議論もなされてきたが、この演習では特定の学説上の立場に把われることなく、常に多様な考え方、視点のあることにならねばならない。

また、司法試験等各種国家試験の対策も念頭に置き、そのために必要な学習方法にも言及する予定である。

さらに、弁護士としての実務経験も適宜織り込み、法律が現実にも適用される世界への興味を引き出せたら幸いと考えている。

履修上の留意点

テレビ・新聞等で多くの犯罪が取り上げられることもあって、刑法は親しみやすい科目であるかもしれない。しかし、ひとたび教科書を聞いてみれば、極めて論理性の高い体系のあることに気づかされ、学習の容易でないことを知るはずである。中途半端な学習態度で臨んでももらいたくない。

成績評価の方法

出席と、試験の結果により評価する。

教科書

特定の教科書は使用しないが、学習上何らかの体系書に拠ることが望ましい。参考となる文献は開講時に指示する。

その他

講義形式が中心となるが、学生の発表能力を養うため、試験とは別に答案を書き添削を加える、いわゆる答案練習の機会を持つてみたいと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債権各論	あ お の ひろ ゆ き 青 野 博 之	法 A 2 選	4
		11以降入学生/法B1選	

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償をもとめることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向型の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教 科 書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論』（法律文化社）2,700円 2000年
教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参 考 書 等

講義に際して紹介する。

そ の 他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米法	北 ^{きた} 野 ^の かほる	法 A 2 選 法 B 2 選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏法	うえい たけひさ 上 井 長 久	法 A 2 選	4
		1?以降入学生/法B?選	

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一・成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

- I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）
 1. 人権宣言と自由の確立
 - ①人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 ②人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理（国民主権、権力分立） ③公的自由と私的自由
 2. 法典編纂とその後の私法の変遷
 - ①法典化の意義・目的 ②ナポレオンの5法典と王令・中間法 ③法典編纂の経緯と問題点 ④近現代における私法の変遷
 3. 判例の効力
 - ①判決の構造と判例 ②判例観の変遷（古法、中間法） ③判決の既判力、判例の拘束力と創造力 ④法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）
- II. 私法の歴史……（後期）
 1. フランク王国の法
 - ①法源（法の属人性） ②社会経済制度—人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 ③訴訟制度
 2. 高期中世（制限王政期）の法
 - ①法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） ②社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分分と家族遺留分、夫婦財産共有制） ③都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約
 3. 絶対君主制（旧体制）の法
 - ①法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令） ②社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

拙著プリント版Introduction au droit prive及びHistoire du droit prive（最初の講義の時に配付する予定）

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫＝菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）
山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
独法	山口邦夫	法 A 2 選 II以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

外国法の一種類としてのドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けた点を中心としたい。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- 一年を次の4期に分けて講義をする。
- I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 - I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特にKaiserと天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 - II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 - III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。
 - IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer / Jan Schroder, Deutsche Juristen aus fünf Jahrhunderten. 2. Aufl. 1983. (初版の和訳あり) (IV期用参考書)

科目名	担当者名	配当学科	単位
登記法	田沼浩	法 A 2 選 法 B 2 選	4

講義のねらい

「不動産登記法」および「商業登記法」の講義を行う。初めて不動産登記法・商業登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての不動産登記法・商業登記法が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、不動産登記・商業登記制度の意義を通じて、両法のより深い理解を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

不動産登記においては、不動産に関する取引全体の流れにおける不動産登記の役割を理解することを目指す。商業登記法においては、会社法と関連させることによって会社の起業に役立つ程度の知識を最低限習得できるように努めたい。

履修上の留意点

民法典第二編物権（物権法）、商法典第二編会社（会社法）の受講者が履修することが望ましい。この講義を受講することが望ましい者は、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者である。そこを留意して受講していただきたい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

法務省民事局第四課編『商業登記法入門』（きんざい） 3,619円
 遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタル [第四版補訂版] 不動産登記法』（日本評論社） 3,500円（初学者は『基本法コンメンタル』を直ちに購入しなくても良い。）
 『六法全書』は、毎回持参すること。

参考書等

法務省民事局編『不動産登記実務 [五訂版]』（法曹会）4,000円（初学者は購入しなくても良い。）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	いまお 今 尾 真	法 A 2 選	4

講義のねらい

本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の収集および読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること（読む）、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で判断すること（考える）、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること（論ずる）等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成（書く）を義務づけ、その一部のものを講評して、法律の論文の書き方もあわせて指導する。

成績評価の方法

講義での発言内容、出席回数およびレポート内容等の総合判断により成績評価を行う。

教科書

川井・鎌田・平野編『新判例マニュアル民法Ⅰ〔総則〕』（三省堂）2000年

参考書等

随時指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	おおみや 大 宮 隆	法 A 2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

本講は、3年次から開講されている演習のための基礎知識を修得することを目的とする。「婚姻及び離婚制度の改正問題」を通して、文献・資料の検索、発表の方法を指導する。よって、当初は私が法律雑誌や判例集について解説し、その後、各人の関心に沿ったテーマを選んで勉強し、報告、ディスカッションするという形をとる。

履修上の留意点

予習すること。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	かめだ 亀 田 浩一郎	法 A 2 選	4

講義のねらい

3年次からの専門演習への橋渡しとして、基礎知識・考え方をしっかりと身につけると同時に、判例・文献の調べ方、レポートや議論の方法を習得することを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

民法総則に関する基本的な問題（事例問題）について、あらかじめ割り当てられたグループ（数名）にレポートしてもらい、それに基づいて全員で討論をするという形で行います。

履修上の留意点

報告や討論を中心に進めていくので、意欲のある学生の参加を望みます。民法に興味があれば、得意不得意は問いません。

成績評価の方法

出席状況をベースに、レポートや発言等の受講態度を総合して評価します。試験は行いません。

教科書

使用しません。教材（問題等）はこちらで適宜用意し配布します。

参考書等

授業中に適宜紹介します。なお、六法は必ずもってくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	佐 藤 多 美 夫	法 A 2 選	4

講義のねらい

このゼミは刑法における基本的な問題を検討し、法的知識を修得するとともに法的な思考を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論講義で修得した犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任の基本的な問題を扱うが、以下のような諸問題も対象としたい。例えば、少年犯罪に関する問題、ハイテク犯罪に関する問題、生命に関する問題、犯罪被害者に関する問題などを予定している。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教 科 書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

そ の 他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	原 口 伸 夫	法 A 2 選	4

講義のねらい

この基礎演習は、刑法・犯罪論の基礎を理解するとともに、法律を学習する上で必要不可欠となる基本書・参考文献の探し方・利用の仕方、判例の調べ方・読み方、レポート・論文の作成方法等の習得を目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、刑法総論の重要な解釈問題（たとえば、因果関係、正当防衛、錯誤、共謀共同正犯等）を題材としてテーマを決め、グループ（2～3人）で報告し、議論する。次いで、刑事法に関して各自興味のあるテーマを決め、個別に報告し、皆で議論する。

履修上の留意点

報告者はもとより、報告者以外の者も主体的に参加し議論することによって、本演習での目的である学習方法等を習得し、また、問題点やその背景事情について探り・考える力や、それを整理し・筋道立てて説明する力をしっかりと身につけ、今後の専門ゼミ等においてより深く研究する基礎を固めてもらいたい。

成績評価の方法

報告・出席等の平常点で成績を評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	ひか さ かんじ 日 笠 完 治	法 A 2 選	4

講義のねらい

一年次に履修した憲法学の基礎知識を整理し確認すると共に、三年次から始まる本格的研究のための準備をする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、憲法総論・基本的人権論・統治機構論・憲法訴訟論に関する基礎学力の確認と充実に焦点を置き、判例・学説の理解を深める。後期は、各自の研究関心や最近の具体的問題について演習を重ねる。個人の研究発表を基に討論を行う演習形式をとる。

履修上の留意点

これからの学生は、教養や知識だけでなく、実社会で実践的に役立つレベルの学問的思考力や方法の修得を要求されている。本基礎演習としても、その要請に応えるために、学問的関心を持ち、自主性、積極性、責任感を有する学生の参加を望む。

成績評価の方法

出席率評価、発表力・応答力等の演習中の実力評価、提出レポートの質的評価を三本柱とする総合的評価方法を採用する。

教科書

- 日笠完治『憲法がわかった』（法学書院）2,600円
- 他に、①法令集、②憲法判例集、③法律用語辞典等が必要となるが、演習時に説明する。

参考書等

- ①西修編著『日本国憲法25講』（八千代出版） ②芦部信喜『憲法』（岩波書店） ③野中俊彦他『憲法Ⅰ』『憲法Ⅱ』（有斐閣） ④法学教室、ジュリスト等の法律雑誌 ⑤判例時報、判例タイムズ等の判例雑誌

その他

演習を通して、憲法学に更に深い関心を抱き、憲法を好きになってもらいたい。

法律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税法	きしだ さだお 岸 田 貞 夫	法 A 3・4 選 以降入学生/法B 選	4

講義のねらい

税法の体系を法律的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入および必要経費の範囲等について順次、講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教科書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参考書等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

その他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配布する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみい ゆきお 富井 幸雄	法 A 3・4 選 !!以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位および権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境法	まつむら ゆみひこ 松村 弓彦	法 A 3・4 選 !!以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

環境問題を事実と法律論の両面から理解する。私法からのアプローチを中心とするが、現在我が国が当面している環境法上の重要課題については、公法・国際法分野の問題を含めて勉強する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書と判例（必要に応じて配布する）を中心とし、概ね以下の項目にわたる。
 (1) 環境法の背景・歴史・理念等
 (2) 環境保全法制
 (3) 環境責任
 (4) 費用負担
 (5) 特殊問題—我が国が当面する諸問題

履修上の留意点

事実を踏まえた法理論の理解を深めること。

成績評価の方法

論文式試験（年1回）および授業中の報告の評価による。

教 科 書

拙著『環境法』（成文堂）

参 考 書 等

森島昭夫ほか編『公害・環境判例百選（別冊ジュリスト126号）』（有斐閣）2,300円

そ の 他

授業の方法：テーマに応じて講義形式とゼミ形式を併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法哲学	かわが 河見 誠	法 A 3・4 選 法 B 3・4 選	4

講義のねらい

複雑多様化する現代社会の中で、法律も法学も法実務も専門分化し、細分化されていく傾向がある。そういう時代において法を適切に形成、適用、運用、活用、修正していくためには、逆に全体的な視座や基礎的的原理的思考が求められるのではないだろうか。法に関わる専門家としてであれ市民としてであれ、私たちが「法哲学」を学ぶ現代的意義は、ますます大きくなってきていると思われる。この講義では、「法とはどのようなものであるのか」「法はどうあるべきか」そして法それ自体のみならず、法への関わり方すなわち「法の世界に独特の思考や方法はどのようなものであり、どうあるべきか」といった、法（ひいては人間）の世界全体にわたる根本問題を探究していくなかで、法に関する基礎的的原理的思考を身につけることを目的としたい。その上で、後半部分では、現代社会の諸問題（生命倫理や家族倫理その他の社会倫理上の課題）において法がどのような位置づけにあり、またどのように関わるべきなのかという、いわば応用問題を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

さしあたり、以下のようなことを扱う予定である。

- I. 法哲学の基本問題
 - 「法とはどのようなものであるのか」（法の構造、法と強制、法と道徳、権利と人権）
 - 「法はどうあるべきか」（法と正義、刑罰論、悪法は法であるか）
 - 「法に独特の思考と方法」（法の解釈、裁判の特質と機能、法律学方法論）
- II. 法哲学の応用問題
 - 「現代社会の諸問題と法」（脳死・臓器移植、家族と福祉、在日韓国・朝鮮人問題、生命の尊重と安楽死、平和と豊かさ）

履修上の留意点

基本的に講義のスタイルをとるが、できるだけ受講者と一緒に考えていくスタイルをとりたい。そのために、特に後半部分においては、その場で考えてもらったり、次週までに考えてきてもらう質問を出すことがしばしばあると思う（例えば、「あなたなら臓器提供意思表示カードにどのような記載をするか」など）。口頭で答えてもらうつもりなので、その際には、じっくり考えて、積極的に発言してもらいたい。皆さんの意欲ある参加を楽しみにしている。

成績評価の方法

前期にⅠの部分について定期試験を行い、後期にⅡの部分についてレポートを提出してもらう予定。

教科書

- I. 田中成明『法理学講義』（有斐閣）1994年 3,100円
- II. 河見誠『現代社会と法原理（仮題）』（2002年刊行予定）

参考書等

葛生栄二郎・河見誠『新版・いのちの法と倫理』（法律文化社）2000年 2,800円
その他、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済法	おかだ としひろ 岡田 外司博	法 A 3・4 選 以降入学生 / 法 B 3・4 選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
航空・宇宙法	関口 雅夫	法A3・4選 11以降入学生/法B14選	4

講義のねらい

専門科目としての航空・宇宙法学は、航空法と宇宙法の全体についての概観的な知識、航空法と宇宙法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、航空法と宇宙法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

航空法も宇宙法も新しい学問領域である。特に宇宙法は、航空法に比較しても極めて新しい学問領域である。学理的には、航空法も宇宙法も国内法としての航空法と宇宙法と、国際法としての航空法と宇宙法に分けられる。沿革的にみると、そこにはまず、一般的に国際法として成文化された航空法と宇宙法が生まれ、その内容が各国に浸透して国内法化される傾向がある。この意味で、航空法と宇宙法を体系的に学ぶためには、まずはじめに国際航空法と国際宇宙法の理解が不可欠になる。この講義の内容は、国際航空法と国際宇宙法を中心に進めて行く。

国際航空法は、国際航空公法と国際航空私法に大別出来る。国際航空公法の法源は、現在世界の170カ国が批准しているシカゴ条約（日本の正式名称は「国際民間航空条約」）やヨーロッパ連合（EU）の理事会指令のような地域協定および現在世界に2500ほど存在すると言われる例えば日米間航空協定のような二国間航空協定よりなっている。近年は、アメリカのノースウエスト航空やフェデラル・エクスプレス航空がアジア市場に進出し、そこでいわゆる「過大な以遠権を行使すること」が、日米航空協定に違反するか否かというような具体的事例を通して、国際航空公法の基礎理論を理解してもらうことにする。国際航空私法は、三つのテーマを研究する。その第一は国際航空事故が生じて旅客に人身事故が生じた場合の国際航空運送人（航空会社）の責任問題について、中華航空機名古屋空港事故を例にとりて論考する。第二のテーマは航空機事故が発生し、地上の第三者とその財産に損害を与える場合の解決策を考えてみることにする。第三のテーマは、航空機事故と保険制度の関係を検討することである。

国際宇宙法も、国際宇宙公法と国際宇宙私法に大別することができる。国際宇宙法の中核的法源は、別名基本的条約と称する宇宙条約である。本講義の第一のテーマは、この宇宙条約に定められた基本原理の内容を検討することに置く。次に、救助協定、登録条約、月条約を順次解説して行く。国際宇宙私法の中心には、「宇宙物体が引起した損害についての国際的責任に関する条約（責任条約）」が存在する。第二のテーマとして、この内容を解説する。第三のテーマは、現在そこには国際宇宙運送条約が存在していないが、何故存在していないのか、存在させるとしたらどの様な責任原理が採用されるべきかを検討する。第四のテーマは、宇宙物体・宇宙機の事故と保険との関係のみることにする。

履修上の留意点

この講義は、新しいかつ特殊な学問分野の講義であり、全ての学生が履修すべき科目とは考えられない。この科目を履修すべき学生は、何らかの意味で、航空機に関係する仕事につきたいと思う人、宇宙関係の仕事につきたいと思う人に適当なものである。

成績評価の方法

平常点と期末試験の結果により評価する。

教科書

関口雅夫著『国際航空運送人の責任制度』（成文堂）3,700円＋税 を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消費者法	こ う の ひ ろ の り 河 野 弘 矩	法 A 3・4 選	4
		12以降入学生/法B11選	

講義のねらい

今日、消費者を取り巻く生活環境は、訪問販売・通信販売・割賦販売契約、保証契約・クレサラ契約・電子商取引・介護契約・弁護士や医師などの専門家との契約などの例に見られるように多様化・複雑化・専門化の一途をたどっている。本来、消費者と事業者との間のいわゆる消費者契約自体は、自由・公正・安全に締結されることが望まれるものである。しかし、「消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力の格差」のあることは否定できず、結果として消費者側に不本意な自己責任を強いることになり適当ではなく、消費者の利益の擁護と消費者が自己責任に基づいて契約を締結できるための諸環境の整備が不可欠である。そのための法制度としては、民法を基本として、「消費者契約法」、更には各種の取引に対応した特別法（特定商取引に関する法律・製造物責任法他）とが適用法令として制定されており、そのため消費者にとっては極めて複雑な法体系となっている。このうち「消費者契約法」は、2000年5月12日に公布、2001年4月1日から施行されており、「事業者の一定の行為により消費者が誤認し、又は困惑した場合について契約の申込み又はその承諾の意思表示を取り消すことができることとする」とともに、事業者の損害賠償の責任を免除する条項その他の消費者の利益を不当に害することとなる条項の全部又は一部を無効とする事により消費者の利益の擁護を図ることを目的として日常生活における消費者契約の基本法としての意味を持たせ、消費者が日常生活で締結する全ての消費者契約に対して例外のない適用を意図して制定されたものである（同法1条）。本講義では、この自由で公正・安全な消費者契約が締結されるための環境整備を目的とした同法を中心として以下のスケジュールにしたがった講義を計画している。

法 律

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 総論（消費者契約の特質、消費者問題の多様性）
- 2 諸外国の法制度
- 3 消費者契約法の概要
- 4 特定商取引法（訪問販売、通信販売、電話勧誘販売、連鎖販売取引、特定継続的役務提供）
- 5 クレサラ契約と貸金業法・利息制限法
- 6 製造物責任法
- 7 消費者紛争の解決のための法や制度
 - (1) 小額訴訟（訴状の書き方、申立て手続き等を含む）
 - (2) 調停制度（調停申立て手続きを含む）
 - (3) 各種ADR

履修上の留意点

消費者契約関連法規は、体系的であるとは言えないため、そのため可能な限り継続し受講することを心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

期末試験の成績によって評価する予定である。出席点を加味するかどうかは未定。

教 科 書

未定。授業の始めに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証券取引法	はるた ひろし 春 田 博	法 A 3・4 選 以降入学生/法 B 1・4 選	4

講義のねらい

証券取引法は会社の発行する株式・社債等の有価証券の発行・流通を規制の直接の対象とするが、その内容には、有価証券の定義、ディスクロージャーの規制、証券業と銀行業の業際問題、公開買付、5%ルール、インサイダー取引や相場操縦の規制等、数多くの現代的な問題が含まれており、また、実質的に会社法を補完する役割を担っていることもあって、今日その重要性を著しく増しつつある法分野である。加えて、平成10年の改正の結果、戦後一貫してきた規制の理念の多くが、その内容を大きく変ずることになった。本講義では、これら時事性のある問題にも可能なかぎり具体的に言及しながら、証券取引法による規制がどのような考え方や定義にもとづき、誰を名宛人とし何を目的に行なわれているかについて、わかり易く論じてゆくことにしたい。戦後に制定された若い法律であるため、母法であるアメリカ法の動向とも密接な関連を有しているが、こうした事情についても講義で伝えることができればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ法律の規定の順序に即して進める予定である。

履修上の留意点

履修者は会社法の履修を終え、あるいは自習している等、会社法に関する一応の理解を有していることが望ましい。また、出席に際しては必ず六法全書を持参すること。

成績評価の方法

学年末に実施される定期試験の結果によって行なう。

教 科 書

近藤光男・吉原和志・黒沼悦郎著 『証券取引法入門（新訂版）』（商事法務研究会刊）4,000円

参 考 書 等

必要に応じ教室においてその都度指示する。

そ の 他

授業は講義形式で行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金融法	かわた えつ お 川 田 悦 男	法 A 3・4 選 12以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

わが国の金融界は、金融のグローバル化、自由化という大きな流れのなかで、不良債権問題などバブル後遺症からの早期脱却と、21世紀の生き残りをかけた業務戦略の再構築を図るという、相反する重要な経営課題に直面している。

これを利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではない。

本講義は、このような認識のもとで、われわれ一般市民として、また将来の企業人・金融人として必要な金融取引に関する法律知識と諸問題について、できるだけ実社会の生きものとして学ぶことを狙いとしており、実学の楽しさも学びとっていただきたいと考えている。

講義の内容・ 授業スケジュール

金融法はまだ新しい科目分野であるが、その対象領域はかなり広く関係する法律も多い。本講義では、これらを主に具体的な取引法の観点から学ぶこととし、制定法の規定が現実にはどのように修正されて実際取引に適用されているのか、また、金融環境の変化がどのような新しい法律問題を生じさせているのかなど生きた学問として学習する。

講義内容は次を予定している。詳しくは初回講義の際に資料配布する。

- I 金融法の特徴、わが国の金融制度、金融機関の業務内容
- II 預金取引、為替取引、電子マネー・e取引
- III 手形取引、手形交換と取引停止処分制度
- IV 貸出取引、消費者取引、担保、倒産、相続、差押

成績評価の方法

学年末試験を基本に評価する。

教 科 書

最初の講義のときに話します。

そ の 他

講義形式による。毎回のプリントとサブテキスト配布、一部ビデオ利用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事執行・保全法	とが 梅 よしお 善 夫	法 A 3・4 選 以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

社会において重要な役割を果たしている民事執行法と民事保全法について講義します。
民事執行法は、権利の事実上の実現手続きです。民事保全法は、将来の権利実現を保全する手続きです。民事執行法、民事保全法の解釈と両法律の基本原則、重要判例についての理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下のような順序と内容で行います。なお、より詳しい年間の予定表は第一回目の講義のときに配付します。

- ① 私法上の権利の実現方法
- ② 強制執行法の改正と民事執行法の成立
- ③ 仮差押え・仮処分の改正と民事保全法の成立
- ④ 民事保全法
- ⑤ 民事執行法総則
- ⑥ 強制執行法総論
- ⑦ 強制執行法各論
- ⑧ 担保権の実行としての競売

履修上の留意点

民事訴訟法を履修しているか、併行して履修する人の履修を希望しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の筆記試験のみによって評価します。

教科書

内田武吉編著『民事執行・保全法要説（第2版）』（成文堂）1999年

参考書等

竹下守夫・伊藤真編『民事執行法判例百選』（有斐閣）1994年
中野貞一郎『民事執行法（新訂四版）』（青林書院）2000年
その他の参考書については、授業の際に必要なに応じてその都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	おくの よしひこ 奥 野 善 彦	法 A 3・4 選 以降入学生/法 B 1 選	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更生会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更生、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人または企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者および債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

その他

前期－講義 後期－ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
知的財産権法	もりおか かずお 盛岡 一夫	法 A 3・4 選 1?以降入学生/法 B:1選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）および著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：特許法・実用新案法
後期：意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『工業所有権法概説－知的財産権法の基礎知識〔第3版〕－』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際取引法	よこやま まきお 横 山 真規雄	法 A 3・4 選 以降入学生/法 B 3・4 選	4

講義のねらい

近年、日本企業の間でも、国際経営を行っていくには、効果的に法的リスク（危険性）の発生を回避することが、決定的意味を持つとの認識が定着している。

たとえ優れた競争力を持っていても、法律問題に対する配慮を怠れば、致命的結果を招くことを、過去の苦い経験から認知するようになったからである。

即ち今後、国際規模の経済活動を行っていくには、「国際社会でも十分に通用する」法律武装を行い、トラブルを未然に防ぐ「予防法学（病気が起こってから治療するのではなく予防に力点を置く姿勢）」の考えを修得することが必要となる。そのためには、「国際取引」に係わる様々な法学理念や法規範について、正確な知識を身に付けることが必須となる。

本講義では、以上のような視点に立脚し、定款上の企業活動が「国際性」を帯びた時、考えるべき様々な法律問題を検討することにした。聴講する学生諸君が法学部に在籍している事実を踏まえ、そこでは経営学の基礎部分にも触れ、「法学と経営学」の融合を目指すことにする。

そこでまず、国際化に向けて企業が踏むべき課題を順次検討していく。更に「国際法務」活動に求められる、民法・商法・憲法・経済法・知的財産権法・民事訴訟法・税法・行政法・国際法等の履修済み科目を、改めて「国際経営法務」上のリスク回避の視点から検討しなおしていくことにする。

その上で国際契約を支える「準拠法」の決定・外国法適用問題等を検討し、更に①取引相手を巡る社会的・法的信用調査、②取引内容の確定問題、③支払手段と運送方法を巡る確定問題、④契約書を巡る法戦略、⑤契約内容の実現と担保方法、⑥準拠法と約定条項との関係、⑦トラブル発生時の処理方法と裁判・調停・仲裁、と言った契約実施プロセス一連における具体的法律問題に検討を進めることにする。

もとより各企業の営業活動は多種多様であって、業種に応じて「取引形態」には大きな違いがある。そこで一般性の高い問題を中心に講義を進め、適宜それぞれの業界での特徴性について紹介することにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は広範囲に及ぶことになるため、前期はノート講義を中心に進めることにする。後期に入ってからは、改めて指示するテキストを使って講義を進める予定であるので注意されたい。テキストに予習内容が記載されている場合には、前の授業までに指示するので、当日は各自予習を行って参加することを求める。

履修上の留意点

国際私法的発想が随所に求められるので、できれば「国際私法」を併せて履修されることが望ましい。

尚、授業進行上、極めて障害が多いことから、授業中の私語・飲食等は当然の事ながら、途中入室・途中退室も認めていない。予めその点を了解の上、誠実な気持ちをもって履修されることを御願いする。

成績評価の方法

学年末試験における評価と出席点とを加味して決定する。

教 科 書

後期の段階で、改めて指示する。

参 考 書 等

その他参照すべき資料については、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財政学	さとなか つねし 里 中 恆 志	法 A 3・4 選	4
		(以降入学生/法B)1選	

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担分配の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の分配、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策の視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用=便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスビルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には関連科目として経済学分野の「経済原論」および「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

財務省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	もりおか 森 岡 仁	法 A 3・4 選 以降入学生 / 法 B 1・4 選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教 科 書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	は ら だ けいいちろう 原 田 啓 一 郎	法 A 3・4 選 以降入学生 / 法 B 1・4 選	4

講義のねらい

社会政策学の成立当初は、労働問題が中心的な研究対象であった。今日では、その研究対象は、社会保障や生活問題にまで拡大をみせている。本講義では、福祉社会における社会政策の課題を雇用・社会保障・住宅について中心に論ずることとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会政策研究の系譜－社会政策総論
- 2 福祉社会における社会政策の考え方－needに基づく社会政策
- 3 所得保障
- 4 保健と医療
- 5 社会福祉
- 6 住宅
- 7 雇用

成績評価の方法

出席はとらない。筆記試験の結果によって原則的に成績判定を行う。

教 科 書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際関係論	みなみやま 南 山	あつし 淳 法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選 以降入学生/法 B 3・4 選	

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際関係に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の時空間に併存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念的な理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地域環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教 科 書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外交史	たかみつ 高 光	よしえ 絵 法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選 以降入学生/法 B 3・4 選	

講義のねらい

外交指導者を中心とする国際関係の主体が、国際政治構造をどのように認識し、いかに対応しようとしたかについて理解を深めるため、日本・アメリカ・イギリスなどの外交文書に接し、一次史料を基礎とした実証研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、外交史という分野の基礎知識を学び、次いで具体的な様相として戦間期をとりあげる。第一次世界大戦は、国際政治構造の変動を広く世界に印象づけたできごとであった。それまでヨーロッパ諸国に限定されていた国際政治の主体が、ヨーロッパ以外の地域へも水平的に拡大しただけでなく、各国における民主化の進展により垂直的にも拡大した。そのことによって国際関係は変容を余儀なくされたのである。戦間期と呼ばれる第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の約20年間において、この国際政治構造の大きな変動を日本・アメリカ・イギリスなどの外交指導者がどのように認識し、それに対応しようとしたかを具体的にみていく。

成績評価の方法

学期末試験および小テストにより評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

授業で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治思想史	こばやし まさとし 小林 正 敏	法 A 3・4 選 以降入学生/法 B 選	4

講義のねらい

古代から現代に至る東洋の社会と西洋の社会の特質を比較し、なぜ「西洋」において多様な政治学説の発生を見るにいたったかという視点を重視する。また思想家の政治観の根底にある人間観、歴史観のもつ意味も併せて考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

プラトン・アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。前期はほぼN. マキアヴェリあたりまで、後期はJ. ボーダン以後になると思われる。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教 科 書

特定のテキストは用いない。

参 考 書 等

参考書、原典等は、講義の必要に応じて紹介していきたい。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読 (英書)	あおの ひろゆき 青 野 博 之	法 A 3・4 選 法 B 3・4 選	4

講義のねらい

英米法総論 (たとえば、判例法、裁判所制度、法曹) または英米私法 (たとえば、契約法、不法行為法) に関する、著書 (の一部) または論文を、受講生とともに読み、後に具体的な判例を読む。これにより、英米法の考え方・知識を学び、日本法のそれと比較する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいにおいて述べた範囲から、受講生と相談して決める。

履修上の留意点

英語、英米法、比較法に関心のある学生は、ぜひ受講してほしい。予習をしたうえでの出席が不可欠である。

成績評価の方法

平常点で成績を評価する。具体的には、発表・質問・解答の回数・内容で決まるが、重要なのは、出席して発表することである。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

講義に際して紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	岡田外司博	法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

合衆国憲法修正第1条が保障する表現の自由に関するリーディング・ケースとされる判決を読むことにより、法律英語（慣れれば必ずしも難かしくない）に親しみながら、英語の読解力をつけることを目標としている。扱う判決としては、New York Times Co. v. Sullivan. 376 U. S. 254（公職者に対する名誉毀損的表現と修正1条の保護）、Miller v. California. 413 U. S. 15（わいせつな表現と修正1条）、Cox Broadcasting Corp. v. Cohn. 420 U. S. 469（犯罪被害者のプライバシーと修正1条）等を予定している。

講義の内容・授業スケジュール

出席者に定められた箇所をその場で日本語として不自然でないように和訳してもらい、こちらで適宜修正ないし補足するという形で進める。文法訳読法により英文の文法的解説も行う。

履修上の留意点

予定された範囲について、最低限単語の意味を調べ、内容を大づかみに把握するという作業を事前にやっておくことを強く期待する。

成績評価の方法

出席と英文和訳の巧拙による評価する。

教科書

判決についてはインターネットを使って入手するので、第1回目ないし第2回目の授業に必ず出席すること。

参考書等

松井茂記『アメリカ憲法入門』（有斐閣）

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	金子昇平	法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構（立法権、行政権、司法権）や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典（和英辞典）は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（独書）	まつむら 松 村 格	法 A 3・4 選	4
		1:以降入学生/法 B 1:1選	

講義のねらい

外書講読の授業は、大学生活のなかで本格的な専門書に親しむことによって真の学問の妙味を味わうことにある。小中高の受験語学では経験できない学問のすばらしさを体験する時間である。この授業では、ドイツ語の原書を読むことによってその体験をする。受講生の語学力に合わせて読み合せていくので心配はない。

講義の内容・
授業スケジュール

教材には、刑法の基本をわかりやすく説明した文献を使用する。

履修上の留意点

何よりも意欲と熱意と関心が肝要である。ドイツ語力を必要とするが、初めてドイツ語に接する学生でも2年間で飛躍的に上達して、大学院にドイツ語で受験して合格していった卒業生が過去数名いた。興味のある専門書を通して語学力をのばすこともできるのである。

成績評価の方法

成績の評価は、毎週の努力度によって行うだけである。試験はしない。

教 科 書

教材は、上記のテーマに関係するものをコピーして渡す。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

授業は、順番に翻訳部分を分担し、問題点を議論していく。原書の読み方は、丁寧に指導するから心配ない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（仏書）	あらか 荒 木 正 孝	法 A 3・4 選	4
		1:以降入学生/法 B 1:1選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに維持・発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国法の思考や事情を学び、わが国の制度をより深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教 科 書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（中国書）	こうりん ひでもと 江 林 英 基	法 A 3・4 選	4
		11以降入学生/法B11選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春笋”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進捗は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造（文型）を説明しながら立法理由と現状状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

江英居著『中国憲法』（大学書林）3,500円、『中華人民共和国法律滙編』（北京人民出版社）

そ の 他

学生への要望：授業中私語禁止。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（スペイン書）	みやち たつろう 宮 地 達 郎	法 A 3・4 選	4
		11以降入学生/法B11選	

講義のねらい

大学生活でのスペイン語の最終学習なので外書をいろいろな角度で講読する。歴史、経済、政治など、新聞や外語で出版されたテキストなどから集めて、その都度講読する。

履修上の留意点

予習復習が望ましい。漠然と教室内でのみテキストを開くだけでは、学習のねらいが達成出来ない。

成績評価の方法

授業態度、出席点、前記/後期のテストで総合判断する。

教 科 書

少人数が予想されるので、その都度テキストを配布し、翌週にそれを使って授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用憲法演習	なかの たつひさ 中野辰久	法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験受験を前提にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は、学部の講義あるいは基礎憲法演習を受講したことを前提に、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の諸論点の理解並びに法解釈における応用力を身につけることを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると次のとおりです。1 基本的人権総論 2 基本的人権の限界（公共の福祉論） 3 精神的自由権を規制する立法の合憲性審査基準 4 経済的自由権を規制する立法の合憲性審査基準 5 社会権を巡る問題 6 法の下の平等 等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、出席が必須と考えます。また、司法試験等の国家試験受験の観点からすると、少なくとも復習は必要と考えます。

成績評価の方法

ゼミ形式で実施しますから、出席とレポートで評価する予定です（変更の可能性あり）。

教科書

芦部信喜著『憲法新版補正版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第4版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。

その他

司法試験等の国家試験への対処についても適宜お話ししていきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用民法演習	つぐない しんあきら うんの 鶴井俊吉・上野雅祥 こばやし 寛 濱中 善彦	法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、初めての試みである）。②法曹家になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、弁護士（3名程度を予定しています）と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用刑法演習	きむらよしたか 木村美隆	法 A 3・4 選	4
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

法律

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代企業論（前期）	さいとうただし 齊藤正	法 A 3・4 選	2
		法 B 3・4 選	

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。

講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス実例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教科書

毎回、授業で講義資料を配付する。

その他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こ 河 野 弘 矩 の ひろのり	法 A 3 選	4

- 講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として債権法を学習対象とする。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。
- 履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。
毎週必ず出席すること。
- 成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。
- 教科書

プリントを用意する予定。
- 参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こ ば や し 小 林 弘 人 の ひろひと	法 A 3 選	4

- 講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。この演習は、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間またはゼミ合宿等で検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場等での活発な発言がとくに望まれる。
後期においては、公務員等の受験志願者の希望もと入れられるようなゼミにしたい。ゼミに必要な文献等はすべて演習初日に指示する。
- 教科書

塩野 宏・原田尚彦著『演習行政法 新版』（有斐閣）1,854円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	し ま は ら 島 原 宏 明 の ひろあき	法 A 3 選	4

- 講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることと同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。
- 講義の内容・授業スケジュール

3年次は、モデル化された事例を材料とし、思考力を養うことに力点を置いて学習を行っていく。4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。
- 履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。
- 成績評価の方法

平常点による。
- 参考書等

開講時に指示する。
- その他

年一回、2泊3日の合宿を行う他、年に2、3回ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。
(政治と共通)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	はやし 林 幸 司	法 A 3 選	4

講義のねらい

討論を通じて、民法上の制度や権利・義務が「受講者自身の日常生活とどのように結びついているか」を理解する力を養成すること。討論の場で、疑問や自己の意見を積極的に発言できる力を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

民法の判例や事例問題を素材として討論しますが、具体的なテーマについては受講者と相談して決定します。年間で6テーマを目標にし、最後に模擬裁判ができればと考えています。

履修上の留意点

とにかく発言しようという前向きの姿勢が重要です。『沈黙は禁!』ということです。また、同じ演習受講者と協調してゼミを成功させようという態度も大切です。自分の担当以外のテーマには関心がないというような態度ではダメです。

成績評価の方法

出席は当然ですが、どれだけ発言したか、毎回のゼミの活性化にどれだけ貢献したかも重要です。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	おおつか 大 塚 桂	法 A 3 選	4

講義のねらい

政治学における基礎的知識の修得をめざします。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治思想・哲学・理論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい!

成績評価の方法

- I 3年次生は、課題レポートの提出によって評価します。
- II 4年次生は、ゼミ論文の提出によって評価します。

教 科 書

M・ヴェーバー (脇圭平訳)『職業としての政治』(岩波文庫) 300円
K・マルクス＝F・エンゲルス (大内兵衛・向坂逸郎訳)『共産党宣言』(岩波文庫) 300円

参 考 書 等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』(成文堂)、同『ラスキとホップハウス』(勁草書房)、同『多元的国家論の展開』(法律文化社)、同『多元的国家論の周辺』(信山社)、同『近代日本の政治学者群像』(勁草書房)。

そ の 他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担(OB会・合宿等)、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	はやかわ よしき 早 川 純 貴	法 A 3 選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成14年度の前期テーマは「補助金と公共事業」である。政府によるいくつかの著名な補助金政策や大規模公共事業について、決定までの背景や経緯、あるいは施行過程を考察し、誰がどのような意図でそれらの決定や施行にかかわり、いかに影響力を行使したのかを解明する。そしてそれぞれの政策の意義と問題点を考えてみたい。

履修上の留意点

平成14年度より当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	まえだ ひであき 前 田 英 昭	法 A 3 選	4

講義のねらい

議会政治研究。

講義の内容・授業スケジュール

議会政治を取り巻く諸問題（選挙、政党、立法過程、政治資金、国会運営と報道など）を取り上げ、外国との比較を横糸とし、歴史を縦糸として学ぶ。

履修上の留意点

出席にルーズな学生は遠慮すること。

成績評価の方法

平常点。

参考書等

前田英昭著『国会と政治改革』日本国憲法・検証③（小学館文庫）

そ の 他

個人の研究発表とグループ・ディスカッションにおいて積極的な勉強方法を学ぶとともに、合宿、コンパで卒後の生き方についてat homeな雰囲気ですり合う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あおのひろゆき 青野博之	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。

履修上の留意点

担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。

演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

その他

議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。
希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとうよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	おうしあん 王 志 安	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書または小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていききたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書

『判例百選国際法』（有斐閣）2001年

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	おおみや たかし 大宮 隆	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	お か だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

この経済法演習では、主に独禁法に関係する事件（審決・判決等）のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期とも、それぞれ約10件（合計約20件）の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決（最初の5件は独禁法以外の事件）を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法（もしくは企業）に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参 考 書 等

その都度コピーを配布するか、または該当文献のコピーを指示する。

そ の 他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。
（政治と共通）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	か ね こ し ょ う へ い 金 子 昇 平	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教 科 書

適宜指示する。

そ の 他

発表者は、レヂュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	北野 かほる	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。
演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	さいとう ひよし 齊 藤 寿	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

この演習は、「憲法」あるいは「行政法」に興味を有する学生と、楽しく・興味深い「公法学」の研究・発表・討論を積極的に行うことを主たる目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、“主要テーマ”を設けながら、具体的事例研究や判例研究等を通して、討究を続け、応用的能力と独創的理論構成の能力を養成したいと思います。

成績評価の方法

ゼミナールでの、出席、発表、ディベート、その他活動等を成績評価の基準とします。

参考書等

授業中に適宜紹介します。
(政治と共通)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	さとう たみお 佐 藤 多美夫	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、刑法理論を体系的に理解し、法的な思考を修得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯（不真正不作為犯）、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、問題点を検討し考察する。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	つるい しゆんきち 鶴井俊吉	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

本演習は、金融を媒介する担保制度に関する問題を検討する。
本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事例を解決するために必要な基本的な原理・原則をいかに関連させて問題を解決するか、問題把握の仕方を特に重視する。

履修上の留意点

ゼミは各自の討論を中心に進めるので、討論に積極的に参加する意欲のある学生を希望する。

成績評価の方法

ゼミでの平常点と、課題に対するレポートで成績評価を行う。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	にし おまむ 西修	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・
授業スケジュール

年度のはじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー、2001年、1,500円＋税）、『日本国憲法はこうして生れた』（中公文庫、2001年、1,143円＋税）『日本国憲法を考える』（文春新書、1999年、690円＋税）など。

その他

授業以外に年2回の地下鉄「駒沢大学」駅までの清掃奉仕、夏と冬（スキー&スノーボード）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。
（政治と共通）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	はらだ けいいちろう	法 A 3 選	4
演習Ⅱ	原 田 啓一郎	法 A 4 選	

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実を即しながら法律学的討論を行える能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

受講生と相談のうえ決定する。

履修上の留意点

ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の成果を含む）

そ の 他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実は何か、②問題点をどのように抽出するか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか、などについて、自分の頭で考えてみるのが求められる。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	ふじもと しげる	法 A 3 選	4
演習Ⅱ	藤 本 茂	法 A 4 選	

講義のねらい

わが国労働法は現在、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより、大きく変わろうとしています。最近の労働保護法領域での法改正や解雇法制、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。また、判例の検討も重要です。このような現代労働法の課題を検討するのが本演習のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自、受講生が関心のあるところから、自ら選択し、勉強し、理解を深めたところで発表し議論をしたいと思えます。特に発表し議論するところに重点を置いています。

夏季には研究合宿を行いません。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、大胆に意見を述べるところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

コンパやゼミ誌作成などのゼミ運営に積極的に関わることも大切です。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など、ゼミへの積極的な姿勢で評価します。

教 科 書

開講時に話しをします。

参 考 書 等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。必要な文献や判例を自分で探し出すことが勉強の第一歩であると思えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まつむら 松 村 格	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい	第1に、刑法総論特に犯罪論の重要問題の理解を各自が討論を重ねることによって深めていくことを目標とする。第2に、各自が自分の興味あるテーマを自分で主体的・積極的に研究することを目標とする。第3に、各自が他人の主張を理解し、自分の主張を論理的に整理して発表できる態度と能力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	新ゼミ生に対しては、集中的に犯罪論の復習をする集中予備ゼミを3月ないし新学期当初に行う。その間に、各自が研究発表したいテーマを考えておき、その後、各自順番に研究発表し、質疑応答を重ねる。夏休み中に統一テーマについて集中討議をする合宿を行なう。
履修上の留意点	刑法総論の基礎知識を十分に理解しておく必要がある。自分なりの刑法の使命観を築き、現実社会との係わりを念頭におきながら、ゼミに参加することを望む。
成績評価の方法	普段の授業における研究の成果と質疑応答の積極性と論理性を判断基礎とする。
教科書	松村外3名著『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
参考書等	ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論』外、随時指示する文献。
その他	ゼミは、毎回積極的に参加して討論することによって最良の見解を模索することに意義があるので、理由のない欠席は許されない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まが 間 渕 清 史	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい	この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。
講義の内容・授業スケジュール	民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。
履修上の留意点	演習参加者は、毎回予習のうえ出席し、主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言することが要請されます。
成績評価の方法	演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無、内容等）に依拠して行います。
教科書	『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円（2001年）
参考書等	鈴木重勝・上田徹一郎／編『基本問題セミナー 民事訴訟法』（一粒社）3,500円（1998年） 『民事訴訟法の争点（第3版）』（有斐閣）2,476円（1998年）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やまぐちくにお 山口邦夫	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論および刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考える。
 第Ⅰ期（4・5月）総論の中心、罪刑の法定と犯罪不成立の事由について。
 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任と少年事件におけるいわゆる保護処分について。
 第Ⅲ期（9・10月）個人法益のうち、生命・身体に対する侵害罪と財産罪の諸問題を中心に。
 第Ⅳ期（11月・12月）社会法益のうち、特に性犯罪の問題とセクハラとの関連など。

履修上の留意点

毎時間、出席し討論に積極的に参加できる態度が望ましいだけでなく、年4回ぐらい発表が義務づけられているので、発表する能力も必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と異なり試験はない。毎回の発表の際のレジメの作成およびその発表内容、さらに他の人の発表に対して討論する時の発言内容および討論の仕方など、総合して評価する。したがって、一ケ間、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものと、判例を解説した書物が参考になるが、毎時間、資料については注意をするので、あらかじめ指定する書物はない。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やまだやすひこ 山田泰彦	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌（昇山会誌一最新号は、5号です）を刊行します。

履修上の留意点

ゼミに積極的に参加してください。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）1,900円
 奥島・中島編『商法演習Ⅰ（第3版）』（成文堂）2,800円

その他

ゼミは、3人一組で班を構成し、レポーターの班と、質問班を中心にゼミをすすめます。ゼミは、良い友人、先輩、後輩との出会いの場でもありますので、勉強や課外活動を通して活発な充実したゼミにしたいと思います。2年に1度、ゼミのOB会を開きますが、平成14年度は、OB会の日です。在ゼミ生の皆さんにはお手伝いをお願いすることにもなります。

なお、ゼミ生の募集は、新3年生です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あいだとしひこ 相田敏彦	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。
 テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。
 パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。ワード・エクセルの使用に向けてのゼロからの訓練、ブラインド・タッチの習得などを、当ゼミではすでに行っている。
 メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。
 合宿やふだんの授業で友人との親しさが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高めくゆったり・楽しく・着実に進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。
 当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

成績評価の方法

ふだん点。

その他

平成15年度のゼミは行なわない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	しおいり 塩入みほも	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

行政法上の諸問題をとり上げ、演習を行う。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていく。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てる。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われるが、それ以外の者でも無論履修可能である。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行う。

教科書

未定。

参考書等

初回授業の際に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	しゅとうもとこ 首藤素子	法 A 4 選	4

講義のねらい

中心テーマとしてグローバル化が国家の機能や国際社会にもたらす意義と影響を、さまざまな事例をもとに考察し、議論する。それ以外の個別の事例研究や歴史研究も、ゼミのテーマとして随時取り入れるようにする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	たけはな みつ のり 竹 花 光 範	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個人研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

そ の 他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。
(政治と共通)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	こう の ひろ のり 河 野 弘 矩	法 A 4 選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として債権法を学習対象とする。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。
毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	こばやし ひろひと 小 林 弘 人	法 A 4 選	4

講義のねらい

この演習は4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域におよぶ。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間または合宿等で発表を求め、できれば論集「礎」（すでに第6号まで発行されている）に「論文」として掲載できるようにものに仕上げたい。なお、前期においては要望があれば、各種試験のための「技術指導」を行うことも可能である。
演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

総合的に評価する。

教科書

塩野 宏・原田尚彦著『演習行政法 新版』（有斐閣）1,854円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	しまばら ひろあき 島 原 宏 明	法 A 4 選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次は、モデル化された事例を材料とし、思考力を養うことに重点を置いて学習を行っていく。4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年一回、2泊3日の合宿を行う他、年に2、3回ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。
(政治と共通)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	せきぐち まさお 関 口 雅 夫	法 A 4 選	4

講義のねらい

本年度は、航空運送人の損害賠償責任を、下記のテーマを中心に研究します。

1. 航空運送契約上の責任。
 2. 地上損害に対する責任。
 3. 騒音に対する責任。
 4. 空中衝突に対する責任。
 5. その他、航空機の運行から生ずる責任。
- 興味のある方は、ふるって参加してください。

教 科 書

『国際航空運送人の責任制度』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	たけなか ちか 竹 中 智 香	法 A 4 選	4

講義のねらい

本演習では、民法のうちとくに親族法・相続法の領域を中心に、具体的な最高裁判例に関する検討を通して、民法の基本的な知識や解釈論の方法を身につけることを目指す。とくに最近の最高裁判例を取り上げたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

報告者（参加者の人数より一名または数名のグループ）は、担当する判決に関するあらゆる資料、すなわち判例集に搭載されている判決文、判例評釈、その他の関連する資料を読んだ上で報告をする。さらに、この報告をもとに他の参加者が質問をしながら、議論を進めていくこととする。

教 科 書

久貴忠彦・米倉明編 『家族法判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	はやし 林 幸 司	法 A 4 選	4

講義のねらい

討論を通じて、民法上の制度や権利・義務が「受講者自身の日常生活とどのように結びついているか」を理解する力を養成すること。討論の場で、疑問や自己の意見を積極的に発言できる力を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

民法の判例や事例問題を素材として討論しますが、具体的なテーマについては受講者と相談して決定します。年間で6テーマを目標にし、最後に模擬裁判ができればと考えています。

履修上の留意点

とにかく発言しようという前向きの姿勢が重要です。『沈黙は禁!』ということです。また、同じ演習受講者と協調してゼミを成功させようという態度も大切です。自分の担当以外のテーマには関心がないというような態度ではダメです。

成績評価の方法

出席は当然ですが、どれだけ発言したか、毎回のゼミの活性化にどれだけ貢献したかも重要です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	まえだ ひであき 前 田 英 昭	法 A 4 選	4

講義のねらい

議会政治研究。

講義の内容・授業スケジュール

議会政治を取り巻く諸問題（選挙、政党、立法過程、政治資金、国会運営と報道など）を取り上げ、外国との比較を横糸とし、歴史を縦糸として学ぶ。

履修上の留意点

出席にルーズな学生は遠慮すること。

成績評価の方法

平常点。

参 考 書 等

前田英昭著『国会と政治改革』日本国憲法・検証③（小学館文庫）

そ の 他

個人の研究発表とグループ・ディスカッションにおいて積極的な勉強方法を学ぶとともに、合宿、コンパで卒後の生き方についてat homeな雰囲気でも語り合う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あらきまさたか 荒木正孝	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法などの講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法と手形・小切手法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。夏期と冬期（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

鴻・落合・江頭・岩原編『会社判例百選』（6版）（有斐閣）、鴻・竹内・江頭・岩原・山下編『手形小切手判例百選』（5版）（有斐閣）

参考書等

奥島孝康・中島史雄編『商法演習Ⅰ〔会社法〕』（3版）（成文堂）

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	おぎそりょう 小木曾綾	法 A 3 選	4
演習Ⅱ		法 A 4 選	

講義のねらい

刑事手続に関する諸問題について参加者が深く考察する事を通じて、広く社会問題について論理的に思考し、対話する能力を養うことを目的とする。そのため、関連資料を収集し、それを分析したうえ、自らの考えをまとめ、それを相手に判りやすく口頭および文章にして伝える訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

参加者が選択するテーマについての論文（200字×30枚程度）作成を最終的課題とし、3年次は口頭報告とそれについての討論により構想を練り、4年次は論文の作成にあてる。報告者とそれへの質問者を毎回指定し、演習時間内の対話を重視する。

履修上の留意点

法律に関わる職業に就こうとする学生の参加を期待する。

成績評価の方法

原則的に演習への毎回参加、3年次の口頭報告、4年次の論文作成を単位取得の条件とする。

その他

演習時間内のビデオ視聴および、刑事施設等の見学により、実務の運用を知る機会をもつことも予定している。演習内容につきさらに知りたいときは事前連絡のうえ(ogiso@komazawa-u.ac.jp)研究室2834)を訪ねることを勧める。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

2 政 治 学 科

(2) 政治学科

政治学概論	〈浦田早苗〉	363
政治学概論	〈小林正敏〉	363
政治学概論	〈前田英昭〉	364
憲法論	〈竹花光範〉	365
政治学原論	〈大塚桂〉	366
日本政治論	〈上條末夫〉	367
東南アジア政治論	〈休講〉	
中東政治論	〈中島勇〉	368
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野裕二〉	369
ヨーロッパ政治論(2)	〈小林正敏〉	370
アメリカ政治論	〈小堀訓男〉	370
中南米政治論	〈岸川毅〉	371
中国政治論	〈竹花光範〉	371
政治制度論	〈前田英昭〉	372
国際政治学	〈小堀訓男〉	373
マス・コミュニケーション論	〈相田敏彦〉	373
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	374
政治過程論	〈早川純貴〉	374
日本政治史	〈根本敬彦〉	375
行政法総論	〈塩入みほも〉	375
国際法	〈齋藤洋〉	376
外交史	〈田丸大〉	376
外交史	〈高光佳絵〉	377
政治社会学	〈中野裕二〉	378
政治思想史	〈小林正敏〉	379
現代政治理論	〈井戸正伸〉	379
政治心理学	〈富崎隆〉	380
投票行動論	〈富崎隆〉	381
環境政策	〈横田匡紀〉	382
行政法各論	〈塩入みほも〉	383
地方自治法	〈富井幸雄〉	383
国際関係論	〈南山淳〉	384
比較政治学	〈三竹直哉〉	385
国家安全保障論	〈小堀訓男〉	386
外交政策論	〈休講〉	
地方行政	〈吉田民雄〉	387
国際行政学	〈福田耕治〉	388
国際組織論	〈山村恒雄〉	388
情報社会論	〈相田敏彦〉	389
議会関係法	〈前田英昭〉	390
立法過程論	〈休講〉	
行政策決定論	〈休講〉	
現代国家論	〈大塚桂〉	391
基礎演習	〈相田敏彦〉	391
基礎演習	〈浦田早苗〉	392
基礎演習	〈小林正敏〉	392
基礎演習	〈小堀訓男〉	393

基	礎	演	習	〈塩	入	みほも〉	393
基	礎	演	習	〈中	野	裕 二	394
基	礎	演	習	〈早	川	純 貴	394
基	礎	演	習	〈前	田	英 昭	395
基	礎	演	習	〈三	竹	直 哉	395
社	会	学	理	〈渡	辺	源 樹	396
比	較	社	論	〈三	竹	直 哉	397
財	政	政	学	〈里	中	恆 志	398
国	際	経	学	〈德	永	野 俊	399
経	済	原	論	〈浅	野	克 巳	400
日	本	法	史	〈茂	野	隆 晴	401
西	洋	法	史	〈北	野	かほる	402
経	済	政	策	〈森	岡	仁	403
社	会	政	策	〈原	田	啓一郎	403
比	較	政	法	〈齐	藤	寿	404
刑		憲	法	〈佐	藤	多美夫	405
民	法	(総則・物権法)	法	〈大	宮	隆	405
英	米	社	法	〈北	野	かほる	406
会	社	法	法	〈荒	木	正 孝	407
労	働	法	法	〈藤	本	茂	408
経	済	法	法	〈岡	田	外司博	409
時	事	英	語	〈南	山	淳	409
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英書)	〈相	田 敏 彦	410
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英書)	〈田	丸 大	410
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英書)	〈富	崎 隆	410
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (英書)	〈三	竹 直 哉	411
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (独書)	〈早	川 純 貴	411
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (仏書)	〈荒	木 正 孝	412
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (中国書)	〈江	林 英 基	412
外	書	講	読	Ⅰ・Ⅱ (スペイン書)	〈宮	地 達 郎	413
現	代	企	業	論	〈齊	藤 正	413
演	習	習	Ⅰ	〈浦	田 早 苗	414	
演	習	習	Ⅰ	〈早	川 純 貴	414	
演	習	習	Ⅰ	〈前	田 英 昭	415	
演	習	習	Ⅰ	〈鳥	原 宏 明	415	
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈相	田 敏 彦	416
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈井	戸 正 伸	416
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈大	塚 桂	417
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈小	林 正 敏	417
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈塩	入 みほも	418
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈田	丸 大	418
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈竹	花 光 範	419
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈富	崎 隆	419
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈中	野 裕 二	420
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈三	竹 直 哉	420
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈岡	田 外司博	421
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈齐	藤 寿	421
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈西	口 修	422
演	習	Ⅰ	・	Ⅱ	〈山	口 邦 夫	422

演
演
演
演

習
習
習
習

Ⅱ 〈浦 田 早 苗〉	423
Ⅱ 〈首 藤 素 子〉	423
Ⅱ 〈早 川 純 貴〉	423
Ⅱ 〈前 田 英 昭〉	424
Ⅱ 〈鳥 原 宏 明〉	424

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学概論	う ら た さ な え 浦 田 早 苗	政 治 1 必	4

講義のねらい

21世紀が幕を開け、世界は更なる高度産業化時代を迎えた。産業・技術の進歩はこれまでにない早さで社会の変質をもたらし、そのため国家や政党、制度や組織、国民や民族といった概念の再検討が迫られている。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、政治のあり方自体にも変更が求められている。本講座は激動の現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎知識を概説し、併せて政治学の専門分野への導入をはかるものである。政治と政治学の基礎用語の解説、及び政治の理論、機構、過程を考察していくが、政治的視野の拡大のため適宜時事問題も取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

○現代日本の政治システムとその問題点 ○官僚と天下り ○日本社会の特異性 ○自由・権利・公共 ○政治参加と市民意識 ○第二次大戦後の国際政治の軌跡 ○西欧の政治制度

履修上の留意点

新聞、テレビ報道などで日本及び世界で今現在起きているニュースに常に目を向けること。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト(簡単な政治評論)は出席点代りとして学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する(ノートの持ちこみは不可)。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学概論	こ ぼ や し ま さ と し 小 林 正 敏	政 治 1 必	4

講義のねらい

本講座は、1年次生の「政治学入門」のために設けられているものである。したがって、政治学がいかなる学問であるかを理解するとともに、専門的な政治の領域を学ぶ上で必要とされる基礎的知識を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

この講座は、基礎的、一般的であると同時に、選挙制度、政治思想、民主政治論、国際機構などにも論及し、今後、政治学原論等の専門科目を学ぶためのステップとして役立つようにしたい。講義に際しては、随時、カレントな問題をも取りあげて、理論と現実との融合をはかるように努めたい。

成績評価の方法

学年末試験の成績、出席状況などを中心に評価する。

教科書

小林正敏他著『政治学講義』(成文堂)

参考書等

開講後に必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学概論	<small>まえだ ひであき</small> 前 田 英 昭	政 治 1 必	4

講義のねらい

政治学とは一体どのような学問でしょうか。この1年次の政治学の基礎としての「政治学概論」では、政治学のおもしろさがわかるように、具体的な例をあげつつ、政治学についてわかりやすく説明していきます。

政治学についてはいろいろな誤解や間違ったイメージがあります。誰でもが語る1億総評論家のような「床屋談義」としての政治学などは、それなりのわかりやすさと、おもしろさがありますが、本来の意味の政治学ではありません。この講義では、政治学を学問的に学ぶ際の入門として位置づけます。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では以下の順序で行う予定であり、関連する時事問題を加える。

1 主権者としての国民、2 選挙制度の種類と問題、3 政治とテレビ、4 国会の役割、5 内閣総理大臣とその他の大臣、6 議院内閣制と大統領制、7 政党政治、8 官僚と政治、9 政治と金、10 政治改革、11 参議院問題、12 国会の歴史、13 外国の議会政治（イギリス、アメリカ、フランス、ドイツ）、14 情報公開、15 規制緩和。その他、ビデオによる授業。

履修上の留意点

必ず出席して受講すること。

成績評価の方法

中間テスト、期末テストと平常点の総合点で成績を評価する。

参 考 書 等

参考書は、講義の際に紹介するが、担当者の著書に以下のものがある。『国会と政治改革』『イギリスの上院改革』『政治腐敗防止法を考える』『エピソードで綴る国会の百年』『国会の立法活動』など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲法	たけはな みつ のり 竹 花 光 範	政 治 Ⅰ 必	4

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなるものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の主な内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいのか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐる争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいのかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題をとり上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤まりは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

竹花光範著『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300円

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心を持ち、憲法問題を積極的に考えていくやすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学原論	おおつか 大塚 かつら 桂	政治 2 必	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

講義の内容・ 授業スケジュール

政 治

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教 科 書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参 考 書 等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

そ の 他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本政治論	かみじょう すえお 上 條 末 夫	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

政治の理論を学ぶためには、その実態を知ることが不可欠である。また、各国の政治事情を理解するためには、まず自国の政治事情を把握していなければならないことは理の当然である。

本講義においては、現代の日本の政治の実態を明らかにすることをねらいとする。そのため、まず大衆社会化が始まった大正時代中期から第1次世界大戦（太平洋戦争）終了までの政治の流れを概観する。次いで、戦後政治の特徴を時系列的に分析し、体系的に日本的民主政治の実態を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 大衆社会の発生から政党政治の崩壊まで（4月～5月）
 - ① 大衆社会化と護憲運動
 - ② 普通選挙の実現
 - ③ 政党政治の問題点
 - ④ 軍部の台頭と戦争
 - ⑤ 政党の解消と翼賛体制
2. 新政治原理の移入と独立の回復（6月）
 - ① 占領の意味と戦前日本の否定
 - ② 憲法改正と国民主権
 - ③ アメリカナイズと講和問題
 - ④ 保守党優位と官僚政治の萌芽
3. 自民党の長期政権の基盤形成（7月）
 - ① 労働組合と社会主義政党
 - ② 政党の再編と「55年体制」
 - ③ 安保改定と革新勢力の挫折
4. 外交問題の処理と「戦後」の精算（9月）
 - ① 経済成長と都市化の影響
 - ② 日韓問題の処理
 - ③ 沖縄返還と佐藤内閣
5. 内政問題への傾斜と「田中支配」（10月）
 - ① 田中内閣の誕生と日中国交正常化
 - ② 金権政治と政治腐敗
 - ③ 与野党接近と連合政権構想
 - ④ 野党の多党化
6. 「飽食の時代」の政治意識（11月）
 - ① 「都市の保守化」と「農村の革新化」
 - ② 政治関心の低下と野党の無力化
 - ③ ガバナビリティの低下と政治不満
 - ④ 政治の「ゲーム化」と「数の論理」
7. 政治改革と政界再編成（12月～1月）
 - ① 政治改革と選挙制度の改正
 - ② 政界再編成と政党の曖昧化
 - ③ 連立政権の功罪
 - ④ 新選挙制度と行政改革

政
治

成績評価の方法

定期試験の成績およびレポートなどによって評価する。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

瀧澤中著『政治のニュースが面白いほどわかる本』（中経出版）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中東政治論	なかしま いさむ 中 島 勇	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

中東の現代政治を中心に講義を行う。中東の政治状況を理解し、中東関係の報道をより広い視野で見られるようにする。また中東世界を知ること、日本、欧米に対する別の新しい視座を提供することも講義の目的。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、中東地域についての入門編の講座となる。中東は、地域概念として一つに扱われるが、個々の国や紛争の歴史的背景や政治状況は多種多様である。講義では、開講中に中東で発生するさまざまな事件について解説しつつ、個々の国や紛争の政治状況や歴史的背景について体系的にふれる。中東和平交渉、イラクに対する国連の経済制裁など中東での長期紛争、中東各国の独自の事情については個別にふれる。また中東は地域による違いが大きい。北アフリカ、東地中海、アラビア半島、トルコ、イラン、アフガンなどの地域別の歴史にふれる。ユダヤ教、キリスト教、イスラムなど宗教についても扱う。中東の事件は、国際的にも大きな影響を与えるため、中東と日本、欧米との関係も扱う。また文明史的に、中東と西洋は複雑な関係にあり、その複雑さが現在の中東と欧米の政治関係にも反映しているため、この側面にもふれる。

履修上の留意点

受講者は、海外ニュースを日常的に見ていることが望ましい。必要に応じてニュース報道も教材に使う。日本語資料が主体であるが、必要であれば英文資料も扱う。受講生がインターネットを使える状況であれば、中東関係のサイトを利用する。参考書は講義の中で紹介する。

成績評価の方法

成績評価は、レポートで行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治論（1）	なかの ゆうじ 中野 裕二	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義は西ヨーロッパ諸国の政治に焦点を当てる。西ヨーロッパの国々を全て網羅することは不可能であるので、平成14(2002)年度はイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、そしてEUを扱うこととする。各国の政治機構をごく簡単に理解した上で、各国政治の特徴と考えられる事象を取り上げ、考察を加え、各国の政治に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の予定で進む。ただし、現実政治や学生の理解度によって内容や進度は変更があり得る。

1. イントロダクション
講義の進め方と成績評価などについての説明
2. イギリス
政治機構
政党政治——サッチャー保守党政権とブレア労働党政権
地方問題——北アイルランド問題
3. フランス
政治機構
移民問題——社会構造と政治の関係
極右政党の台頭——グローバル時代の問題
4. ドイツ
政治機構
連邦制国家の構造——EUのモデル？
選挙制度——人物本位の比例代表制
5. イタリア
政治機構
選挙制度と政党政治
6. スペイン
政治機構
フランコ時代から民主国家へ
地域主義
7. EU
政治機構
統合のプロセス——政府間主義か超国家主義か？
「民主主義の赤字」とサブシディアリティ原則

履修上の留意点

西ヨーロッパの政治に興味のある学生はもちろんのこと、日本の政治に興味のある学生の受講を希望する。講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、常に日本との比較を念頭に置いて講義を聴いて欲しい。

授業中の私語などには厳しく対処する。

成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細両面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

参考書等

山口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度論』（法律文化社）1999年
 川勝平太・三好陽編『イギリスの政治』（早稲田大学出版部）1999年
 奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』（早稲田大学出版部）1993年
 大西建夫編『ドイツの政治』（早稲田大学出版部）1992年
 馬場康雄・岡沢憲美編『イタリアの政治』（早稲田大学出版部）1999年
 川成洋・奥島孝康編『スペインの政治』（早稲田大学出版部）1998年
 大西建夫・中曾根佐織編『EU 制度と機能』（早稲田大学出版部）1995年
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年
 畑山敏夫『フランス極右の新展開』（国際書院）1997年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（２）	こばやし まさとし 小林 正 敏	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義は、ヨーロッパのなかでも東欧—つまり旧ソ連圏、旧ワルシャワ条約機構加盟諸国の政治、社会と国際関係を対象とするものである。この地域の政治の現状を主たるテーマとするが、歴史的経緯や対日関係をも視野に入れて講義を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1989年以來の大変革によって、政治的概念としての「東欧」は変容した。各国は多様な道をたどっているが、今年度は混迷のなかにある「大國・ロシア」を中心に論述する予定である。

履修上の留意点

カレントな問題も少なくないので、東欧、ロシアなどに関する新聞、雑誌の報道、論評、解説等には注意して目を通すことを希望したい。

成績評価の方法

期末試験ばかりでなく、年間1～2回のレポート（書評などを含む）も参考にして成績の評価を行う。

教 科 書

特定のテキストは用いない。

参 考 書 等

参考書、雑誌論文など、講義のなかで指示する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ政治論	こぼりのりお 小 堀 訓 男	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

本講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、最初にアメリカ史と合衆国憲法を概観する。つまり、アメリカという国家の成立過程を、ヨーロッパ近代革命の枠組みのなかでとらえ、国家の成立過程と合衆国憲法を考えることにより、アメリカという国家の特殊性を考察する。

第二に、アメリカ政治の大きな転換期であるニューディール体制をとりあげ、ニューディール体制前のアメリカと、体制後のアメリカの政治が、どのように変化したのか、また、それ以後のアメリカ政治に、どのような影響を与えたのかを考える。殊に、フーバー大統領とルーズベルト大統領の内政の比較をしながら見ていく。

第三に、トルーマン大統領の内政と外交を冷戦構造の開始との関係で見ながら、米ソのイデオロギ一的対立のもとで、アメリカ政治がどのように変化し、展開していったかを考える。

第四に冷戦構造のもとでの、歴代大統領の内政・外交政策を見る。内政では、60年代の社会変動と人種差別問題、70年代の女性の社会進出を中心に、アメリカ社会の変化を考察する。外交では、ベトナム戦争がアメリカ政治をどのように変質させたかを考える。

第五として、冷戦終結後のアメリカの内政と外交を考える。レーガン、ブッシュ、クリントン各大統領の内政と外交を概観し、ソ連邦崩壊後のアメリカ政治の変化と世界政治の変化を考察する。

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交政策については、受講生も研究発表をおこない、全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

研究発表30%、定期試験70%で評価。

教 科 書

授業中に指示する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中南米政治論	きしかわ たけし 岸 川 毅	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

現代中南米の政治体制の基本的性格を比較政治学的視点から検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、中南米地域の政治史を概観するなかで、その政治的伝統（軍の政治介入、個人独裁、寡頭支配、恩顧関係、中央集権、教会の影響力など）が、様々な形の権威主義体制の形成をもたらす過程をみるとともに、20世紀に加わった要素（社会主義、ゲリラ闘争、テロリズム、麻薬など）が伝統的政治過程にいかなる形で組み込まれてきたかを解説する。後期は、権威主義体制の民主化に焦点を当てる。中南米諸国が民主主義体制に「移行」し、またその「定着」を目指すなかで、どのような課題に直面しているかを、事例に則しつつ、実証的・比較論的に分析していく。

履修上の留意点

積極的参加・質問を期待する。

成績評価の方法

期末試験（論述式）。

教科書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ：政治と社会』（新評論）1993年 3,296円

参考書等

講義のなかで紹介する。

その他

講義が中心となるが、ビデオ教材も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国政治論	たけはな みつのり 竹 花 光 範	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容は、中国の政治制度と政治事情の変遷（辛亥革命以後、最近に至るまで）が中心になるが、とくに（新中国建国後は）、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する予定である。もちろん、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範著『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治制度論	まえだ ひであき 前 田 英 昭	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

講義では、政治制度のうち特に議会制度を中心に取り上げ、憲法上の議会制度に関する諸規定を前提にして、その背後にある議会運営の慣習とか原則や、それを動かすアクターを学び、その上で、多様に展開される議会政治の現実の生きた姿を理解することに力を置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、イギリスの議会政治を学び、次いでそれをモデルにして生まれた各国の議会制度・政治を学び、それらを比較研究しながら、後期には、前期で得た知識をもとに、我が国の議会制度の特色と議会政治の実態を学び、併せて、今日、我が国において当面する議会政治の諸問題を取り上げ、それについての正しい見方を学び、改革の方途を考える。ビデオも利用する。
〔取り上げるテーマ〕

イギリス議会政治の発生・発展・現状、米・独・仏の議会政治の現状と特色、憲法と議会制度、政党政治、意思決定方法、選挙制度（小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、多数代表・少数代表）、金権政治と政治倫理、二院制、代表民主主義と国民投票制、開かれた国会、政治資金、政党への公的助成、政権交代論、立法過程、国政調査と証人喚問、政治改革、国会と地方議会、政治腐敗、戦争と議会、その他（順不同）。

履修上の留意点

履修の仕方、単位取得方法については開講時に指示する。
できるだけ出席して、講義内容を正確に理解するとともに、周辺の時事問題にも耳を傾けて視野を広げることが望ましい。

成績評価の方法

中間試験レポート、期末筆記試験。

教 科 書

前田英昭『現代政治制度』（高文堂出版社）2,600円

参 考 書 等

ラスキ（前田英昭訳）『イギリスの議会政治』（日本評論社）
前田英昭『イギリス議会政治の研究』（溪林出版社）
同 『世界の議会・イギリス編』（ぎょうせい）
同 『国会と政治改革』（小学館文庫）
同 『エピソードで綴る国会の100年』（原書房）
同 『政治腐敗防止法を考える』（信山社）
バジヨット『イギリスの議会政治』（中央公論社『世界の名著』60）
堀江 湛『国会改革の政治学』（PHP研究所）
藤本一美『世界の議会改革』（東信堂）
田口富久治、中谷義和『比較政治制度論』（法律文化社）
佐藤 功『比較政治制度』（東京大学出版会）
辻 清明監修『世界の議会』（全12巻）（ぎょうせい）
坪郷 実『統一ドイツのゆくえ』（岩波新書）
平島健司『ドイツ現代政治』（東京大学出版会）
奥島孝康、中村紘一『フランスの政治』（早稲田大学出版部）
桜井陽二『フランス政治体制論』（芦書房）
デュヴェルジュ（時本義昭訳）『フランス憲法史』（みすず書房）
阿部 斎『アメリカの政治』（弘文堂）
日本国際交流センター『アメリカの議会・日本の国会』（サイマル出版会）
前田英昭『国会の立法活動』（信山社）
中村睦男『議員立法の研究』（信山社）
比較立法過程研究会『議会における立法過程の比較法的研究』（勤草書房）
GHQ正史（前田英昭訳）『国会の民主的改革』（日本図書センター）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	あいたとしひこ 相田敏彦	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感といってよいと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方見方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。

この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：「カメラはウソをつかない」か。

新聞記者の「ペンがウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれるのかどうか。

(1) 原理的検討

記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。

(2) 具体的検討

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐって。

(1) ニュースによる‘よびかけ’

私達はニュースによって‘よびかけ’られて、気がつかないうちに‘国民’や‘消費者’に仕立てられます。このことを具体的にかつ理論的に追求します。

(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ

‘現実性効果’、‘埋めこまれた前提’について、構造主義の方法を参考に検討します。

(3) メディアと権力

権力についての新しいとらえ方を学びます。

(4) ドラマの視聴者への影響

テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

U. エーコ『記号論』I、II、(岩波書店)
児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うらた さなえ 浦田 早苗	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくるとは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程 ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義 ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート—7～8×400字—は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治過程論	はやかわ よしき 早川 純貴	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

平成14年度は「現代日本の政治過程」をテーマに、日本の政治システムの特徴と変化を具体的な事例に拠りながら論じる。政党や利益団体、官僚政治に関する理論にも詳しく触れてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 政治過程について
- 1955年から70年代の日本政治概観
 - 1) 防衛・安全保障政策をめぐるイデオロギー対立
 - 2) 55年体制の特質
 - 3) 福祉国家の形成と石油危機
 理論研究：政党について—応用事例研究：自民党・社会党・公明党
 - 80年代の日本政治
 - 1) 民営化と規制緩和／経済構造の変化
 - 2) 政策形成の変容と「族」議員の登場—1党優位政党システムの確立
 80年代の政策研究 ①国鉄の分割・民営化 ②消費税導入をめぐる政治過程
 理論研究：利益団体について—応用事例研究：農協・労組・経済団体
 - 90年代の日本政治
 - 1) 冷戦構造の崩壊と日本外交
 - 2) 自民党政権の崩壊と政界再編
 90年代政策研究 ①選挙制度改革 ②住専処理と大蔵省
 理論研究：官僚政治について—応用事例研究：大蔵省（現・財務省）と予算編成
 成績は中間試験と定期試験の結果をもとに判定する。

成績評価の方法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本政治史	ね も と た か ひ こ 根 本 敬 彦	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

政治史は政治権力に関する歴史的分析を目的としており、本講の対象とする期間は、日本の幕末維新から昭和戦前期までです。人物を中心に考察をすすめ、受験勉強で学んだ日本史とは一味違う講義を心掛けるつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

- 序 章 西洋の衝撃
- 第1章 幕藩体制の崩壊（伊達宗城）
- 第2章 開国和親の揺籃期（中井弘）
- 第3章 明治立憲制の形成（伊藤博文）
- 第4章 政府批判勢力の台頭（小松原英太郎）
- 第5章 議会政治の展開（大隈重信）
- 第6章 司法の近代化と官僚閥（横田国臣）
- 第7章 政党内閣の成立（原敬）
- 第8章 植民地経営と政治腐敗（古賀廉造）
- 第9章 政党政治への興亡（犬養毅）
- 第10章 軍部独裁への予兆（森恪）
- 第11章 日米戦争への道（近衛文麿）
- 第12章 日米戦争の開戦（大川周明）
- 第13章 帝国の崩壊と復活（岸信介）

履修上の留意点

履修にあたっては、特に日本史の知識を必要としないが、歴史に関心のある学生の受講を希望する。

成績評価の方法

試験は後期のみ1回。夏休みにレポート。出欠調査は随時行う。

教 科 書

拙著『列伝 日本近代史』（朝日選書） 2000年

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法総論	し お い り 塩 入 み ほ も	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法であり、行政法の基本的な仕組と理論一般について講義を行いません。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なきことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが、当講義の狙いです。

講義の内容・
授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原理解、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——を学び、以上の知識を前提として、最後に、国民の権利救済に関する行政救済法—国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法—の仕組みにつき、講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解かり易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教 科 書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参 考 書 等

最初の講義の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際法	さいとう 藤 洋 齋 藤 洋	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義は一年を通して国際法の基礎知識を習得することを目的とします。国際社会も人間が作り出した存在ですから、人間の持っている概念や思想に基づいて建設されています。社会は自分が生まれたときから死ぬまで永久に同じでありつづけることはなく、その時代に生きた人々の考えによって、大きく変わるものです。現代国際社会はどのような考えを土台としているのか、その上にどのようなルールが作り上げられているのか、といった点を中心に講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

講義はテキストの目次に示されている順序で行います。特に前期は国際社会の大枠および国家に関する事項、後期は人的・地的管轄権や国際組織などが中心となります。

履修上の留意点

国際社会の出来事を日常生活の中で直接実感するのは難しいです。それゆえに履修者は、新聞の国際面を毎日読み、意識的かつ強引に自分自身で想像力を働かせて、講義内容と自分の知識をつなぎ合わせる努力をしてください。そうすると面白くなります。

成績評価の方法

成績は、年度末の定期試験で決定します。定期試験に持込が許されるのは、①指定されたテキスト、②授業中に配布したプリント、③自筆のノート（コピーは不可）だけです。

教 科 書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2002』（新有堂）予価2,000円＋税

参 考 書 等

特に指定しませんが、市販されているいずれかの国際法の教科書およびいずれかの条約集があれば好ましいです。

そ の 他

授業は、講義方式で行います。可能な限り一話完結型にするつもりですが、2～3回かかってしまうこともあります。板書の代わりにテキストを用いますので、必ずテキストを持参してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政学	た ま る だ い 田 丸 大	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や発泡酒の税率引上げ問題、自治体（地方）レベルでは市町村合併や住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これら行政現象に流れる行政の活動論理を探ることが行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の性質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュール等詳細は講義後に知らせる）。

1 官僚制、2 議員内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革等。

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教 科 書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

参 考 書 等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外交史	たかみつ よしえ 高光 佳 絵	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

外交指導者を中心とする国際関係の主体が、国際政治構造をどのように認識し、いかに対応しようとしたかについて理解を深めるため、日本・アメリカ・イギリスなどの外交文書に接し、一次史料を基礎とした実証研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、外交史という分野の基礎知識を学び、次いで具体的な様相として戦間期をとりあげる。第一次世界大戦は、国際政治構造の変動を広く世界に印象づけたできごとであった。それまでヨーロッパ諸国に限定されていた国際政治の主体が、ヨーロッパ以外の地域へも水平的に拡大しただけでなく、各国における民主化の進展により垂直的にも拡大した。そのことによって国際関係は変容を余儀なくされたのである。戦間期と呼ばれる第一次世界大戦と第二次世界大戦の間の約20年間において、この国際政治構造の大きな変動を日本・アメリカ・イギリスなどの外交指導者がどのように認識し、それに対応しようとしたかを具体的にみていく。

成績評価の方法

学期末試験および小テストにより評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業で随時紹介する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治社会学	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

本講義は政治学的发展段階で目指された「科学化」をキーワードとする。政治学の「科学化」にとって重要な理論家やその理論を考察することで、現代政治学の方法がいかに形成されてきたかを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は次のような構成となる。ただし、他の講義科目の内容および受講学生の理解度によって、内容と進度は変更がありえる。

イントロダクション…政治社会学について

第1部 政治社会学の歴史

第1章 19世紀以前の政治社会学

1. アリストテレス
2. マキャベリ
3. モンテスキュー

第2章 19世紀以降の社会学

1. トクヴィル
2. マルクス
3. コント
4. デュルケーム
5. ヴェーバー

第3章 20世紀の政治社会学

1. 政治科学のルネサンス
2. 行動論の時代
3. 行動論の変容

第2部 政治システム

(注：第2部の内容が「現代政治理論」と重複する場合は第2部を省略し、第1部をより詳細に講義することもありえるので注意すること)

第1章 システムの一般理論

第2章 パーソンズ・モデル

1. 行為の一般理論
2. 社会システムと社会
3. 政治的下位システム
4. タルコット・パーソンズの貢献

第3章 イーストン・モデル

1. 環境の中の政治システム
2. インプット-アウトプット分析
3. デビット・イーストンの貢献

履修上の留意点

政治学、広くは社会科学の方法の発展に問題関心を集中させて講義を進めていく。受講学生も「学問としての政治」に興味を抱いてもらいたい。

なお、授業中の私語などには厳しく対処する。

成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細画面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

参考書等

- 石井貫太郎『現代の政治理論』（ミネルヴァ書房）1998年
 山口富久治・中谷義和編『現代の政治理論家たち』（法律文化社）1997年
 砂田一郎・森野祐三編『比較政治学の理論』（東海大学出版会）1990年（第1章）
 福田敏一『政治学史』（東京大学出版会）1985年
 新睦人ほか『社会学のあゆみ』（有斐閣新書）1979年
 新睦人・中野秀一郎編『社会学のあゆみ パートII 新しい社会学の展開』（有斐閣新書）1984
 宮島喬『デュルケム理論と現代』（東京大学出版会）1987年
 大塚久雄『社会科学の方法』（岩波新書）1966年
 N. J. スメルサー『社会科学における比較の方法』（玉川大学出版部）1996年
 白鳥令編『新装版 現代政治学の理論（上）』（早稲田大学出版部）1993年
 白鳥令編『現代政治学の理論（下）』（早稲田大学出版部）1982年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治思想史	こばやし まさとし 小林 正 敏	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

古代から現代に至る東洋的社会と西洋的社会の特質を比較し、なぜ「西洋」において多様な政治学説の発生を見るにいたったかという視点を重視する。また思想家の政治観の根底にある人間観、歴史観のもつ意味も併せて考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

プラトン・アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。前期はほぼN. マキアベリあたりまで、後期はJ. ボーダン以後になると思われる。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教 科 書

特定のテキストは用いない。

参 考 書 等

参考書、原典等は、講義の必要に応じて紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代政治理論	い と まさのぶ 井 戸 正 伸	政治2・3・4選必	4

政
治

講義のねらい

ひとびとが迫害を受けることなく、自由な生活を営むことができるか否か。また、ひとびとが豊かな生活を享受することができるか否か。政治のあり方は、政府の政策への影響を通じて、現実社会のわれわれの生活を大きく左右しています。この講義では、このように重要な役割を果たしている政治について、現代の政治学は、どこまで明らかにしているか、検討することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、現代政治学の主要な理論を学んでいきます。特に、近年、めざましく理論的洗練が進んでいる、新制度論、デモクラシーへの移行・確率論、ソーシャル・キャピタル論、コンセンサス型民主政論、コーポラティズム論、福祉国家の「三つの世界」論など諸理論をとりあげて、各理論が現実の各国の政治を説明することにどれほど成功してきたか、検討していきます。

1. 政治学における理論とは何か
2. 政治制度（議会制と大統領制）
3. 政治と文化
4. 非民主的体制
5. 現代民主政
6. デモクラシーへの移行と確立
7. コーポラティズムと経済運営
8. 福祉国家の発展・再編
9. むすび

履修上の留意点

授業では、教科書の内容についてより詳しい説明を行うと同時に、教科書で取り上げられなかったさまざまな理論についても紹介して行きます。履修者は、教科書を予習したうえで、毎回の講義に出るよう心がけてください。

成績評価の方法

授業への出席、中間試験、期末試験の成績をもとに総合的に判断します。

教 科 書

佐々木毅『政治学講義』（東京大学出版会）2,800円
眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）1,800円

参 考 書 等

その都度、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治心理学	とみさき 富 崎 たかし 隆	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要である。そして、政治心理学とは、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民（や政治家）のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチである。一般的には、政治心理・政治意識・政治的パーソナリティ・政治文化・政治的社会化等の個別研究領域がある。今日まで、民主政下における人々の政治心理学的分析は多様に展開してきた。さらに、近年新しい政治文化論ともいべき社会関係資本（Social Capital）論が注目を集めつつある。一方で、近年のグローバル化・情報化、特にインターネットの急速な普及によって人々の情報空間は大きく変容しつつある。

本講義では、前半に政治心理学アプローチの諸理論・モデルについて解説する。後半では、今日の日本及び先進各国における市民の政治意識や投票行動について、最近の世論調査データや選挙結果などに基づいた分析を行う。そして、それが今後の民主政治に対して持つ意味を考察する。また、政治心理を分析する際に必要な計量的分析における方法論についても解説する。

全体としては、政治心理学アプローチによる様々な研究を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムを、有権者を中心とした政治心理や行動の側面から明らかにしていくこと目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治心理学の理論とモデル
 1. 政治心理学の目的と方法
 2. 合理的選択理論と政治心理
 3. 態度理論と政治心理
 4. 認知理論と政治心理
 5. 政治文化論・パーソナリティ論と政治心理
 6. 社会関係資本（Social Capital）論と政治心理
 7. インターネット時代の政治心理（サイバー・デモクラシー？）
- II 政治心理の実証分析
 1. 戦後日本（1）55年体制下・石油ショック以前
 2. 戦後日本（2）55年体制下・石油ショック以後
 3. 戦後日本（3）細川内閣以後
 4. 戦後アメリカ
 5. 戦後イギリス
 6. その他の諸国
- III まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

堀江・富田・上條編『政治心理学』（北樹出版）1980年
 F. オフェル『人間心理と政治—政治心理学入門—』（早稲田大学出版部）1989年
 その他、適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
投票行動論	とみさき 富 崎 たかし 隆	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

民主政治における選挙の重要性は、いうまでもない。一般国民にとって、選挙は民主政治における最大の政治参加チャンネルであり、政治指導者及び政府を統御する最重要プロセスである。よって、有権者による投票がどのように、なぜ行われているかを体系的に研究することは、政治研究特に民主政治の研究において極めて重要である。

本講義では、前半に自由民主主義体制における選挙の意味や選挙制度について検討した後、投票行動に関する基本的理論・モデルを解説する。後半では、具体的な選挙の事例を取り上げ、日本及び自由民主主義体制諸国（アメリカ・イギリス・フランスなど）における有権者の投票行動を各種のデータに基づき実証的に検証し、投票行動の実態を明らかにしていく。また、投票行動を分析する際に必要な計量的分析における方法論についても紹介する。

その中で、日本を含めた自由民主主義体制下の人々が「どのように、なぜ」特定の候補者・政党に投票するのか、しないのか、を検討し、民主政治における選挙と政治参加の実態とその意味を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 投票行動の理論とモデル
 1. 政治・国家・自由民主主義体制の意味と選挙の意義
 2. 自由民主主義体制の比較枠組みと選挙制度
 3. 投票行動モデル1・社会的属性
 4. 投票行動モデル2・政党帰属意識と政党支持
 5. 投票行動モデル3・争点投票
 6. 投票行動モデル4・業績投票
 7. 投票行動モデル5・個人投票
 8. 投票行動モデル6・選挙キャンペーンと候補者イメージ
- II 投票行動の実証分析
 1. 戦後日本（1）55年体制下・石油ショック以前
 2. 戦後日本（2）55年体制下・石油ショック以後
 3. 戦後日本（3）細川内閣以後
 4. 戦後アメリカ
 5. 戦後イギリス
 6. その他の諸国
- III まとめ

政
治

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

堀江湛編『日本の選挙と政党政治—現代の政治学I—』（北樹出版）1997年
小林良彰『選挙・投票行動』（東京大学出版会）2000年 その他、適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境政策	よこた まさとし 横 田 匡 紀	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

ダイオキシン、地球温暖化問題の登場など現代の環境問題はその課題が多様化、複雑化、グローバル化している。この講義では、そうした環境政策形成と執行がどのような仕組みやプロセスによって成立しているのかに着目する。講義では我が国を含む各国の環境政策についての国際比較を行うことにより、政策に関与する主体は誰か、各種主体間の関係はどのようにになっているか、環境政策の構造や制度の共通点や相違点は何かを明らかにし、理解を深めることに主眼を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次の3点についてとりあげる。第一は、環境政策の変遷、成果と課題である。具体的には、公害問題から地球環境問題、貿易と環境など環境政策の対象となる問題と実際の対応について通時的に瞥見することで、対象が多様化、複雑化、グローバル化している様相を明らかにする。第二は、環境政策形成と執行における国内の制度的基盤である。具体的には、国際比較の観点から、行政、立法、司法の各々が環境政策の形成と執行において果たした役割や機能、各々の関係はどのようにになっているのかをみていく。また行政に関しては、中央政府だけではなく、自治体の役割についてもとりあげる。第三は、企業、NGOについてである。具体的には、環境政策形成と執行における企業、NGOといった市場セクター、市民社会セクター組織の役割や機能について、行政、立法、司法とどのような関係にあるのか、各国間でどのような相違があるのかを念頭に置きつつとりあげる。以上の3点を講義するにあたっては、日本、アメリカなどの各国の環境政策の具体的事例をもとに、国際比較をする。また余裕があれば、国際機関などの国際レベルの政策についても言及する。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

成績評価の方法

レポート、試験などにより総合的に評価する。

教 科 書

拙著『地球環境政策過程の研究』（近刊）

参 考 書 等

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法各論	しお いら 塩 入 みほも	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

日本の統治機構は政治と行政の連携の上に成り立っているので、とくに行政の組織構造、中央行政と地方行政の関係などは、政治を学ぶ上では欠かせない知識でしょう。それを法的側面から考察していくのが、行政組織法や地方自治法の学問です。当講義では、この行政組織法及び地方自治法をはじめとした、行政法の各分野ごとの構造及び理論を学んでいきます。とりわけ、抜本的行政改革により、昨年一月から行政組織の新体制が発足されました。また、地方分権化も進められています。そこで、特に行政組織法及び地方自治法に関しては、従来の行政組織の改編、新制度（独立行政法人など）、地方分権等、まさにup to dateな問題を中心として講義を行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、国家行政組織法、地方自治法、公務員法、公物法、警察法の各分野を順に講義していきます。これらは、特に公務員試験の出題範囲を意識したものです。

履修上の留意点

原則的には、行政法総論を前年度において履修し、行政法の基礎知識を既に習得していること、或いは、本年度総論を同時に履修することが望まれます。但し、各論を学ぶ上で最低限必要とされる基礎知識については、初回講義において、復習程度の簡単な一般的説明を行なうので、努力次第では総論の知識がなくとも履修可能です。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、試験結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断によって行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートを作れるよう毎回丁寧板書します。

参考書等

初回講義の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い 幸 き お 富 井 幸 雄	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかを、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）

なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際関係論	みなみやま 南 山 あつし 淳	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバルイゼーション」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際間に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の時空間に併存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地域環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題を取り上げる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教 科 書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思っています。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3~4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教科書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円

他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参考書等

適宜指示します。

その他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国家安全保障論	こぼりのりお 小堀訓男	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

カントかその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してゐるのでないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であつて、戦争それではなかつたのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

政
治

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教 科 書

小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） 1,200円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方行政	よ し だ た み お 吉 田 民 雄	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探求する変革期にある。本講義は、私たちにとって身近な政府である地方自治体の行政の仕組みや直面する政策課題、そのあり方を市民生活の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、地方自治制度の仕組みをはじめ、公共サービスと市民活動、市民参加と情報公開、政策形成システムと行政評価、ニュー・パブリック・マネジメントと地方分権の推進など、地方自治体の政策・管理・制度を中心として多角的に地方行政のあり方を考察し、暮らしに身近な地方自治の世界がいかに学生諸君にとって主体的な創意を発揮できる世界であるかを考えていくこととした。授業は次のステップで講義をすすめていく予定である。

1. 都市社会の変化と地方自治体
2. 地方分権改革と地方自治体
3. 地方自治制度と地方自治体
4. 地方自治体の政策過程
5. 地方自治体の行政評価
6. 地方自治体の行政と公共サービス
7. 地方自治体の行政とNPM
8. 地方自治体の行政管理と行政活動
9. 地方自治体の市民活動・市民参加
10. シティー・ガバナンスと地方自治体

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

期末筆記試験を中心にした総合評価とする。

教科書

吉田民雄『都市行政の新しい設計』（中央経済社） 4,500円

参考書等

参考書等は随時講義の中で紹介する。また、質問は講義後に応じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際行政学	ふ く だ こ う じ 福 田 耕 治	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

国際行政学は、国民国家の枠を超える行政現象に注目し、国際機構内部の行政管理、国際行政と国内行政の関係、国際公共政策の管理や国境を越える政府間関係をめぐる諸問題を扱う学問である。国際機関の行政は、その加盟国の中央行政や地方行政とどのような関係を持ち、いかにして国際公共政策を形成し、実施していくのか。国内行政の「国際化」への対応はいかなるものであり、国際機関の行政はこれにどのようにかかわっているのでしょうか。国際行政学は、このようなグローバルな視点、人類共通の利益（国際公益）の実現という観点に立って、国際社会に貢献することを目的とする実践的性格を持った新しい研究領域である。本講義の内容は、国家公務員、地方公務員志望者、NGO職員、商社等の民間企業志望者にとっても役立つものとなる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 国際行政の発達史と国際行政学の研究—対象と方法
- 2 国際機構の人事行政と国際公務員制度
- 3 国際機構の財源調達と財務行政
- 4 国際公共政策と政策科学—外交・安保、環境、開発、人権・人道、国際社会保障
- 5 国際機構と行政統制、行財政改革（国際行政統制論）
- 6 国際機構行政と国内行政の関係—自治体間の国際協力
- 7 国際協力におけるNGOと自治体の役割

成績評価の方法

前期・後期の試験による

教科書

福田耕治『国際行政学』（有斐閣）近刊

参考書等

福田耕治『現代行政と国際化—国際行政学への序説（第二版）』（成文堂）

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際組織論	や ま む ら つ な お 山 村 恒 雄	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

近年、国際社会が相互依存の度合いを強め国家間の緊密化を深めるにつれ、国際組織の果たす役割が急激に増大してきた。実際、国連、ユネスコ、WTO、EUなど、新聞紙上で国際組織の名前を目にしない日はないといっても言い過ぎではない。授業では、国連をはじめとする国際組織の種類や活動の内容について学修し、国際組織がいかなる役割を果たしており、又、どのような役割を果たし得るかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

主として次の内容につき講義するが、詳しい授業のスケジュール表は、第1回目の授業の際に配布する。

- 1 インTRODククション
- 2 国際組織の内部組織
- 3 国際組織の対外関係
- 4 国際組織の活動分野
- 5 地域的な国際組織
- 6 国際組織と日本

履修上の留意点

この授業はさまざまな国際組織について「丸暗記」してもらうことを目的とするものではない。激動する国際社会において国際組織が果たす可能性と限界について各自が考えることができる基礎を提供するので、出席者のひとりひとりが、自分の意見を形成することを期待する。「考える」ことを厭わない人の受講を歓迎する。

成績評価の方法

レポートと学期末試験による。評価基準については、別途配布する。なお、レポート未提出者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

横田洋三編著『新版国際機構論』（国際書院）価格3,800円＋税

参考書等

授業中、随時指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報社会論	あ い だ と し ひ こ 相 田 敏 彦	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

いまやすっかり日常語になっている「情報（化）社会」、「情報」の観念・概念に関する確かつ批判的な把握をめざす。そのために、相互に密接に関連する「情報」、「記号」、「コミュニケーション」などの概念を掘り下げて検討する。また、さまざまな情報メディア（機器）による媒介的（mediated）関係性という、情報社会の基本的特性について論じる。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 情報論

通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。ここでは情報は確率的な量として定義される。

2. 記号論

ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ、記号論の基本的タームにも言及する。

3. コミュニケーション論

やはり 通常いだかれているコミュニケーションの考え方を抜本的に検討・批判する。G. H. ミードの理論にもふれたい。

4. 媒介的関係性

情報社会の基本的特性は、さまざまな情報メディア（機器）によって媒介された（mediated）関係性・コミュニケーションである。媒介的関係性・コミュニケーションについて論じ、その歴史的展開をふりかえり、さらに、現代情報社会における新たなメディア機器が、通常のコミュニケーションについての観念自体の変容をうみだしていることも指摘する。

履修上の留意点

全体を通しての教科書は使わないので、毎回の出席と講義内容への精神集中が特に強く必要とされる授業である。

成績評価の方法

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。

教 科 書

一貫して使うものはない。

参 考 書 等

児島和人（編著）『講座社会学8. 社会情報』（東京大学出版会）
竹内郁郎他（編著）『メディア・コミュニケーション論』（北樹出版）
池上嘉彦『記号論への招待』（岩波書店）
その他、授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議会関係法	まえだ ひであき 前 田 英 昭	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり。民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・ 授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10 新聞・放送による選挙運動、11 選挙運動費用、12 選挙運動・政治活動・選挙広告、13 選挙違反と連座制、14 選挙犯罪、15 公務員の地位利用、16 政治資金、17 団体・個人の寄付制限、18 政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

教 科 書

前田英昭著『選挙法・資料』（高文堂出版社）

参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）

前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）

その他各種の選挙法に関する解説書

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか かつら 大塚 桂	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありべき国家とは何か、が現代政治学にあつて重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあつて、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学＝国家論であつたことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式（レポートによる単位認定）

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

～ペーパーテスト（中間・期末）による評価です。

C方式（AとBの折衷）

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

参考書等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	あいだとしひこ 相田 敏彦	政治 2 選	4

講義のねらい

マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場としてくゆったり・楽しく・着実に活動する出発点としたい。

なお、ワード・エクセルの利用の訓練なども、要望が多ければ行ないたい。

成績評価の方法

ふだん点。

その他

平成15年度のゼミは行なわない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	うらたさなえ 浦 田 早 苗	政 治 2 選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

13年度は共通テーマとして「変革期の日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『家電リサイクル法の問題点』、『地方自治とさいたま市』、『首相公選制』、『地球温暖化問題』、『サマータイムの導入』、『原子力発電の功罪』というものであった。後期は発言する力を強める目的でパネルディスカッションやディベートを行う予定でいる。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やす必要がある。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

参 考 書 等

文藝春秋編『日本の論点2002』（文藝春秋）2,700円

そ の 他

夏合宿を7月に行う。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	こばやし まさとし 小 林 正 敏	政 治 2 選	4

講義のねらい

次年度の演習とは直接関係なしに、この演習独自の研修の場としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は前期と後期で別のテーマを採用し、現代政治の諸課題を多角的に取り上げる。春・秋に2回の合宿研修とパネル・ディスカッションを実施する。

成績評価の方法

成績評価の方法は、日常の出席状況と、学習・研究意欲を中心にして評価する。

教 科 書

特定の教科書・参考書は決定せず、演習の状況に応じて、適切な図書・文献を紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	こぼりのりお 小堀訓男	政治 2 選	4

講義のねらい

政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。

後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということと、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	しおいり 塩入みほも	政治 2 選	4

講義のねらい

三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行う。テーマは、主として政治・行政並びにそれに関わる法律問題をとり上げる予定である。具体的テーマの割当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行う。

参考書等

適宜必要により指示する。

その他

授業はゼミナール形式で行う。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	なかのゆうじ 中野裕二	政治 2 選	4

講義のねらい

「政治基礎文献講読」を演習の内容とする。わが国の政治を評論した文献を輪読しつつ、①筆者がどのような組立方で自らの主張を展開しているかを読みとること、②そのために用いられている政治学の基礎的な理論や概念を理解することを主たる目標とする。さらに、③演習での報告の仕方、レジュメの書き方、④討論の仕方を身につけることも目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

一人一章を分担報告し、その後、討論する。

履修上の留意点

講読する文献は、わが国の今の政治状況を論評したものを用いるが、演習の目的は「本を読むとは何か」を理解し、「本が読めるようになる」ことである。自らが日本政治を調査・研究することを目的としない演習であることに十分理解すること。

成績評価の方法

①出席、②報告内容、③討論内容を総合的に評価する。

教科書

山口二郎『危機の日本政治』（岩波書店）1999年 1,600円
新藤宗幸『選挙しかない政治家、選挙もしない国民』（岩波書店）2000年 1,600円

その他

上記二冊を読了後は、受講学生の関心に応じた文献をさらに講読する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	はやかわよしき 早川純貴	政治 2 選	4

講義のねらい

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出をしてもらう。

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教科書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	まえだ ひであき 前 田 英 昭	政 治 2 選	4

講義のねらい	議会制民主政治の仕組みと実態を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	選挙、政党、立法過程、政治資金、国会運営と報道など、幅広く問題を取り上げる。スライドを見たり、国会傍聴したり、議会政治の現実の生きた姿にも触れるようにする。
履修上の留意点	出席にルーズな学生は遠慮すること。
成績評価の方法	平常点。
参 考 書 等	前田英昭著『国会と政治改革』（日本国憲法・検証③）（小学館文庫）
そ の 他	モットー「楽しくなければゼミでない」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎演習	みたけ なおや 三 竹 直 哉	政 治 2 選	4

講義のねらい	自分について知り、政治学について考え、研究の仕方の基礎をしっかりとやる基礎演習です。
講義の内容・ 授業スケジュール	内容やスケジュールは、毎年変わります。この原稿執筆時点（2001年6月）では、2002年度のものも未定です。最新情報は、下記のサイト（ホームページ）をご覧ください。
履修上の留意点	下記サイトの内容を見ずに応募することは、絶対にしないでください。
成績評価の方法	平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。
教 科 書	その都度、指示します。
参 考 書 等	その都度、指示します。
そ の 他	三竹担当の演習・基礎演習の情報は、下記をご覧ください。 http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/ 質問等は、下記までどうぞ。 mitake@komazawa-u.ac.jp

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学原理	わたなべもとみ 渡 辺 源 樹	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 社会学とは何か 社会的事実／実証性 “予期せんがために見る” / 社会学的分析 / 現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為 なぜ “action” からなのか / 社会の基礎的単位として行為 / 行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程 人間の行為は “inter” して社会的となる / 人間関係・社会関係・国際関係 / 交換 / 社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準 1、役割の取得 - 社会化 フロイドとパーソンズの “社会化の過程” を中心に
- 第5回 2、役割の準拠 - 準拠集団 準拠枠 / 所属集団と準拠集団 / 動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤 / マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム / マージナルマンとして青年期 / マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為 1、規範と同調 - 逸脱の次元 行為と社会的秩序 / サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作 / シンボルとシンボル操作 / 逸脱とラベリング / 予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団 1、社会集団とは何か 集団の特質 / 集団の分類 / 家族と企業体
- 第11回 2、集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能 / 機能連関 / 機能要件 (AGIL図式)
- 第12回 3、地位と役割 集団の単位としての役割 / ロールセット、地位系列 / 業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4、集団のリーダーシップ 集団目標 / 集団効果性 / ホワイトのリーダーシップ論 / PM理論とリーダーシップ
- 第14回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性 / 集団規範 / 凝集性を高める条件 / モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナリティ
- 第16回 組織論と官僚制 1、組織の一般理論 現代社会と組織体 / 組織の一般理論
- 第17回 2、官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型 / 官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス) / 支配・権力・権威
- 第18回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における “目標の転移” / ホーソン実験 / グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識 1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途 / マルクスとウェーバー
- 第20回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3、社会的性格 ①) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 A) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4、社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明 / ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成 1、経済と社会…経済と経済社会学 / 産業社会・消費社会 / 経済の国際化・従属理論
- 第25回 2、政治と社会…政治と政治社会学 / 権力 / 政治文化 3、法と社会…法と法社会学 / 法の機能 / 規範 4、教育と社会…教育と教育社会学 / 学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層 / 職業構成 / 社会移動 / 地位の一貫性・非一貫性 / 成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

開講時に提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較社会論	み た け な お や 三 竹 直 哉	政治2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、他の社会と比較することを通じて、私たちの住む日本の社会や私たち自身について、よりよく理解することを目的とします。外国の話がよく出てきますが、日本の社会や自分たち自身のあり方を考え、よく知ることが目的です。

この授業では、必ずしも私が専門的に研究していることを取りあげるわけではありません。みなさんと一緒に、考えたり悩んだり面白がったりする授業です。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、なるべく日本の政治学ではあまり取りあげられないトピックを取りあげます。特に、社会の中の価値観が問題になるトピックに重点を置きたいと思います。トピックの例は、昨年度の授業内容を載せてある下記のホームページを参考にしてください。(まったく同じトピックを取りあげるかもしれませんし、違うトピックを取りあげるかもしれません。) その他、この授業についての最新情報も、このホームページで確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

後期には、もし時間的に余裕があれば、本を一冊指定して、みなさんと読みたいと思います。前期に取りあげたトピックに関連する本、あるいは、外国と日本を比較した本、外国の著者による日本社会についての本などで、比較的新しく、手に入れやすい本を指定したいと思います。なるべく新しい本を指定したいと思いますし、前期の授業の進み具合にもよりますので、現時点(2001年12月)ではまだ指定できません。指定するかどうか自体を含めて、前期の授業期間中にお知らせしたいと思います。

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3~4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、もし後期に本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

上述のように、後期に一冊指定する可能性があります。指定しない可能性もあります。

参 考 書 等

適宜、授業で紹介します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間(以上)も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財政学	さとなか つねし 里 中 恆 志	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担分配の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の分配、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策の視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用＝便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には関連科目として経済学分野の「経済原論」及び「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。白筆のノート持ち込み可。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店) 2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社) 3,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際経済学	とくなが としあき 徳 永 俊 明	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾン
の密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。
では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。
どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問
いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければ
なりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経
済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギ
は世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本
構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することは
できません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主
義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉と
して推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていま
すが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要
な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そ
して、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この
講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状
そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・ 授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形
づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源の蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と
新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート
(3回予定)および学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

成績評価の方法

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済原論	あさの かつみ 浅野 克巳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

1. マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
2. ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
3. 公共政策

政
治

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

ここをクリック 経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本法制史	しげのたかはる 茂野隆晴	政治2・3・4選	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探究、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際に元の文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなるうか。

講義の内容・ 授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法・刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ず揃えて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れない者があれば直接にも指摘することになるう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房刊）2,300円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社刊）3,000円 このほかは、場合により指示します。

そ の 他

授業の方法は講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	北野 かのり	政治2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世(1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世(1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験(後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し偏向するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	もりおか 森岡 仁	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代経済と経済政策 2. 経済政策学の発展 3. 現代経済政策の課題 4. 経済の成長政策 5. 経済の安定政策 6. 産業組織政策 7. 社会均衡化政策 8. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教 科 書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	はらだ けいいちろう 原 田 啓一郎	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策学の成立当初は、労働問題が中心的な研究対象であった。今日では、その研究対象は、社会保障や生活問題にまで拡大をみせている。本講義では、福祉社会における社会政策の課題を雇用・社会保障・住宅について中心に論ずることとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会政策研究の系譜－社会政策総論
- 2 福祉社会における社会政策の考え方－needに基づく社会政策
- 3 所得保障
- 4 保健と医療
- 5 社会福祉
- 6 住宅
- 7 雇用

成績評価の方法

出席はとらない。筆記試験の結果によって原則的に成績判定を行う。

教 科 書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう 斉藤 ひさし 寿	政治2・3・4選	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようにになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) —との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑法	さとう たみお 佐藤 多美夫	政治2・3・4選	4

講義のねらい

刑法の全体像を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

刑法全般について講義する。すなわち、刑法総論、各論である。総論は犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任を中心とし、共犯問題にもふれることにする。各論は個人的法益に対する罪（生命・身体・自由・財産等）、社会的法益に対する罪（公共安全・公共の信用・風俗等）、国家的法益に対する罪（職権濫用・賄賂等）について講義する。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示する（欠席しないように）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法（総則・物権法）	おおみや たかし 大宮 隆	政治2・3・4選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教 科 書

『新民法概説（1）総則・物権』（有斐閣双書）1,900円

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米法	北野 かのり	政治2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会社法	あらき まさたか 荒 木 正 孝	政治2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

具体的には、1. 会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、2. 会社の設立の中では、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、3. 株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。4. 会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役について各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成14年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと 藤 本 茂 しげる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍、解雇や成果主義賃金の導入など従来の日本型雇用システムに見直しがなされています。労働法は、雇用労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも労働者の雇用にすなわち雇用関係法領域に大きく関わってきます。労働組合をめぐっての法領域、労使関係法領域に割く時間を減らさざるを得ません。

本講義では、雇用関係法領域を中心に、上述した雇用労働関係の変化を頭の隅に置きつつ、これまでに形成定着した労働法理の基礎をまなびます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

授業では下記事項について、基本的なことを中心にまなぶとともに、現代的課題に言及します。詳しくは第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを示すに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 労働条件の変更
- (9) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (10) 人事異動－配転、出向、転籍
- (11) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (12) 賃金、賞与、退職金
- (13) 労働時間、時間外労働
- (14) 休憩、休日、休暇
- (15) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席してください。そして、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

成績評価の方法

出席、質問を加味しますが、学年末試験（論述式）がメインです。追・再試験は、実施します。

教科書

教科書は、特に指定しません。しかし、教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして用意してください。

参考書等

第1回目の授業で紹介します。ほかに、判例百選、六法は用意してください。六法は（法改正がありますから）、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが必要です。

その他

皆さんが、各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	<small>おかだ としひろ</small> 岡 田 外 司 博	政治2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてみます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事英語	<small>みなみやま あつし</small> 南 山 淳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、国際関係論および現代国際関係に関する英語文献の読解を通じて、英文リーディング能力の向上をはかることにある。それ以外の点に関しては、(例えば、新聞・雑誌など、ジャーナリズム英語の読解を中心に据えるか、あるいは国際系・政治学系の大学院入試などを念頭において、学術論文レベルの読解力養成を目的にするか) 受講者の希望を聞いたうえで決定する。

履修上の留意点

The Japan Times等の英字新聞を、辞書を引きながら読むことが出来る学生を想定しているが、独力で英語の新聞、雑誌、論文を読めるようになりたいという意欲がある者であれば、誰でも歓迎する。ただし、政治経済や国際問題に対して、ある程度の関心を持っていることが最低限必要である。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により総合的に評価する。

教 科 書

受講者の希望を聞いたうえで決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読Ⅰ (英書)	あいだとしひこ 相 田 敏 彦	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ (英書)		政治 4 選	

講義のねらい

英文で書かれたマスコミ、メディア、情報化に関する分析、理論に関する読解力を向上させること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ数回は、英字の新聞・雑誌などで腕ならし・イントロダクションとしたい。
ついで、多方面にわたるマスコミ理論、メディア分析のなかから、読みやすさ、理解しやすさに留意して教材を提示する。
教材は適宜コピーを配布する。
マスコミ、メディア、情報化自体はいかにも身近な対象だが、常識的理解を打ち破る、深く鋭い分析が少なくない。
マスコミ、メディア、情報化に関し、考え、分析することの楽しさが多少とも理解される場としたい。

履修上の留意点

英語が好き、あるいは比較的得意な人であればよく、「マス・コミュニケーション論」、「情報社会論」の授業をとっている、いないとは関係なく、内容を理解できるようにしたい。

成績評価の方法

平常点による。
試験、レポート等はない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読Ⅰ (英書)	たまる だい 田 丸 大	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ (英書)		政治 4 選	

講義のねらい

行政学、中でも「組織における意思決定」(どのような過程・考慮を経て決定はなされるのか)に関する英語文献を講読し、それらを題材にした議論を行い、読解能力と思考能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講読と議論とを併せて行うことを予定している。履修者には、順次、担当箇所についての報告をしてもらう。報告では担当箇所の訳とそれに関連したコメントを求める予定である。文献は、専門用語の少ないもの、日常の社会生活での具体例に引き付けつつ理解のできるものを予定している。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

使用する文献は、適宜コピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読Ⅰ (英書)	とみさき たかし 富 崎 隆	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ (英書)		政治 4 選	

講義のねらい

英文で書かれた、新聞やインターネット上の情報を理解し、さらに英文で政治学論文を読むための基礎的な読解力を向上させることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、英字新聞・雑誌、英文のインターネット記事を材料に、政治的事件を探りあげていきたいと思えます。次に、近年の現代政治学論文を素材としてし使用する予定です。ただし、文献内容は受講生と相談して決めます。

履修上の留意点

演習形式で行います。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読Ⅰ (英書)	み た け な お や 三 竹 直 哉	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ (英書)		政 治 4 選	

講義のねらい

英語で、比較政治学分野の専門的な文献（本や論文）を読むことに挑戦します。

講義の内容・
授業スケジュール

この外書講読では、日本語訳を作ることは一切しません。実践的に、英文を英文のまま理解し、できるだけ早く読めるようになることを目指します。

最初の数回で、新聞記事などを使って、訳さずに早く読む練習をします。

後は、グループで専門的文献を読んでいくことになります。

履修上の留意点

他の参加者と一緒に助け合いながら読んでいきますので、英語力はそれほど気にする必要はありません。入試の英語に準備をした人であれば十分です。むしろ、英語で専門文献を読むので、日本語で専門的文献を読んだことがある、もしくは読むつもりのある人が対象になることに注意してください。

授業時間は、グループ作業が多くなりますので、必ず毎回出席することが前提になります。

重くても、必ず中辞典以上の辞書（電子辞書は不可）を持参してもらいます。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、病気等で欠席が多くなってしまった人や授業態度に問題があった人などは、特別に試験を行った上で単位認定します（この場合、試験は定期試験期間外に行いません）。

教 科 書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参 考 書 等

なし。

そ の 他

詳しい情報は、三竹ゼミのホームページで確認して下さい。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読Ⅰ (独書)	は や か わ よ し き 早 川 純 貴	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ (独書)		政 治 4 選	

講義のねらい

今年度は、戦後ドイツの運命を大きく決定づけた政治家、コンラッド＝アデナウアーについての文献を講読する。彼とキリスト教民主同盟CDUは、連合軍やソ連による占領とその後の復興の時代をどのように切り拓いていったのであろうか。さらには、西ドイツの奇跡の経済成長や、西ヨーロッパの安定と平和（特にフランスとの和解）はいかにしてもたらされたのであろうか。こうした問題を文献講読とともに考えてみたい。

履修上の留意点

受講生は、ドイツ語の新聞・雑誌の文章を理解できる水準であること。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教 科 書

授業開始時にテキストのコピーを配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ (仏書)	あらき まさたか 荒木正孝	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ (仏書)		政治 4 選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに維持・発展してきたのかについて、フランス語の原書の購読を通して母国の思考や事情を学び、わが国の制度をより深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解読に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ (中国書)	こうりん ひでもと 江林英基	政治 3 選	4
外書講読Ⅱ (中国書)		政治 4 選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読Ⅰ（スペイン書）	みやち たつろう 宮 地 達 郎	政 治 3 選	4
外書講読Ⅱ（スペイン書）		政 治 4 選	

講義のねらい

大学生活でのスペイン語の最終学習なので外書をいろいろな角度で講読する。歴史、経済、政治など、新聞や外語で出版されたテキストなどから集めて、その都度講読する。

履修上の留意点

予習復習が望ましい。漠然と今日室内でのみテキストを開くだけでは、学習のねらいが達成出来ない。

成績評価の方法

授業態度、出席点、前記/後期のテストで総合判断する。

教 科 書

少人数が予想されるので、その都度テキストを配布し、翌週にそれを使って授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代企業論（前期）	さいとう ただし 齊 藤 正	政 治 3・4 選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイテイ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス実例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイテイ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教 科 書

毎回、授業で講義資料を配付する。

そ の 他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	浦田早苗	政治Ⅲ選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

13年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『EUとNATO～欧州安全保障～』、『大学教育改革』、『ODAのあり方』、『自衛隊～日本の安全保障～』、『(パネルディスカッション) 喫煙の是非』、『(パネルディスカッション) サマータイト導入の是非』、『(ディベート) 外国人参政権の是非』、『(ディベート) 首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2002』(文藝春秋) 2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	早川純貴	政治Ⅲ選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成14年度の前期テーマは「補助金と公共事業」である。政府によるいくつかの著名な補助金政策や大規模公共事業について、決定までの背景や経緯、あるいは施行過程を考察し、誰がどのような意図でそれらの決定や施行にかかわり、いかに影響力を行使したのかを解明する。そしてそれぞれの政策の意義と問題点を考えてみたい。

履修上の留意点

平成14年度より当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まえだ ひであき 前 田 英 昭	政 治 3 選	4

講義のねらい

議会政治研究。

講義の内容・
授業スケジュール

議会政治を取り巻く諸問題（選挙、政党、立法過程、政治資金、国会運営と報道など）を取り上げ、外国との比較を横系とし、歴史を縦系として学ぶ。

履修上の留意点

出席にルーズな学生は遠慮すること。

成績評価の方法

平常点。

参 考 書 等

前田英昭著『国会と政治改革』（日本国憲法・検証③）（小学館文庫）。

そ の 他

個人の研究発表とグループ・ディスカッションにおいて積極的な勉強方法を学ぶとともに、合宿、コンパで卒後の生き方についてat homeな雰囲気でも語り合う。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	政 治 3 選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次は、モデル化された事例を材料とし、思考力を養うことに力点を置いて学習を行っていく。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年一回、2泊3日の合宿を行う他、年に2、3回ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あいだとしひこ 相田敏彦	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。
 テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。
 パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。ワード・エクセルの使用に向けてのゼロからの訓練、ブラインド・タッチの習得などを、当ゼミではすでに行っている。
 メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。
 合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高めくゆったり・楽しく・着実に進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。
 当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

成績評価の方法

ふだん点。

その他

平成15年度のゼミは行なわない。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	いどまさのぶ 井戸正伸	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

本演習では、現代政治理論における古典的著作の解説を通じて、大家がいかに自らの理論をつくりあげたかを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ゼミ生全員で現代政治理論の古典を読んでいます。
 後期は、政治文化論、政党、利益集団、民主政への移行・確立論、福祉国家の「三つの世界」論など、現代政治理論の中から、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的にレポートを完成させることを目指します。

履修上の留意点

まずは出席すること。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

成績評価の方法

レポートの内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

教科書

R・パットナム『哲学する民主主義』（NTT出版）3,900円
 S・ハンティントン『文明の衝突』（集英社）2,800円
 A・プシェヴォルスキ『サステナブル・デモクラシー』（日本経済評論社）2,800円

参考書等

その都度プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	お お つ か 大 塚 桂	政 治 3 選	4
演習Ⅱ		政 治 4 選	

講義のねらい

政治学における基礎的知識の修得をめざします。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治思想・哲学・理論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！

成績評価の方法

- I 3年次生は、課題レポートの提出によって評価します。
- II 4年次生は、ゼミ論文の提出によって評価します。

教科書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』（岩波文庫）300円
K・マルクス＝F・エンゲルス（大内兵衛・向坂逸郎訳）『共産党宣言』（岩波文庫）300円

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂） 同『ラスキとホップハウス』（勁草書房） 同『多元的国家論の展開』（法律文化社） 同『多元的国家論の周辺』（信山社） 同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）

その他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こ ば や し ま さ と し 小 林 正 敏	政 治 3 選	4
演習Ⅱ		政 治 4 選	

講義のねらい

この演習は、現代の政治社会に生きるわれわれが、その「時代」を的確に理解し、活力のある社会生活を営むために、有益な学習・研修の場となることをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は、現代の政党政治を中心に近現代政治史、国際関係等も加えて多角的に取り組みたい。春・秋2回の研修合宿と2回のディベートも、大きな特色といえる。

成績評価の方法

成績評価の方法は、日常の出席状況と、学習・研究意欲を中心にして評価する。

教科書

演習のテーマ、内容の状況に応じて、有益、適切な図書、文献を紹介していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	しおいり 塩 入 みほも	政 治 3 選	4
演習Ⅱ		政 治 4 選	

講義のねらい

行政法上の諸問題を取り上げ、演習を行う。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていく。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てる。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われるが、それ以外の者でも無論履修可能である。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行う。

教 科 書

未定

参 考 書 等

初回授業の際に紹介する。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	た ま る だ い 田 丸 大	政 治 3 選	4
演習Ⅱ		政 治 4 選	

講義のねらい

本演習では、国あるいは地方の行政はどのように展開されているのか、具体の行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。行政学は、とりわけ近年、現実の問題に深くコミットメントすることをその特徴とするが、現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①基本文献を講読する。
- ②ゼミ生各自がテーマを設定し、個別であるいは共同で研究・発表を行う。
(②に重点を置くことを予定している。)

成績評価の方法

出席・発表・発言等を総合的に評価する。

教 科 書

適宜指定する。(なるべくコピー等を利用する予定である。)

そ の 他

国家公務員または地方公務員の実務家をゲストに招き、意見交換会を行う予定である。行政のあり方に興味関心のある者が対象である。公務員志望者も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	たけはな みつ のり	政 治 3 選	4
演習Ⅱ	竹 花 光 範	政 治 4 選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個人研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参 考 書 等

必要に応じて適宜紹介する。

そ の 他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	とみ さ き	政 治 3 選	4
演習Ⅱ	富 崎 隆	政 治 4 選	

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思えます。なお、本年度開講ですので、演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思えます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加していく中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思えます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらいます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来の議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思えます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加して行きたいと思えます。他の参加ゼミとしては、明治大学・中邨ゼミ・小西ゼミ、日本大学・青木ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

そ の 他

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	なかのゆうじ	政治 3 選	4
演習Ⅱ	中野裕二	政治 4 選	

講義のねらい

受講学生が自らの問題関心に基づき、テーマを設定し、調査・研究し、年度末にゼミ論文として提出する。広い意味での政治学であれば、テーマは自由である。

講義の内容・
授業スケジュール

毎週の演習の時間は、ゼミ論文の中間報告と質疑応答に当てる。

履修上の留意点

事前に明確な問題関心を持っていることを要求する。受講決定者には平成14年3月末を締切として簡単な研究計画のレポートを提出してもらう。

成績評価の方法

①平成15年1月末締切のゼミ論文の提出、②出席、③報告内容、④討論内容を総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	みたけなおや	政治 3 選	4
演習Ⅱ	三竹直哉	政治 4 選	

政
治

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・
授業スケジュール

内容やスケジュールは、毎年変わります。この原稿執筆時点（2001年6月）では、2002年度のものも未定です。最新情報は、下記のサイト（ホームページ）をご覧ください。

履修上の留意点

下記サイトの内容を見ずに応募することは、絶対にしないでください。

成績評価の方法

平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教 科 書

その都度、指示します。

参 考 書 等

その都度、指示します。

そ の 他

三竹担当の演習・基礎演習の情報は、下記をご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>
 質問等は、下記までどうぞ。
 mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	おかだとしひろ 岡田外司博	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

この経済法演習では、主に独禁法に関する事件（審決・判決等）のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期とも、それぞれ約10件（合計約20件）の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決（最初の5件は独禁法以外の事件）を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法（もしくは企業）に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参考書等

その都度コピーを配布するか、又は該当文献のコピーを指示する。

その他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	さいとう ひよし 斉藤 寿	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

この演習は、「憲法」あるいは「行政法」に興味を有する学生と、楽しく・興味深い「公法学」の研究・発表・討論を積極的に行うことを主たる目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、“主要テーマ”を設けながら、具体的事例研究や判例研究等を通して、討究を続け、応用的能力と独創的理論構成の能力を養成したいと思います。

成績評価の方法

ゼミナールでの、出席、発表、ディベート、その他活動等を成績評価の基準とします。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	にし 西	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・授業スケジュール

年度のはじめに簡単なシバラスを配布する。前エンドにおける内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫）2001年 1,143円＋税、『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年 690円＋税など。

参考書等

授業以外に年2回の地下鉄「駒沢大学」駅までの清掃奉仕、夏と冬（スキー＆スノーボード）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やまぐち 山口 邦夫	政治 3 選	4
演習Ⅱ		政治 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考える。
 第Ⅰ期（4・5月）総論の中心、罪刑の法定と犯罪不成立の事由について。
 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任と少年事件におけるいわゆる保護処分について。
 第Ⅲ期（9・10月）個人法益のうち、生命・身体に対する侵害罪と財産罪の諸問題を中心に。
 第Ⅳ期（11月・12月）社会法益のうち、特に性犯罪の問題とセクハラとの関連など。

履修上の留意点

毎時間、出席し討論に積極的に参加できる態度が望ましいだけでなく、年4回ぐらい発表が義務づけられているので、発表する能力も必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と異なり試験はない。毎回の発表の際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他の人の発表に対して討論する時の発言内容及び討論の仕方など、総合して評価する。したがって、一ヶ月間、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものと、判例を解説した書物が参考になるが、毎時間、資料については注意をするので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	浦田早苗	政治4選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

13年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『EUとNATO～欧州安全保障～』、『大学教育改革』、『ODAのあり方』、『自衛隊～日本の安全保障～』、『(パネルディスカッション) 喫煙の是非』、『(パネルディスカッション) サマータイム導入の是非』、『(ディベート) 外国人参政権の是非』、『(ディベート) 首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2002』(文藝春秋) 2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	首藤素子	政治4選	4

講義のねらい

中心テーマとしてグローバル化が国家の機能や国際社会にもたらす意義と影響を、さまざまな事例をもとに考察し、議論する。それ以外の個別の事例研究や歴史研究も、ゼミのテーマとして随時取り入れるようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	早川純貴	政治4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成14年度の前期テーマは「補助金と公共事業」である。政府によるいくつかの著名な補助金政策や大規模公共事業について、決定までの背景や経緯、あるいは施行過程を考察し、誰がどのような意図でそれらの決定や施行にかかわり、いかに影響力を行使したのかを解明する。そしてそれぞれの政策の意義と問題点を考えてみたい。

履修上の留意点

平成14年度より当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	まえだ ひであき 前 田 英 昭	政 治 4 選	4

講義のねらい

議会政治研究。

講義の内容・
授業スケジュール

議会政治を取り巻く諸問題（選挙、政党、立法過程、政治資金、国会運営と報道など）を取り上げ、外国との比較を横糸とし、歴史を縦糸として学ぶ。

履修上の留意点

出席にルーズな学生は遠慮すること。

成績評価の方法

平常点。

参 考 書 等

前田英昭著『国会と政治改革』（日本国憲法・検証③）（小学館文庫）

そ の 他

個人の研究発表とグループ・ディスカッションにおいて積極的な勉強方法を学ぶとともに、合宿、コンパで卒後の生き方についてat homeな雰囲気語り合う。

政 治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	政 治 4 選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・
授業スケジュール

4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年一回、2泊3日の合宿を行う他、年に2、3回ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

産業・職業社会	学	〈山田信行〉	429
社会福祉発達	史	〈林千代〉	430
国民所得論	論	〈吉野紀〉	431
日本経済史	論	〈橋野知子〉	432
中小企業論	論	〈吉田敬一〉	433
教育経済論	論	〈谷敷正光〉	434
日本経済論	論	〈小林正人〉	435
アジア経済論	論	〈鄭章淵〉	436
中国経済論	論	〈小林修二〉	437
アメリカ経済論	論	〈瀬戸岡紘志〉	438
アジア・東欧経済論	論	〈山縣弘志〉	439
商業政策	策	〈岩下弘〉	440
マーケティング	グ	〈曾我信孝〉	441
労務管理論	論	〈堀龍二〉	442
財務会計論	論	〈小栗崇資〉	443
会計監査論	論	〈森田佳宏〉	444
管理会計論	論	〈石川祐二〉	444
原価計算論	論	〈鈴木勝浩〉	445
貿易論	論	〈古沢紘造〉	446
銀行法	法	〈齊藤正〉	447
親族法	法	〈竹中智香〉	448
相続法	法	〈竹中智香〉	448
ヨーロッパ政治論(1)	論	〈中野裕二〉	448
国際政治学	学	〈小堀訓男〉	448
ヨーロッパ政治史	史	〈浦田早苗〉	448
比較政治学	学	〈三竹直哉〉	448
議会議法	法	〈前田英昭〉	448
現代国家論	論	〈大塚桂〉	448
経営労務論	論	〈鹿嶋秀晃〉	449
国際経営論	論	〈茂垣広志〉	450
商業史	史	〈山田勝〉	450
商保業論	論	〈石名邦昭〉	451
財務會計論	論	〈渡邊惠一郎〉	452
経営分析論	論	〈片桐伸夫〉	453
税務會計論	論	〈高木克己〉	454
経営情報論	論	〈高井徹雄〉	455
情報管理論	論	〈西村和夫〉	456
経営統	計	〈長国強〉	457

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	山 田 信 行 <small>やまだのぶゆき</small>	法 A・政治	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本の事例について紹介しながら概説する。第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアルイズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指示する。

履他
修学
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	法 A・政治 法 B 以降入学生/法 B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」・・・5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。

《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」・・・4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。

《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」・・・8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。

《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章

4. 「金融政策、財政政策」・・・4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」・・・5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	はし の と も こ 橋 野 知 子	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ 1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ 2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展 1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展 2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済 1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済 2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長 1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長 2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずですよ。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、昨年度と同様に映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中小企業論	よ し だ け い い ち 吉 田 敬 一	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現している（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）（レポート課題指定文献）

吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	法 A・政治 1?以降入学生/法B	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) メージャー首相の経済と教育「競争力白書」(一部ビデオ)
- (11) ブレア首相の経済と教育「知のネットワーク」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (16) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (18) 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

土志出征・『レーガノミックス』(中公新書)

原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
 大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 楯西光速『日本資本主義発達史―産業資本の成立と発展―』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育―近代産業社会における女性の役割―』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正 人	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
 景気の現状と雇用情勢
 戦後改革
 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 産業政策の役割
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
 産業構造の理論と歴史
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
 平成不況の意義
 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 章 淵	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に白筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教 科 書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参 考 書 等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。
これについて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立（1949年）から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル（1949～57年）、(2)毛沢東モデル（1958～78年）、(3)小平モデル（1978～）として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。
このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履他
修学
科目
部

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事（中国経済）を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である（学説の受入れとは異なる）。テストは基準となる一つの学説（とりあえず、私の説）の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
<再試験あり>

教 科 書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）4,000円

参 考 書 等

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	<small>せとおか</small> 瀬戸岡 <small>ひろし</small> 紘	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位と IMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカと EC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著「資本主義とアメリカの政治理念」瀬戸岡訳（青木書店）1994年をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてもらえればよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 弘	法 A・政治・法 B	4

講義の内容・
授業スケジュール

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	そ が の が た か 曾 我 信 孝	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・ 授業スケジュール

- マーケティングの問題点
 - 消費者の価値観とマーケティング支配
 - マーケティングと収奪関係
- 製品政策
 - 新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - 差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
- 価格政策
 - 価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - 価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - 新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - 再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょうか）
- チャネル政策
 - 流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - 販売チャネル（販売チャネルを支配する理由は何でしょうか）
 - チャネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
- 販売促進政策
 - 販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - 広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
- 国際化戦略
 - 現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履他
修学
科目
目部

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

- 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていようかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
- 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
- 著しく授業を妨害したものは、評価対象からははずす可能性がある。
- 再試験は実施する。

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

- 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
- 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労務管理論	ほり 堀 龍 二	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	おぐり たかし 小 栗 崇 資	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または成否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、鑑査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに、「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

実務においても適応可能な管理会計上の基礎的知識と基礎的論理を身につけてもらうことが、本講義の最大の目標である。とりわけ、経済的状況が厳しい現代において、企業の生き残りのために企業管理を適切に実施する必要性が高まり、その時に管理会計情報を有効に利用することが、一つの重要な鍵になると考えられる。情報を有効に利用するためには、それを生み出す仕組みを理解し、さらに、社会的諸関係の中でその情報が果たす役割・意味を知ることが大切である。そのような理解が進むよう、講義を行いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：管理会計をとらえる視点を最初に明らかにし、その後、原価概念と利益概念を中心とした基礎概念を示す。さらには、管理会計上の伝統的技法をとり上げる。
後期：近年、議論の中心となっている管理会計上の技法をいくつか取り上げ、その意味を考える。

履修上の留意点

電卓を用いるので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

講義において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日、伝統的な原価計算の中にはその有用性を失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

本講義の主テーマはFA化を前提にした現代企業における原価計算である。日頃から製造業に関する問題について関心を持って欲しい。

また教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。

再試験は実施する。

教 科 書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参 考 書 等

毎回プリントを配布する。

参考文献については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施する。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行論	さいとう 藤 正 <small>ただし</small>	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。

(2) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。

- 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
- 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

(3) 後期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

- 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
- 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。

(4) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年
山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科目名	担当者名	配当学科	単位
親族法	竹中智香	政治	4

(P. 307参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	竹中智香	政治	4

(P. 297参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1)	中野裕二	法A・法B	4

(P. 369参照)

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男	法A・法B	4

(P. 373参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	法A・法B	4

(P. 374参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	三竹直哉	法A・法B	4

(P. 385参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
議会関係法	前田英昭	法A・法B	4

(P. 390参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	大塚桂	法A・法B	4

(P. 391参照)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営労務論	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

そ の 他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験は実施しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志	法A・政治・法B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	やまだまさる 山田勝	法A・政治・法B	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険経営論	いしなざか くにあき 石名坂 邦 昭	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡 邊 恵 一 郎	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。
この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かたぎりのが 片 桐 伸 夫	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

；後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 己	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。
この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、I・Tを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。

ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著「経営情報システム」（日刊工業新聞社）3,200円 を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

そのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕 → 経営情報論

この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ちよう 長 こきよう 国強	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 経営統計について： 経営統計の役割、基礎概念
- 統計特性値： 平均、分散、正規分布
- 市場調査と統計整理： 調査の諸段階、標本設計、データ整理
- 経営時系列： 季節指数、時系列予測
- 経営指数： 物価指数、数量指数
- 統計推測： 標本分布、区間推定、仮説検定
- 統計的意志決定理論： 意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

V. 日本語・日本事情科目

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	463
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	463
日 本 語	II	〈佐野典子〉	463
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	464
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	464
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	465
日 本 語	IV	〈石川守〉	465
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	465
日 本 語	V	〈石川守〉	466
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	466
日 本 語	VI	〈石川守〉	467
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	467

《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕(前期)	〈須山 聡〉	467
日本事情 II〔自然〕(前期)	〈清水 善和〉	468
日本事情 III〔歴史〕(後期)	〈宮本 由紀子〉	469
日本事情 IV〔思想〕(前期)	〈赤羽 由規子〉	469
日本事情 V〔社会〕(後期)	〈山田 信行〉	470
日本事情 VI〔政治・法律〕(後期)	〈前田 英昭〉	470
日本事情 VII〔文学〕(後期)	〈岡田 豊〉	471
日本事情 VIII〔文化・芸術〕(後期)	〈赤羽 由規子〉	471
日本事情 IX〔経済〕(前期)	〈瀬戸岡 紘〉	472
日本事情 X〔経営〕(前期)	〈鈴木 幸毅〉	472

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅱ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅱ	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
 - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅲ	ゆ む ら れ い こ 湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅳ	い し か わ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅳ	ゆ む ら れ い こ 湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	いしかわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅴ	たたら あきこ 多田羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。

テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語VI	いしかわ まもる 石川 守	全 学 科	2

講義のねらい	「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。
履修上の留意点	できるだけ、発言すること。
成績評価の方法	平常点と試験
教科書	コピーを配布する。
参考書等	随時、教室で指示する。
その他	特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語VI	たたら あきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい	読解能力を向上させる。 文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること。
成績評価の方法	平常点と筆記試験
教科書	プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	すやま さとし 須山 聡	全 学 科	2

講義のねらい	日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。
成績評価の方法	出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	全 学 科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし。

参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	<small>みやもと ゆきこ</small> 宮 本 由 紀 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	その都度知らせる。
そ の 他	講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	<small>あかば ゆきこ</small> 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情V 〔社会〕(前期)	やまだ のぶゆき 山 田 信 行	全 学 科	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動
－高度成長から低成長へ－
 2. 現代日本の基本的趨勢
－情報化・グローバル化・高齢化（少子化）－
 3. 現代日本の社会問題
・景気後退と失業
・教育問題
・その他の病理現象
- それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる（予定）。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

資料を配布。

そ の 他

講義形式の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情VI 〔政治・法律〕(後期)	まえだ ひであき 前 田 英 昭	全 学 科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』（小学館文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	あ か た ゆたか 岡 田 豊	全 学 科	2

講義のねらい	本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。
履修上の留意点	受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。
成績評価の方法	出席・提出物・発表・授業態度
教 科 書	その都度指示する。
参 考 書 等	その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ か ぼ ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい	いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。 また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目指している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
参 考 書 等	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	<small>せとおか</small> 瀬戸岡 <small>ひろし</small> 紘	全 学 科	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介します。日ごろあなたが目にすることそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	<small>すずき こうき</small> 鈴木 幸 毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

V 随 意 科 目

IV. 随 意 科 目

英語（海外演習）	477
中国語（海外演習）	477
比較思想特講〈末木恭彦〉	477

科目名	配当学科	単 位
英語（海外演習）	全学科・1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単 位
中国語（海外演習）	全学科・1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。中国語受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較思想特講	末木 恭彦 <small>す え き や す ひ こ</small>	法A・政治1年次～	4

講義のねらい

比較思想（哲学）は、世界各地に成長した思想（哲学）を比較し、ある地域に特有の思想（哲学）はその地域に固有の囚われた視野の中にあることを明らかにし、普遍的な思想（哲学）の獲得を目指す学問である。本科目は、一年おきに宗教的視点からの考察と哲学的視点からの考察を開講する。今年度は哲学的視点からの考察である。この比較思想（哲学）という学問への基礎的理解を得ることを、本科目では目指す。

講義の内容・授業スケジュール

比較思想（哲学）という学問は、自分達の属する文化を相対化する。西欧では近代の自己反省として生まれたが、同じ頃東アジアの地でも、近代化と伝統のはざまに苦闘する思索者は、西欧の思想と東アジアの思想を比較しつつ、将来への展望を拓こうとしていた。その代表的な例である近代中国の人梁漱冥『東西文化とその哲学』と取り挙げ、講読する。

履修上の留意点

必ず予習をし、自分の疑問・意見が発表できる用意をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

- 次の二つの材料を勘案して判定する。
1. 平常点（出席回数、授業参加の積極性）
 2. 試験またはレポート（年一回以上）

教科書

長谷部茂訳 『東西文化とその哲学』（農文協）

参考書等

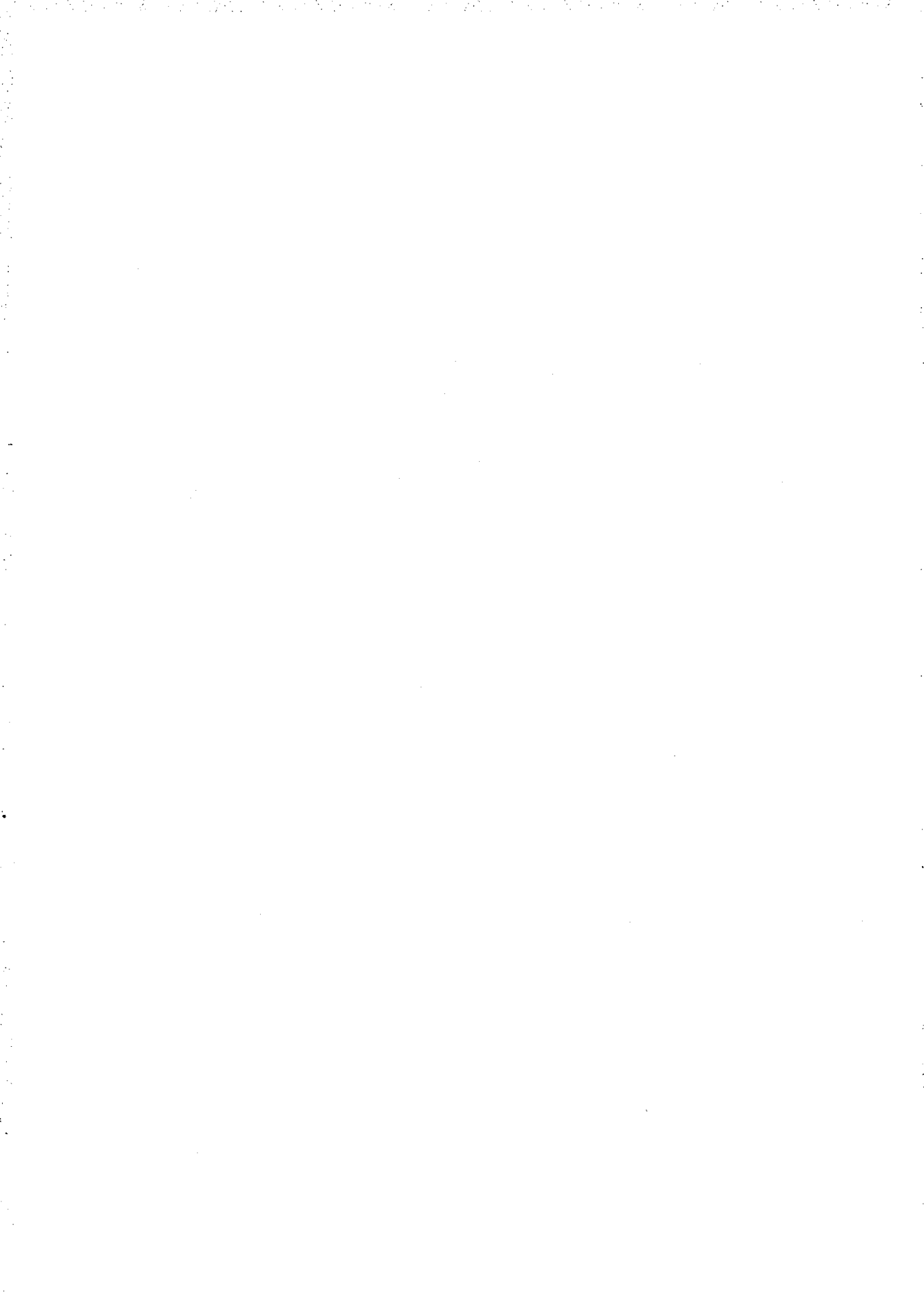
授業中適宜指示する。

そ の 他

出来る限り講師の一方的講義は避け、講師を含めた出席者による討論として進めたいと考えている。

法律学科フレックスB

第 2 部 法 律 学 科



I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈松 本 史 朗〉	487
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間	〈河 村 孝 道〉	487
仏教と人間〔再クラス〕			
仏教と人間〔再クラス〕	〈皆 川 広 義〉	488
仏教と人間〔再クラス〕	〈小 坂 機 融〉	489
仏教と人間〔再クラス〕	〈岩 永 正 晴〉	489
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴 山 俊 英〉	490

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	まつもと しろう 松 本 史 朗	法 B 1 必 全 学 科	4
仏教と人間〔再クラス〕			

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の経典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	かわむら こうどう 河 村 孝 道	法 B 1 必 全 学 科	4
仏教と人間〔再クラス〕			

講義のねらい

宗教——仏教・禅の教えを学び、その教説を通して自己の生死の問題を考えてゆく。

参 考 書 等

宗教学Ⅰ・Ⅱ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	<small>みながわ ひろよし</small> 皆 川 広 義	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、この生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなられるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとずいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の『仏教と人間』は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	こ さ か き ゆ う 小 坂 機 融	全 学 科	4

講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当たって、先ず本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学術とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危機
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 逼塞しない人生

履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

教 科 書

講座形式、出来れば1～2回座禅実習。

参 考 書 等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	い わ な が し ょ う せ い 岩 永 正 晴	全 学 科	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義は、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・ 授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート・出席点等はない。

教 科 書

講義の進行に随って資料を配布する。

参 考 書 等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）
その他は講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	は れ や ま し ゅ ん え い 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

2 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	菅原 壽 清	495
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	496
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕	合瀬 純 華	497
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕	合瀬 純 華	497
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕	合瀬 純 華	497
文学(2)〔日本文学-近代-〕	保明 陽 子	497
歴史学(1)〔日本近代史〕	林 彰	498
歴史学(2)〔中国古代史〕	小林 惣 八	498
歴史学(3)〔中国古代思想史〕	小林 惣 八	498
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	499
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	499
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	499
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	500
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享 志	500
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知 章	501
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭 彦	501
教育の思想	伊藤 茂 樹	502
教育と社会	伊藤 茂 樹	502
発達と学習の心理学	川田 三 夫	503
カリキュラムと学習	川田 三 夫	503

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	鶏 徳 啓 登	504
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	504
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝 松 正 行	505
経済学〔現代経済と人間〕	明 瀬 政 治	506
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳 三	507
社会学〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏	507
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈	508
文化人類学〔文化と人間〕	川 上 新 二	508
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉 井 純 一	509
政治学〔政治システムと政治参加〕	浦 田 早 苗	510
政治学〔国際社会と日本〕	山 村 恒 雄	510

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順 一	511
心理学(2)〔人間関係を考える〕	鈴木 順 一	511
生物学〔生態と進化〕	清水 善 和	512
生物学〔生物と環境〕	中 村 敏 枝	514
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	竹 田 洋 一	515
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	小 川 健 次 郎	515
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	山 縣 毅	516
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	藤 井 享	517
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠 原 正 雄	518
自然環境論〔環境と保全〕	山 縣 毅	518
情報数学〔情報と論理〕	小 沢 誠	519

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 〔聖と俗〕	すがわら としきよ 菅原 壽 清	法 B 選	4
		17以降入学生/法A選	

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。

授業の前期は宗教学・宗教人類学・特に「聖と俗」についての基礎的な問題を、後期は東南アジア・中国雲南の人びと、日本人などの宗教文化について具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について講義して行きたいと思っております。

講義の内容・ 授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈聖なるコスモロジー〉

5. 聖と俗
6. 東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
7. 日本人の生死観
シャーマニズムの世界

成績評価の方法

試験・出席・その他

教科書

指定なし。

参考書等

授業で紹介

その他

東南アジア・中国雲南のビデオ・スライドなども使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔比較宗教文化〕	た な か か の こ 田 中 か の 子	法 B 選 1)以降入学生/法A選	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較して、宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から、本講の宗教学は、諸宗教のありかたをとおして生命（いのち）と人間性の普遍的価値を観ることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなう宗教のいくつかを選び、それぞれの歴史・思想・文化について解説する。さらに、宗教間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。それにはなによりまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）を」まっとうするための道（a way of 'Life'）をどのようにあゆんでいるのかを実際に観ることが望ましい。

ひとつの宗教につき2回分の講義を割り当てるなかで、2回目は主として、

- 1) 祈りの声や聖歌（録音テープ）を鑑賞して生きた宗教の聴覚的イメージをとらえ、
- 2) スライド上映により宗教生活の実際を垣間見る。

年間のプログラムは以下のとおりである。

- I. 比較宗教学の基礎知識（宗教学における比較とは何か、宗教多元主義の問題点、聖なるものをめぐる諸宗教の構成要素一覽）。
- II. 宗教史の歴史的連関を考慮し、1) ゴロアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教、9) 仏教とキリスト教の比較美術の順に講ずる。

履修上の留意点

世界の諸宗教と仏教との接点を探り、現代における仏教ならではの役割を見出そう。

成績評価の方法

各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(1)(3) 〔日本文学「古典」〕	お 瀬 純 華 合	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『風流志道軒伝』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、版本の書型とジャンルなど書誌的なことにも留意する。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）
その他。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(2) 〔日本文学「近代」〕	ほ 明 陽 子 保	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

明治以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。先行する西欧の「近代化」を前提に、その影響を否応なく受けてきた過去の歴史的経緯を考慮しつつ、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ、日本独自の「近代化」を文学的視座からとらえる。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組みをとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。具体的には、近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何を意味しているのか、を探究する。前者については講義開始時に公示するが、後者については明治大正時代に活躍した徳富蘆花の代表作『不如帰』などを取り上げる。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に「今」を考えることを主眼としている。年間を通して、文学作品を本格的に読むことでしか得られない情報を取得し、現在を一緒に考えていくために、実際に作品を読み、授業に出席し、かつ参加していくことが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学(1) 〔日本近代史〕	はやし 林 彰	法 B 選	4
		12以降入学生/法A選	

講義のねらい	本年度は、明治・大正期の思想を中心に考察していく予定でいる。西洋から輸入された近代思想が日本でどのように展開されるのか、逆に伝統的な思想（儒教など）が近代思想とどう対立・錯綜していくのか。それらを概観していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は近代史の概説をこころみる。その後、知識人・民衆、体制側の思想動向をみていく。とくに、明治後期の思想（初期社会主義・修養思想など）には重視していきたい。
成績評価の方法	レポートと定期試験、講義への出席。
教科書	講義中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学(2) 〔中国古代史〕	こばやし 小林 惣八	法 B 選	4
		12以降入学生/法A選	

講義のねらい	中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学(3) 〔中国古代思想史〕	こばやし 小林 惣八	法 B 選	4
		12以降入学生/法A選	

講義のねらい	ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわたに 河 谷 あつし 淳	法 B 選 12以降入学生法/法A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

- ①ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
- ②キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
- ③近代哲学（デカルト、ロック、カント）

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）、レポート、出欠による総合評価。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	いこた 伊 古 田 まさる 理	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

近代以降の人間の活動のありかたを考察することをねらいとするが、本年度は「技術」をテーマとし、「ものをつくる」という人間の活動のもつ意味と問題点をさぐる。

成績評価の方法

試験（夏期中間＋期末定期）＋レポート課題による

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	すずき 鈴 木 さとし 聡	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

《合理的な行為と因果性》を中心テーマとし、以下の素材を叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果性
2. 逆向き因果
3. 時間論
4. ニューカムのパラドクス
5. 囚人のディレンマ

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小レポート・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→レポート（質問）→レポートを反映した講義→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①古典的三段論法
- ②公理系Ⅰ～命題論理
- ③公理系Ⅱ～述語論理
- ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさお たかし 麻生 享志	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概論、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題が考えられる。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義を理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではない。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要である。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わる。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めたい。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

基本的にはなし。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めない。主体的な質問は大いに歓迎する。初日はガイダンスとし、定時から五分程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古 田 知 章	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえきやすひこ 末 木 恭 彦	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題とした。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教 科 書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参 考 書 等

講義中に適宜に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育の思想 (前期)	伊 藤 茂 樹	法 B 2 選	2
		12以降入学生/法 A 政治選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育と社会 (後期)	伊 藤 茂 樹	法 B 2 選	2
		12以降入学生/法 A 政治選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお 川 田 三 夫	法 B 2 選	2
		12以降入学生/法A・政治選	

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにはさせている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験（論述・レポート）を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらいものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお 川 田 三 夫	12以降入学生/法B1選	2
		12以降入学生/法A・政治選	

講義のねらい

- 1) 教育課程を中心に学校の全般的な運営について理解する。
- 2) 教育や学習の基本的な知識の学習をもとにしての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①教育について、②学習・教育心理学、③教育学・教育原理、④発達心理学、⑤教育課程、⑥学習指導要領、⑦普通教育・職業教育、⑧障害児教育、⑨教育方法、⑩教育評価、⑪新しい動向(1)、⑫新しい動向(2)、⑬生徒・教師の諸問題、⑭教育・学校の諸問題、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けいとく ひろとう 鶏 徳 啓 登	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義②法発生の背景③法とその近辺の社会規範④法の種別と解釈⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、

行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだまつ まさゆき 枝 松 正 行	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に近未来科学であり、社会の変化・生成・発展法則の先見的な究明と管理こそは学的使命なのである。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・ 授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や小泉「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著 『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 〔現代経済と人間〕	み よ う せ ま さ は る 明 瀬 政 治	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・ 授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身についてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教 科 書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参 考 書 等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよんさん 炳 三	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段をとりうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動ともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家庭生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、小児化、高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化に伴う企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代文化を考える〕	はしつ の 橋 爪 さとし 敏	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こ う し 新行内 康 慈	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教 科 書

・P.G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
・必要に応じてプリントを配布します。

参 考 書 等

必要に応じて適時紹介します。

そ の 他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川 上 新 二	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

日本にも韓国にも中国にも「愛人」という語があります。現在の日本でどのような意味で使われているか、すぐに思い当たると思いますが、韓国では恋人の意味で、中国では夫または妻の意味で使われています。また「親戚」というと、現在の私たちは具体的にどのくらいの範囲の人々まで思い浮かべるでしょうか。イトコ（4等親）ぐらいまででしょうか。韓国では6等親（祖父の兄弟の孫）や8等親（ひいおじいさんの兄弟のひ孫）まで含んで考えられているようです。では中国では？などと、同じ後でも3つの国の人々が考える内容は各々違うようです。中国や韓国の女性は結婚しても姓は変わりません。これは現在日本で検討されている夫婦別姓の問題と同じ線上で考えられる問題かどうかなど、東アジアの3国を比べてだけでも様々な相違点が見つかります。世界には様々な民族の文化や社会が存在していますが、文化人類学は分析、比較、考察を通じて様々な文化を理解し、人間とは何かを考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

文化人類学の学問的特長や、家族、姻族、親族、呪術、宗教、経済、法などの諸問題について考察していきます。

成績評価の方法

定期試験や出席状況などで総合的に評価します。レポートを提出してもらう場合もあります。

教 科 書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎい しゅんいち 杉 井 純 一	法 B 選 !2以降入学生/法A選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. 儀礼の構造
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（80%）で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	う ら た さ な え 浦 田 早 苗	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

二十一世紀が幕を開け、世界は更なる高度産業化時代を迎えた。産業・技術の進歩はこれまでにない早さで社会の変質をもたらし、そのため、「政官業のトライアングル」という言葉では、もはや日本の政治システムを語る事が難しくなってきた。政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となっているが、システムの歪み、疲弊を探し当て、それを立て直すことのみ関心をそそいでいたのなら日本の将来はないであろう。大切なのは新たなシステムの構築であり、そのためには、私たち国民一人一人が正面から政治を見つめ直すことが必要である。本講義では政治の現状を分析し、問題の根源がどこにあるのか考察して、そのためにわれわれがすべきこと、できることを考えるための一助を示してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現在の世界、日本が抱える課題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対照として、政治参加の進んだ欧米諸国の政治を概観する。後期は現代日本政治社会システムの分析を行う。取り上げるテーマは官僚制と天下り、会社主義の変容、スタグフレーションとその対策、公共投資の功罪、潜在的利益集団の意義、投票行動などである。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト―簡単な政治論評―は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	や ま む ら つ ね お 山 村 恒 雄	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、素材として取り上げる問題は時事問題であるが、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治的問題に対して自分の意見を形成できるよう、素材として取り上げた問題を通して「分析の道具」を提供するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 現代の国際政治
- 4 冷戦構造
- 5 核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本の貿易摩擦
- 9 日本の国際貢献

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

レポートと学期末試験による。評価基準については、別途配布する。なお、レポート未提出者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己の遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系 (エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	なかむら としえ 中 村 敏 枝	経 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹患した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物工学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	た け だ よういち 竹 田 洋 一	法 B 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの白習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	お が わ けんじろう 小 川 健 次 郎	法 B 選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

最新 図表地学（浜島書店）ISBN 4-8343-4002-3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふ じ い 藤 井 享	法 B 選 1?以降入学生/法A選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しのはらまさお 篠原正雄	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、[地球環境]とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。しかしそれが別の環境破壊を引き起こす可能性もある。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

年度末に行う筆記試験による。平常点を加味する。

教 科 書

石田蕙一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円 その他、講義の中で紹介する。

参 考 書 等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 毅	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ 小 沢	法 B 選 12以降入学生/法A選	4

講義のねらい

数学の特徴である論理的・抽象的な考え方と、それらが情報処理における具体的・計算的な方法といかに深い関連を持つかが理解出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、集合・論理・図形と方程式・代数系・行列・行列式及び固有値を、後期に、微分・積分・積分の応用・確率・統計・数え上げの方法を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

情報処理教育研究会『情報数学の基礎』（日本理工出版会）2,500円

参考書等

野崎昭弘・田中公治『情報数学入門』（サイエンス社）1,117円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 外国語科目

3. 外国語科目

〔英 語〕

英語 I A (法 B)	〈佐々木 隆〉	525
英語 I A (法 B)	〈笹倉 貞夫〉	525
英語 I A (法 B)	〈小笠原 隆元〉	525
英会話 I (法 B)	〈コブレーマッキー, D. S.〉	526
英語 L L I (法 B)	〈真砂 久晃〉	526
英語 I B (法 B)	〈荻野 一成〉	527
英語 I B (法 B)	〈杉本 誠〉	527
英語 I B (法 B)	〈行廣 泰三〉	528
英語 I B (法 B)	〈町田 成男〉	528
英語 I A・I B [再クラス]	〈丹治 弘昌〉	529
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定雄〉	529
英語 I A・I B [再クラス]	〈八十木 裕幸〉	529
英語 I A・I B [再クラス]	〈池上 賀英子〉	530
英語 I A・I B [再クラス]	〈本間 俊一〉	530
英語 II A (法 B)	〈村石 恵照〉	531
英語 II A (法 B)	〈島村 豊博〉	531
英語 II A (法 B)	〈落合 和昭〉	531
英語 II B (法 B)	〈行廣 泰三〉	532
英語 II B (法 B)	〈町田 成男〉	532
英語 II B (法 B)	〈樋渡 俊光〉	532
英語 II B (法 B)	〈河内山 有佐〉	533
英語 II A・II B [再クラス]	〈丸小 哲雄〉	533
英語 II A・II B [再クラス]	〈田口 清一〉	534
英語 II A・II B [再クラス]	〈飯沼 好永〉	534
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩原 輝〉	534

〔ド イ ツ 語〕

ドイツ語 I A (法 B)	〈野島 利彰〉	535
ドイツ語 I B (法 B)	〈藪下 紘一〉	535
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈百濟 勇〉	535
ドイツ語 II A (法 B)	〈清水 修〉	536
ドイツ語 II B (法 B)	〈篠原 敏昭〉	536
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈百濟 勇〉	537

〔フ ラ ンス 語〕

フランス語 I A (法 B)	〈今 関 ア ン〉	538
フランス語 I B (法 B)	〈竹田 正純〉	538
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈前田 祝一〉	538
フランス語 II A (法 B)	〈八木 明美〉	539
フランス語 II B (法 B)	〈木下 雄介〉	539
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈竹田 正純〉	539

〔 中 国 語 〕

中国語 I A (法 B)	〈塩 旗 伸一郎〉	540
中国語 I B (法 B)	〈杉 山 静〉	540
中国語 I A・I B [再クラス]	〈大久保 明 男〉	540
中国語 I A・I B [再クラス]	〈三田村 圭 子〉	541
中国語 I A・I B [再クラス]	〈秋 元 翼〉	541
中国語 II A (法 B)	〈杉 山 静〉	541
中国語 II B (法 B)	〈王 聡〉	542
中国語 II A・II B [再クラス]	〈大久保 明 男〉	542
中国語 II A・II B [再クラス]	〈東 映 全〉	542

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語 I A (法 B)	〈大 岩 功〉	543
スペイン語 I B (法 B)	〈大 岩 功〉	543
スペイン語 I A・I B [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	543
スペイン語 II A (法 B)	〈亀 山 晃 一〉	544
スペイン語 II B (法 B)	〈中 山 直 次〉	544
スペイン語 II A・II B [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	545

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語 I A (法 B)	〈廣 田 英 靖〉	546
ロシア語 I B (法 B)	〈廣 田 英 靖〉	546
ロシア語 I A・I B [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	546
ロシア語 II A (法 B)	〈廣 田 英 靖〉	547
ロシア語 II B (法 B)	〈廣 田 英 靖〉	547
ロシア語 II A・II B [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	547

《再履修クラス》

〔 英 語 〕

英 会 話	I	〈コブレーマッキー, D. S.〉	548
英 会 話	II	〈コブレーマッキー, D. S.〉	549
英 語 L L	I	〈真 砂 久 晃〉	550
英 語 L L	II	〈池 上 賀 英子〉	550

英 語 I A

<英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	さ さ き たかし 佐 々 木 隆	法 B 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

身近な英語から様々な表現にアプローチする予定。できるだけ新しい内容、関心の高いものを扱う為、特にテキストは設けなくて進める予定。リスニング的な要素から、ライティングの要素なども扱いたいと希望している。

成績評価の方法

評価は出席状況と提出物 (講義中) を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	さ さ く ら さ だ お 笹 倉 貞 夫	法 B 1 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。(リスニング教材併用)

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約の英文レポートを随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Pearl S. Buck 『The Story Bible』 (太陽社) 1,442円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	お が さ わ ら り りゅうげん 小 笠 原 隆 元	法 B 1 年	2

講義のねらい

世界中の三分の一近くの人々が対象となり得る英語による意思疎通・伝達、自己主張が将来できるような素養を身につける事をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教場での授業は年間24~5回しかないのでその数倍の自己努力をしてほしいものです。日英両語によるレポート、作文提出を課します。

履修上の留意点

初回授業時に諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席して下さい。

成績評価の方法

成績評価は総合評価

教 科 書

テキスト・参考書類は教場で指示しますが『発信する英語表現』(三修社) 1,700円を購入して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅰ	コブレーマッキー, D. S.	12以降入学生/法B1年	2

(P.548) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLⅠ	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	12以降入学生/法B1年	2

(P.550) 参照

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	おぎの かずしげ 荻野 一成	法 B 1 年	2

講義のねらい

高校卒までの英語力をさらに向上させるよう、速読の基礎を習得する。あくまでも文章から適確に情報を読み取ることに重点を置く。

成績評価の方法

平常授業時の出席は勿論のこと、どれだけ積極的に参加しているか、を重視する。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。レポート、小テスト等有。

教科書

開講時に指示する。

その他

辞書必携。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	すぎもと まこと 杉本 誠	法 B 1 年	2

講義のねらい

新聞英語のテキストを通して、急変する国際情勢を正しく把握し、認識することを目的とする。従って、新聞英語の語法知識もさることながら、各分野で使用されている単語やキーワードなどをしっかりとらえ、新聞英語に対する知識と能力を高め、生きた英語を学ぶとともに、激動する社会問題そのものにも興味を持てるようにすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めるということを重視し、日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、地球環境問題、経済、文化に関する記事を多く読み、大意を把握し、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけたい。

履修上の留意点

毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

大月実編『やさしいニュース英語 2002/2003年版』(成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	ゆきひろ たいぞう 行 廣 泰 三	法 B 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、イギリス人の日常生活（スポーツ、メディア、大学生活、教育等）を通して英文の読解力を養う。

- 内容：1. Eating and Drinking
2. Spending Free Time
3. Education and Beyond
4. Spending money

成績評価の方法

平常点と出席・発表点からする。

教 科 書

『Everyday Life in Britain』（朝日出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	まちだ しげお 町 田 成 男	法 B 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。聴解力については、テープをききながら文章の大意を把握する

成績評価の方法

評価は、出席、発表、課題提出、前期と後期の試験の総合で出すこととする。

教 科 書

テキストは第一回めの授業のガイダンスで発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	たんじ ひろまさ 丹 治 弘 昌	法 B 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	法 B 2 年	2

講義のねらい

英語の発音・表現をアメリカ文化を学びながら身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

主に本文の訳読・設問により読みをダイアログで暗唱をし、English Breakで文化を学ぶ。
前期・・・Unit 1～Unit 7
後期・・・Unit 8～Unit 15

履修上の留意点

事前に必ず予習し、CDのチェックを怠りなく。辞書は持参せよ！

成績評価の方法

ペーパーテスト及びオーラルテストによる。

教 科 書

Sadao Isemura&Dennis R.Kogge著、『アメリカン・ライフを英語で (CD付き)』1,900円

参 考 書 等

中型英和辞典

そ の 他

1 限目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	法 B 2 年	2

講義のねらい

ビジネス、経済、文化などに関する実用英語の運用能力をたかめることを目標とします。ヒット曲を聴きながら音声変化に対応できる能力の育成を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

フードサービス、未来マネー、ノンバンク、新世代住宅、新型車、外資系ホテルなどに関する報道記事を読解します。併せてリスニングの訓練をします。

履修上の留意点

プリントを事前に配布します。毎回指名して授業をすすめますので必ず予習を実行してください。

成績評価の方法

各種テスト、レポート、出席状況（1回欠席-5点減点）などの総合で評価します。

教 科 書

プリント
角山照彦他『English with Hit Songs』（成美堂）1,700円（税別）

参 考 書 等

授業時に紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	いけがみ かえこ 池 上 賀英子	法 B 2 年	2

講義のねらい

読解力とヒアリング能力の向上。

講義の内容・
授業スケジュール

1回の授業で3～4頁進みます。

履修上の留意点

授業前の下調べを怠らないようにして下さい。

成績評価の方法

出席、レポート、テスト。

教 科 書

教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	法 B 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円

英 語 II A

<英語 II A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	むらいし えしやう 村 石 恵 照	法 B 2 年	2

講義のねらい

現実的なトピックにもとづいたダイアログモデルの習得、自分自身の経験をいかせる会話練習、語いの練習などを通して会話力の充実をめざす。

成績評価の方法

評価は出席、授業参加意欲、小テスト (数回) を総合して決定される。

教 科 書

『English Firsthand Gold Level 2 (CD付)』(Longman) 2,300円
本テキストにはCDが付属しているので、学生は自宅で自習することができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	しまむら とよひろ 島 村 豊 博	法 B 2 年	2

講義のねらい

英文を書く際に既習の文型や文法事項をどう活用すればよいかを学び、興味ある話題についてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に日本とアメリカの生活文化の違いへの理解を深め、これを英語で表現できるようにする。

成績評価の方法

前後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をく니다。

教 科 書

斉藤 宏/Keith T. Nishimura 著『WRITING ABOUT CROSS-CULTURAL TOPICS』(成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	おちあい かずあき 落 合 和 昭	法 B 2 年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは中級 (英検準二級、二級、準一級) 程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第三段階は、書取をする。第四段階では、学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が40%、課題・授業中の発表等が60% (課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりである)。出席率は三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『話すための口語英語リスニング』(成美堂) 1,800円
- 2) 『Idiom』(Oxford University Press) 2,200円

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	ゆきひろ たいそう 行 廣 泰 三	法 B 2 年	2

講義のねらい

国際化・情報化といわれる中で、人間同士がコミュニケーションする上で、言葉が重要であることは、確かなことです。しかし、異なる文化背景を持つ人々とのコミュニケーションを計るには、言葉の土台となっている文化を理解することによって、はじめて、可能になるのです。そこで、この授業では、英語を通して異文化理解を養います。

講義の内容・授業スケジュール

- 内容：1. Culture and Identity
2. Hidden Culture
3. Stereotypes
4. Words, Words, Words
5. Communication without Words

成績評価の方法

平常点と出席・発表点からする。

教 科 書

『Different Realities』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	まちだ しげお 町 田 成 男	法 B 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語 I B を基本として、さらに出来るだけ多くの量を読めるように、まず大意の把握をし、読む速度をあげる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

成績評価の方法

評価は、出席、発表、課題提出、前期と後期の試験の総合で出すこととする。

教 科 書

テキストは、第一回めの授業のガイダンスで発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	ひわたり しゅんこう 樋 渡 俊 光	法 B 2 年	2

講義のねらい

アメリカの現代社会文化と日本の文化を比較することによって、将来国際人となる場合の色々な考え方を学ぶ講座とする。又基礎的貿易英語表現を身につけ実学的面をも学ぶ講座である。

履修上の留意点

辞書持参

成績評価の方法

4 / 5 以上の出席、期末テストで評価する

教 科 書

『A SHORTER COURSE IN BUSINESS English (5分間商業英語)』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	こうちやま ありさ 河内山 有 佐	法 B 2 年	2

講義のねらい	スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる
講義の内容・ 授業スケジュール	プレゼンテーション (Show&Tell) 教科書におけるダイアログの応用表現 ディスカッション
履修上の留意点	なし
成績評価の方法	出席、プレゼンテーション重視
教 科 書	『EVERYBODY'S TALKING』(マクラミン) 1,748円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	法 B 3 年	2

講義のねらい	授業は、語学的な技術と同様に、日本と欧米との根本的な発想法のズレを考えるクラスとした い。ものの考え方、価値観、生活のライフ・スタイルなどは、その国の制度・習慣・宗教といった 文化規範によって培われ、またその国の気候や風土も国民性に影響を及ぼすから、そこでまず、 日本文化の独自性と日本人の構想力の働き方や発想法のパターンを自己確認しておく必要がある。 いわば自国の事柄に自覚的になることで、英語の潜在能力を顕在化させる基礎としたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして70分をリーディング・タイムとします。 リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評 の能力を涵養してゆきます。数回の小テストを行ないます。レポート提出もあります。
成績評価の方法	出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
教 科 書	リスニング・テキスト：『First Steps to TOEIC Test Listening』(桐原書店) リーディング・テキスト：『The Compact Culture』(英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	たぐち せいいち 田 口 清 一	法 B 3 年	2

講義のねらい

グローバルな視野に立ち、語彙、文法、背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。そのためには、歴史、美術、音楽、数学、医学といった幅広いトピックを扱い、学生に必須の“cultural literacy”を修得すべく編まれた本テキストは格好のものである。年間を通して、「知的に考える語学」を徹底して実践したい。
尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教 科 書

『Fundamentals-Cultural Literacy for Students- (英語で楽しく知の礎)』（鶴見書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	いぬま よしなが 飯 沼 好 永	法 B 3 年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教 科 書

リーディング：柴山森二郎・上地安貞『Read the age of Transition』（三修社）1,800円
ライティング：プリント使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら てる 萩 原 輝	法 B 3 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen著 『名句で英語を学ぶ』（南雲堂） 1,957円

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>のじま としあき</small> 野 島 利 彰	法 B 1 年	2

講義のねらい

日本語にも文法があり、私たちはそれに沿って日本語を話しています。ドイツ語を理解するためにもやはり文法が必要です。この文法を基礎から学びます。英語の文法との共通点もありますが、むしろそうでない未知の部分の方が面白いかもしれません。

講義の内容・ 授業スケジュール

1回の授業で1課進みます。練習問題に多くの時間を使い、残りの時間を説明に当てます。

履修上の留意点

授業は毎回練習問題から始まります。各問題を指名して答えてもらうので、予習しておくことが大事です。

成績評価の方法

成績評価は予習をしているか否かと、二回の定期試験、および随時行う小テストの結果を見て総合的に判断します。

教 科 書

在間進『わかって楽しいドイツ語』（三修社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>やぶした こういち</small> 藪 下 紘 一	法 B 1 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語を勉強しましょう！

成績評価の方法

成績評価は、教室での発表と、7月及び1月の成績の合計で行います。

教 科 書

大岩『初級後期ドイツ語読本（4）』（三修社）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>ももずみ いさむ</small> 百 濟 勇	法 B 2 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、ドイツ語、英会話文章で朗読に力点を置く。毎回、何等かの形で読ませ、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。プリントは教場で配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ A	しみず おさむ 清 水 修	法 B 2 年	2

講義のねらい

特にコミュニケーション能力の養成をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ B	しのはら としあき 篠 原 敏 昭	法 B 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅡA・ⅡBで習った基礎的なことがらをもとに、簡単なレベルから始めて、少しずつレベルをあげながらドイツ語の文章の理解に取り組んでいきたいと思えます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの文化や生活、歴史や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

シュテファン・ヴント/本橋右京『グリム童話で学ぶドイツ語』(郁文堂) 2,000円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

テープをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	<small>ももずみ</small> 百 済 <small>いさむ</small> 勇	法 B 3 年	2

講義のねらい

1991年以來、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、毎回、何等かの形でテストを行う。それを提出し、採点後に返す。その平常点で採点、期末試験は行わない。プリントによる試験問題は、毎回配布。

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	いまぜき 今 関 ア ン	法 B 1 年	2

講義のねらい

初心者を対象に、人称代名詞・冠詞・名詞・形容詞の用法や動詞の活用など、文の基礎単位とその組立の仕組みにあたる文法を学ぶ。最初は慣れ親しんだ英語に比べ複雑に見えるかもしれないが、学習していくうちにフランス語の論理的で明晰な構造に気が付き、楽しく習得できるに違いない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回前週に学んだ事項の小テストを行って、学習成果を確認する予定である。進度はゆっくりなので、落ちこぼれることはない。

履修上の留意点

上記に述べたように、毎週の小テストが成績評価に占める割合はかなり高い。極力欠席しないようにし、授業に積極的に参加することを望む。この場合の出席とは漫然と教室内に座っていることを意味しない。

成績評価の方法

平常点〔小テスト〕50% 定期試験50%

教 科 書

佐藤久美子著『アベセデ・フランセ』（白水社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	たけだ まさずみ 竹 田 正 純	法 B 1 年	2

講義のねらい

文法の復習をしながら、一方で発音と動詞の変化の練習を十分におこなう授業にしたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、日常授業への取り組み方も評価対象とする。

教 科 書

田中他『リカのバリガイド』（駿河台出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	法 B 2 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、一番の基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくり返し教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しいことの勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席すれば取り残されてしまいますから要注意。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、毎週の課題がどれだけ消化できているかについても配慮します。

教 科 書

朝倉剛編『総合フランス語一文法・演習・読章一』＜三訂版＞（朝日出版社）1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ A	や ぎ あ け み 八 木 明 美	法 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひとつお習得した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教 科 書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ B	きのした ゆうすけ 木 下 雄 介	法 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な文章の短篇小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教 科 書

原章三編注『キャビン11』（白水社）1,365円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ A・Ⅱ B 〔再クラス〕	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	法 B 3 年	2

講義のねらい

これまでに学習した諸事項の復習・補完に力を入れてゆきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテキストを中心に評価するが、平常授業で課す提出物も評価対象とするつもりである。

教 科 書

P・Guth（川村編）『ムスティクと砂売りおじさん』（駿河台出版社）500円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.144) 参照

【辞書について】

(P.145) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	塩旗 伸一郎	法 B 1 年	2
中国語ⅠB	杉山 静	法 B 1 年	2

講義のねらい

中国語は漢字の言葉であり、その漢字の形、音、義の中国語的なものをマスターすることが主要な目標である。中国語の漢字の知識をベースに、常用の語彙や基本の文型、文法等の知識を習得して、中国語の読解力と日常の簡単な会話の力を培うことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- A) 中国語の標準語は“普通話”(putonghua)と呼ばれている。その発音制度である“漢語拼音方案”(1958年より実施)を先ず集中的に授業を行なう予定。
 B) 発音知識(要領)をベースに、漢字の標準語音である北京語音を習得する。同時に、日中両国語の漢字の形、音、義の同異点に注意し、比較しながら、漢字と漢語の知識を豊富にする。

成績評価の方法

- A) 平常点を重視する。平常点の構成は、出席率と授業に臨む態度による。
 B) ペーパー試験や発音テストによる。

教科書

教科書：沈国威著『チャイニーズステーション』(好文出版社)2,400円(テープ付)
 辞書：香坂順一編『現代中国語辞典』(光生館)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	大久保 明 男	法 B 2 年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語はじめての一步』(白水社)2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{み た む ら} 三田村 ^{け い こ} 圭 子	法 B 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。

教科書

相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{あ き も と} 秋 元 ^{た す く} 翼	法 B 2 年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

山田真一『500語マスター基本中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	^{す ぎ や ま} 杉 山 ^{や す し} 静	法 B 2 年	2

講義のねらい

- A) 本講義は中国語中級レベルのもので、中国語の基礎的学力を有する生徒の為に、その中国語の読解、会話等能力を一定のレベルに向上させるのが目的である。
B) 発音の知識をベースに、閲読と対話の教材を多量に学習する。一方、中国の文化、歴史、民族の風習等にも注意を払いながら、語学の力を培う。
C) 授業は学生が中心（主体）で行なうので、一応ゼミナールの方式を採るが、教師はまとめ役にすぎない。

履修上の留意点

授業のとき、生徒が主役で学習を進めて、展開して行く。従って、出席することは勿論大事で、予習や事前の準備を怠ってはいけない。

成績評価の方法

- A) 出席率に基づいて評価するが、同時に、授業に臨む態度や、事前の予習の度合を確認する。
B) 発音テスト、ペーパー試験の結果も合わせて評価する。

教科書

日下恒夫・石汝傑共著『ことはの旅』（好文出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	法 B 2 年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実際に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教 科 書

三瀧正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明 男	法 B 3 年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教 科 書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一步』（白水社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あずま えいぜん 東 映 全	法 B 3 年	2

講義のねらい

初級で学んだ中国語の基礎（ピンイン）を復習しながら、音読と中国語の構造（語法）を中心に学んでいく。中国語のヒアリングと会話能力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

言葉の習得は、「聞く」「話す」「書く」をまんべんなく学習する。一回一回の授業を大切にしてください。

履修上の留意点

出来るだけ遅刻しないこと、欠席しないこと。授業中に必ず声を出して勉強する必要がある。

成績評価の方法

出席、授業態度、試験等総合的に判断すること。

教 科 書

陳榮生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,800円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	おおいわ 大 岩	法 B 1 年	2
スペイン語ⅠB	いさお 功	法 B 1 年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	くりばやし 栗 林 ゆきえ ゆき絵	法 B 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

「プログレッシブスペイン語辞典」（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	<small>かめやま こういち</small> 亀山 晃 一	法 B 2 年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって困らない為の、コミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	<small>なかやま なおじ</small> 中山 直 次	法 B 2 年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、文法の体系的学習の完成を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した、『やさしいスペイン語』の後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本事項を説明した後、理解を深めるために練習問題を解きます。ただし今年度は、授業が単調になるのを避けるため、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をします。

履修上の留意点

なるべく「専用ノート」を作ってください（小テストの時に参照するためにも）。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書

昨年度からの継続（購入不要）：中山著『やさしいスペイン語』（白水社）
今年度用の副読本：中山著『250語でできるやさしいスペイン語会話』（白水社）

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかもしれませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	栗 林 愉 き 絵 <small>くりばやし ゆきえ</small>	法 B 3 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は前半で文法事項の整理・学習を行い、後半で新聞記事等を読む、という構成で進める予定。

履修上の留意点

講読のテキストは授業中に配布するので必ず出席すること。辞書は授業中に使用するので必ず持ってくること。スペイン語の表現が日本語のどんな表現にあたるかを考えながら勉強してほしい。

成績評価の方法

4月中に受講票を提出しない者は単位取得の意志があるとみなさない。平常点（出席・発言）、小テスト、前後期の試験とも60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教 科 書

上田博人『12課のスペイン語文法』（白水社）

参 考 書 等

〈辞書〉『プログレッシブスペイン語辞典』

*辞書はすでに所有している者はそれを使用すればよいが、未購入の者は上記を購入のこと。

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	法 B 1 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	法 B 1 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだアルファベットや言葉を、具体的に用いられる日常会話の形式で繰り返し練習し、簡単な挨拶から始まるやさしい表現を直接耳から聞き覚えます。ディクタント（書取）を行い、耳で聞き取り、筆記体でもしっかりと書けるようにします。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

米重文樹『話すロシア語入門』（白水社）1,300円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	法 B 2 年	2

ロシア語ⅠAの内容に進じる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	法 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	法 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	法 B 3 年	2

ロシア語ⅡAの内容に準じる。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレ-マッキー, D. S.	11以前入学生/法B1・小1・小2選	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・授業スケジュール

April	Introductions, greetings, asking for information Talking and asking about families
May	Asking about and describing people. Asking and answering questions about personal history REVIEW TEST
June	Welcoming, making offers, accepting & refusing Asking about and telling prices, paying for goods Asking about & identifying locations (inside), giving directions Describing procedures, narrating a sequence
July	REVIEW TEST
September	Routines & schedules, telling time Ordering food & drink, asking for information
October	Inviting, making excuses Making suggestions, talking about the weather REVIEW TEST
November	Likes & Dislikes, gift giving suggestions, objections Describing people & jobs Asking & talking about past events
December	REVIEW TEST
January	Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教 科 書

The main text used will be "Expressions : Book 1", by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 II	コブレーマッキー, D. S.	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

To develop students' ability to present and discuss information about life, interests and current topics.

講義の内容・
授業スケジュール

April	Asking for & giving personal information, wants, intentions Asking about & describing families
May	Asking about plans, asking for more specific information. Asking and talking about vacation activities REVIEW TEST
June	Price & payment Describing occupations, like & dislikes Making requests, thanking Plans & obligations, making reservations
July	REVIEW TEST
September	Asking for & giving directions, offering help Discussing habits, degree
October	Talking about past events, surprise, congratulations Discussing health, giving advice REVIEW TEST
November	Discussing work experience & education, comparing Discussing past experience, describing places Describing objects, making recommendations Errands, apologizing, making excuses
December	REVIEW TEST
January	Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners and users of English. Students will be required to work in pairs or small groups, using English only. Students will also be required to make weekly use of Internet resources.

成績評価の方法

Will be by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text will be "Expressions : Book 2", by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参考書等

Supplementary materials may also be provided by the teacher.

英語 LL I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFLで450点、TOEIC500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL I	ま な ご ひ さ あ き 真 砂 久 晃	11以前入学生/法B1・2・3・4選	2

講義のねらい	基本的な英語のListening能力と発音の向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間、ビデオを見ながら、Listeningの練習をして耳を慣らし、正しい発音ができるようにする。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。（正当な理由のある欠席については考慮する）
成績評価の方法	成績=（前期の点数+後期の成績）÷2 前期、後期共、成績は（100点満点）=出席点（20～30%）+テスト（70～80%）となる。
教 科 書	小野田栄著『Daily English』（金星堂）2,000円
そ の 他	最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	い け が み か え こ 池 上 賀 英 子	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい	英語のヒアリング能力を、ニュース、映画音楽を通じて向上させる。
教 科 書	教室で指示します。

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
限6時								鈴 木	健康・スポーツ論
7時限	大 石	ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	※高橋	空手道			
	秋 田	バドミントン			村 松	卓球			
	※宮沢	卓球			三 幣	バドミントン			

※は、科目の担当当事者

4. 保健体育科目

健康・スポーツ論〈竹田幸夫〉	555
健康・スポーツ論〈鈴木淳平〉	556
健康・スポーツ実習(卓球)〈宮沢栄作・村松誠〉	556
健康・スポーツ実習(空手道)〈高橋俊介〉	557
健康・スポーツ実習(ニュースポーツ)〈大石武士〉	558
健康・スポーツ実習(バドミントン)〈秋田浩一・三幣晴三〉	559
生涯スポーツ演習(集中前期・基礎)〈休講〉	
生涯スポーツ演習(集中前期・応用)〈休講〉	
生涯スポーツ演習(集中後期・基礎)〈休講〉	
生涯スポーツ演習(集中後期・応用)〈休講〉	
生涯スポーツ演習(シーズン前期・基礎)〈竹田幸夫他〉	560
生涯スポーツ演習(シーズン前期・応用)	
生涯スポーツ演習(シーズン後期・基礎)〈佐藤政之他〉	561
生涯スポーツ演習(シーズン後期・応用)	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (後期)	た け だ ゆ き お 竹 田 幸 夫	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：　　　　〃　　　（心と体、ストレス）
- 4 時限：　　　　〃　　　（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：　　　　〃　　　（体力要素の特徴）
- 7 時限：　　　　〃　　　（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：　　　　〃　　　（運動の上達、習熟とは）
- 10時限：　　　〃　　　（運動の発達）
- 11時限：　　　〃　　　（スポーツにおける右と左）
- 12時限：　　　〃　　　（イメージトレーニング）
- 13時限：　　　〃
- 14時限：まとめ
- 15時限：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カッサ出版部） 1, 700円

参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき しゅんべい 鈴木 淳平	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原理
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：ク
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：ク
- 14 時間目：ク
- 15 時間目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	みやざわ えいさく むらまつ まこと 宮沢 栄作・村松 誠	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特に2部学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時間目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時間目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時間目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時間目：サービス、バックハンド
- 6 時間目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時間目：総合練習
- 8 時間目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時間目：シングルスゲーム
- 10 時間目：ク
- 11 時間目：ク
- 12 時間目：ダブルスゲーム
- 13 時間目：ク
- 14 時間目：ク
- 15 時間目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゆんすけ 高 橋 俊 介	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	お お い し た け し 大 石 武 士	法B1・2・3・4選	1

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あまた こういち みゆき はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習（バドミントンのスイング技術・グリップ）
- 2時限目：サーブの基本技術・フォアとバックシングの基本技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6時限目：同 第2日目
- 7時限目：同 第3日目
- 8時限目：同 第4日目
- 9時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだ ゆきお 竹田 幸夫 他	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義:12:10~12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目 7月20日(土) 講義:13:00~15:30 2研-101教場
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

(2) 実習内容

- 1日目 9月9日(月) 実技:14:00~17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義:19:00~21:00 《ゴルフスイングの基本》
2日目 9月10日(火) 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
3日目 9月11日(水) 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
4日目 9月12日(木) 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
5日目 9月13日(金) 実技:9:00~11:00・12:30~14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
① 宿泊先:軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
② 練習場:軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
③ コース:晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日(月)~13日(金) 4泊5日
(4) 募集人員 定員20名(事前登録科目である。)
(5) 集合・解散 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。
詳細については(時間:道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
(6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。
(7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎／応用) スキー	さとうまさゆき 佐藤政之 他	法B1・2・3・4選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 事前授業： 5月18日（土）12：10～12：50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日（土）13：00～15：30 2研-101教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日（月）> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日（火）>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日（水）>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日（木）>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日（金）>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日 程：平成15年2月17日（月）～2月21日（金）の4泊5日
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話（0195）73-5019
- 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日（金）～6月6日（木）までに経理部窓口で納入すること。
- 4) 定 員：30名
受講票を教務部窓口で配布するので履修届提出の際、添付すること。定員に達した時点で受講票の配布を終了する。
- 5) 『履修届（事前登録）』に関する注意：教務部窓口へ提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限（後期）』で記入すること。
- 6) オリエンテーション：上記の事前講義（5月18日（土）・12月21日（土））で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 7) スキー用具：スキー用具は現地レンタル可能（有料）。

成績評価の方法

事前授業および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

法律学科フレックス B・第2部法律学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 281)

II. 専門教育科目

法律学科

※印の科目については、法律学科フレックスA・第1部法律学科の頁を参照してください。

法 学 概 論	〈北野かほる〉	567
憲 法	〈斉藤 寿〉	568
民 法 総 論	〈林 幸司〉	569
刑 法 総 論	〈山口邦夫〉	570
会 社 法	〈荒木正孝〉	570
行 政 法 総 論	〈塩入みほも〉	571
国 際 法	〈王志安〉	572
裁 判 法	〈五百田俊治〉	573
※比較 憲 法	〈斉藤 寿〉	(306)
※親 族 法	〈竹中智香〉	574
※法 社 会 学	〈岡寄 修〉	(307)
日 本 法 制 史	〈茂野 隆晴〉	574
西 洋 法 制 史	〈休 講〉	
刑 事 政 策	〈斎藤 静敬〉	575
法 思 想 史	〈河見 誠〉	575
政 治 学 原 論	〈大塚 桂〉	576
※マス・コミュニケーション	論 相田 敏彦	(312)
※政 治 史	楠 精一郎	(314)
※経 済 学 原 論	藤原 碩宣	577
行 政 学	田丸 大	577
※法 律 時 事 英 語	〈牧野 和夫〉	(315)
現代法のトレンド	〈藤本 茂・青野博之・荒木正孝・竹中智香・林 幸司・間瀬清史〉	578
基 礎 憲 法 演 習	〈中野 辰久〉	579
基 礎 民 法 演 習	〈早坂 亨〉	580
基 礎 刑 法 演 習	〈木村 美隆〉	581
物 権 法	〈鶴井 俊吉〉	581
債 権 総 論	〈河野 弘矩〉	582
債 権 各 論	〈青野 博之〉	583
刑 法 各 論	〈山口 邦夫〉	583
有 価 証 券 法	〈島原 宏明〉	584
登 記 法	〈田沼 浩〉	584
※英 米 法	〈北野かほる〉	(320)
※独 法	〈山口 邦夫〉	(322)
※仏 法	〈上井 長久〉	(321)
行 政 法 各 論	〈金子 昇平〉	585
税 法	〈岸田 貞夫〉	585
地 方 自 治 法	〈富井 幸雄〉	586
国 際 紛 争 解 決 法	〈王 志安〉	586
担 保 物 権 法	〈鶴井 俊吉〉	587
相 続 法	〈竹中 智香〉	587
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法	〈関口 雅夫〉	588
保 險 ・ 海 商 法	〈山田 泰彦〉	589

民事訴訟法	〈間 淵 清 史〉	590
民事執行・保全法	〈梅 善 夫〉	590
倒産処理法	〈奥 野 善 彦〉	591
刑事訴訟法	〈小木曾 綾〉	592
労働訴訟法	〈藤 本 茂〉	593
社会保障法	〈原 田 啓一郎〉	594
金融法	〈川 田 悦 男〉	594
経済法	〈岡 田 外司博〉	595
国際私法	〈笠 原 俊 宏〉	595
環境法	〈松 村 弓 彦〉	596
知的財産権法	〈盛 岡 一 夫〉	596
財政法学	〈速 水 昇 昇〉	597
国際関係論	〈南 山 淳 淳〉	597
経済政策	〈西 山 司 司〉	598
※証券取引法	〈春 田 博 博〉	(330)
※国際取引法	〈横 山 真規雄〉	(334)
※航空・宇宙法	〈関 口 雅 夫 夫〉	(328)
※消費者法	〈河 野 弘 矩 矩〉	(329)
※法哲学	〈河 見 誠 誠〉	(327)
※社会政策	〈原 田 啓一郎〉	(336)
※外交史	〈高 光 佳 絵 絵〉	(337)
※政治思想史	〈小 林 正 敏 敏〉	(338)
※外書講読 (英書)	〈青 野 博 之 之〉	(338)
※外書講読 (英書)	〈岡 田 外司博〉	(339)
※外書講読 (英書)	〈金 子 昇 平 平〉	(339)
※外書講読 (独書)	〈松 村 格 格〉	(340)
※外書講読 (仏書)	〈荒 木 正 孝 孝〉	(340)
※外書講読 (中国書)	〈江 林 英 基 基〉	(341)
※外書講読 (スペイン書)	〈宮 地 達 郎 郎〉	(341)
応用憲法演習	〈中 野 辰 久 久〉	598
応用民法演習	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦〉	599
応用刑法演習	〈木 村 美 隆 隆〉	599
現代企業論	〈齊 藤 正 正〉	600
演習 I・II	〈青 野 博 之 之〉	600
演習 I・II	〈大 宮 隆 隆〉	601
演習 I・II	〈金 子 昇 平 平〉	601
演習 I・II	〈松 村 格 格〉	601
演習 I・II	〈西 修 修〉	602
演習 I・II	〈小 木 曾 綾 綾〉	602
演習 I・II	〈林 幸 司 司〉	603
演習 I・II	〈間 淵 清 史 史〉	604
演習 I・II	〈山 田 泰 彦 彦〉	604

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学概論	北野かほる	法 B 1 必	4

講義のねらい

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1部 社会と法
 - 第1章 一般的考察
 - 第1節 人間と法
 - 第2節 規範と権力
 - 第3節 正義
 - 第2章 集団編成原理と法規範
 - 第1節 初期的段階の社会原理と法規範
 - 第2節 発達した段階の社会原理と法規範
- 第2部 近代日本の法
 - 第1章 近代日本の系譜
 - 第1節 日本の法的近代化
 - 第2章 近代日本の法
 - 第1節 近代日本法の特徴
 - 第2節 日本近代法の分類
 - 第3節 現代日本法の動向

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく制限する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

夏休みに法・法学関連の書籍を一冊読んで概要をまとめる訓練を目的とするレポートを課す。強制ではないが、レポート提出者には一定限度の優遇措置をとる。読書感想文を求めるレポートではなく、学術書の内容を正確に把握する訓練であるので、目的を十分理解して取り組むこと。一冊読めば試験勉強ができるような教科書はない。試験準備には講義ノートが最も有効な手段である。講義内容は毎年少しずつ違うので、過年度のノートはあまり役に立たない。出席はとらないが、事実上出席していないと試験準備ができなくなるので、十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲法	さいとう 斉 藤 ひさし 寿	12以降入学生/法B1必	4
		11以前入学生/法B1選	

講義のねらい

「憲法原理の究明」

1年間・全体を通して、さわめて楽しい雰囲気の中で、憲法原理の究明を、興味深く行います。特にこの講義は、理論とともに生きた事例と判例を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 憲法概念－権力と国家と憲法－について
- 第2回 近代憲法と現代憲法の基本原理について
- 第3回 明治憲法の成立と特質について
- 第4回 日本国憲法の成立と制定法理について
- 第5回 日本国憲法の動向について
- 第6回 日本国憲法の体系と基本原理について
- 第7回 天皇の地位と権能について
- 第8回 国民の基本的人権について
- 第9回 平等権規定の態様と原理について
- 第10回 精神的自由権規定の態様と原理について
- 第11回 経済的自由権規定の態様と原理について
- 第12回 人身的自由権規定の態様と原理について
- 第13回 人身保護規定の態様と原理について
- 第14回 救済規定権規定の態様と原理について
- 第15回 参政権規定の態様と原理について
- 第16回 社会権規定の態様と原理について
- 第17回 新しい人権について
- 第18回 国民の義務について
- 第19回 平和主義と日本国憲法について
- 第20回 統治機構と権力分立制について
- 第21回 国会の地位と構成と権能について
- 第22回 内閣の組織と権能と責任について
- 第23回 裁判所の地位と構成と権能について
- 第24回 憲法訴訟原理と違憲審査制について
- 第25回 財政の原則と予算と決算について
- 第26回 住民自治と団体自治の原理について
- 第27回 憲法保障の意義と方法について
- 第28回 国宝の諸形式について
- 第29回 試験

履修上の留意点

※履修への対応 (Attitude of Your Lessons)

- ① Preparation (予習)
- ② Marginal Note (余白ノート)の作成
- ③ Review(復習)

については、毎回指導します。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から講義の際、選択・指示します。

参 考 書 等

シラバス参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法総則	はやし 林 幸 司	12以降入学生/法B1・11選必 11以前入学生/法B1選	4

講義のねらい

- 1：民法総則の分野について、受講生に「基本的な理解」が身につくよう目指すこと
- 2：「具体的な事例を通して理解を深める方法」を習得することによって、受講生の民法に対する興味を触発すること

講義の内容・ 授業スケジュール

民法とは「私たち個人間の生活関係、特に財産（契約や所有物など）と家族（親子・夫婦など）に関する権利・義務関係を規律する法律」のことで、ここで扱われる問題は、諸君が日常生活で無意識のうちに触れているものばかりである。

民法典は大きく分けると、①総則、②物権（担保物権も含む）、③債権（債権総論と債権各論）、④親族、⑤相続の五つの部分に分けられるが、本講義では、①総則の分野を扱う。この①総則は「民法全体（特に②③）に共通する原則や事項を扱う分野」であり、その内容は、次のように権利を中心に構成されている。

- 一、基本原則（信義誠実、権利濫用の禁止）
- 二、権利の主体（権利を取得できるのは誰か）
 - 1：自然人（生きて生まれた者）
 - (1) 権利能力（権利主体になれる地位）出生による権利能力の発生と胎児の例外など
 - (2) 制限能力者（未成年者・成年被後見人・被保佐人・被補助人）
 - 2：法人（法によって認められた権利の帰属点）公益法人の設立・管理・解散など
 - 3：住所・失踪・同時死亡の推定
- 三、権利の客体（どのようなものが権利の対象となるか）
物とは何か、動産と不動産の区別、主物と従物の関係など
- 四、権利の変動（どのような場合に権利は発生し、移転し、消滅するか）
 - 1：法律行為（契約など意思表示を構成要素とする行為）
 - (1) 総則 法律行為一般に共通する事項（公序良俗違反や法律行為の解釈など）
 - (2) 意思表示（権利義務の変動を望む意思を相手に表示する行為）
 - ・意思の欠缺（表示に対応する意思の欠落）①心裡留保、②虚偽表示、③錯誤
 - ・瑕疵ある意思表示（不法に動機づけられた欠陥のある意思表示）①詐欺、②強迫
 - (3) 代理（他人〔代理人〕が行った法律行為で本人が権利を取得する制度）
 - ・本人、代理人、相手方の三面関係
 - ・無権代理（代理人と称する者が行った行為につき代理権がなかった場合）
 - ①表見代理、②本人による無権代理行為の追認、③無権代理人の責任、など
 - (4) 法律行為の無効・取消
 - (5) 法律行為の条件・期限
- 2：期間
- 3：時効（時間の経過によって権利の変動を認める制度）
 - (1) 総則 時効一般に共通する時効（援用の必要性、中断、停止など）
 - (2) 取得時効（時間の経過によって権利の取得（発生）を認める制度）
 - (3) 消滅時効（時間の経過によって権利の消滅を認める制度）

本講義もほぼこの順序で解説して行くが、一の基本原則（信義誠実・権利濫用）と二の法人については、時効の後にまわすことにする（その理由は開講時に説明する）。そのかわりに、最初の数回は、民法入門をかかえて、i) 民法とはどのような法律か、ii) 民法の全体像の把握、iii) 近代市民法の三原則（私的自治の原則、所有権絶対の原則、過失責任の原則）をとりあげて解説する。

履修上の留意点

私語の厳禁 ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっと静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色が見られなかったり、何か悪いことをしたのか（または「なぜ私だけが」と言わんばかりににらみ返してくるという者もいる。このテの者にはその場で退場を通告するという強い態度で望むので覚悟してもらいたい。

成績評価の方法

期末試験の評価が中心となるが、講義前に配布した用紙に質問や意見などを書いてもらい、講義後に回収する。これらにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多いので、若干のプラス評価を行うつもりである。

参考書等

永田・松本・松岡著『民法入門・総則 [第2版] エssenシャル民法1』(有斐閣) 2,000円
※気にいった教科書がほかにある場合はそれでもよいが、講義で読み上げたり引用する場合はこの教科書を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑法総論	やまぐち くに お 山 口 邦 夫	12以降入学生/法B1・2・3・4選必 11以前入学生/法B1選	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早く抜け出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生の自覚をもって、講義や読書を通じて、みづから積極的に研究する態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

一年間を次の4期に分けて講義をする。Ⅰ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、1月の1回は、質問日とする。

Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

Ⅱ期。刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

Ⅲ期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

Ⅳ期。犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の対立を考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

年間を通じて、原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているのので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果を、年一回の期末試験の成績と一緒に評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、参考書はその度に紹介するので、積極的に読書してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会社法	あ ら き ま さ た か 荒 木 正 孝	12以降入学生/法B1・2・3選必 11以前入学生/法B2選	4

講義のねらい

この講義では、会社法(総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社)の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。ところで商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法=財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年に重要な商法の改正が行われたので、必ず平成14年版の六法をもって出席してください。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』(第6版)(有斐閣)
奥島・中島編『商法演習Ⅰ(会社法)第3版』(成文堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法総論	しおいり 塩 入 みほも	12以降入学生/法B1・11(選必)	4
		11以前入学生/法B2(選)	

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法であり、行政法の基本的な仕組と理論一般について講義を行ないます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——を学び、以上の知識を前提として、最後に、国民の権利救済に関する行政救済法—国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法—の仕組みにつき、講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解かり易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題は都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等

最初の講義の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際法	おう 王 志 安	12以降入学生/法B1/1選必	4
		11以前入学生/法B1/1選	

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意識をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著 『現代国際法』 (八千代出版) 1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集

その他

授業はすべてpower pointを使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁判法	いほたとしはる 五百田 俊 治	12以降入学生/法B1(小)選必	4
		11以前入学生/法B1(小)選	

講義のねらい

裁判手続の特性について、主として民事訴訟手続・刑事訴訟手続を中心に講義します。裁判も紛争解決の一方法ですが、他の紛争解決方法とどのような点が異なるのか、そこでの基本的なルールとはどのようなものか、何故そのようなルールが用いられているかについて講義します。それと共に、法解釈の基本、法の種類、権利の種類、法と権利と裁判の関係についても触れたいと思います。又近時司法改革が唱えられていますが、そこでの問題点や今後の司法のあり方についても講義する予定です。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 法
 - 1 法と道徳との違い
 - 2 法の体系と種類
 - 3 法の解釈
 - 4 法律情報へのアクセス
- 第2章 権利
 - 1 権利と義務の定義
 - 2 権利の種類
 - 3 権利の主体
 - 4 権利の客体
 - 5 権利の生成過程
- 第3章 裁判
 - 1 裁判の対象(司法権の範囲と限界)
 - 2 裁判所の組織と裁判官の独立
 - 3 裁判のしくみと手続
 - ①民事訴訟手続
 - ②刑事訴訟手続
 - ③行政訴訟手続

履修上の留意点

教科書を予習して問題点を把握しておいてください。

成績評価の方法

期末テストにおける論文式テスト(複数問から選択予定)により評価します。

教 科 書

第一回の授業の際に指定します。

参 考 書 等

兼子一・竹下守夫『裁判法』(有斐閣法律学全集)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親族法	たけなかつちか香 竹 中 智 香	法 B 1・2 選 12以降入学生/法 A 1・1 選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も重視する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本法制史	しげのたかはる 茂 野 隆 晴	法 B 1・2 選 12以降入学生/法 A 1・1 選	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探究、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際に元の文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなろうか。

講義の内容・授業スケジュール

時代区分として、上古(氏族法時代)、中古(律令法時代)、中世(武家法時代前期)、近世(武家法時代後期)、近代(含む幕末)の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法・刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返して、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ず揃えて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れないものがあれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,500円 このほかは、場合により指示します。

その他

授業の方法は講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑事政策	さいとう よしゆき 齋藤 静敬	法B1・2選 12以降入学生/法A1・2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この社会の中から犯罪を防止することができるのであろうか？たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでも犯罪のない社会の実現にむけて努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探求するものである。そこで、
1. 犯罪現象の類型的考察（例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪。）2. 犯罪者の処遇（例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放。）3. 犯罪者に対する制裁（例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分）4. 犯罪の司法的処理（例えば、起訴猶予、執行猶予。）……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通して置く。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』（創成社）2,800円＋税

その他

講義方式

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	かわみ まこと 河見 誠	法B1・2選 12以降入学生/法A1・2選	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よってたっている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

- 近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、中世ローマ・キリスト教の思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）
- 近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）
- 近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかもしれない。

教科書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

参考書等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学原論	おおつか 大 塚 かつら 桂	法 B 1・2 選	4
		12以降入学生/法 A1 1選	

講義のねらい

○自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず、ひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

○講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、実際の政治の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を習得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科学科の研究上必要な基本的な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

○講義のすすめかた

現代政治学のおおよそのアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

○講義内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（レティズンシップ）

C 国家の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえA・B両方式のうちのいずれかに決定します。

A方式（レポートによる単位認定）

複数回（前期・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成とおおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A方式の場合には、追・再試験は実施しません。B方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済原論	藤原 碩宣 <small>かじわら ひろのり</small>	法 B 1・2 選	4
		12以降入学生/法 A 1・2 選	

講義のねらい

経済学の基本的要件の理解
日本経済の直面する課題
理論と現実の乖離とその説明
といった点を主眼として行います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、経済学の性格、他分野との関係、成立要件といった基礎と、マクロ経済学国民経済循環、産業連関分析、国民所得概念および国民所得決定論など。
後期では、ミクロ経済学および応用経済学--個別経済主体の行動分析、寡占経済理論、バブルの発生とその崩壊、財政・金融問題など。

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事が大切です。

成績評価の方法

ペーパーテスト。但し、自発的なレポートやテーマを決めたスクラップ作りなどを試験前に提出すれば、評価に加えます。

教 科 書

藤原碩宣編著 『経済と経済学』（実教出版）
その他は適宜授業中に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政学	田丸 大 <small>た ま る だい</small>	法 B 1・2 選	4
		12以降入学生/法 A 1・2 選	

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や発泡酒の税率引上げ問題、自治体（地方）レベルでは市町村合併や住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これら行政現象に流れる行政の活動論理を探ることが行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の性質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュール等詳細は講義後に知らせる）。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 地方分権改革等。

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教 科 書

森田朗 『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

参 考 書 等

西尾勝 『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代法のトレンド	藤本 茂・青野 博之 荒木 正孝・竹中 智香 林 幸司・間瀬 清史	法 B 1・2 選	4
		法 A 1・2 選	

講義のねらい

現在、社会は大きく変化しようとしています。法もそれと無関係ではられません。本講義では、専門科目の講義担当者が講義では充分触れることのできない現代的課題について、いくつか取り上げて検討していきます。本年度は、主として民事法関係の担当者が、リレー形式で授業を行います。

通常の講義形態と異なりますので、第1回目の講義で、履修上の一般的な注意点と各専門領域での講義内容の概要を説明します。受講希望者は、第1回目の講義に必ず出席してください。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順で講義は進みます。専門領域ごとに3回～4回を予定しています。

各担当者の講義内容は、「詳細情報画面」を参照してください。

成績評価の方法

各担当教員(6名)が、それぞれの講義時間の中で、小テストやレポートなどによって評価を行い、それらの総合点で全体的な評価・単位認定を行ないます。詳細については、担当者ごとに異なりますので注意してください。

教 科 書

講義全体を通じた教科書は特に指定しません。

参 考 書 等

参考図書等については、各回の担当者の指示に従ってください。なお、六法は持参してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎憲法演習	な かの たつ ひさ 中 野 辰 久	法 B 1・2 選	4
		法 A 1・2 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験を念頭にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は以下の諸点を目的に行いたいと思います。

- 1 受講生に身近と思われる具体的事例を素材として取り上げ、憲法等の法律が実社会でどのような役割を担っているかを明らかにするとともに、憲法の基本原理を重点的に検討する。
- 2 1を通して、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の基本原理・基礎的知識の習得を目指し、リーガルマインドの養成をはかる。

講義の内容・ 授業スケジュール

主に基本的人権に関する事例を取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると下記のとおりです。

- 1 死刑の合憲性
- 2 氏名権
- 3 外国人の人権－選挙権、指紋押捺の問題
- 4 平和主義・戦争の放棄－自衛隊の合憲性
- 5 プライバシー権－タレントの権利
- 6 法の下での平等－尊属殺重罰規定違憲判決、議員定数不均衡問題
- 7 表現の自由－報道の自由
- 8 職業選択の自由－プロ野球のドラフト制度
- 9 生存権
- 10 教育を受ける権利－校則の問題
- 11 信仰の自由・政教分離－靖国神社の問題等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、できるかぎり出席することが望ましいと考えます。また、司法試験等の国家試験を念頭に置くと、復習は必ずしてほしいと思います。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式ですから、出席とレポートで評価する予定です。しかし、登録人数が多い場合には試験に変更します。

教 科 書

芦部信喜著『憲法新版補正版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ〔第四版〕』（有斐閣）

参 考 書 等

演習の都度、レジュメを配付する予定です。

そ の 他

司法試験等の国家試験への対処、弁護士の仕事等についても適宜お話していきたいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎民法演習	はやさか 早 坂 亨	法 B 1・2 選	4
		法 A 1・2 選	

講義のねらい

本講義は、受講生が初学者であることを前提に、事例をもとに、実務的観点から民法の基礎、考え方を学ぶ。また、実務法曹になる前提として司法試験等を意識し、これらが何を要求しているかについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法では、現実に取りうる私人間の紛争を規律するという側面を有するため、法的安定性ととも、具体的事案について結論の具体的な妥当性が要求される。従って、事例は、実際の判例を取り上げるが、その他、実務法曹になる前提としての司法試験の問題等も取り上げ、実務法曹としてどのような基本的知識が必要とされるかについても講義、検討する。

履修上の留意点

本講義では、判例、司法試験の過去の問題を素材とするが、本科目の受講生は、民法の初学者を前提としていることから、これらの検討にあたっては、その点を充分配慮し、基本的事項から検討するので、予習よりも復習に重点をおいて受講して欲しい。

また、講義にあたっては、積極的に発言して欲しい。

成績評価の方法

知識の習得度には重点を置かない。むしろ民法の考え方をどれだけ理解したかという点から評価する。

教 科 書

特段指定はしない。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

そ の 他

本講義はゼミ形式とする。

実務法曹として必要な知識の取得を目的とすることから、司法試験についても当然念頭において講義となる。司法試験合格の為には、相当程度の勉強が必要だが、ただがむしゃらに勉強さえすれば良いというものではない。司法試験はあくまで法律実務家になる為の試験であるから、実務法曹として何が望まれているのかを理解し、その方向性に向かって勉強することが必要とされる。従って、判例、司法試験の問題の検討を通じて、実務法曹として、どのような能力が求められているのか、また司法試験では何が要求されているのか、そのためにはどのような勉強をしていけば良いのか、論文の考え方、特に勉強の方向性についての講義・討論を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎刑法演習	木村美隆	法 B 1・2 選	4
		法 A 1・2 選	

講義のねらい

刑法の基礎知識、思考方法の習得を目的とすることは当然であるが、司法試験をはじめとする各種国家試験の合格を目指す学生諸君の存在を意識して、その対策への導入路となることをも心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

刑法は、犯罪の一般的成立要件を中心に分析、検討する刑法総論と、殺人罪、窃盗罪など個別の犯罪の成立要件を分析、検討する刑法各論に分けて講ぜられるのが一般である。この演習では、前期から後期途中までをかけ、刑法総論のテーマを取り上げ、その余の時間で刑法各論の重要論点にふれる予定としている。

刑法は、古くから学説上の争いが顕著で、ときに学界を二分するような議論もなされてきたが、この演習では特定の学説上の立場に把われることなく、常に多様な考え方、視点のあることにならねばならない。

また、司法試験等各種国家試験の対策も念頭に置き、そのために必要な学習方法にも言及する予定である。

さらに、弁護士としての実務経験も適宜織り込み、法律が現実に応用される世界への興味を引き出せたら幸いと考えている。

履修上の留意点

テレビ・新聞等で多くの犯罪が取り上げられることもあって、刑法は親しみやすい科目であるかもしれない。しかし、ひとたび教科書を開いてみれば、極めて論理性的の高い体系のあることに気づかされ、学習の容易でないことを知るはずである。中途半端な学習態度で臨んでもらいたくない。

成績評価の方法

出席と、試験の結果により評価する。

教科書

特定の教科書は使用しないが、学習上何らかの体系書に拠ることが望ましい。参考となる文献は開講時に指示する。

その他

講義形式が中心となるが、学生の発表能力を養うため、試験とは別に答案を書き添削を加える、いわゆる答案練習の機会を持ってみたいと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物権法	今尾真	法 B 2 選	4

講義のねらい

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権（担保物権を除く）について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権（占有権から用益物権まで）を個別的に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請理念を反映する物権変動論は、これらの理念をどこまで貫徹できるかを、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

履修上の留意点

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。

教科書

淡路剛久・鎌田薫・原田純孝・生熊長幸著 『民法Ⅱ——物権〔第2版〕』（有斐閣Sシリーズ） 1,900円＋税

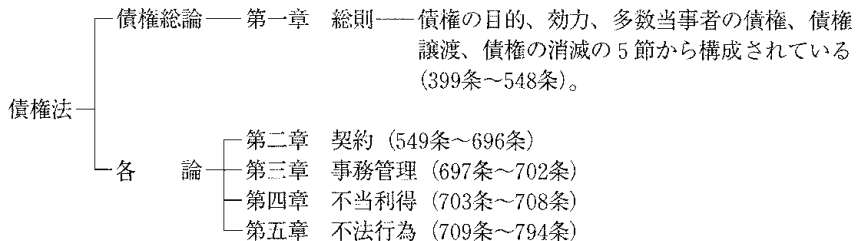
参考書等

星野英一・平井宜雄・能見善久編 『民法判例百選Ⅰ総則・物権〔第五版〕』 別冊ジュリ159号（有斐閣） 2,000円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債権総論	こ う の ひ ろ の り 河 野 弘 矩	法 B 2 選	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。



講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- 1 債権の意義及びその性質
- 2 債権の目的
- 3 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- 4 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- 5 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- 6 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- 7 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。

講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。
参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
債権各論	あおのひろゆき 青野博之	法 B 2 選	4
		12以降入学生/法A1選	

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がおつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、賃貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向性型の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論』（法律文化社）2000年 2,700円
 教科書は上記のものをを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法各論	さとう たみお 佐藤多美夫	法 B 2 選	4
		12以降入学生/法A1選	

講義のねらい

刑法各論の全体像を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

各論は個人的法益に対する罪（生命・身体・自由・財産等）、社会的法益に対する罪（公共の安全・公共の信用・風俗等）、国家的法益に対する罪（職権乱用・賄賂等）について講義する。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示する（欠席しないように）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
有価証券法	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	法 B 2 選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいと思われるため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
登記法	たぬま ひろし 田 沼 浩	法 B 2 選 法 A 2 選	4

講義のねらい

「不動産登記法」および「商業登記法」の講義を行う。初めて不動産登記法・商業登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての不動産登記法・商業登記法が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、不動産登記・商業登記制度の意義を通じて、両法のより深い理解を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

不動産登記においては、不動産に関する取引全体の流れにおける不動産登記の役割を理解することを目指したい。商業登記法においては、会社法と相関させることによって会社の起業に役立つ程度の知識を最低限習得できるように努めたい。

履修上の留意点

民法典第二編物権（物権法）、商法典第二編会社（会社法）の受講者が履修することが望ましい。この講義を受講することが望ましい者は、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者である。そこを留意して受講していただきたい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

法務省民事局第四課編『商業登記法入門』（きんざい） 3,619円

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール [第四版補訂版] 不動産登記法』（日本評論社） 3,500円（初学者は『基本法コンメンタール』を直ちに購入しなくても良い。）

『六法全書』は、毎回持参すること。

参考書等

法務省民事局編『不動産登記実務 [五訂版]』（法曹会）4,000円（初学者は購入しなくても良い。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	か ね こ し ょ う へ い 金 子 昇 平	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償(国家賠償法、損失補償)
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟(行政事件訴訟法)

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

成田頼明他『現代行政法』第4版 (有斐閣)

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選I・II』第四版 (有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税法	き し だ さ だ お 岸 田 貞 夫	法 B 3・4 選 12以降入学生/法 A 1 選	4

講義のねらい

税法の体系を法律的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』(税務経理協会) 2,900円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』(弘文堂)

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆ き お 富 井 幸 雄	法 B 3・4 選 12以降入学生/法A1選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あ ん 王 志 安	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構(WTO)の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担保物権法	つるい しゅんきち 鶴井 俊吉	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・
授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教科書

遠藤・川井他編 『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相続法	たけなか ちか 竹中 智香	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も重視する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	せきぐち まさお 関 口 雅 夫	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

専門科目としての商法学は、商法全体についての概念的な知識、商法に対する基本的な考え方、および個々の法律問題への取りくみ方など、商法についての最も基礎的であると考えられる問題の理論的そして体系的な解明を目的とする学問である。この講義は、商法学の内、商法総論、商法総則および商行為法を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

商法総論においては、商法の意義、商法の特色、商法の体系、商法の適用の四つのテーマを論考する。次に、商法総則においては、営業の主体、営業行為、営業の人的組織、営業の物的組織、営業の譲渡、商業登記の六つのテーマを論ずる。そして商行為法においては、商行為の概念、商行為法の総則、商事売買、交互計算、匿名組合、仲立営業、運送取扱営業、運送営業、寄託の十の主要な問題を考察する。一年間で25回の講義を予定する。

履修上の留意点

ここに選ばれた20のテーマは、商法の特定分野に関するものではあるけれども、これから商法を体系的に学んで行こうとする諸君にとって、欠かすことの出来ないと思われる問題を取りあつかっている。もっとも、この講義は、全ての学生のニーズを満すものではない。この講義が特に必要であると考えられる学生は、将来自営業を志したいと考えている学生、会社員になりたいと考えている学生、および司法試験を受験したいと考えている学生である。この意味で、学生諸君は、自分で自分の将来計画を明確にし、受講すべきか否かを決定することが肝要である。

成績評価の方法

平常点と期末試験を重視する。

教 科 書

関口雅夫編著『現代商法Ⅰ〔総則・商行為〕』（八千代出版）2,800円を使用する。六法全書は、毎回持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険・海商法	や ま だ や す ひ こ 山 田 泰 彦	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

私たちの生活は、いろいろな危険に満ちている。私たちは、それにあまり気が付かずに生活していたりするが、時には、不幸な事故に巻き込まれたり、あるいは逆に事故を引き起こしたりもする。こうした不幸への危険性は、この社会に生き、活動しているすべての人々（すなわち法主体、当然、会社も人である）に程度の差こそあれ、無縁ではない。危険が現実のものとなったとき、そこに通常、損害が発生する。この損害は、どのように処理すれば良いのだろうか。事故を引き起こした者がいるのであれば、この者が損害を負担すべきである。しかし、この者に資力がなかったならば、被害者の受けた損害は回復されずに酷いことになる。さらに、加害者も存在していないような場合には、どうすれば良いのだろうか。こうしたことへの不安は、人が生き活動して行く上での不安であり、今に始まったことではない。人類は、古くから、このための種々の方策を考えてきたが、複雑・高度化した現代社会は、かつてないほどの、不安と危険のジャングルとなっているのである。保険は、そのための方策の中で、最も高度に洗練された仕組みである。私の講義では保険という仕組みが法的にどのように制度化されているかを見る。

ところで、保険は、他面において賭博に似ている（どちらも偶然の出来事により、多額の金銭を取得できるではないか）。そして、海の危険に満ち満ちた海上企業活動は、かつては、冒険企業の典型であった。保険が考案され発展したのは、中世地中海世界が育んだ海上企業活動においてであったということは、保険と海商との賭博的な共通の色彩の賜といえるのかもしれない（やがて保険制度は、海から陸にも上がり、今日見られるような隆盛を迎える）。当時の海上企業は、現在の海上企業とはかなり異なっていたし（法的制度としての株式会社に先駆けていたのであるが、株式会社の登場は後年のことである）、その企業活動も海賊が立派な企業活動として認知されていたことから明らかなように、現在と大部隔っている面があった。しかし、近代的国家が形成される前から活発に行なわれていたイタリアの海港都市等に端を発する海事慣習は、その後一定の地域的広がりを得ながら、ヨーロッパのその他の港にもそれぞれの海事慣習の形成を促し、それらがようやく確立する国家の法典に、取捨選択されつつ、結実し、その過程において、民商事法の源流の一つを形成したのである。

さて、そこで海商法である。海商法は、船舶を手段とする海上企業活動に関する法である。当然のことながら、船舶の活動する舞台ともいべき海は、世界へとつながっている。経済活動が狭い一国の地域的空間にのみ終止するのであれば格別、現在のように、世界的規模での市場が形成され、経済活動も世界的掘りを持つにいたると、原料やその加工品である商品の流通は、血管を流れる血液のように確保されなければならない。船舶による海上運送は、いわば、血液の中の血小板のようなもの――または、血液そのものである。船舶を利用して遂行される海上運送は、その国々の経済体制を支えるものであり、世界経済に重要な貢献を果すものである。私の講義では、この海上企業活動を、商法の視点から捉え、そこに働く基本的な法原則を見ることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にする。①保険制度と保険法、②保険契約の当事者・関係者、③保険契約の成立と終了、④保険契約の内容と効果、⑤損害保険契約の意義・内容、⑥損害保険に特有の効果、⑦保険担保、⑧火災保険と地震保険、⑨責任保険と自動車保険、を中心項目とする。

後期は、海商法を取り上げる。①海商法の意義と発展、②海上企業の物的組織、③海上企業の主体、④海上企業の責任と制限、⑤海上物品運送契約の意義と種類、⑥海上物品運送契約の履行（海上物品運送人の義務と権利）、⑦海上物品運送人の責任、⑧船荷証券の意義および種類、⑨船荷証券の効力、⑩海上売買、を中心とする。

保険法および海商法も1項目につき1時間ないし2時間を予定する。

履修上の留意点

講義には六法を持参して下さい。

成績評価の方法

出席は、毎時限、取ります。これは期末試験での成績評価の際に考慮します。

教科書

山野嘉郎・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民事訴訟法	まが ち き よ し 間 渕 清 史	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を旨とし、そのための基準を提示する手続のことをいいます。「民訴」転じて「眼素」ないし「眼訴」とならないように、基本的な概念および手続の仕組みについて、できるだけ具体的に且つ平易に解説したいと考えています。時間的余裕があれば、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事訴訟手続の全体像を何となくわかったという気分になってもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

①民事紛争の解決制度、②民事訴訟制度の現代的課題、③訴え、④裁判所、⑤当事者、⑥第三者による訴訟追行、⑦本案と訴訟要件、⑧当事者と裁判所の役割、⑨口頭弁論の諸原則、⑩口頭弁論の準備、⑪証明と証拠、⑫証明責任、⑬当事者の行為による訴訟の終了、⑭終局判決とその効力、⑮複数請求、⑯共同訴訟、⑰訴訟参加、⑱当事者の変動、⑲上訴・再審、⑳簡略な手続

履修上の留意点

予習復習をするのが最も望ましいことであるとは言ってもありませんが、予習または復習のいずれかだけでもすることを推奨します。

成績評価の方法

主として学年末試験の結果に依拠して行います。問題作成にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮したいと考えています。

教科書

上原敏夫・池田辰夫・山本和彦 著『民事訴訟法（第3版）』（有斐閣Sシリーズ）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民事執行・保全法	とが よ し お 梅 善 夫	法 B 3・4 選 12以降入学生/法A11選	4

講義のねらい

社会において重要な役割を果たしている民事執行法と民事保全法について講義します。民事執行法は、権利の事実上の実現手続きです。民事保全法は、将来の権利実現を保全する手続きです。民事執行法、民事保全法の解釈と両法律の基本原則、重要判例についての理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下のような順序と内容で行います。なお、より詳しい年間の予定表は第1回目の講義のときに配付します。

- ① 私法上の権利の実現方法
- ② 強制執行法の改正と民事執行法の成立
- ③ 仮差押え・仮処分法の改正と民事保全法の成立
- ④ 民事保全法
- ⑤ 民事執行法総論
- ⑥ 強制執行法総論
- ⑦ 強制執行法各論
- ⑧ 担保権の実行としての競売

履修上の留意点

民事訴訟法を履修しているか、併行して履修する人の履修を希望しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の筆記試験のみによって評価します。

教科書

内田武吉編著『民事執行・保全法要説（第2版）』（成文堂）1999年

参考書等

竹下守夫・伊藤編『民事執行法判例百選』（有斐閣）1994年
中野貞一郎『民事執行法（新訂四版）』（青林書院）2000年
その他の参考書については、授業の際に必要なに応じてその都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒産処理法	お ぐ の よ し ひ こ 奥 野 善 彦	法 B 3・4 選	4
		12以降入学生/法 A1 1 選	

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人または企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者および債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにしてほしい。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教 科 書

追って指定

参 考 書 等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

そ の 他

前期－講義 後期－ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑事訴訟法	おぎそ 綾 小 木 曾 綾	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

個人の自由や命は、犯罪による脅威からも国家の不正な権限行使からも守られなければならない。国民が刑事裁判に参加する制度の導入が検討されているが、その前提となるのは、正しい刑事司法制度の理解である。

犯罪が解明され、その実行者が何らかの「けじめ」をつけることは、犯罪によって損なわれた被害者－社会－加害者の関係修復に必要不可欠なことであるが、国の強制権限が用いられる刑事手続では、個人の自由やプライバシー、無事の不処罰といった自由社会の拠って立つ価値もまた守られなければならない。こうした複合的な目的を実現するために刑事司法制度が用意している仕組みを理解し、その適正な運用について考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

概ね、前期は、①刑事手続の概要、②任意捜査と強制捜査、③逮捕、④捜索・押収、⑤職務質問、所持品検査捜査、⑥新しい捜査方法、⑦被疑者取調べ、⑧被疑者の弁護権、について、後期は、①訴追裁量、②公判構造、③起訴方式と訴因、④証拠開示、⑤排除法則、⑥自白の証拠能力、⑦伝聞法則、⑧無罪推定、⑨二重危険禁止、などを扱う予定である。

理解を助けるために、統計資料や新聞記事、ビデオなどを適宜用いる。

履修上の留意点

毎回のレジュメをホームページに掲載し、読むべき教科書・参考書のページも指定するので、履修者は、社会に生起する事件や法律問題に常に関心をもち、予習・復習を怠らず、真剣に授業に臨んでほしい。授業には六法を必ず持参すること。

なお、2年次に裁判法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によるが、日常の勉強を促すため、数回の小テストを授業中に行い、その結果を総合して評価する。基本的概念の理解、論点の把握・整理、正確な法律用語の使用、応用力などが評価基準となる。

教 科 書

次のいずれかを薦める。初回の授業を聴いてから購入するのがよい。

渥美東洋編著『青林法学双書・刑事訴訟法』（青林書院）

出口守一『刑事訴訟法（第2版）』（弘文堂）

参 考 書 等

渥美東洋著『レッスン刑事訴訟法（上）（中）（下）』（中央大学出版部）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

今日、労働法の舞台である労働関係は、日本型雇用システムの変容とも言われるように、変化しています。雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入といったものです。

労働法も、この変化に無関係ではありません。

この変動は、労働者個人に降りかかってくる。その意味では、雇用関係法領域において、顕著な問題であるといえましょう。裁量労働制、配転法理、解雇法理、男女雇用平等などなどです。労働組合を中心に扱う労使関係法領域にはあまり時間を割くことができません。

この変動の時期における現代的課題を考えるにあたって、基礎的事項における形成定着している労働法理を学び、これからの展望を模索しようと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことをまなび、現代的課題に言及します。

詳しくは、第1回目の授業のときに配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。たとえば、私語はNo、内職はNo、携帯電話はOffなど。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は、実施します。

教 科 書

授業は、レジメと資料を配布して進めます。教科書は、特に指定しません。しかし、適するべとして教科書は用意してください。適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして1冊は用意してください。

参 考 書 等

第1回目の授業で紹介します。

六法は最新のもの（法改正があるので特に留意してください）そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

そ の 他

皆さんが、各事項について、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会保障法	原 田 啓 一 郎 <small>はらだ けいいちろう</small>	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

社会保障制度は、20世紀に定着した制度であり、その姿は時代により国によって異なる。わが国では、今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学はようやく本格的な法学の一研究領域として認知された段階にあるといえる。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は今日無視し得ないものになっている。このような社会保障制度をめぐる、あるべき政策論に対して、一定の政策指針を提供するのが社会保障法の今日的課題であると思われる。

本講義では、社会保障法の基礎理論と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

成績評価の方法

出席はとらない。筆記試験の結果によって原則的に成績判定を行なう。

教科書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示をする。

なお、多方面の法律に言及するため、ポケット六法レベルのものでは不十分であるので、社会保障立法を取録する六法を各自必ず用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
金融法	川 田 悦 男 <small>かわた えつお</small>	法 B 3・4 選 12以降入学生/法 A1・4 選	4

講義のねらい

わが国の金融界は、金融のグローバル化、自由化という大きな流れのなかで、不良債権問題などバブル後遺症からの早期脱却と、21世紀の生き残りをかけた業務戦略の再構築を図るといふ、相反する重要な経営課題に直面している。

これを利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではない。

本講義は、このような認識のもとで、われわれ一般市民として、また将来の企業人・金融人として必要な銀行取引に関する法律知識と諸問題について、できるだけ実社会の生きものとして学ぶことを狙いとしており、実学の楽しさも学びとっていただきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

金融法はまだ新しい科目分野であるが、その対象領域はかなり広く関係する法律も多い。本講義では、これらを主に具体的な取引法の観点から学ぶこととし、制定法の規定が現実にはどのように修正されて実際取引に適用されているのか、また、金融環境の変化がどのような新しい法律問題を生じさせているのかなど生きた学問として学習する。

講義内容は次を予定している。詳しくは初回講義の際に資料配布する。

- I 金融法の特質、わが国の金融制度、金融機関の業務内容
- II 預金取引、為替取引、電子マネー・e取引
- III 手形取引、手形交換と取引停止処分制度
- IV 貸出取引、消費者取引、担保、倒産、相続、差押

成績評価の方法

学年末試験を基本に評価する。

教科書

最初の講義のときに話します。

その他

講義形式による。毎回のプリントとサブテキスト配布、一部ビデオ利用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	お か だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	法 B 3・4 選 12以降入学生/法 A 3・4 選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際私法	か さ は ら と し ひ ろ 笠 原 俊 宏	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学修することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（補訂版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
環境法	まつむら ゆみひこ 松 村 弓 彦	法 B 3・4 選 12以降入学生/法 A1・4 選	4

講義のねらい

環境問題を事実と法律論の両面から理解する。私法からのアプローチを中心とするが、現在我が国が当面している環境法上の重要課題については、公法・国際法の分野の問題を含めて勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書と判例（必要に応じて配布する）を中心とし、概ね以下の項目にわたる。

- (1) 環境法の背景・歴史・理念等
- (2) 環境保全法制
- (3) 環境責任
- (4) 費用負担
- (5) 特殊問題－我が国が当面する諸問題

履修上の留意点

事実を踏まえた法理論の理解を深めること。

成績評価の方法

論文式試験（年1回）および授業中の報告の評価による。

教科書

拙著『環境法』（成文堂）

参考書等

森島昭夫ほか編『公害・環境判例百選（別冊ジュリスト126号）』（有斐閣）2,300円

その他

授業の方法：テーマに応じて講義形式とゼミ形式を併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
知的財産権法	もりおか かずお 盛 岡 一 夫	法 B 3・4 選 12以降入学生/法 A1・4 選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）および著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：特許法・実用新案法
後期：意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『工業所有権法概説－知的財産権法の基礎知識－〔第3版〕』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財政学	速水昇	法B3・4選	4
		12以降入学生/法A1選	

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経営活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならぬ問題が非常に多くある。

その反面、わが国の財政は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

成績評価の方法

試験 授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際関係論	南山 淳	法B3・4選	4
		12以降入学生/法A1選	

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というリサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバルゼーション」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際関係に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の時空間に併存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	にしやま 西 山	つかさ 法 B 3・4 選	4
		12以降入学生/法 A 3・4 選	

講義のねらい

従来、経済学の学問体系は、理論、政策、歴史、財政・金融、経営・会計の諸分野から構成されており、特に第二次世界大戦後の現代資本主義経済においては、経済政策を応用経済学の一環として重視する傾向が深まってきているといわれています。

このような動向に対応して、本年度の経済政策の講義は、経済政策の方法論や政策理論の究明および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定です。

特に経済政策の実践性と関連した「価値判断」論争をめぐる諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努めます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールとしては、大きく前期と後期とに大別して、前期には、主として、経済政策の方法論や政策理論について論究し、後期には、資本主義発展と関連した経済政策の史的展開過程と、その特質について論述する予定です。

履修上の留意点

講義の重要箇所や問題点など主要な内容については、出来るかぎり板書して詳説する予定です。受講される諸君は出席してノートされるように希望します。

成績評価の方法

学年末試験が中心になるのは当然ですが、出席も重視します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

清水・松原編『経済政策論を学ぶ』〔新版〕(有斐閣)
なお、講義に関係する文献は、その都度紹介するようにします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用憲法演習	なかの 中 野	たつひさ 法 B 3・4 選	4
		法 A 3・4 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験受験を前提にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は、学部で講義あるいは基礎憲法演習を受講したことを前提に、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の諸論点の理解並びに法解釈における応用力を身につけることを目的にします。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると次のとおりです。1 基本的人権総論 2 基本的人権の限界(公共の福祉論) 3 精神的自由権を規制する立法の合憲性審査基準 4 経済的自由権を規制する立法の合憲性審査基準 5 社会権を巡る問題 6 法の下での平等 等

履修上の留意点

演習(ゼミ)形式ですから、出席が必須と考えます。また、司法試験等の国家試験受験の観点からすると、少なくとも復習は必要と考えます。

成績評価の方法

ゼミ形式で実施しますから、出席とレポートで評価する予定です(変更の可能性あり)。

教 科 書

芦部信喜著『憲法新版補正版』(岩波書店)
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ(第4版)』(有斐閣)

参 考 書 等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。

そ の 他

司法試験等の国家試験への対処についても適宜お話ししていきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用民法演習	鶴井 俊吉・上野 雅祥 小林 寛・濱中 善彦	法 B 3・4 選	4
		法 A 3・4 選	

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、初めての試みである）。②法曹家になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、弁護士（3名程度を予定しています）と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原理をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用刑法演習	木村 美隆	法 B 3・4 選	4
		法 A 3・4 選	

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ること、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味や喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代企業論（前期）	まいとう 藤 正 齊 藤 正	法 B 3・4 選	2
		法 A 3・4 選	

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方とビジネス事例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教科書

毎回、授業で講義資料を配付する。

その他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	あおの ひろゆき 青 野 博 之	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ（要旨）にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

その他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	お お み や <small>たかし</small>	法 B 3 選	4
演習Ⅱ	大 宮 隆	法 B 4 選	

講義のねらい

〔家族法演習〕

家族法の分野から各人が関心のあるテーマを選択し、順次研究成果を報告してもらい、それに基づいて、質問と討論をおこなうものである。学問研究の水準を高めるとともに、親密な人間的交流が生まれることを希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	か ね こ <small>しょうへい</small>	法 B 3 選	4
演習Ⅱ	金 子 昇 平	法 B 4 選	

講義のねらい

本演習においては、行政法上の諸制度、行政法規の仕組み及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代の行政法理論について理解を深めていきたい。

とりあえず、諸君の関心のあるテーマについての判例研究および学術論文の書評を行い、参加者全員とともに議論をつくしたいと思っている。例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題などを挙げておく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ま つ む ら <small>いたる</small>	法 B 3 選	4
演習Ⅱ	松 村 格	法 B 4 選	

講義のねらい

前期には、刑法総論特に犯罪論の重要問題について、当方から出題する問題事例を各人が学習して模範答案を毎回提出し、相互に質疑応答の上、意識を深める。後期は、各人関心のあるテーマについて研究発表して議論する。このようにして、相互に刺激し合いながら、刑法への理解を深める。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、毎回異なった事例問題に取り組み、後期は、発表者毎の学習度によって進める。学習不足な場合には、1人で数週間質疑応答がくり返される。夏休み後半に統一テーマで合宿を行う。

履修上の留意点

演習開始までに、基本書を十分に読み返し、刑法総論の基礎を理解しておく必要がある。

成績評価の方法

普段の授業における学習の成果と質疑応答の積極性によって評価する。

教科書

各人固有の基本書と松村他3名著の『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円

参考書等

ジュリスト 『刑法判例百選Ⅰ総論』等

その他

演習は参加することに意義があるので、理由のない欠席は認めない。専門演習なので、教科書や参考書以外に、テーマ毎の専門書や専門論文を読む努力と積極性が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	にし 西	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけだす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに小人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本として、拙著『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年、『日本国憲法はこうして作られた』（中公文庫）2000年などを予定しています。またディスカッションの内容としては、①日本国憲法の成立過程とその法的問題点、②憲法第9条をめぐる諸問題、③世界の憲法トレンド、④人権の現代的意味などを考えています。その他、年2回の合宿を行ないますが、従来例では、レジャーとしてテニス、スキーをとりいれています。本演習のキャッチ・フレーズは「出会い、学び合い、そして人間愛」。明るく、アット・ホームな感じが特色のゼミであるといわれています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	おきそ 小木曾	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

日本の刑事手続に多大な影響を与えているアメリカ合衆国の刑事手続に関する著書を原文で読み進みながら、日本の運用と比較しつつ、刑事司法のあるべき姿を考える。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカのみならず、世界中が注目したO.J.シブツ事件を担当した著者の『Reasonable Doubt (合理的疑い)』と題する本を各自に訳してもらいながら、刑事裁判における真実、手続的公正さ、陪審などについて議論する。年度末に、テキストの要約程度のレポート提出を求める。

履修上の留意点

英語の原著を読むので、毎週出席のうえ、相当量の予習（日本語訳）をする覚悟のある学生の参加を求める。単年度ごとの開講である点に注意すること。

成績評価の方法

平常点によるが、年度末のレポート提出を義務付ける。

教科書

開講時にコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	はやし 林	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

- 1：民法の中でも、特にゼミ生が興味をもてるテーマを選択し、じっくり時間をかけて理解を深めてもらうこと
- 2：「具体的な事例問題や判例を素材に『討論』すること」の重要性を修得してもらうこと
- 3：討論において、ゼミ生自身納得のいく結論（見解）が出せるよう努力してもらうとともに、それを根拠づける「法的理論構成」の重要性を理解してもらうこと

講義の内容・授業スケジュール

民法全領域（家族法も含む）の中から、ゼミ生の希望により、いわゆる「争点」となっているテーマを選択するが、できるだけ体系的な視点から「つながり」のあるテーマ設定を行っていきたいと考えている。

〈方法〉

- 1：具体的な「事例問題」及び「判例」を素材とすること
私が個人的に作成した事例問題、及び適当と思われる具体的な判決例を提示し、それを素材として討論を行う。
- 2：様々な討論の方式を試みること
討論といっても、その方式・方法は様々である。①各分担につき報告者を決め、レジュメを作成してもらって、その進行の過程で討論を進めるという通常の方法もあれば、②模擬裁判の方式をとり、裁判官・原告・被告の立場に分かれて弁論をシミュレートしてもらい、その後、それぞれの立場を越えて討論を戦わせるという方法もある。本演習では、受講生諸君が興味を掻き立てられる討論の方式を試みて行きたいと考えている。
- 3：各テーマにつき全員が担当者となること
どのような討論方式を採ったとしても、あるテーマでは報告者だが、別のテーマでは「お客さん」という者が出てくると、どうしても「活気ある討論」の実現は難しくなる。全員が同じ資格で討論に参加できるようにするという意味で、各テーマでゼミ生全員が担当者となってもらうよう配慮するつもりである。
- 4：常にゼミ生全員の発言が義務づけられること
当然のことであるが、毎回、ゼミ生全員からの発言が望まれる。「沈黙は『禁』」である。

履修上の留意点

思いつきで討論できる人間関係をつくるということは、実は大変に難しいことである。ゼミ生の関係がギスギスしていて皆バラバラというのでは、討論はケンカの種になるか、又はそれを恐れるあまりに沈黙が永続する、ということになりかねない。それぞれ異なる意見・対立する見解かもしれないが、互いに協力して討論を成功させるという姿勢で臨んでほしいし、そのための親睦交流も配慮するつもりである。

成績評価の方法

①いつも積極的に討論に参加しているか、②自分自身の見解を提示できたか、③その際、法的な理論構成はなされているか、などが評価対象となる。結論や理論構成が私と違っているかどうかなどは全く問題とならない。評価の対象外である。自分自身で納得できる見解を発見してほしいし、それによって、自分に『自信』をもってもらいたいからである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	まがちきよし 間 瀧 清 史	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法の重要テーマの中から毎回1～2を選んで、報告者による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。

履修上の留意点

演習参加者には、毎回予習のうえ出席すること、および主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言することを希望します。

成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

教科書

小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円（2001年）

参考書等

鈴木重勝・上田徹一郎／編『基本問題セミナー 民事訴訟法』（一粒社）3,500円（1998年）
『民事訴訟法の争点（第3版）』（有斐閣）2,476円（1998年）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	やまだやすひこ 山 田 泰 彦	法 B 3 選	4
演習Ⅱ		法 B 4 選	

講義のねらい

株式会社法の基本的な内容理解を中心に、現代の経済社会において必要不可欠の組織となっている株式会社を法的側面から、研究する。前期に会社法総論を見て、株式会社の特質を確実に理解した後、株式会社の運営をめぐる問題を検討する。後期は、これに、さらに株式をめぐる問題を加える。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミであるから、上述の基本的な予定に沿って、小テーマを選び、これを各ゼミ生に順次レポーターになってもらい、その報告をたたき台として、全員で討論する。小テーマは、株式会社法の各種制度・原則から、これらに関連する判例研究を取りまぜつつ、私の方で予め提示し、ゼミ生に割り振ることにする。

成績評価の方法

成績評価は、レポーターとしてのレジュメ作成内容、報告内容、発言等を総合して行なう。出席は、必ずとる。理由のない欠席、遅刻に対しては、厳しく対応する。

教科書

教材として、『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）1,800円を指定する。この他、必ず、会社法についての概説書は購入しておくこと。

その他

ゼミは、ゼミ生自身が主体的に参加してつくり上げるものである。自ら、積極的に発言する、明るい学生を希望する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	609
社会思想史	〈阿部弘〉	610
国際経済論	〈休講〉	
社会政策	〈光岡博美〉	611
価格理論	〈荒木勝啓〉	612
国民所得論	〈吉野紀〉	613
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
中国経済論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	614
貿易論	〈休講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	615
管理会計論	〈休講〉	
国際紛争解決法	〈王志安〉	615
法思想史	〈河見誠〉	616
倒産処理法	〈奥野善彦〉	616
アメリカ経営学	〈休講〉	
経営財務論	〈高田光明〉	617
経営組織論	〈伊藤信二〉	618
公益企業論	〈園田哲男〉	618
公管理会計論	〈猿山義広〉	619
会計監査論	〈阿部一人〉	620
日本経済論	〈羽鳥茂〉	621

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	法 A ・ 法 B	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号
- 5 『経済学論集』第22巻第4号
- 6 『経済学論集』第26巻第1号
- 7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	11以前入学生/法B	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あ ち き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点ではほぼパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される *as if* パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるための準備と練習に当てられるとありがたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここでは、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 【入門マクロ経済学】（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAPH版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス（上）』（第6版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清水 卓	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状

市場統合への道

1992年市場統合計画

現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合

第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州

欧州通貨危機と欧州統合

欧州通貨制度（EMS）

欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ

欧州失業問題

地域格差問題

欧州福祉国家の現状

欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます

各国経済の現状

フランス

ドイツ

イギリス

イタリア

スペイン

オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ

北欧諸国

産業分野としては

農業・農村・食料

伝統的部門

先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。

成績評価に際しては、出席回数を考慮します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現代ヨーロッパ経済』（有斐閣）2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』（日本経済新聞社）

その他

卒業年次生に対する再試験は行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

税務研究会編「企業会計規則集」（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	政 治	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかりとして取りももらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ まこと 河 見 誠	政 治	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀の枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人に生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそうした格闘は、何も2002年現在の私たちがはじめて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にあざわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在によって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、中世ローマ・キリスト教の思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス）

近代：自然権・社会契約論（ホブズ、ロック、ルソー） 功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カントは法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代性議論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ）1997年 1,700円

参考書等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒産処理法	おくの よしひこ 奥 野 善 彦	政 治	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

その他

前期－講義 後期－ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営財務論	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営組織論	伊 藤 信 二	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

[前期講義]

- (1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化
- (2) 20世紀の支配的な経営原理－テーラーリズムの誕生とその意味
- (3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など [後期講義]

[後期講義]

- (1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論
- (2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方
- (3) 管理機構モデルの意義とその限界
- (4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりますが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

教科書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	園 田 哲 男	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別された意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本末、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	<small>さるやま よしひろ</small> 猿 山 義 広	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原亭吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
 もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。
 監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。
 監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実に存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。
 まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！
 監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。
 これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。
 本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - ①監査の必要
 - ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（総論）（2）
 - ①監査の目的
 - ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査
 - ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ①必要性
 - ②生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ①意義
 - ②体系
 - ③一般基準
 - ④実施基準
 - ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏期）および出席状況を考慮して総合的に判

定する。

なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
山栴忠恕・檜田信男『監査基準精説』（税務経理協会）3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	は と り しげる 羽 鳥 茂	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいままでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参考書等

読みやすいと思われる順になっています。
〔A〕鶴光太郎『日本の市場経済システム』（講談社現代新書）1994年
〔B〕ジョン・マクミラン 伊藤、林田訳『経営戦略のゲーム理論』（有斐閣）1995年
〔C〕中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年
数学はつぎの2冊が適当だと思います。
〔D〕高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年
〔E〕永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

その他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

